

SHARP®

パーソナルモバイルツール

形名 **SL-C3200**

取扱説明書



Zaurus

文字入力、ホーム画面、
ファイルのコピーなど
基本操作の説明

写真データを取り込んで見る

インターネットに接続
するための設定

わからない言葉を調べる

メールの送信／受信

英日・日英翻訳

ホームページの閲覧

パソコンの画面をザウルスに
取り込む

パソコン-ザウルス間
でファイルをコピー

英文を読み上げる

パソコンにザウルスの
データをバックアップ／
リストア

ほかのザウルスなどから
データを移行

動画や音楽を再生

インターネットに接続でき
ない、メール送信／受信が
できないなど困ったときに

基本的な
使いかた

フォトストレージ

ネットワーク
設定と接続

マルチメディア辞書

メール

翻訳これ一本

Webブラウザ

HancomMobile
Word/Sheet

ザウルスショット

乗換案内/
モバイルマップ

ザウルスドライブ機能

パソコン/PC
Text To Speech

バックアップ/
リストア

ソフトウェアの
追加/削除

カレンダー/
ToDo

Intellisync

アドレス帳

設定

データベース

ほかの機能を
使う

イメージノート/
メモ帳

データ移行

MoviePlayer/
MusicPlayer

付録
困ったときは

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。

- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。

- 当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。

- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失するおそれがあります。

- 次のことを必ずお守りください。

重要な内容は必ず控えを取っておいてください。パソコンや動作確認済みの市販のSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードなどにバックアップ(保管)することができます。

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」(8ページ)を必ずお読みください。また、この製品に付属の『はじめにお読みください』をご覧になり、この製品をお使いになる前の準備をしてください。



- この製品では、当社MI-EX1、MI-600/500シリーズ、MI-10用のPCカード、PI-8000/PI-6600/PI-6500/PI-6000/PI-5000/PI-4500/PI-4000/PI-3000用、PV-F1用や電子手帳用のICカードは使用できません。



● 本書をお読みになる前に

この製品で利用できる周辺機器には、入手困難または現在生産されていないものが含まれています。すでに、周辺機器を入手されているお客様への説明として記載しているものもありますので、周辺機器のご購入に際しては、この製品をお買いあげの販売店にお問い合わせください。

はじめに	表紙の裏
取扱説明書の構成	6
取扱説明書をご覧になるとき	6
操作して困ったときは	7
安全にお使いいただくために	8
使用上のご注意とお手入れのしかた	13
こんなことができます	26
取扱説明書の見かた	29
取扱説明書の表記	29
オンラインマニュアルの見かた	30

基本

基本的な使いかた	31
各部のなまえとはたらき	31
表示部を開ける／閉じる	35
タッチペンを取り出す／取り付ける	35
使うスタイルを切り替える	36
ピュースタイルに切り替える	37
インプットスタイルに切り替える	39
画面の縦横表示を切り替える	40
充電する	41
電源を入れる／切る	42
画面の明るさを変える	43
キー操作とタッチペン操作	44
キーで操作する（インプットスタイル）	44
タッチペンで操作する	46
ピュースタイルで操作する	46
音量設定	48
充電電池の残量を確認する	49
ホーム画面を使う	50
アプリケーションホーム画面	50
設定ホーム画面	53
コンテンツホーム画面	55
ファイルホーム画面	56
タスクバーについて	59
ファイルを整理する	61
フォルダを開いてファイルを見たり、 別のフォルダの内容を見る	61
新しいフォルダを作成する	63

ファイルを別のフォルダにコピーする	64
ファイルを別のフォルダに移動する	64
フォルダやファイルの名前を変える	64
一覧をアイコン表示から リスト表示に切り替える	65
ファイルを検索する	66
フォルダ名／ファイル名の 付けかたについてのご注意	67
メニュー一覧	67
アプリケーションの起動と終了	69
ホーム画面のアイコンからの起動	69
Qt メニューからの起動	70
アプリケーションのキーや タブレットキーからの起動	70
アプリケーションの終了	70
拡大表示する／縮小表示する	71
文字の入力方法	72
キーボードの基本操作	72
キーボードで入力する	74
ローマ字でひらがなや漢字を 入力する	74
連文節を変換し別の漢字に変換する	78
文節の区切りを変えて変換する	79
入力ボードを使って入力する	80
入力ボードを表示する	80
表示している入力ボードを消す	80
入力ボードを切り替える	80
入力ボードの種類	81
タスクバーの表示（文字入力に関する タスクバー表示）について	82
手書認識ボードで入力する	83
カードを使う	84
メモリーカードを使う	84
通信カードを使う	85
データ保存について	85
カードを取り付ける	86
カードを取り外す	87
付属のステレオヘッドホンと	
取り付ける／取り外す	89
取り付ける	89
取り外す	89
パソコンと接続する	90
付属のUSB ケーブルで接続する	90
USB ケーブルを取り外す	92

もくじ

ヘルプを使う	93
ヘルプを表示する	93
ブックマークを使う	93

メール／インターネット

ネットワーク設定と接続 94

ネットワーク設定画面について	94
データカード型 PHS の設定をする	96
無線 LAN の設定をする	102
自動接続（スマート接続）の設定をする ...	106
ネットワークに接続する／接続を切る ...	107
接続するには	107
接続を切るには	108
接続の状態を確認する	108

メール 109

メールを作って送る	109
メールを受信する	112
ファイルを添付する(送信)／添付ファイルを見る・保存する(受信)	113
ファイルを添付して送信する	113
添付ファイルを見る（受信）	114
添付ファイルを保存する（受信）	115
メールを修正する	115
メールを削除する	115
メールをまとめて削除(ごみ箱に移動)する ...	116
複数のアカウントを登録する／修正する ...	116
アカウントを登録する	116
アカウントを修正する	117
アカウントを削除する	117
もっとくわしいことは	117

Web ブラウザ(NetFront®) 118

ホームページを見る	118
アドレス（URL）を指定して ホームページを見る	118
お気に入りのホームページに ブックマークをつける	119
ブックマークからホームページを見る	120

ホームページを保存して オフラインで見る	120
画像ファイルをダウンロードする	121
ホームページからソフトを ダウンロードする	122
ホームページを表示するときの 制限について	123
もっとくわしいことは	123

パソコンと連携する

ザウルスショットを使う 124

ウィンドウ全体をキャプチャーして 読み込む	125
画面表示の一部をキャプチャーして 読み込む	127
印刷イメージでキャプチャーして 読み込む	128
ザウルスショットを終了する	129

ザウルスドライブ機能を使う 130

“ザウルスドライブ（USB ストレージ方式）” を使う	131
パソコン用ソフトウェア “ザウルスドライブ” を使う	135
ザウルスのディスクやメモリーを パソコン上で表示する	135
ファイルをコピーする	137

パソコンにバックアップする (バックアップ／リストア) 139

バックアップする	140
リストアする	142

情報を管理／活用する

カレンダー 144

スケジュールを入れる（新規作成）...	144
スケジュールを入れる	144
スケジュールを確認する	146
月間表示画面で確認する	146
週間表示画面で確認する	147
1日表示画面で確認する	147
詳細表示画面で確認する	148
リンクしているファイルを見る	
（リンクカレンダー）	148
別の日にリンクするように変更する ..	149
もっとくわしいことは	149

ToDo 150

用件に重要度をつけて登録する	
（新規作成）	150
用件を確かめる	152
用件を確かめる	152
「未処理の用件」／「完了した用件」	
のみを表示する	152

アドレス帳 153

アドレス帳にデータを入れる	
（新規作成）	153
アドレス帳にデータを入れる	153
アドレス帳のデータを見る	155
アドレス帳のデータを見る	155
もっとくわしいことは	156

データベース 157

あらかじめ決まっている入力形式を利用して、	
新しいデータを入力する	158
データを見る	160
もっとくわしいことは	161

メモする／記録する／見る

イメージノート 162

画像ファイルを見る	162
アイコン表示一覧をリスト表示にする	163
手書きでメモを書く（新規作成）	164
メモを書く	164
本体に保存したファイルを	
メモリーカードにコピーする	165
もっとくわしいことは	165

メモ帳 166

メモを書く	166
メモ帳のファイルを見る	167
本体に保存したTextタブのファイルを	
メモリーカードにコピーする	168
もっとくわしいことは	168

動画を見る／音楽を聴く

Movie Player 169

再生するときは	169
動画を見る（動画ファイルを再生する）...	170

Music Player 171

再生するときは	171
音楽を聴く（音楽ファイルを再生する）...	171

写真を取り込む／見る

フォトストレージ 173

メモリーカードに保存している写真データを	
ザウルスに取り込む	173
写真を見る	175
もっとくわしいことは	177

わからない言葉を調べる

マルチメディア辞書 178

語句を調べる	179
読みを入力して検索する	179
他のアプリケーションの語句から 辞書を引く	182
もっとくわしいことは	183

翻訳これ一本 184

搭載されている辞書登録語数について ...	184
ご使用の前に	184
英文を和文に翻訳する（英日翻訳）	185
和文を英文に翻訳する（日英翻訳）	187
もっとくわしいことは	189

ワープロ / 表計算ソフトを使う

HancomMobileWord / HancomMobileSheet 190

HancomMobileWord	190
HancomMobileWord 用テンプレート	190
HancomMobileSheet	192
HancomMobileSheet 用テンプレート	192
テンプレートを使ってみる	193
HancomMobileWord のテンプレートを使う ...	193
HancomMobileSheet の場合	194
オリジナルテンプレートをテンプレート 一覧画面に表示する	195

交通経路や地図を調べる

乗換案内 196

モバイルマップ Navi 197

ブンコビューア 198

電子書籍をダウンロードする	198
---------------------	-----

Text To Speech 199

機能を追加する

ソフトウェアの追加／削除 200

ソフトウェアのダウンロード	200
ソフトウェアをダウンロードする	200
ソフトウェアをインストールする	201
ソフトウェアをアンインストール（削除）する ..	203

Intellisync を使う 204

Microsoft Outlook との シンクロナイズ	204
Palm OS 搭載機からこの製品に データを移行	204

ユーザー設定をする

設定 205

時計を合わせる（時刻設定）	205
ライト／省電力設定	207
タッチパネルを調整する	209
システム情報	210
システム情報を見る	210
ユーザーエリアやメモリーが いっぱいになると	211

ほかの機能を使う

ほかの機能を使う 212

アプリケーションホーム画面	212
設定ホーム画面	213
インストール CD-ROM に収録されている その他のアプリケーション	215

データ移行

MI シリーズザウルス、コミュニケー ションバルからのデータ移行 216

データを移行する	218
送信側と受信側の各機能（アプリ ケーション）の項目について	221

SL シリーズザウルス (SL-A300 など) からのデータ移行 226

データを移行する 227

付録

付 録 231

異常が起きたとき 231

- ① 再起動する 231
- ② リセット操作をする 232
- ③ 異常チェックを行う 235
- ④ ディスクチェックを行う 235

データのチェックをする／完全消去

(フォーマット) する 235

- メンテナンスメニューを表示する 235
- 異常チェックを行う 238
- ディスクチェックを行う 239
- 完全消去する (フォーマット) 一通常 240
- 完全消去 (フォーマット) 一廃棄 241
- アップデートする 241

プリインストールソフトウェア／データを

再インストールする 242

- ソフトウェアをインストールする 242
- 広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典
データをインストールする 244
- コンテンツホーム画面のデータを
インストールする 246

充電池について 247

- 使用できる充電池 247
- 充電する 247

- 残量を確認する 247
- 充電池での使用時間 247
- 充電池の交換について 247
- リサイクルについて 248
- 充電池の交換手順 248

使用時間と保存データ数 250

- 満充電で使用できる時間の目安 250
- 保存できるデータ数の目安 251

海外での使用について 251

ローマ字→かな変換表 252

仕様 253

- 本体 253
- 充電池 (EA-BL 11) 255
- AC アダプター (EA-75) 255
- 別売品 255

さくいん 256

アフターサービスについて 261

- 保証について 261
- 補修用性能部品の保有期間 261
- 修理を依頼されるときは 261
- お問い合わせは 261

困ったときは 262

- 本体操作で困ったとき 262
- インターネット接続で困ったとき 266
- メールで困ったとき 271
- インターネット (Web ブラウザ
[NetFront®]) で困ったとき 274
- ソフトウェアの追加で困ったとき 275
- データ移行で困ったとき 276
- パソコンとの接続で困ったとき 277
- パソコンと接続できない場合の確認事項 .. 278

この製品には、本書に記載しているアプリケーション以外に、ボイスレコーダーなどがあります。さらに、各種設定(シークレットや画面デザイン設定など)についても、本書に記載していないものがあります。

また、メールやカレンダーなどのアプリケーションについても、本書には記載していない詳細の機能があります。

これら本書に記載していないアプリケーションや各種設定、詳細機能などについては、付属のインストールCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載していますので、併せて、ご覧ください。

『はじめにお読みください』をご覧ください。ご覧になりパソコン用のソフトウェアをインストールしてお使いになるとき、各ソフトウェアのヘルプを見るときは、Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがパソコンにインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください。

取扱説明書の構成

この製品の取扱説明書／マニュアルは、次のような構成になっています。目的に応じて、それぞれの取扱説明書／マニュアルをご覧ください。

別冊『はじめにお読みください』

- ザウルスのセットアップ
- インストールCD-ROM/データCD-ROMの紹介
- パソコンへのソフトウェアのインストール

本書『取扱説明書』

- 基本的な使いかた
- アプリケーションホーム画面に表示される各アプリケーションの使いかた
- PC連携ソフトウェアの使いかた
- 他のザウルスなどからのデータ移行
- 操作に困ったときの対処

別冊『コンテンツガイド』

- コンテンツホーム画面に表示される各種データ（ファイル）、アプリケーションの使いかた

オンラインマニュアル（インストールCD-ROMに収録）

- アプリケーションマニュアル.pdf
- データベース取説.html
- HancomMobileOffice取説.pdf
- Intellisync取説.pdf
- ザウルスショット取説.pdf
- ザウルスドライブ取説.pdf
- バックアップ-リストア取説.pdf
- モバイルマップNavi取説.pdf
- 困ったときは.pdf など

オンラインマニュアルは、パソコンを使って見ます。見かたについては、30ページをご覧ください。

取扱説明書をご覧になるとき

次のようにして、使いたい機能や操作を探すと便利です。

「もくじ」(☞1ページ)を見て、“見出し”から使いたい機能を探す

「さくいん」(☞256ページ)を見て、“ことば”から使いたい機能を探す

操作していて困ったときは

操作していて困ったときは、次のようにしてください。

困ったときの

STEP1

『取扱説明書』の「困ったときは」やオンラインマニュアル『困ったときは.pdf』などをご覧ください。

困ったときの

STEP2

ホームページ(ザウルスサポートステーション)などをご覧ください。

- 『取扱説明書』や『アプリケーションマニュアル.pdf』を見て分からないときは、ホームページ
“ザウルスサポートステーション”をご覧ください。
URL <http://support.ezaurus.com/>
- ザウルスの商品情報については、ザウルスのホームページをご覧ください。
URL <http://ezaurus.com/>

困ったときの

STEP3

それでも解決できないときは

- ザウルスホットラインにお問い合わせください。
ザウルスホットラインについては、『ご愛用者カード』または『ユーザーサポートのご案内』に記載されています。
- ※ 本製品にインストールして使用する追加ソフトウェアのサポートは、当社では行っておりません。それぞれの開発元にお問い合わせください。
- ※ 広辞苑やジーニアス英和・和英辞典の辞書内容のお問い合わせ先については、178ページをご覧ください。
- ※ HancomMobileWordやHancomMobileSheetのお問い合わせ先については、195ページをご覧ください。
- ※ 乗換案内、モバイルマップNaviやコンテンツツーム画面内の各データのお問い合わせ先については、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- | | | |
|---|-----------|-----------------------------------|
|  | 危険 | 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。 |
|  | 警告 | 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
|  | 注意 | 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。 |

図表示の意味

- | | |
|---|--------------------------|
|  | 記号は、気をつける必要があることを表しています。 |
|  | 記号は、してはいけないことを表しています。 |
|  | 記号は、しなければならないことを表しています。 |

■ SL-C3200 本体の取り扱いについて

警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。



注意

- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



■ 充電池の取り扱いについて

危険

- 充電池(リチウムイオン充電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。
 - ・ SL-C3200 で使用できる充電池は、EA-BL11 と EA-BL08 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
 - ・ プラスとマイナスの向きが決められています。SL-C3200 にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
 - ・ 充電には、SL-C3200 および付属の AC アダプター (EA-75)、別売のバッテリー充電器 (CE-BC22) 以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
 - ・ 直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所 (60℃ 以上) に放置しないでください。
 - ・ 釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
 - ・ 外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
 - ・ 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
 - ・ 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
 - ・ 端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - ・ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
- 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

警告

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
 - ・ 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - ・ 水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
 - ・ 充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・ 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
 - ・ 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
- 充電池を誤って飲み込むことがないように、充電池は乳幼児の手の届かない所へ置いてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

注意

- 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
 - ・ 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
 - ・ 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がSL-C3200から取り出さないように注意してください。
 - ・ 充電は必ず5～35℃の範囲で行ってください。
- ・ 充電方法については、SL-C3200の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ 使用した後は、必ず使用機器（SL-C3200）の電源を切ってください。
- 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われるときは、充電池を本体に装着しないで買いあがりの販売店にご持参ください。

■ ACアダプターの取り扱いについて

警告

- SL-C3200本体に接続するACアダプターは、必ず付属のEA-75を使用してください。他のACアダプター(EA-65,EA-66,EA-68,EA-72など)は使用しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
- 付属のACアダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。
 - ・ ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - ・ ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
 - ・ お客様による改造や分解・修理はしないでください。
 - ・ ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
 - ・ ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。
 - ・ コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
- 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよびSL-C3200本体から外しておいてください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。



注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
 - ・ 周囲温度5～40℃、湿度35～85%の範囲でご使用ください。
 - ・ 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
 - ・ ほこりの多い場所に置かないでください。
 - ・ 重い物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。
 - ・ 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
 - ・ 布などでくるまないでください。



■ I/Oポートカバーや保護カードの取り扱いについて

注意

- I/Oポートカバーや保護カードは、小さなお子様が悪く使って飲み込むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



■ ヘッドホンの取り扱いについて

警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車など運転中は、ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏み切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。



注意

- ヘッドホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



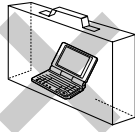
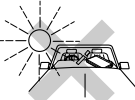
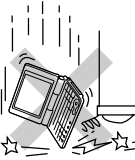
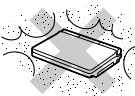
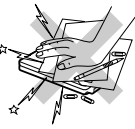
■ 付属 CD-ROM の取り扱いについて

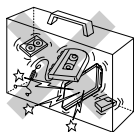
警告

- 付属のCD-ROMは、一般オーディオ用のCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



使用上のご注意とお手入れのしかた

 持ち運ぶときや使用しないときは、電源を切って必ず液晶画面とキーボードが向き合うようにして表示部を閉じてください（液晶画面を保護してください）。表示部を閉じずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。	 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。高温により、変形や故障の原因となります。
 落としたり、ズボンのポケットに入れたり、裏向けたりして強いショックを与えたりしないでください。本体およびハードディスクの故障や破損の原因となります。	 ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。故障の原因となります。
 画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。汚れたまま画面にタッチすると傷つくことや、タッチペンのすべりが悪くなることがあります。	 お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。
 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面を傷めることがあります。	 本体の上に書類などをのせないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。 温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約1時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。	



突起部のある硬いものと一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。

入れかたや取り扱いがた(誤って、ぶついたり落とすなど)によっては、画面の破損の原因となります。



表示部とキーボードの間に名刺やテレホンカード、ペンなどを入れないでください。

表示部の上から力が加わったときなどに画面に荷重がかかり、画面が割れたり傷ついたりします。



防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。

雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



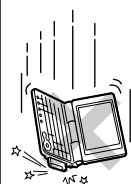
カードの取り外し操作(87ページ)をしないで、電源を入れたまま、コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)などの抜き差しはしないでください。

データが壊れたり正常に働かなくなることがあります。



表示部を回転させるときは、キーボードや接続しているACアダプターなどに当たらないように指定の方向に回してください。

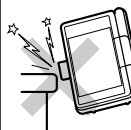
傷ついたり、故障の原因となります。



本体より一部が飛び出したカードを本体に装着した状態で、落としたり、衝撃を加えないようにご注意ください。

また、飛び出した部分に無理な力が加わらないようにご注意ください。

カードおよび本体の故障や破損の原因となります。



使用中に、強い磁石を近づけないでください。

故障の原因となります。



パソコンと接続してザウルスドライブなどを使い、パソコンと通信中(データの読み書き中)にUSBケーブルを抜いたり、パソコンやザウルスの電源を切らないでください。

データが破損したり消去されることがあります。



データ保存中やハードディスクランプが点灯しているときは、ザウルスに振動や衝撃をあたえたり、リセットなどを行わないでください。

データが破損したり消去されることがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的にパソコンやメモリーカードにバックアップしてください。データのバックアップについては、18ページをご覧ください。必ず2つのステップを行ってください。

Text To Speechの音声読み上げ機能について

- この製品の音声読み上げ機能には、Nuance Communications, Inc.のエンジンを使用しています。

音声読み上げ機能は、英単語や英語例文を一切の誤りなく読み上げることを保証するものではありません。

なお、お客様または第三者が本機能の使用により生じた損害、逸失利益につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社および使用許諾権者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 「Text To Speech」は、英語のセンテンスを読み上げるように調整されています。

このため英単語を単独で読み上げた場合には、望ましい発音を行わないことがあります。

本体について

- ・ この製品は使用誤りにより本体ハードディスクやフラッシュメモリーの内容が変化・消失する場合があります。また、故障・修理や電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失するおそれがあります。重要な内容は必ず控えておいてください。
- ・ この製品を落としたり、満員電車の中などで強い衝撃／振動や力を加えないでください。画面やハードディスクなどの破損の原因となります。また、机などにあてたり、ハンドストラップなどをご利用になって落下しないようにしてください。
- ・ 画面タッチの操作は、付属のタッチペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。また、タッチペンの先や画面の汚れを取って操作してください。画面を傷つけます。
- ・ 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがあります。故障ではありません。

カードスロットについて

- ・ CFカードスロット、SDカードスロットにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障やデータの消失の原因になります。
- ・ この製品をポケットやかばんに入れて持ち運ぶときは、コインやクリップなどの金属類と一緒にしないでください。
- ・ カードスロットには、保護カードがありますので、カードスロットを使用していないときは保護カードを装着してください。

液晶表示について

- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

タッチペンについて

- ・ タッチペンのペン先や画面の汚れを取って操作してください。汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、ペンのすべりが悪くなることがあります。

持ち運ぶときのご注意

- ・ 持ち運ぶときは、電源を切って画面保護のため必ず表示部を閉じてください。表示部を開けたまま持ち運ぶと、画面を傷つけたりガラスが割れることがあります。
- ・ 表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。故障や破損の原因となります。

通信時のご注意

- ・ 航空機内や病院内の一部など、携帯電話やPHSなどの使用を禁止された区域では使用しないでください(この製品は、データカード型PHSなどを接続して通信を行います。携帯電話やPHSなどは航空機内では一部使用が禁止されています。くわしくは、航空会社にお問い合わせください。また、医療機関内での使用については、各医療機関の指示に従ってください)。胸部(胸ポケット)に入れて使用すると、ペースメーカーなどに悪影響を及ぼす場合があります。バッグなどに入れて携帯してください。
- またデータカード型PHSなどの説明書などもあわせてご覧ください。

ハンドストラップについて

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っばるなどストラップ取り付け穴に過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

I/Oポートについて

I/Oポートにケーブルを接続してパソコンなどと通信することはできません(2006年2月現在)。I/Oポートカバーは外さないでください。カバーを外していると、ゴミやホコリ・金属片などの異物が入り、故障の原因になります。

「ターミナル」ソフトやipkソフト使用時のご注意

- ・ 「ターミナル」(付属のインストールCD-ROMに収録)を使って、お客様ご自身で本体のシステムファイルなどを変更／削除してザウルスが動作しなくなった
- ・ 当社より提供されているipkソフト以外のipkソフトなどをインストールしてザウルスが動作しなくなった

このようなときは、「完全消去(フォーマット)ー通常」を行いシステムの完全な初期化にて復帰を試みてください(この場合、お客様が入力したデータやソフトは消去されますので、定期的にバックアップを行うことをおすすめします)。完全消去(フォーマット)を行っても起動・動作しないときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。なお、保証期間内であってもその修理は有料(実費)となります。修理内容はザウルスを工場出荷時に戻すものであり、お客様が入力したデータやソフトは消去されます。

データのバックアップについて

この製品の使いかたを誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失するおそれがありますので、定期的にデータをバックアップしてください。バックアップは、次のようにします。

ステップ1：

アドレス帳やカレンダーなどのアプリケーションデータ(フラッシュメモリーに保存しているデータ)をバックアップします。

パソコン用ソフトウェア(付属のインストールCD-ROMに収録の「バックアップ／リストア」)を使ってパソコンにバックアップ(保管)、または、本体内蔵のバックアップ機能を使ってSDメモリーカード、コンパクトフラッシュメモリーカードや本体ディスクにバックアップします。

ステップ2：

ファイルホーム画面(56ページ)で表示できるフォルダやファイル(ハードディスクに保存しているファイル)をバックアップします。

ザウルスドライブを使ってパソコンにフォルダやファイルをコピーしたり、SDメモリーカード、コンパクトフラッシュメモリーカードなどにコピーします。ファイルホーム画面で表示できるすべてのフォルダやファイルをパソコンにコピーするときは、ザウルスドライブやザウルスドライブ(USBストレージ方式)を使って、パソコンにコピーします。

※バックアップしておきたいフォルダやファイルをコピーし忘れているか、必ず確認してください。

ファイルホーム画面で表示されるファイルもバックアップしたい場合は、ステップ1とステップ2の両方を行ってください。

ステップ1でバックアップできるデータ

- ・ カレンダー
- ・ アドレス帳
- ・ ToDo
- ・ メモ帳(「Memo」タブ※1)
- ・ メール(本文)
- ・ データベース
- ・ 追加したソフトウェア
- ・ ネットワーク設定
- ・ ユーザー辞書
- ・ 各種設定内容

※1：メモ帳(「Text」タブ)のデータは、バックアップされません。

ステップ2でコピーするファイル

ファイルホーム画面で表示されるデータ

- ・ メモ帳(「Text」タブ)
- ・ イメージノート
- ・ フォトストレージ
- ・ コンテンツホーム画面に表示されるデータ(ファイル)
- ・ NetFront(ブックマーク)
- ・ プンコピューアで表示できるデータ
- ・ Music PlayerやMovie Playerで再生できるMP3やASFなどのファイル
- ・ HancomSheetやHancomWordで作ったデータ
- ・ ボイスレコーダーで録音した音声データ
- ・ 受信メールに添付された画像ファイルやExcelファイルなど(受信メールに添付されているファイルの保存先を変更(※2)すると、ステップ1でバックアップされます。)
- ・ Text To Speechで保存したWAVファイルやTextファイル
- ・ 乗換案内で使う時刻表データ

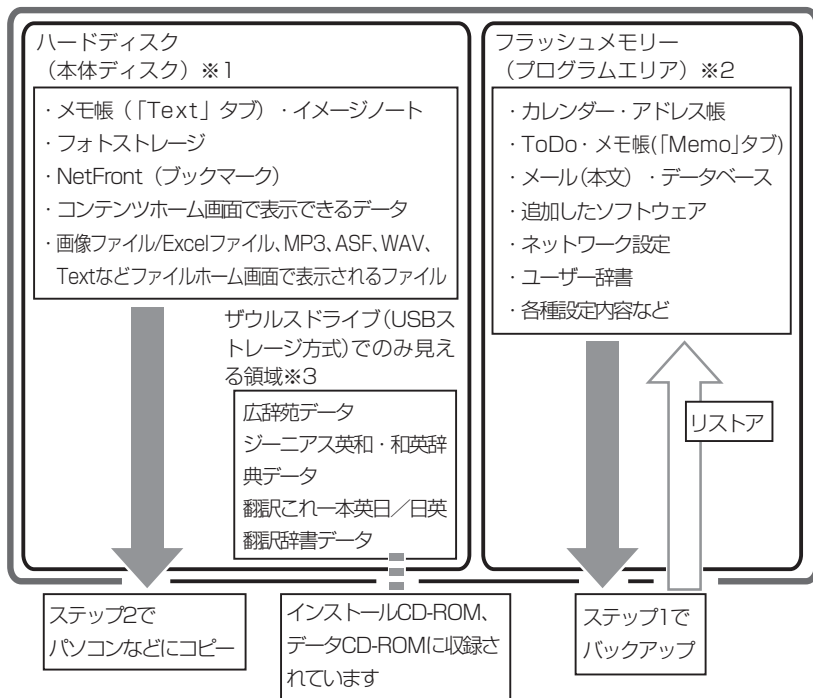
など

※2：くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の2-97ページをご覧ください。

ハードディスク／フラッシュメモリーに保存されるデータについて

ハードディスク／フラッシュメモリーに保存されているデータと前ページで説明しているステップ1(バックアップ)とステップ2(コピー)は次のようになります。

ザウルス



この製品では、ハードディスクを「本体ディスク」と呼び、フラッシュメモリーを「プログラムエリア」と呼びます。

- ※1: 本体ディスク(ハードディスク)に保存したファイルなどは、ファイルホーム画面(☞56ページ)内に表示されます。ザウルスドライブ(USBストレージ方式含む)でパソコンからコピーしたファイルもここに保存されます。
- ※2: プログラムエリア(フラッシュメモリー)は、ファイルホーム画面(☞56ページ)内には表示されません。
- ※3: ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でのみ見える領域は、ザウルスドライブ(USBストレージ方式)(☞131ページ)でパソコンとザウルスを接続した状態で見ることができます。

- ・本体ディスク(ハードディスク)とプログラムエリア(フラッシュメモリー)の空き容量は、システム情報(「ユーザーエリア」タブ)(☞210ページ)で確認することができます。
- ・完全消去を行うと、本体ディスク(ハードディスク)とプログラムエリア(フラッシュメモリー)の両方に保存しているファイルなどをすべて消去します。コンテンツホーム画面に表示されるデータや広辞苑などの辞書データは、インストールCD-ROMとデータCD-ROMからダウンロードします。ダウンロードの方法は242ページをご覧ください。

表示フォントについて



この製品では、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています(ただし、電卓など一部LCフォントでないものもあります)。

LCロゴマークはシャープ株式会社の商標です。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオ、テレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。
- ACアダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

著作権等に関するお願い

音楽用CD等各種CD、TV映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して無線LANカードを装着したザウルスと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる
 悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
 IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 メールの内容
 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
 コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
 などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ 他社製の無線LAN機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。また、設定などについては、ご使用の機器のサポート先にお問い合わせください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、ザウルスホットラインまでお問い合わせください(ザウルスホットラインについては、『ご愛用者カード』または『ユーザーサポートのご案内』に記載されています)。当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)の無線LANのセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。

<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html>

ザウルスの廃棄などの場合、ハードディスク上のデータ消去に関するご注意

SL-C3200の場合、メモ帳(「Text」タブ)やイメージノートで作ったファイル、フォトストレージでメモリーカードから取り込んだ画像ファイル、ザウルスドライブを使ってザウルスにコピーしたファイルなどは、ハードディスクという記憶装置に保存されます。

ハードディスクに保存したこれらのデータを消去する場合、ハードディスクから消去することになります。

一般に「データを消去する」という場合、「削除」操作をする(「データ」メニューの「削除」を選択など)などの作業を行いますが、このことを行っても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、LinuxなどのOSのもと、データが見えなくなっているという状態にあります。また、「完全消去ー通常」(※240ページ)を行っても、データが見えなくなっているだけです。つまり、一見消去されたように見えますが、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで本来のデータは残っているという状態にあります。

※フラッシュメモリー(プログラムエリア)に保存しているカレンダーやアドレス帳などのデータは、「完全消去(フォーマット)ー通常」で消去されます。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを開発・利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、SL-C3200のハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

お客様が廃棄などを行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、241ページの「完全消去(フォーマット)ー廃棄」を行ってください。この操作を行い物理的に消去してから廃棄することをおすすめします。

Lineo uLinux使用許諾契約書

本使用許諾契約は、お客様とリネオソリューションズ株式会社の間における使用許諾契約書(以下「本契約書」)です。本ソフトウェアは、本契約書を承諾した場合にのみ、ご利用いただけます。本ソフトウェアを使用された場合には、お客様は、本契約書に同意したとみなされます。

使用許諾

本契約書が添付されているデバイスに搭載されている本ソフトウェアは、リネオが支持しているGNU General Public License(バージョン2)またはGNU Lesser General Public Licenseならびに各ソフトウェアのライセンス条件のもとでご利用いただけます。

無保証

本ソフトウェアは“そのままの状態”で瑕疵を問わない条件で提供されるものであり、リネオは明示的、黙示的を問わず、市場性または特定目的への適合に対する黙示的保証等、一切の保証を排除します。リネオは、本ソフトウェアがお客様の要求に合致すること、本ソフトウェア製品が支障やエラーなく動作すること、ならびに本ソフトウェアの欠陥をリネオが修正することを、保証や表明するものではありません。満足な品質、パフォーマンス、正確さに関する全リスクはお客様が負うものです。さらに、お客様が本ソフトウェアを享受することの妨害または侵害に関する保証も一切排除します。もしお客様が、機器またはソフトウェアに関する何らかの保証を受け取ったとしてもそれはリネオが表明したものではありません、リネオを拘束するものではありません。

損害に関する免責

法律上無効とされる場合を除き、リネオは、本契約または本ソフトウェアの使用もしくは実行から生じ、または関連するあらゆる費用、損失、損害またはいかなる種類の機会の喪失(これには、逸失もしくは期待利益、使用できないこと、データの喪失、またはあらゆる種類の付随的、懲罰的、特別、もしくは間接的な損害を含みますが、これらに限定されません。)に関して、契約上、不法行為上、保証上その他を問わず、一切の責任を負いません。

契約期間

本契約は、これが終了されるまで有効とします。お客様は、お客様が保有している本ソフトウェアを破棄することで、本契約を終了させることができます。お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合には、本契約は、リネオソリューションズ株式会社からの通告もなく、直ちに自動的に終了するものとします。

本契約書に関して不明な点がございましたら文書にて下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〒399-0651

長野県塩尻市北小野 1589-1

リネオソリューションズ株式会社

謝意

リネオソリューションズ株式会社は、Linus Torvalds氏はじめとしてLinuxおよびオープンソースコミュニティに深い感謝の意を表します。

GNU General Public LicenseおよびGNU Lesser General Public Licenseの使用許諾契約書コピーは、それぞれ<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>および<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>で入手できます。

シャープオリジナルソフトウェア使用条件

シャープ株式会社(以下、弊社といいます)は、この製品に添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます)の非独占的使用権を下記条件にもとづきお客様に許諾します。お客様は本ソフトウェアのご使用をもって、下記条件に同意されたものとします。

1. 本ソフトウェアを使用された結果お客様に生じた損害に関し、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社はいかなる補償も行いません。弊社が法令上賠償責任を負う場合においても、通常損害の範囲内とし、賠償額はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち、本ソフトウェア代金相当額をその上限とします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの仕様を将来予告なしに変更することがあります。

- ・ Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ・ Lineo Solutions, Inc. はリネオソリューションズ株式会社の商標です。

- ・ Trolltech, Qt, Qtopia及びTrolltechロゴは、ノルウェーTrolltech社の登録商標です。

- ・ 本製品のインターネットブラウザ機能は株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。

NetFront®

Copyright© 1996-2006 ACCESS CO.,LTD.

NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- ・ LEADTOOLSは米国LEAD Technologies, Inc.の登録商標です。

Copyright© 2005 LEAD Technologies, Inc. & GrapeCity inc.

- ・ Microsoft、Windows、Outlookは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の登録商標または商標です。

- ・ HancomMobileWord、HancomMobileSheetは、HancomLinux, Inc. の登録商標です。

- ・ Intellisync and the Intellisync logo are trademarks of Intellisync Corporation, that may be registered in some jurisdictions.

- ・ This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

- ・ This product includes technology owned by Microsoft Corporation and cannot be used or distributed without a license from Microsoft Licensing, Inc.

(次ページへ続く)

-
- ・  SDロゴは商標です。
 - ・ コンパクトフラッシュ (Compact Flash) はSanDisk Corporationの商標です。
 - ・ MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの商標です。
 - ・ MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
 - ・ この製品に収録されているマルチメディア辞書のデータは、下記の辞書・辞典にもとづいています。

●『広辞苑 第五版 CD-ROM版』(EPWING規約第5版準拠)

© Iwanami Shoten, Publishers, 1998-2004

編者 : 新村 出

著作権者代表 : 財団法人新村出記念財団

発行者 : 山口昭男

発行所 : 株式会社岩波書店

写真・動画・音声などのマルチメディアデータの著作権は、撮影者・提供者などに帰属いたします。

この製品に収録されているデータは著作権法によって保護されており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁じられています。

また、この製品に収録されているデータを引用した著作物を公表する場合には、出典名・発行所を明記してください。

『広辞苑』は株式会社岩波書店の登録商標です。

●『CD-ROM版 ジーニアス英和<第3版>・和英<第2版>辞典』(EPWING規約第2版準拠)

© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei and Taishukan 2001-2005

- ・ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service(ETS). This (publication/product/website) is not endorsed or approved by ETS.
- ・ Nuance and the Nuance logo are trademarks or registered trademarks of Nuance Communications, Inc. or its affiliates in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



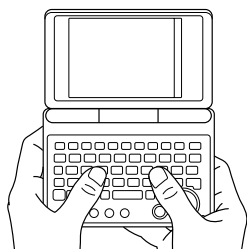
こんなことができます

使うスタイルを切り替える

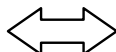
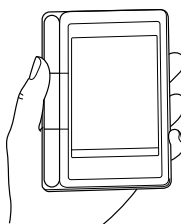
インプットスタイル(情報を入力)とビュースタイル(情報を見る)を切り替えます。

切り替え方法は、36～40ページをご覧ください。

インプットスタイル



ビュースタイル



英語の学習をする

コンテンツホーム画面

コンテンツホーム画面に収録されている「TOEIC(R) テスト」や「NOVA CITY中級編」などを使って英語の学習をすることができます。

付属のステレオヘッドホンを使って英語の発音を聞くこともできます。

くわしくは、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

動画のコンテンツを見る

コンテンツホーム画面

コンテンツホーム画面に収録されている「NOVA CITY中級編」の動画を見ることができます。

くわしくは、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

目的地までの経路を調べる

乗換案内

出発地の駅名と目的地の駅名を入力するだけで、複数の経路を検索しそれぞれの運賃や所要時間などを調べることができます。

くわしくは、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

外出先でインターネットをする

メール、Webブラウザ

データカード型PHSや無線LANカードなどを使って外出先でメールチェックやお気に入りのホームページの閲覧ができます。
くわしくは、109ページや118ページをご覧ください。



デジタルカメラなどで撮影した写真データを見る フォトストレージ

デジタルカメラで撮影してメモリーカードに保存した写真データをこの製品に取り込み、この製品で見ることができます。
くわしくは、173ページをご覧ください。

わからない言葉を調べる

マルチメディア辞書

『広辞苑』、『シーニアス英和・和英辞典』を使って言葉の意味を調べることができます。また、別のアプリケーションで表示している言葉を調べることができます。
くわしくは、178ページをご覧ください。

目的地周辺の地図を見る

モバイルマップNavi

外出先や出張先で目的地の周辺の地図を表示することができます。
くわしくは、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

英文を読み上げる

Text To Speech

他のアプリケーションで表示している英文をコピーして、Text To Speechで読み上げることができます。
くわしくは、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

パソコンの画面を画像データとして取り込む ザウルスショット

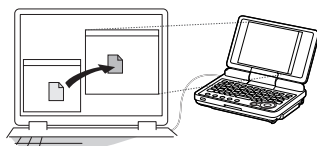
パソコンに表示されている画面やメールなどの文章をザウルスに転送でき、ザウルスのイメージノートやメモ帳で見たり編集することができます。
くわしくは、124ページをご覧ください。

パソコンのファイルをザウルスにコピーする ザウルスドライブ

ザウルスドライブ(USBストレージ方式)を使うと、パソコンとザウルスをUSBケーブルで接続し、ファイルのやり取り(コピー)ができます。

また、パソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”を使っても同様のことができます。

くわしくは、131ページや135ページをご覧ください。



Outlookとシンクロナイズする

Intellisync

この製品のカレンダーやアドレス帳などのデータとパソコンのMicrosoft Outlookデータをシンクロナイズ(同期)することができます。

くわしくは、204ページをご覧ください。

HancomMobileWord/Sheetのテンプレートを使う

HancomMobileWord/Sheet

HancomMobileWord/Sheetではワープロや表計算のデータを作成することができます。また、出張報告書などの各種テンプレートを用意しています。

くわしくは、190ページをご覧ください。

その他の機能

- ・ スケジュールを管理する(カレンダー 144ページ)
- ・ 住所を管理する(アドレス帳 153ページ)
- ・ 用件にランクをつけて管理する(ToDo 150ページ)
- ・ 身の周りの情報を整理し、活用する(データベース 157ページ)
- ・ 画像を見たり、イラストを書いたりする(イメージノート 162ページ)
- ・ 文字を見たりメモを書く(メモ帳 166ページ)
- ・ 動画を楽しむ(Movie Player 169ページ)
- ・ 音楽を楽しむ(Music Player 171ページ)
- ・ 大切なデータを保存する(パソコンにバックアップ 139ページ、メモリーカードへバックアップ 214ページ)
- ・ 音声を録音する(ボイスレコーダー 215ページ)
- ・ 画像データを使ってプレゼンテーションする(プレゼンテーション 215ページ)

取扱説明書の見かた

取扱説明書の表記

●ボタンやキーの表記

- ・画面上のメニューやボタンなど ... ・ などと表記します。
- ・キーボードのキー ・ 『キー』などと表記します。
- ・キーの上に青色で表示されている「Cut」などの機能は、『 (Cut) キー』などと表記します。
- ・キーボード下部のキーは、『キー』や『キー』などと表記します。

●操作手順の表記

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。

- ・キーを押して操作する
- ・タッチペンで画面にタッチして操作する

本書では、キーを押した操作を中心に説明しています。キー操作の説明は、フォーカスをご購入時に設定されている領域から移動していないものとして説明しています(フォーカスとはキーなどが働く領域のことです。フォーカスのあたっている領域内では、選択されている項目が点線で囲まれています。キーなどを使ってフォーカスを移動します)。

●マーク

 補足的なことを説明しています。

 注意していただきたいことを説明しています。

 参照する取扱説明書のページを指しています。

●表示画面

- ・本書に記載されている画面例は、横表示の例で説明しています。また、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

※ 本書に記載しているURLや問い合わせ先などは、2006年2月現在のものです。

オンラインマニュアルの見かた

この製品に付属のインストールCD-ROMにはオンラインマニュアルが入っています。

オンラインマニュアルは次のところに入っています。

「インストールCD-ROM」をパソコンにセットします。しばらくすると、インストールCD-ROMのメニュー画面が表示されますので、オンラインマニュアルをクリックします。

オンラインマニュアルは、PDFファイルで作成されているものとHTMLファイルで作成されているものがあります。

●PDFファイルで作成されているオンラインマニュアルを読むには

PDFファイルで作成されているオンラインマニュアルをお読みになるには、お使いのパソコンにAdobe® Acrobat® Reader™またはAdobe® Reader®がインストールされている必要があります(Adobe Acrobat Reader 5.0以上を推奨)。

Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされていない場合は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください(<http://www.adobe.co.jp/>)。

Adobe Acrobat ReaderやAdobe Readerのくわしい使いかたは、それぞれのヘルプをご覧ください。

これらのソフトには文字を検索する機能があります([編集]メニューの[検索])。調べたい語句を入力して検索すると便利です。

※Adobe、Acrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

※Adobe Acrobat Reader、Adobe Readerについて

Copyright© 1987-2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

●HTMLファイルで作成されているオンラインマニュアルを読むには

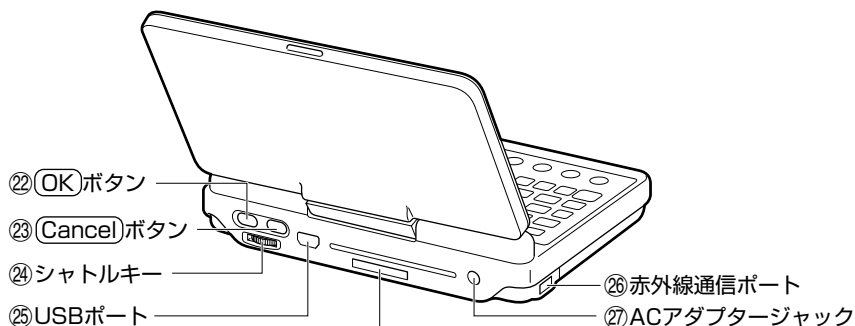
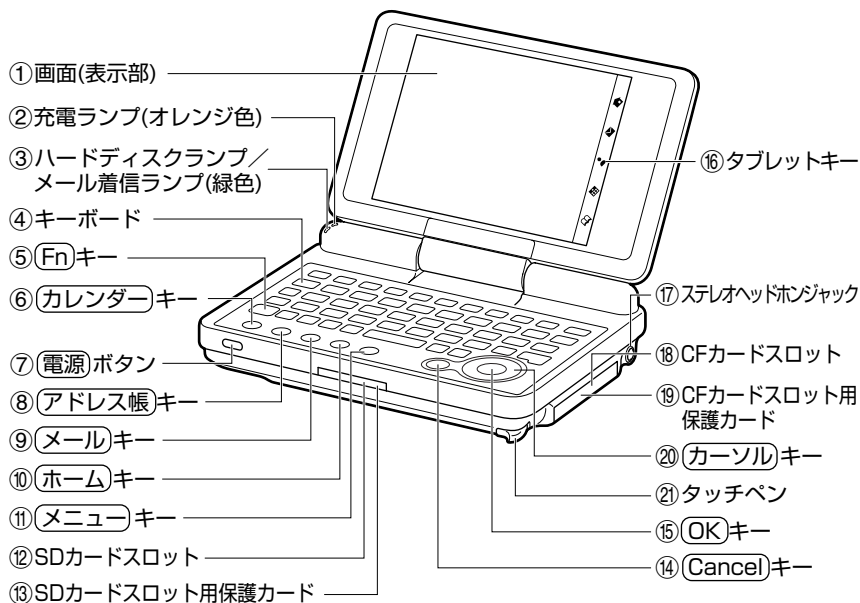
HTML形式のオンラインマニュアルは、Windows 2000 Professional/Me/XP 日本語版の環境で、マイクロソフト社のInternet Explorer 4.01または5.0、5.5、6.0、Netscape社のNetscape Navigator 4.0または4.5、4.6、4.7、6.0、6.2で読むことをおすすめします。それ以外のブラウザで読んだ場合、ページ内容が正しく表示されない場合があります。なお、Internet Explorer、Netscape Navigatorの間にもレイアウト表示に若干の違いがありますが、ご了承ください。

この製品では、データベースのオンラインマニュアルがHTML形式です。見かたは161ページをご覧ください。

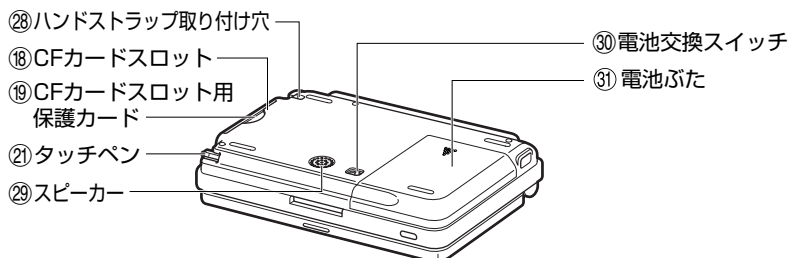
ここでは、この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。



I/OポートにはI/Oポートカバーを取り付けています。
ケーブルを接続してパソコンなどとは通信できません。
(2006年2月現在)



① 画面 (表示部)

各種のデータを表示します。また、付属のタッチペンでタッチして操作します(㉓46ページ)。

② 充電ランプ(オレンジ色)

点灯：・電源が切れているときは、充電中であることを示し、満充電になると消えます(㉓41ページ)。

・電源が入っているときは、ACアダプターが接続されていることを示します。

点滅：充電中に異常が発生したことを示します(㉓262ページ)。

③ ハードディスクランプ/メール着信ランプ(緑色)

ハードディスクの動作状態やメールを受信したことを示します。ライト/省電力設定でこのランプをハードディスク動作状態または、メールを受信したことを示す設定にします(ご購入時は、ハードディスクランプとして働きます)。設定については、207～208ページまたは『アプリケーションマニュアル.pdf』の「設定」「ライト/省電力設定」をご覧ください。

ハードディスクランプ

・点灯：ハードディスクにアクセスしていることを示します。

メール着信ランプ

・点灯：メールを受信したことを示します。

④ キーボード

文字などを入力します(㉓72ページ)。

⑤ (Fn) キー (Fn)

キーの上に青色で書かれているキーと組み合わせて使用します(㉓73ページ)。

⑥ (カレンダー) キー (Calendar)

“カレンダー”アプリケーションを起動します(㉓144ページ)。しばらく(約2秒)押したままにするとシンクロナイズを開始します(㉓204ページ)。

⑦ (電源) ボタン (On/Off)

電源を入れたり切ったりします(㉓42ページ)。

⑧ (アドレス帳) キー (Address)

“アドレス帳”アプリケーションを起動します(㉓153ページ)。

⑨ メールキー ()

“メール”アプリケーションを起動します(☞109ページ)。しばらく(約2秒)押したままにするとメール受信を開始します(☞112ページ)。

⑩ ホームキー ()

ホーム画面を表示します(☞45ページ)。

⑪ メニューキー ()

メニューを表示します(☞45ページ)。

⑫ SDカードスロット

動作確認済みの市販のSDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)を取り付けます(☞86ページ)。ご購入時は保護カード(⑬)が取り付けられています。

⑬ SDカードスロット用保護カード

動作確認済みのSDメモリーカードやマルチメディアカード(MMC)などを取り外したときに取り付けておくカードです。

⑭ Cancelキー ()

作業を取り消します(☞45ページ)。

⑮ OKキー ()

登録操作をします(☞45ページ)。

⑯ タブレットキー

タッチするとアプリケーションの起動などを実行します(☞47ページ)。

⑰ ステレオヘッドホンジャック ()

付属のステレオヘッドホンや別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)などを接続し、MusicPlayer(☞171ページ)やMoviePlayer(☞169ページ)などで使用します。

接続しているときは、キータッチ音やスケジュールのアラーム音などは、ステレオヘッドホンからしか聞こえません。

⑱ CFカードスロット

動作確認済みの市販のコンパクトフラッシュメモリーカードやデータカード型PHSなどを取り付けます(☞86ページ)。ご購入時は保護カード(⑲)が取り付けられています。

⑲ CFカードスロット用保護カード

動作確認済みのコンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り外したときに取り付けておくカードです。

⑳ カーソルキー ()

パソコンのカーソルキーと同じように働きます(☞45ページ)。

㉑ タッチペン

画面にタッチしたり文字を書いたりするときに使います(☞35、46ページ)。

②② (OK)ボタン

登録操作をします。(OK)キー(15)と同じ働きです。ビュースタイル(46ページ)で使います。

②③ (Cancel)ボタン

作業を取り消します。(Cancel)キー(14)と同じ働きです。ビュースタイル(46ページ)で使います。

②④ シャトルキー

ビュースタイル(46ページ)で使うときに回すと、画面がスクロールします。

②⑤ USBポート

ザウルスショット(124ページ)などを使うとき、この製品に付属のUSBケーブルを接続します。

②⑥ 赤外線通信ポート

赤外線通信でデータをやり取りするとき、ほかの機器の赤外線通信ポートと向き合わせます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「赤外線通信(データ交換)」)。

②⑦ ACアダプタージャック

付属のACアダプター(EA-75)を取り付けます(41ページ)。

他のACアダプター(EA-65、EA-66、EA-68、EA-72など)は絶対に取り付けしないでください。故障の原因となります。

②⑧ ハンドストラップ取り付け穴

市販のハンドストラップを取り付けます。

②⑨ スピーカー

“カレンダー”のアラームが鳴ったり、画面タッチ音などの音を聞くことができます。

③⑩ 電池交換スイッチ

充電電池を取り付ける／取り外すときに切り替えます(248ページ)。また、232～234ページの操作を行うとリセットされます。

③⑪ 電池ふた

充電電池を取り付ける／取り外すときに外します(248ページ)。

**● I/Oポートについて**

本体背面にI/Oポートがありますが、このポートにはI/Oポートカバーを取り付けています。I/Oポートにケーブルを接続してパソコンなどとは通信できません(2006年2月現在)。I/Oポートカバーは外さないでください。カバーを外していると、ゴミやホコリ・金属片などの異物が入り故障の原因になります。

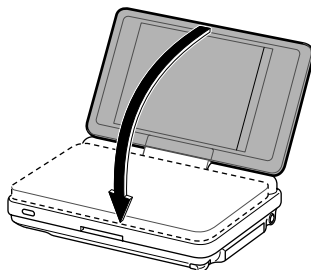
表示部を開ける/閉じる

表示部を正しく開き/閉じましょう。

表示部を開く



表示部を閉じる



基本

基本的な使いかた



- ライト／省電力設定(「設定2」タブ) (※208ページ)で、「表示部が閉じられたときにパワーオフする」にチェックがついていると、表示部を閉じると電源が切れます。表示部を閉じたあと、もう一度表示部を開くと電源は切れた状態になっていますので、**電源**ボタンを押して電源を入れてください。



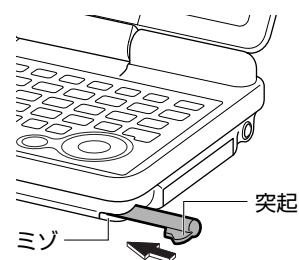
- 持ち運ぶときは、画面保護のために必ず表示部を閉じてください。表示部を閉じずに持ち運ぶと、画面(表示部)を傷つけたりガラスが割れることがあります。

タッチペンを取り出す／取り付ける

タッチペンを取り出す



タッチペンを取り付ける



ミゾと突起部分が合うように入れます
タッチペンがロックされ、出てこないことを確かめます

使うスタイルを切り替える

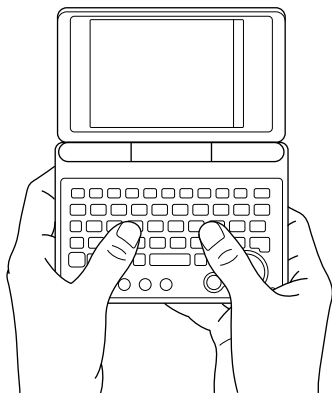
この製品には、文字の入力に適したインプットスタイルと画面の閲覧に適したビュースタイルがあります。

基本

基本的な使いかた

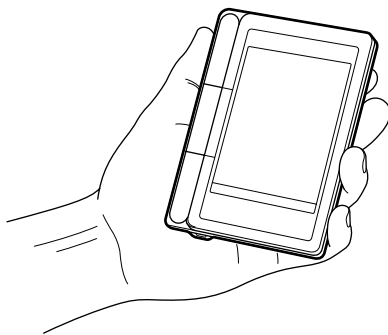
インプットスタイル

文字入力に適したスタイルです。横640×縦480ドットの横表示になります。キーボードを使って快適に文章の入力ができます。



ビュースタイル

図のように片手での画面の閲覧に適したスタイルです。横480ドット×縦640ドットの縦表示になります。ビュースタイルへの切り替えかたについては次ページを参照してください。また、ビュースタイルでの操作については46ページを参照してください。

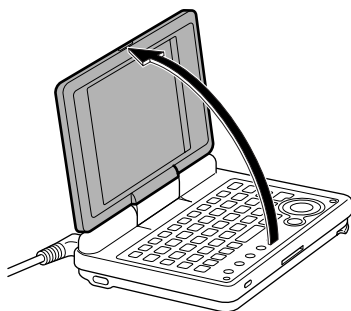


- インプットスタイルとビュースタイルとでは、液晶画面の視野角は違います。それぞれ見やすい角度でご覧ください。

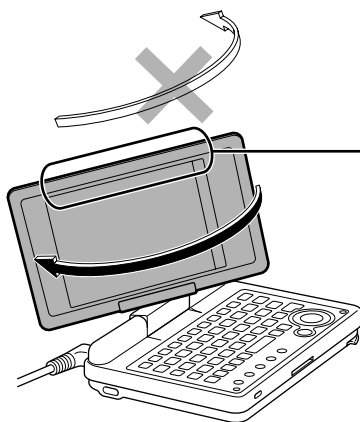
ビュースタイルに切り替える

インプットスタイルの状態から表示部を回転させて、ビュースタイルで使うことができます。ビュースタイルにすると、画面が自動的に縦表示に変わります。

1 表示部を90° 開いた状態にします。



2 表示部を向かって左方向に180° 回します。



ここを持って回さないで
ください

反対方向に無理に回すと、
表示部が壊れます

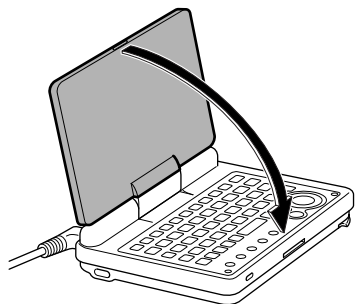


- 無理に回転させないでください。表示部などが故障する恐れがあります。
- 回転させるときは、キーボードや背面に接続しているACアダプターなどに当たらないようにしてください。
- 回転の途中で表示部を閉じないでください。キーボードを傷つけます。
- 表示部を回すときは、指をはさまないように注意してください。
- 画面上部の窓枠付近を持って回さないでください。指が触れて不用意に動作することがあります。

基本

基本的な
使いかた

3 回転した表示部を閉じます。

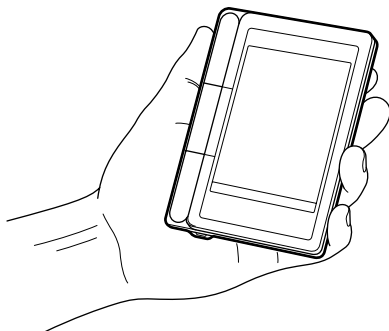


基本

基本的な使いかた

4 縦画面で表示されます。

ビュースタイルでの操作については46ページをご覧ください。

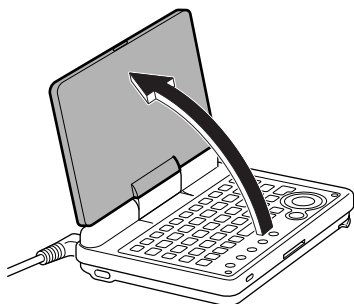


- 持ち運ぶときは、画面保護のためインプットスタイルに切り替えてから画面を閉じてください。ビュースタイルのまま持ち運ぶと、画面(表示部)を傷つけたりガラスが割れることがあります。

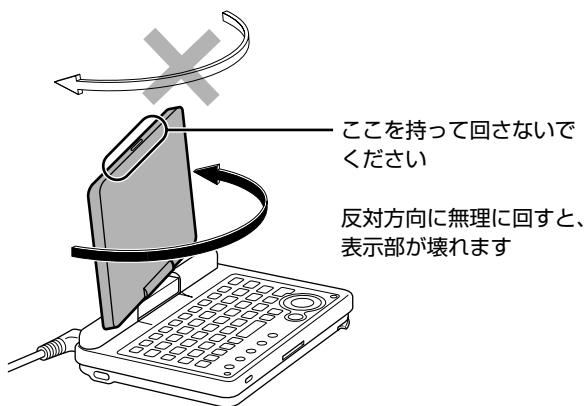
インプットスタイルに切り替える

ビュースタイルの状態から表示部を回転させて、インプットスタイルで使うことができます。インプットスタイルにすると、画面が自動的に横表示に変わります。

1 表示部を90° 開いた状態にします。

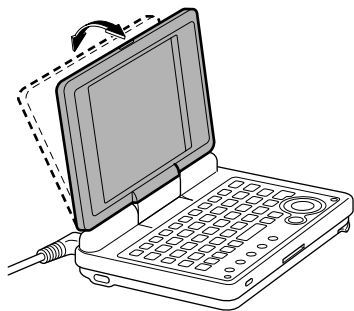


2 表示部を向かって右方向に180° 回します。



- 無理に回転させないでください。表示部などが故障する恐れがあります。
- 回転させるときは、キーボードや背面に接続しているACアダプターなどに当たらないようにしてください。
- 回転の途中で表示部を閉じないでください。キーボードを傷つけます。
- 表示部を回すときは、指をはさまないように注意してください。
- 画面上部の窓枠付近を持って回さないでください。指が触れて不用意に動作することがあります。

3 見やすい角度に表示部を調整してください。



4 横画面で表示されます。

画面の縦横表示を切り替える

インプットスタイル時に横表示から縦表示へ、ビュースタイル時に縦表示から横表示へ、表示を切り替えられます。

- 1 タスクバー(59ページ)のにタッチし、表示されたメニューから **縦横表示切替** を選びます。
表示が切り替わります。

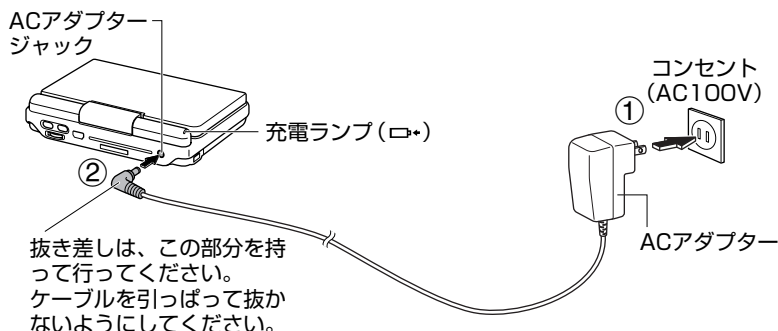


- 縦画面非対応のアプリケーションの場合は、**縦横表示切替** が選択できません。

充電する

この製品を使用中に充電電池が消耗したときは、付属のACアダプター(EA-75)を使って充電電池を充電してください(他のACアダプターは使用しないでください)。

- 1** **電源** ボタンを押して電源を切ります(※次ページ)。
- 2** 充電電池が取り付けられていることを確認します。
- 3** 下図のように①、②の順で、ACアダプターを接続します。
本体の充電ランプが点灯して、充電が始まります。



- 4** 満充電になると、本体の充電ランプが消え、充電が完了します。
ACアダプターをこの製品のACアダプタージャックから抜き、コンセントから取り外します。
満充電になるまで、付属の充電電池EA-BL11の場合、通常、約4時間(常温25℃)がかかります。ただし充電電池の残量や周囲温度などによって変わります。



- 必ずこの製品に付属のACアダプター(EA-75)を使用してください。他のACアダプター(EA-65、EA-66、EA-68、EA-72など)は絶対に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。
- 本体の電源を切っていても、充電電池は消耗します。満充電後ご使用にならなくても、約10日間経つと充電電池は完全に消耗してしまいますので、その場合は使用前に満充電になるまで充電してください。



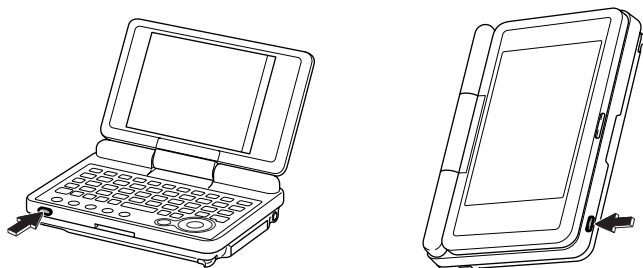
- 充電するときは、電池ふたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしてください。
- 充電は、周りの温度が5℃～35℃の場所で行ってください。温度が低くなるほど充電しにくくなります。また、充電は満充電するまで行ってください。
- 長時間使用しなかった充電電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電電池の残量は、画面右下の の状態や、 にタッチして表示される画面で確認できます(※49ページ)。
- 充電電池や使用しながらの充電については247ページをご覧ください。

電源を入れる／切る

基本

基本的な使いかた

1 電源ボタンを押します。



- 電源が切れているときにキーボードの(カレンダー) (Calendar)、(アドレス帳) (Address)、(メール) (Mail)、(ホーム) (Home)キーを押すと、電源が入り、アプリケーションなどが起動します(※44ページ)。

2 電源が入り、画面が表示されます。



3 電源を切るときは、(電源)ボタンを少し長く押します。

画面が消えるまで(電源)ボタンを押すことをおすすめします。

Qtメニューアイコン()から電源を切ることもできます(※59ページ)。



- 充電電池が消耗して電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、約10分以上充電してから使用してください。
- 電源が入らないときは、フルリセットを行ってください(※234ページ)。
- しばらく操作しないと節電のため自動的に電源が切れます。このときは、入力中であっても電源が切れる前のデータを保持しますが入力中の採用されていない文字は保持されません(“データベース”アプリケーションについては、159ページをご覧ください)。自動節電の設定は変えることができます(※207ページ)。

画面の明るさを変える

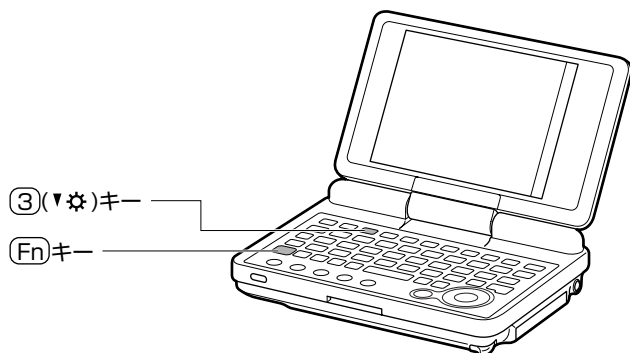
ライト(バックライト)の明るさを調整することができます。ここでは、キーを使った操作を説明します。ライト／省電力設定画面(☞207ページ)で変更することもできます。

基本

基本的な使いかた

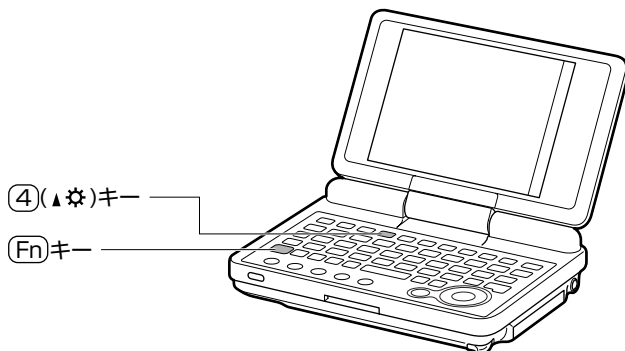
1 (Fn)キーを押したまま、③(▼☆)キーを押します。

画面のバックライトの輝度が1段階下がり少し暗くなります。



2 輝度を上げるときは(Fn)キーを押したまま、④(▲☆)キーを押します。

画面のバックライトの輝度が1段階上がり少し明るくなります。



- しばらく操作しないと自動的にライトが減光します(ACアダプター接続時は、減光しません)。このときは、タッチペンやキーで操作すると、元の明るさで点灯します。この設定は変更することができます(☞207ページ)。
- 画面を明るくするほど使用時間が短くなります(使用時間の目安は、250ページをご覧ください)。
- ライトの特性上、濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

キー操作とタッチペン操作

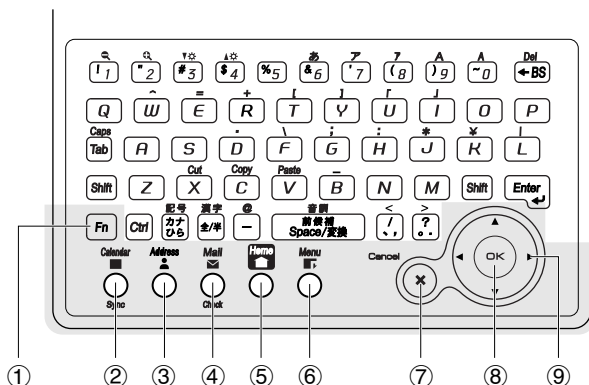
この製品を操作するには、キー操作とタッチペン操作があります。

基本

基本的な使いかた

キーで操作する(インプットスタイル)

ここでは、キーボード下部にあるキーについて説明します。キーボードを使った文字入力については、72ページをご覧ください。



① Fn (Fn) キー

- ・キーの上側に青色で書かれている機能を実行したり文字を入力します。このキーを押したまま、該当のキーを押します。画面の明るさを変えたり(前ページ)、画像や文字の大きさを換えたり(71ページ)、文字を入力する(72ページ)ときに使います。
- ・このキーを押したまま(N)キーや(M)キーを押すと、新規作成や修正の画面を表示します(ファイルやペンのタッチと同じ動きです)。
- ・メモ帳などでこのキーを押したまま(カーソル)キーを押すと、ページ送りや戻し、文頭・文末・行頭・行末への移動が行えます。

② Calendar (カレンダー) キー

- ・“カレンダー”アプリケーションを起動します(144ページ、電源が切れているときは、電源が入り、アプリケーションが起動します)。
- ・このキーの働きを換えることができます(213ページ)。
- ・しばらく(約2秒)押したままにすると、シンクロナイズ(204ページ)を開始します(電源が切れているときは、電源が入り、シンクロナイズを開始します)。

③ Address (アドレス帳) キー

- ・“アドレス帳”アプリケーションを起動します(153ページ、電源が切れているときは、電源が入り、アプリケーションが起動します)。
- ・このキーの働きを換えることができます(213ページ)。

④ ((メール)キー)

- ・“メール”アプリケーションを起動します(☞109ページ、電源が切れているときは、電源が入り、メールが起動します)。
- ・このキーの働きを変えることができます(☞213ページ)。
- ・しばらく(約2秒)押したままにすると、メールチェックを開始します(☞112ページ)。

⑤ ((ホーム)キー)

- ・アドレス帳などを使っているときに((ホーム)キーを押すと、ホーム画面を表示します(☞50ページ、電源が切れているときは、電源が入り、ホーム画面を表示します)。
- ・ホーム画面を表示しているときは、ホーム画面が順に切り替わります。
- ・このキーの働きを変更することもできます(☞213ページ)。

⑥ ((メニュー)キー)

メニューを表示したり、閉じたりします。

- ・アプリケーションホーム画面と設定ホーム画面では、タスクバーのQtメニューを表示したり、閉じたりします(☞59ページ)。
- ・アプリケーションの画面やファイルホーム画面／コンテンツホーム画面では、メニューバーのメニューを表示したり、閉じたりします。
- ・このキーの働きを変えることができます(☞213ページ)。

⑦ ((Cancel)キー)

- ・作業を取り消します(画面右上の をタッチするのと同じ働きです)。
- ・ファイルホーム画面、イメージノート、メモ帳では、このキーの働きを変えることができます(☞68ページ)。

⑧ ((OK)キー)

- ・登録操作をします。画面右上の をタッチするのと同じ働きです。
- ・ホーム画面で選ばれているアイコンを実行したり、一覧画面で選ばれているデータを表示したりします。

⑨ ((カーソル)キー)

上下左右のカーソルキーで、パソコンのカーソルキーと同じように働きます。次のようなときに使います。

- ・ホーム画面でアイコンを選ぶ
- ・一覧画面でデータを選ぶ
- ・タブを切り替える
- ・ボタンを選択する

※アプリケーションによって、動きが異なる場合があります。フォーカスのある場所によって動きが異なります。

タッチペンで操作する

付属のタッチペンで画面にタッチして操作します。

タッチする

画面に1回軽くタッチします。

しばらくタッチする

画面に数秒間軽くタッチしたままにします。カレンダーでは、スケジュールデータに約2秒間タッチしたままにすると、メニューが表示されます。

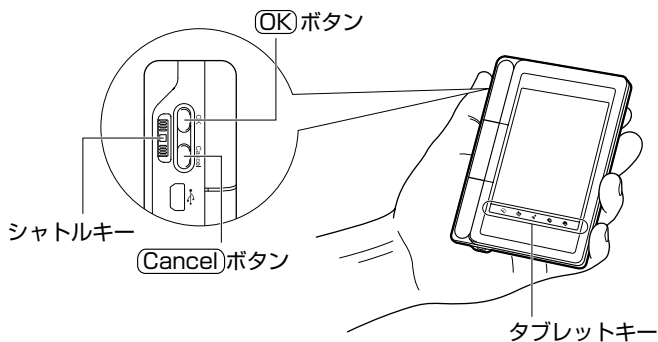
なぞる

画面に軽くタッチしたままなぞって選択します。カレンダーでは、1日表示画面の時刻表示をなぞって選択することができます。

ビュースタイルで操作する

ビュースタイルは、タッチペンで操作します。

(OK)ボタン・(Cancel)ボタン・シャトルキーで操作することもできます。



(OK) ボタン、(Cancel) ボタン、シャトルキー

(OK)ボタンと(Cancel)ボタンはキーボードの(OK)キー(Ⓚ)、(Cancel)キー(Ⓚ)と同じ働きです。シャトルキーを回すと画面がスクロールしますので、長文のメールを読むときなどに便利です。

タブレットキー

タブレットキーの働きは変更することもできます(☎213ページ)。

((カレンダー)キー)

- ・“カレンダー”アプリケーションを起動します。

((アドレス帳)キー)

- ・“アドレス帳”アプリケーションを起動します。

((メール)キー)

- ・“メール”アプリケーションを起動します。

((ホーム)キー)

- ・アドレス帳などを使っているときに (ホーム)キーを押すと、ホーム画面を表示します(☎50ページ)。
- ・ホーム画面を表示しているときは、ホーム画面が順に切り替わります。

((辞書)キー)

- ・“マルチメディア辞書”アプリケーションを起動します。
-

音量設定

基本

基本的な使いかた

キークリック音、画面タッチ音、アラーム音(“カレンダー”アプリケーション)などの音量を設定することができます。

また、アラーム音だけ音を出すようにしたり、何も音を出さないようにすることもできます。

1 アプリケーションホーム画面などで、画面右下の  にタッチします。

2 音量の調節(スライダーの移動)、音を出す／出さない(チェックをつける／外す)を設定します。

スライダーを移動して音量を変えます。

「ミュート」にチェックをつけると、音は出なくなります。

ミュートは、すべてに働きます。



音を出す／出さないを設定します。

- ・チェック有り:
音を出す
- ・チェック無し:
音を消す

3 画面の他の部分(音量設定以外の部分)にタッチすると音量設定が消え、手順2で変更した内容が設定されます。



- スライダーよりも上または下の部分を押し続けると、押している間スライダーがその方向に移動し続けます。ライト/省電力設定画面などのスライダーも同様です。

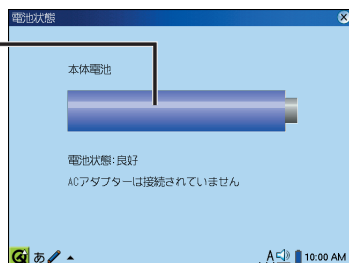
充電電池の残量を確認する

この製品の充電電池の残量を確認できます。

1 アプリケーションホーム画面などで、画面右下のにタッチします。

充電電池マーク

- ・青色：充電電池残量を表示。
- ・緑色：ACアダプター接続中。



青色の充電電池マーク

充電電池の残量を青色のバーで表示します。残量が減ると黄色で表示し、さらに減ると赤色で表示します。「電池状態」は、「良好」、「少ない」、「とても少ない」の3段階で表示されます。

緑色の充電電池マーク

ACアダプター接続中であることを表示します。
・「充電中」と表示されているときは、充電を行っています（充電電池マークの緑色のバーが動いています）。使用しながらの充電については、247ページをご覧ください。



- 画面右下のアイコンも、この画面の充電電池マークと同じように色が変わります。
- 使用しながらの充電については、247ページをご覧ください。
- 残量表示は、あくまでも目安です。使用している周囲の温度などによって残りの使用時間が変わります。また、充電を途中で中止した場合は、表示と実容量が大きく異なることがあります。そのときは、満充電になるまで充電してください。
- 画面の「電池状態」が「少ない」になったときは、早めに充電を行ってください。

2 キーを押します。

基本

基本的な使いかた

ホーム画面を使う

基本

基本的な使いかた

(ホーム)キー(☞45ページ)を押すとホーム画面が表示されます。

ご購入時は「アプリケーション」、「設定」、「コンテンツ」、「ファイル」の4つのホーム画面があります。画面上部のタブにタッチするか(ホーム)キーを押すと、ホーム画面が切り替わります。

ホーム画面設定(☞213ページ)でアイコンの並び順を変えたり、新しいホーム画面を追加することができます。画面デザイン設定(☞213ページ)で壁紙を設定することもできます。

アプリケーションホーム画面



アプリケーションを実行するためのアイコンがまとめられています。アイコンにタッチすると、アプリケーションを起動します。アイコンをしばらく(約2秒)タッチすると、プロパティ画面が表示されアプリケーションの情報が表示されます。



カレンダー

スケジュールを登録し、管理できます(☞144ページ)。



アドレス帳

住所や電話番号などを管理できます(☞153ページ)。



ToDo

行うべき用件にランクをつけて入力し、整理できます(☞150ページ)。



メモ帳

テキストファイルを表示したり、作成できます(☞166ページ)。



メール

メールを作って送信したり、メールを受信することができます(☞109ページ)。



インターネット NetFront(Webブラウザ)

ホームページの閲覧ができます(☞118ページ)。



Music Player

MP3ファイル(音楽ファイル)などを再生します(☞171ページ)。



Movie Player

ASFファイルなどを再生します(☞169ページ)。



HancocomMobileSheet

表の作成や修正ができます(☞192ページ)。

また、「見積書」などのテンプレートがあらかじめ用意されています(☞192ページ)。



HancocomMobileWord

文字の大きさや色を変えたりして強調したり、行の中央に文字をそろえ見やすくするなどしてメモ帳ではできないメリハリのある文章を作ることができます(☞190ページ)。

また、「議事録」などのテンプレートがあらかじめ用意されています(☞190ページ)。



イメージノート

画像データを表示したり、手書きでイラストを書いたりできます(☞162ページ)。



マルチメディア辞書

『広辞苑』や『ジーニアス英和・和英辞典』で、言葉の意味や英単語の意味などを調べます(☞178ページ)。



Text To Speech

他のアプリケーションで表示した英文やこのアプリケーションで入力した英文を読み上げます(発音します)(☞199ページ)。



翻訳これ一本

英日、日英翻訳ができます(☞184ページ)。



データベース

あらかじめ用意されているフォームに入力するだけで、自分の身の周りの情報を整理し、活用することができます(☞157ページ)。



フォトストレージ

デジタルカメラで撮影してメモリーカードに保存した写真データをザウルスに取り込み表示することができます(☞173ページ)。



乗換案内 時刻表対応版

出発地と目的地の駅名を指定するだけで、複数の交通経路の運賃や所要時間などを調べることができます(☞196ページ)。



モバイルマップNavi

外出先や出張先で、目的地近辺の地図を表示することができます(☞197ページ)。



ブンコピューア

コンテンツホーム画面内のデータ(ファイル)を表示することができます。また、Sharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)にある電子書籍を、ダウンロードして(有料)読むことができます。操作方法については、別冊の『コンテンツガイド』やブンコピューアのヘルプをご覧ください(☞198ページ)。



電卓

電卓として12桁までの計算ができます(☞212ページ)。



世界時計

6つの都市の時間を一度に見ることができます(☞212ページ)。



時計

時計を表示します。また、ストップウォッチとして使うこともできます(☞212ページ)。



ファイル検索

本体ディスクやメモリーカード内のファイルを検索することができます(☞66ページ)。



ヘルプ

ヘルプを表示します(☞93ページ)。

アプリケーションの起動を速くする

次の2つの方法でアプリケーションの起動を速くすることができます。

●高速起動の設定をする

アイコンをしばらく(約2秒)タッチすると、プロパティ画面が表示されます。この画面で、「アプリケーションを高速起動する」にチェックがついていた場合、そのアプリケーションの起動時間が短くなります(このチェックボックスがないアプリケーションもあります)。チェックをつけたり／外したりするときは、アプリケーションを終了してから行ってください。

●アプリケーションを終了せずに使う

「アプリケーションを高速起動する」の項目がないアプリケーションについては、一度起動したあと終了せずにお使いください。

ただし、作業用メモリーを消費するため、メモリーが足りないとのメッセージが表示されやすくなったり(☞211ページ)、自動的にリセットされることがありますので、よく使うアプリケーションのみとしてください。

設定ホーム画面



基本

基本的な使いかた

設定を行うためのアイコンがまとめられています。

アイコンにタッチすると、設定用アプリケーションを起動します。アイコンをしばらく(約2秒)タッチすると、プロパティ画面が表示され設定の情報が表示されます。



ライト／省電力設定

バックライトの明るさや、省電力の設定、表示部を閉じたときの設定を変更することができます(☞207ページ)。



サウンド設定

オープニング音などを変えることができます(☞213ページ)。



ホーム画面設定

ホーム画面のタブを追加したり、アプリケーションホーム画面と設定ホーム画面のアイコンの並び順やアイコンの数を変えたりできます(☞213ページ)。



画面デザイン設定

画面の形状や色を変更することができます(☞213ページ)。



ネットワーク設定

データカード型PHSなどを使ってインターネットに接続する設定をします(☞94ページ)。



ソフトウェアの追加/削除

ソフトウェアの追加や削除をするときに使います(☞200ページ)。



シークレット設定

暗証番号を設定し、この製品の使用を制限することができます(☞213ページ)。



タッチパネル調整

ペンでタッチした位置と画面の位置がずれているとき、修正します(☞209ページ)。



キー設定

Home (ホーム)キー)、Calendar (カレンダー)キー)、Address (アドレス帳)キー)、Menu (メニュー)キー)、Mail (メール)キー)、を押したときの働きやタブレットキーの働きを変更できます(☞213ページ)。



日付/時刻設定

日付と時刻を設定します(☞205ページ)。



ユーザー辞書

よく使う単語などを登録できます。一度、登録すると、次の文字入力のおかげから簡単にその単語を入力できます(☞213ページ)。



バックアップ/リストア

メモリーカードや本体ディスクにバックアップすることができます。また、バックアップしたデータを本体にリストアします(☞214ページ)。バックアップできるデータについては18ページをご覧ください。



システム情報

この製品のディスク使用量などのシステム状態を表示します(☞210ページ)。



データ移行(SLザウルス)

赤外線通信でSLシリーズザウルスなどのデータをこの製品に移すことができます(☞226ページ)。



データ移行(MIザウルス)

赤外線通信でMIシリーズザウルスなどのデータをこの製品に移すことができます(☞216ページ)。



PCリンク

パソコンと接続するときの設定を行います(☞214ページ)。



赤外線受信

赤外線通信にて他のSL-C3200やSL-A300などと1データ単位で受信することができます(☞214ページ)。



- アプリケーションホーム画面および設定ホーム画面で、表示されているアイコン以外の場所をタッチし続けると、「カレンダー」または「ライト/省電力設定」アイコンが選択された状態になります。

コンテンツホーム画面



基本

基本的な使いかた

コンテンツホーム画面には、TOEIC(R)テスト、英語学習などのデータや HancomMobileWord/Sheet用のテンプレート、アプリケーション(マルチメディア辞書、Text To Speech、翻訳これ一本、乗換案内、モバイルマップNavi)などがまとめられています。

コンテンツホーム画面の各データやアプリケーションについては、別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。



「TOEIC(R) テスト」フォルダ

TOEICテスト学習用のデータが入っています。フォルダを開いていきアイコンにタッチすると、ブコピューアが起動し内容を表示します。



「NOVA CITY中級編」フォルダ

英語学習用のデータが入っています。フォルダを開いていきアイコンにタッチすると、内容を表示します。



リスニング英聞法

英語学習用のデータです。アイコンにタッチすると、ブコピューアが起動し内容を表示します。



マルチメディア辞書

『広辞苑』や『ジーニアス英和・和英辞典』で、言葉の意味や英単語の意味などを調べます(※178ページ)。



Text To Speech

他のアプリケーションで表示した英文やこのアプリケーションで入力した英文を読み上げます(発音します)。



翻訳これ一本

英日、日英翻訳ができます(※184ページ)。



テンプレート

HancomMobileWord/Sheet用のテンプレートが入っています。アイコンにタッチするとHancomMobileWord/Sheetが起動しテンプレートを表示します(※190ページ、192ページ)。



乗換案内 時刻表対応版

出発地と目的地の駅名を指定するだけで、複数の交通経路の運賃や所要時間などを調べることができます。



モバイルマップNavi

外出先や出張先で、目的地近辺の地図を表示することができます。

- ・ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service(ETS).
This (publication/product/website) is not endorsed or approved by ETS.

基本

基本的な使いかた

ファイルホーム画面

ファイルホーム画面の機能

ファイルホーム画面にはザウルスの本体ディスクの内容が表示され、パソコンと同じようにフォルダやファイルを扱うことができます。

- ・ タッチしてフォルダやファイルを開くことができます。
- ・ 新しいフォルダを作成することができます。
- ・ ファイルやフォルダの移動やコピーができます。
- ・ ザウルスドライブ機能(☞131、135ページ)を使ってパソコンからコピーしたファイルを確認できます。

※カレンダーやアドレス帳などで作成したデータはザウルス独自形式のファイルに保存され、ファイルホーム画面には表示されません。



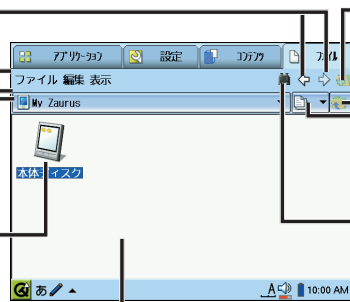
● ファイルホーム画面の表示

ファイルホーム画面は、ホーム画面の1つです。(ホーム)キーを数回押すとファイルホーム画面が表示されます。

今選んでいるフォルダの前後に選んでいたフォルダの内容を表示します。

メニューバー
フォルダメニュー
タッチして、上のフォルダへ移動することができます。

タッチすると、本体ディスク内のフォルダなどが表示されます。
フォルダメニューで選ばれているフォルダの内容が表示されます。



新しいフォルダを作ります。

1つ上のフォルダの内容を表示します。

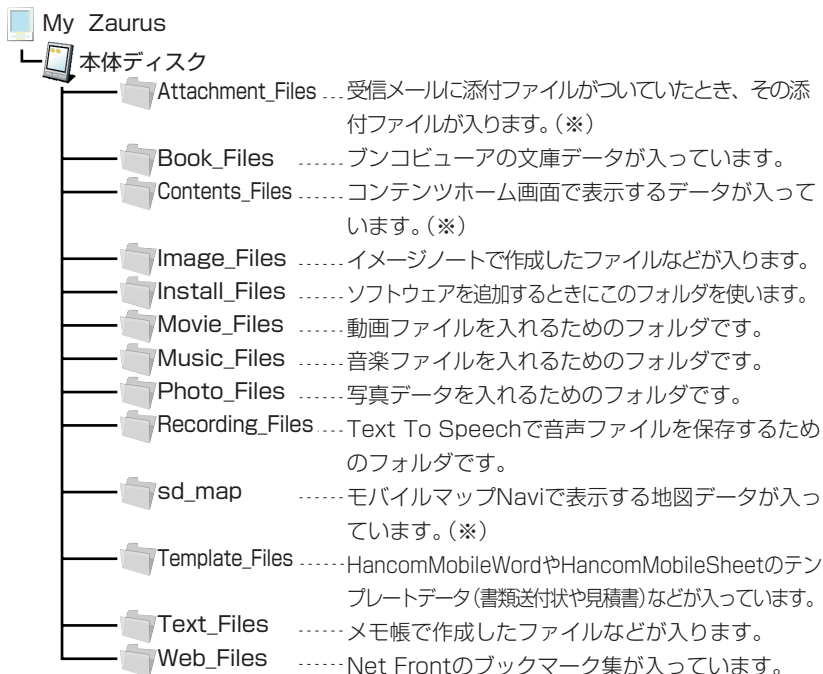
タッチすると、最近使ったファイルが表示されます(履歴ボタン)。

本体ディスクなどに保存しているファイルを検索します(☞66ページ)。

ファイルやフォルダの作成・移動・コピーのくわしい使いかたについては「ファイルを整理する」(☞61ページ)をご覧ください。

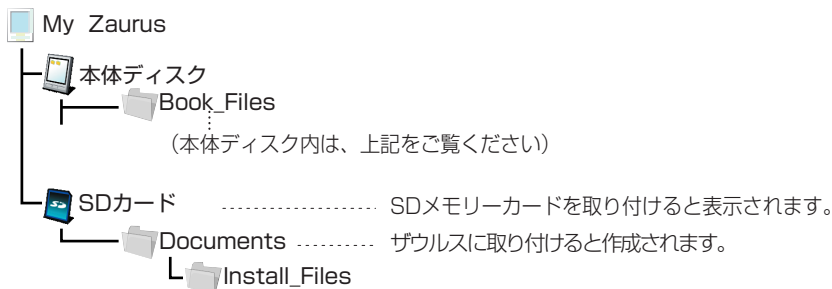
フォルダ構成

ご購入時は次のフォルダ構成になっています。



※ フォルダそのものやその中に入っているファイルやフォルダを削除しない設定([ファイル]メニューの[対象ファイルの保護]) (67ページ)ができます。

- ・ 本体ディスクの中にフォルダを作成し、ファイルを整理することができます。
- ・ メモリーカードをザウルスに装着すると、「SDカード」や「CFカード」フォルダが表示されます。またカード内に「Documents」というフォルダが自動的に作られます(67下記)。



※ コンパクトフラッシュメモリーカードを取り付けたときもSDメモリーカードと同様です。

- ・ “イメージノート”で作ったデータを保存するとき、コンパクトフラッシュメモリーカードまたはSDメモリーカードを選択すると、保存したメモリーカードの「Documents」フォルダの下に「Image_Files」フォルダが自動的に作成され、その中にデータが保存されます。

基本

基本的な使いかた

ファイルホーム画面で表示されるファイル

各アプリケーションでデータを作り保存したとき、アプリケーションによってファイルホーム画面に表示されない場合／表示される場合があります。

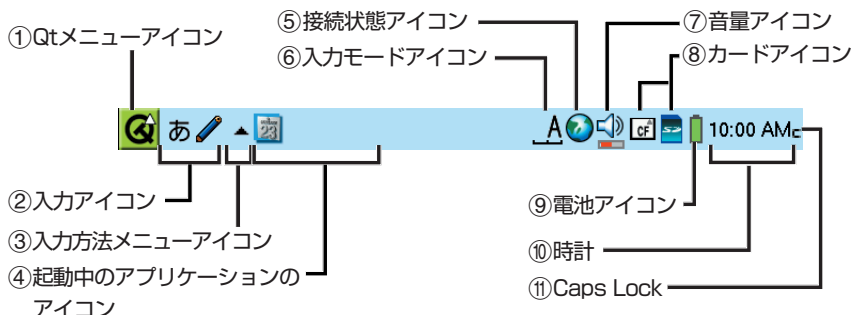
- カレンダー／アドレス帳／ToDo／メモ帳(「Memo」タブ)／メールは、ザウルス独自形式でプログラムエリアに保存されます(ファイルホーム画面には表示されません)。
- メモ帳(「Text」タブ)／イメージノート／HancomMobileSheet／HancomMobileWord／ボイスレコーダーは、一般的なファイル(たとえば、TXT形式)として保存され、ファイルホーム画面に表示されます(下表)。

アプリケーション	ファイル形式	作成したデータの保存先 (フォルダ名)
メモ帳 (「Text」タブ)	TXT	Text_Files
イメージノート	PNG、JPG、BMP、GIF(※1)	Image_Files
HancomMobileSheet	HST、XLS	Sheet_Files
HancomMobileWord	HMW、DOC、TXT	Word_Files
Text To Speech ボイスレコーダー	WAV	Recording_Files

※1：JPG、BMP、GIFは、ザウルスショット、ザウルスドライブなどを使ってパソコンからコピーしたときにイメージノートで表示できる形式です。

- Music Player／Movie Player で使うファイルは、ザウルスドライブを使ったりファイルを保存したメモリーカードを装着したときにファイルホーム画面に表示されます。Music PlayerやMovie Playerで再生できるファイル形式は171ページや169ページをご覧ください。

タスクバーについて



基本

基本的な使いかた

① Qtメニューアイコン ()

アイコンにタッチするか(メニュー)キーを押す(ホーム画面表示中、ファイルホーム画面とコンテンツホーム画面を除く)と、メニューが表示されます。表示されたメニューから次のことができます。

- ・ ホーム画面のアプリケーションや各種設定などの起動 (☞70ページ)
- ・ 本体の再起動 (☞231ページ)
- ・ 電源を切ります
- ・ 画面の縦表示と横表示の切り替え (☞40ページ)
- ・ 縮小表示／拡大表示の切り替え (☞71ページ)
- ・ (ネットワーク設定を行っているとき) インターネットに接続します。
また、インターネットに接続していると、接続を切ります。
- ・ ファイルホーム画面の表示 (☞56ページ)
- ・ コンテンツホーム画面の表示 (☞55ページ)

※ホーム画面のアプリケーションや各種設定などを起動するときは、アプリケーションなどにタッチしたままにして、表示されたサブメニューをなぞって選択してください。アプリケーションなどにタッチしてペンを離すと、サブメニューまでが選択されてそのままアプリケーションが起動します。

② 入力アイコン ()

アイコンにタッチすると、文字入力ボードが表示されます。もう一度タッチすると、閉じます。選ばれている入力ボードによってアイコンが変わります (☞80ページ)。

③ 入力方法メニューアイコン ()

アイコンにタッチし、文字入力ボードを選びます (☞80ページ)。

④ 起動中のアプリケーションのアイコン

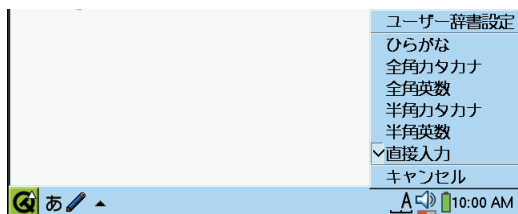
現在起動中のアプリケーションのアイコンを表示します。他のアプリケーションを表示中にこのアイコンにタッチすると、すばやく切り替えることができます。

⑤ 接続状態アイコン(、)

-  データカード型PHSなどを装着すると表示されます。
-  インターネットなどのネットワークに接続している状態を示します。無線LANで接続しているときは  などが表示されます。

⑥ 入力モードアイコン()

- 文字の入力モード(文字種)を表示します(※82ページ)。
- アイコンにタッチするとメニューが表示され、入力モードの切り替えやユーザー辞書を起動することができます。

⑦ 音量アイコン()

アイコンにタッチすると音量設定を行うことができます(※48ページ)。

⑧ カードアイコン

CFカードスロットにカードを取り付けたときにCFカードアイコン()、SDカードスロットにカードを取り付けたときにSDカードアイコン()が表示されます。取り外しときは、それぞれのアイコンにタッチし、取り外し処理をします(※87ページ)。

⑨ 電池アイコン()

充電電池の状態を表示します。また、アイコンにタッチすると電池状態画面を表示します(※49ページ)。

⑩ 時計(10:00 AM)

現在の時刻を表示しています。日付と時刻を設定するには設定ホーム画面の“日付／時刻設定”で行います(※205ページ)。

⑪ Caps Lock

Caps Lock状態(英字を大文字で入力できる状態)。(Fn)キーを押したまま、(Tab)キーを押して切り替えます)のときに“C”が表示されます。

ファイルを整理する

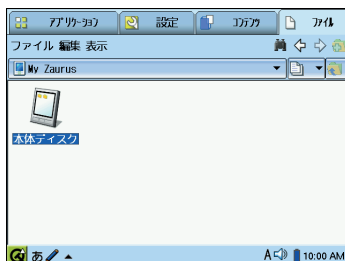
ファイルホーム画面では、フォルダを使ってファイルを整理することができます。

フォルダを開いてファイルを見たり、別のフォルダの内容を見る

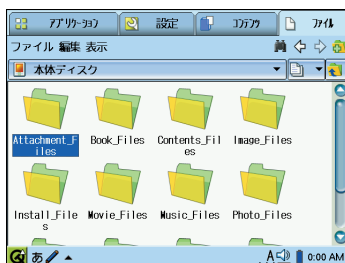
フォルダを開いてファイルを見る

ここでは、イメージノート (E3 162ページ) で作ったファイルを見る操作を説明します。

- 1 **ホーム** キーを押して、ファイルホーム画面を表示します。



- 2 **カーソル** キーで **本体ディスク** を選択し、**OK** キーを押します。



- 3 **カーソル** キーで **Image_Files** を選択し、**OK** キーを押します。



基本

基本的な使いかた

4 見たいファイルを(カーソル)キーで選択し、(OK)キーを押します。
イメージノートが起動してファイルが開きます。

5 (Cancel)キーを2回押してファイルホーム画面に戻ります。

別のフォルダの内容を見る

ここでは、上記に続いて「Text_Files」フォルダの中にあるメモ帳ファイルを見る操作を説明します。

1 フォルダメニューにタッチします。
今選んでいるフォルダより上にあるフォルダが表示されます。

フォルダメニュー

今選んでいるフォルダ
より上にあるフォルダ
が表示されます。



2 本体ディスクにタッチします。

3 Text_Filesにタッチします。

4 見たいファイルにタッチしてファイルを開きます。



• (Cancel)キーを使う

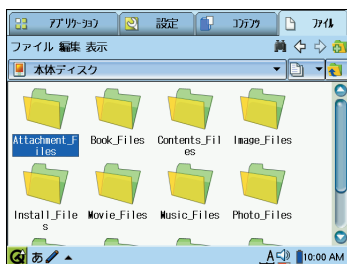
(Cancel)キーを押すと、一つ上のフォルダの内容が表示されます。手順**1**で(Cancel)キーを数回押すと、「本体ディスク」に移動します。ファイルホーム画面での(Cancel)キーの働きは、変えることができます(※68ページ)。

新しいフォルダを作成する

ここでは、「本体ディスク」フォルダの中に新しくフォルダを作ります。
手順**1**で、別のフォルダを選ぶと、そのフォルダの下にフォルダを作ることができます。

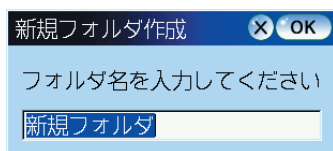
1 ファイルホーム画面で「本体ディスク」フォルダを開きます。

違うフォルダが開いているときは、フォルダメニューにタッチして「My Zaurus」を選び、「本体ディスク」フォルダにタッチして開きます。



2 にタッチします。

新規フォルダ作成画面が表示されます。



3 フォルダ名を入力して、**(OK)**キーを押します。

本体ディスクの中に新しくフォルダができます。

文字の入力のしかたについては、「文字の入力方法」(P.72ページ)をご覧ください。

ファイルを別のフォルダにコピーする

ここでは、イメージノートのデータを前ページで新しく作ったフォルダへコピーします。

- 1 「Image_Files」フォルダを開き、コピーしたいファイルを(カーソル)キーで選択します。
- 2 [編集]メニューの[複製(コピー)]を選択します。
- 3 新しく作った移動先のフォルダを開きます。
- 4 [編集]メニューの[貼込(ペースト)]を選択します。



- キーボードからでも操作できます

複製(コピー) (Fn)キーを押したまま、(C)(Copy)キーを押します。

貼込(ペースト) (Fn)キーを押したまま、(V)(Paste)キーを押します。

- 本体ディスクからメモリーカード側にもコピーすることができます。

ファイルを別のフォルダに移動する

- 1 「Image_Files」フォルダを開き、移動したいファイルを選択します。
- 2 [編集]メニューの[切取(カット)]を選択します。
- 3 新しく作った移動先のフォルダを開きます。
- 4 [編集]メニューの[貼込(ペースト)]を選択します。



- キーボードからでも操作できます

切取(カット) (Fn)キーを押したまま、(X)(Cut)キーを押します。

- 本体ディスクからメモリーカード側にも移動することができます。

フォルダやファイルの名前を変える

- 1 名称を変更したいフォルダやファイルをファイルホーム画面で選択します。
- 2 [ファイル]メニューの[名前の変更]を選択します。
名前の変更画面が表示されます。
- 3 名前を変更し、(OK)キーを押します。

一覧をアイコン表示からリスト表示に切り替える

アイコン表示/リスト表示を切り替える

- 1 **表示**メニューの**リスト表示**を選択します。

リスト表示の一覧画面に切り替わります。

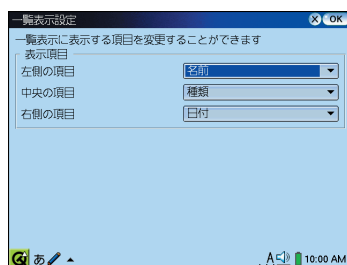
アイコン表示の一覧画面に戻すときは、**表示**メニューの**アイコン表示**を選択します。

リスト表示の一覧に表示する項目を変える

リスト表示にしたときに、表示する項目を変えることができます。

- 1 **表示**メニューの**一覧表示設定**を選択します。

一覧表示設定画面が表示されます。



- 2 それぞれの項目に表示する項目名を選びます。

- 3 **OK**キーを押します。

基本

基本的な使いかた

ファイルを検索する

本体ディスクやメモリーカード内のファイルを検索することができます。

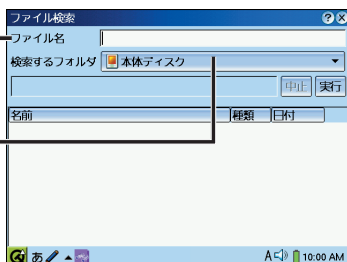
基本

基本的な使いかた

- 1 ファイルホーム画面で**編集**メニューの**ファイル検索**を選択します。
ファイル検索画面が表示されます。
メニューバーのファイル検索アイコン(🔍)にタッチしてファイル検索画面を表示することもできます。

ファイル名を
入力します。

検索するフォルダ
([本体ディスク]
など)を選択します。



- 2 検索するファイル名を入力します。
メモリーカード内を検索するときは、メモリーカードを取り付け、「検索するフォルダ」の右横欄にタッチし「CFカード」などを選びます。
- 3 **実行**ボタンにタッチして検索を開始します。
検索結果が表示されます。



- 4 **カーソル**キーの上下を押して見たいファイルを選び、**(OK)**キーを押します。
選択したファイルが開きます。



- 検索するとき、ファイル名は半角／全角を区別します。
- 「sd_map」フォルダと「Attachment_Files」フォルダは検索の対象にはなりません。

フォルダ名／ファイル名の付けかたについてのご注意

- ・ファイル名の先頭に半角のスペースを入れないでください(ファイル名の途中に半角スペースを入れるのはかまいません)。
 - ・フォルダ名／ファイル名として使用できない文字(“/”や“.”などの半角の記号)については、入力できません。
- また、フォルダ名／ファイル名の長さは、最大255バイトまでです。

メニュー一覧

ファイルホーム画面では、次のメニューがあります。

ファイル	新規フォルダ作成	新しくフォルダを作ります(※63ページ)。
	削除	選ばれているフォルダやファイルを削除します。フォルダを削除するとその中のすべてのファイルも削除されます。
	対象ファイルの保護	「Contents_Files」フォルダ、「sd_map」フォルダ、「Attachment_Files」フォルダ(※)とその中にあるフォルダやファイルを削除しないようにします。 ・チェックがついているとき：削除しません ・チェックを外したとき：削除します
	複製	選ばれているフォルダやファイルを複製します。フォルダを複製するとその中のすべてのファイルも複製されます。
	赤外線通信	選ばれているファイルを他のザウルスなどへ赤外線通信で送信します(※214ページ)。
	名前の変更	フォルダやファイルの名前を変更します(※64ページ)。
	日付の変更	選ばれているファイルの日付を変更します。
	前のフォルダへ	今表示しているフォルダよりも前に表示していたフォルダへ移ります。
	次のフォルダへ	今表示しているフォルダよりも後に表示していたフォルダへ移ります。

(次ページへつづく)

※「Contents_Files」フォルダには、コンテンツホーム画面に表示されるファイル(データ)が入っています。「sd_map」フォルダには、モバイルマップNaviで表示する地図データが入っています。「Attachment_Files」フォルダには、添付つき受信メールの添付ファイルが入ります。

編集	切取（カット）	選ばれているフォルダやファイルを切り取ります。フォルダを切り取るとその中のすべてのファイルも切り取られます（※64ページ）。
	複写（コピー）	選ばれているフォルダやファイルを複写します。フォルダを複写するとその中のすべてのファイルも複写されます（※64ページ）。
	貼込（ペースト）	切取や複写しているフォルダやファイルを貼り込みます（※64ページ）。
	ファイル検索	本体ディスクやメモリカード内のファイルを検索します（※66ページ）。
表示	リスト表示	リスト表示の一覧画面に切り替えます（※65ページ）。
	アイコン表示	アイコン表示の一覧画面に切り替えます（※65ページ）。
	設定	「CANCELキーでアプリケーションを閉じる」 (Cancel)キーを押すと起動しているアプリケーションがある場合はそのアプリケーションに移動します。 「CANCELキーで上位ディレクトリに移動」 (Cancel)キーを押すと選ばれているフォルダの上位のフォルダを表示します。「My Zaurus」フォルダを表示しているときは、起動しているアプリケーションがある場合はそのアプリケーションに移動します。 「CANCELキーでフォーカス切替」 (Cancel)キーを押したときに、ファイルやフォルダの一覧からフォルダメニューや履歴ボタン（※56ページ）、上位フォルダ切り替えボタンにフォーカスを切り替えることができます。 一覧→フォルダメニュー→履歴ボタン→上位フォルダ切り替えボタン…の順に切り替わります。
	一覧表示設定	リスト表示の一覧画面のときに表示する項目を変更できます（※65ページ）。

アプリケーションの起動と終了

アプリケーションの起動方法は、次の3つの方法があります。

- ・ホーム画面のアイコンから起動します。
- ・Qtメニューから起動します。
- ・アプリケーションキーやタブレットキーから起動します。



● アプリケーションの起動時間について

アプリケーションによっては、データ件数が多くなると、起動に時間がかかる場合があります。プロパティ画面の設定で、起動時間を短くすることができるアプリケーションもあります(※52ページ)。

- カレンダーなどのアプリケーションを起動した状態でWebブラウザ(NetFront v3.1)やHancomMobileWord/HancomMobileSheetなどを起動すると、カレンダーなどのアプリケーションが終了することがあります(タスクバーに表示されていたカレンダーなどのアイコンが消えることがあります)。これは、Webブラウザ(NetFront)などが、メモリーを多く使うためです。

このとき、カレンダーなど各種アプリケーションを起動すると、高速起動に設定されていても一度目の起動に時間がかかる場合があります。

基本

基本的な使いかた

ホーム画面のアイコンからの起動

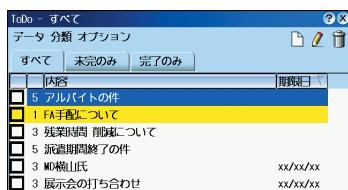
1 アプリケーションホーム画面を表示します(※50ページ)。



2 キーボード上の(カーソル)キーで“ToDo”を選び、(OK)キーを押して起動します。

“ToDo”アプリケーションが起動されます。

アプリケーションホーム画面の“ToDo”にタッチして起動することもできます。



Qtメニューからの起動

基本

基本的な使いかた

1 アプリケーションホーム画面を表示し、**メニュー**キーを押します。

Qtメニューが表示されます。

 にタッチしてもQtメニューが表示されます。



2 表示されたメニューから**アプリケーション**—**ToDo**を選択します。

- ・ホーム画面のアプリケーションや各種設定などを起動するときは、**アプリケーション**などにタッチしたままにして、表示されたサブメニューをなぞって選択してください。**アプリケーション**などにタッチしてペンを離すと、サブメニューまでが選択されてそのままアプリケーションが起動します。
- ・設定ホーム画面の各種設定を起動するときも同様にできます。
- ・**ファイル**にタッチすると、ファイルホーム画面が表示されます。

アプリケーションのキーやタブレットキーからの起動

1 キーボードの**カレンダー**キー(☞44ページ)などを押します。

タブレットキー(☞47ページ)をタッチして起動することもできます。



- ・キーの設定は変更することができます(☞213ページ)。

アプリケーションの終了

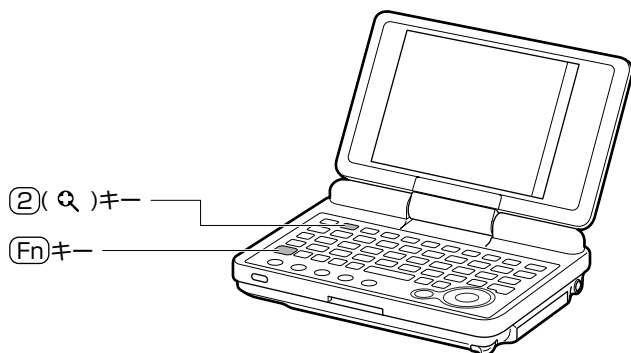
1 **Cancel**キーを押します。

画面右上の  にタッチして終了することもできます。

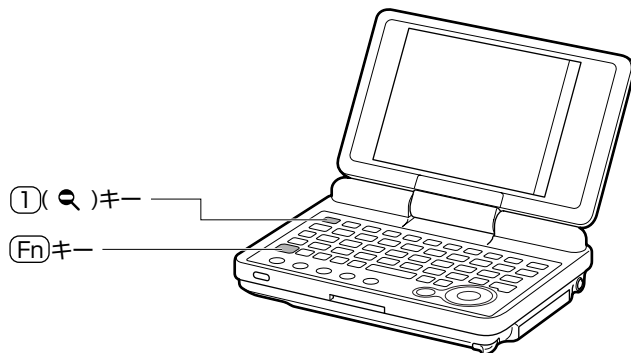
拡大表示する／縮小表示する

表示されている文字や画像を拡大表示したり縮小表示したりすることができます。

- 1** 拡大するときは**Fn**キーを押したまま、**2**(**Q**)キーを押します。



- 2** 縮小するときは**Fn**キーを押したまま、**1**(**Q**)キーを押します。



- 拡大・縮小の段階やサイズ変更の方式(文字サイズの変更や画像サイズの変更など)はアプリケーションによって異なります(アプリケーションによっては動作しない場合もあります)。ホーム画面の縮小も行えます。
- **オプション**メニューの**フォント**から、文字サイズの変更を選ぶこともできます。
- Qtメニューアイコンから拡大・縮小を選ぶこともできます。

基本

基本的な使いかた

文字の入力方法

文字を入力するには、次の2つの方法があります。

- ・キーボードを使って入力する
- ・タッチペンを使って入力する(入力ボードを使って入力する)

ここでは基本的な入力方法を、キーボードを使って説明します。タッチペンを使った入力方法は80ページを参照してください。タッチペンを使うと、手書きで文字を入力したり、50音で入力することができます。

キーボードの基本操作

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。キーボード下部にあるキーについては、44ページをご覧ください。また、文字の入力については、74ページをご覧ください。



① (Tab)(Caps) キー

- ・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。また、フォーカスを移動することができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『基本的な使いかた』の「フォーカスを移動する」)。
- ・(Fn)キーを押したまま、このキーを押すと、英字を大文字で入力できる状態(Caps Lock)と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。Caps Lock時は、タスクバーに“C”が表示されます。

② (Shift) キー

- ・英字入力時に働きます。このキーを押したまま文字のキーを押すと、大文字が入力されます(大文字入力状態のときは小文字が入力されます)。
- ・数字キーの左上側の文字(!など)入力時に使います。このキーを押したまま数字キーを押します。
- ・「/」、「?」入力時に使います(『⑧』(8)、⑨)。

- ③ **(Fn)キー**
- ・ キーボードの上側に書かれている青色の文字を入力したり機能を実行します。(Fn)キーを押したまま、該当するキーを押します。その他の機能については44ページをご覧ください。
(@を入力する場合：(Fn)キーを押したまま、(⌘)キーを押します)
※ 日本語フォント使用時、(Fn)キーを押しながら(F)キーを押すと“¥”が入力されます。
“ターミナル”ソフトウェアなどで、英語フォント(fixedフォント)使用時に、(Fn)キーを押しながら(F)キーを押すと“\”(バックスラッシュ)が入力されます(fixedフォントは、ターミナルで、**フォント**メニューの**フォント**→fixedを選択します)。
- ④ **(Ctrl)キー**
- ・ このキーを押すと、Ctrlコードが入力されます。
“ターミナル”ソフトウェアなどで、Ctrlコードを入力するときに使います。
- ⑤ **(カナひら (記号)キー)**
- ・ ひらがな入力とカタカナ入力のモードを切り替えます。このキーを押すたびに、ひらがな→カタカナ→ひらがなに切り替わります。選択されている入力モードは、タスクバーに表示されます(82ページ)。
 - ・ (Fn)キーを押したまま、このキーを押すと、記号入力ボード(82ページ)が表示されます。
- ⑥ **(全/半)(漢字)キー**
- ・ カタカナまたは英数字を半角で入力できる状態と、全角で入力できる状態を交互に切り替えます。
 - ・ (Fn)キーを押したまま、このキーを押すと、漢字入力モード(ローマ字かな漢字変換)のオン/オフを切り替えます。
- ⑦ **(Space/変換 (音訓/前候補)キー)**
- ・ 入力中のひらがなを漢字に変換します。
 - ・ 入力中の文字がないときは、スペースを入力します。
 - ・ 漢字変換中にこのキーを押すと、次の候補が選択され、(Shift)キーを押したままこのキーを押すと、1つ前の候補が選択されます。
 - ・ (Fn)キーを押したまま、このキーを押すと、入力中のひらがなを音読み/訓読みから漢字に変換します。
 - ・ 画面によっては、チェックボックスのチェックをつける/外す、ドロップダウンリストを表示する、アプリケーションを起動するなど、セレクト機能として働く場合があります。
- ⑧ **(、/、)キー**
- ・ ひらがな入力時は「、」、英字入力時は「,」が入力されます。(Shift)キーを押したままこのキーを押すと、「/」が入力されます。
- ⑨ **(。？、)キー**
- ・ ひらがな入力時は「。」、英字入力時は「.」が入力されます。(Shift)キーを押したままこのキーを押すと、「?」が入力されます。
- ⑩ **(Enter)キー**
- ・ 変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
 - ・ 変換中の文字がないときは、改行します。
 - ・ ホーム画面で選ばれているアイコンの実行、一覧画面で選ばれているデータの表示、メニューバーのメニューの選択ができます。

- ⑪ **←BS (Del) キー** ・カーソルの前(左側)の文字を削除します。**(Fn)**キーを押したままこのキーを押すと、**(Del)**キーとして働き、カーソルの後ろ(右側)の文字を削除します。
 ・漢字変換中は、変換を取り消します(※75ページ)。

- ⑫ **ひらがな入力モード(あ)**、**全角カタカナ入力モード(ア)**のとき、入力中の文字を変換します

(Fn)キーを押したまま、該当のキーを押します。

- ・ **⑥(あ)キー** : ひらがな変換する ・ **⑨(A)キー** : 全角英数変換する
- ・ **⑦(ア)キー** : 全角カタカナ変換する ・ **⑩(A)キー** : 半角英数変換する
- ・ **⑧(ア)キー** : 半角カタカナ変換する

日本語入力状態で、入力中の文字がないときは、それぞれの入力モード(※76ページ)に切り替えます。

キーボードで入力する

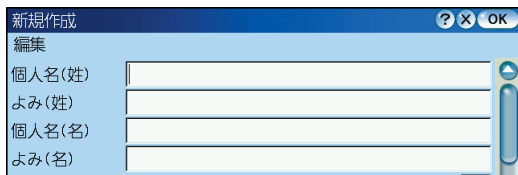
ここでは、キーボードを使った文字の入力方法を説明します。

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

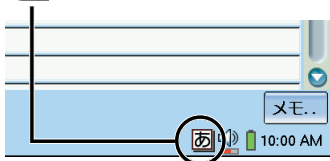
ローマ字でひらがなを入力し(※「ローマ字→かな変換表」252ページ)、漢字に変換します。ここでは、漢字変換とカタカナ・英数字入力を、アドレス帳に「浅尾 浩二(あさお こうじ)」と「デザイナーSMA55所属」を入力する例で説明します。

1 アドレス帳の新規作成画面を開きます。

アプリケーションホーム画面で「アドレス帳」を選び、**データ**メニューから**新規作成**を選びます。



2 ひらがな入力モード(あ)にします。



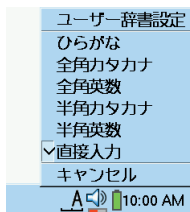
タスクバーに **あ** が表示されていると、ひらがな入力モードです(82 ページ)。**あ** が表示されているときは、**(Fn)**キーを押したまま**(全/半)**(漢字)キーを押し、漢字入力モードにします。その他が表示しているときは、**(かなひら)**キーを押してひらがな入力モードにします。

あ にタッチし表示されたメニューから **ひらがな** にタッチしても漢字入力モードになります(82 下記のメモ)。



●入力モードの切り替えは、次の2つの方法があります。

- ・タスクバーの **あ** にタッチし、表示されたメニューから **ひらがな** などを選択します。



- ・**(Fn)**キーを押したまま**(全/半)**(漢字)キーを押し、**あ** または **あ** にします。

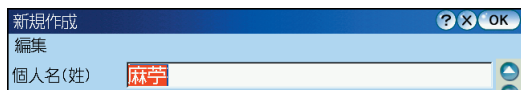
3 (A) (S) (A) (O) キーを押し、「個人名(姓)」に「あさお」を表示します。



- 入力をまちがえたときは、**(←BS)**キーを使ってまちがった文字を削除します。

4 (Space/変換)キーを押し、漢字に変換します。

変換された漢字が「個人名(姓)」に表示されます。



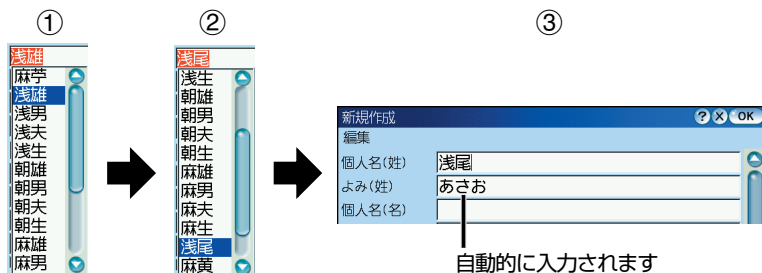
- 変換を取り消すときは、**(←BS)**キーを押して取り消します。
- (Fn)**キーを押したまま、**(Space/変換)**キーを押すと、音訓変換(漢字の音読み/訓読みから漢字に変換)します。

5 表示された漢字が正しいときは、**(Enter)**キーを押して採用します。

採用された漢字が「個人名(姓)」に入力されます。

この例では、変換された漢字が正しくないので、もう一度**(Space/変換)**キーを押して候補を表示します(①)。

(カーソル)キーの上下を使って正しい漢字を選び(②)、**(Enter)**キーを押して採用します(③)。



6 **(Tab)**キーを使って「個人名(名)」にカーソルを移動します。

7 **(K)(O)(U)(J)(I)**キーを押し、手順3～5と同じようにして漢字に変換して入力し、「会社名」にカーソルを移動します。



8 **(カナひら)**キーを押して全角カタカナ入力モード(**ア**)にします(※82ページ)。

アが表示されたときは**(全/半)**キーを押して全角に変更します。

9 **(D)(E)(Z)(A)(I)(N)(A)(ー)**キーを押し、**(Enter)**キーを押します。「デザイナー」が入力されます。



ひらがなで「でざいなー」と入力し、**(Fn)**キーを押したまま**(ア)**キーを押して全角カタカナ変換することができます。同じようにして、半角カタカナや全角英数変換なども行うことができます(※74ページ)。

10 以下のどちらかの方法を使ってタスクバーの入力モードアイコンを **ア** に変えます。

- ・タスクバーの **ア** にタッチし表示されたメニューから**直接入力**にタッチします。
- ・**(Fn)**キーを押したまま **(全/半)**(漢字)キーを押します。

- 11** **[Shift]**キーを押したまま、**[S]** **[M]** **[A]** キーを押します。
「SMA」が入力されます。

会社名	デザイナーSMA
-----	----------

- 12** **[5]****[5]**キーを押します。
「55」が入力されます。

会社名	デザイナーSMA55
-----	------------

- 13** **[Fn]**キーを押したまま **[全/半]**(漢字)キーを押し、続いて**[カナひら]**キーを押します。

タスクバーの入力モードアイコンがひらがな入力(**あ**)に変わります。
タスクバーの  にタッチして、表示されたメニューから**[ひらがな]**を選択してひらがな入力に切り替えることもできます。

- 14** 手順3～5と同じようにして、「所属」を入力します。

会社名	デザイナーSMA55所属
-----	--------------



●短縮変換について

一度入力や変換した文字は、はじめの1文字以上を入力して変換すると、候補に表示されます。たとえば上記の例を入力後は、「し」を変換すると「所属」が候補に表示されます。

- 手順2や13などで入力モードを  から **あ** に切り換えるときは、**[全/半]**(漢字)キーを押すだけで切り替えることもできます。また、**あ** のときに **[全/半]**(漢字)キーを押すと、 に切り替わります。

連文節を変換し別の漢字に変換する

複数の文節の読みを入力して変換します。ここでは、「あたらしいきかくをていあんする」を「新しい規格を提案する」に変換する例で説明します。

基本

基本的な使いかた

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。



• 一度に入力できるのは全角40文字までです。

2 (Space/変換) キーを押します。

この例では「新しい企画を提案する」と変換されました。



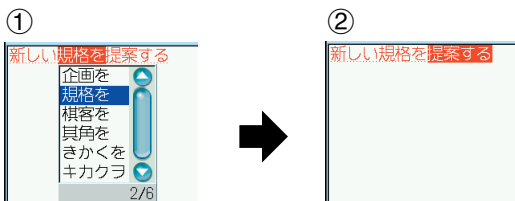
3 (カーソル) キーの右を押します。

「新しい」は正しく変換されているので、次の「企画を」を選択します。



4 (Space/変換) キー(または (カーソル) キーの下) を押し、表示された候補から (カーソル) キーの上下を使って「規格を」を選び (①)、(カーソル) キーの右を押します (②)。

「企画を」を「規格を」に変換します。



5 (Enter) キーを押して採用します。

「提案する」は正しく変換されているので、採用します。



文節の区切りを変えて変換する

文節の区切りをまちがえて変換したときは、変換する読みの範囲を変えて変換します。ここでは、「企画諸提案」を「企画書提案」に変換する例で説明します。

1 「きかくしよていあん」を入力します。



2 Space/変換 キーを押します。

この例では「企画諸提案」と変換されました。



3 Shift キーを押したまま、カーソル キーの右を2回押します。 「きかくしよ」が選択された状態になります。



4 Space/変換 キーを押し、「きかくしよ」を変換します。 「企画書」と変換します。



5 Enter キーを押して採用します。

正しく変換されているので、採用します。



- ユーザー辞書によく使う単語や文章を入力しておくと、簡単に入力できるようになります(『アプリケーションマニュアル.pdf』「文字入力」の「ユーザー辞書を使って簡単に入力できるようにする」)。

入力ボードを使って入力する

基本

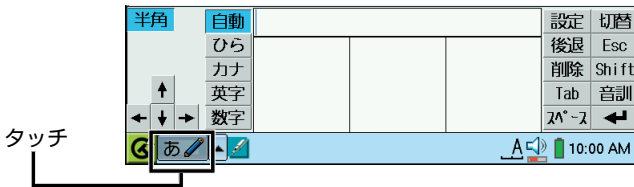
基本的な使いかた

タッチペンを使って入力ボードから入力します。ここでは入力ボードについて簡単に紹介します。くわしい入力方法については、『アプリケーションマニュアル.pdf』『文字入力』の「文字の入力方法」をご覧ください。

入力ボードを表示する

- 1 タスクバーの入力アイコン( など)にタッチします。
入力ボードが表示されます。

 の形は、入力ボードの種類([次ページ](#))によって変わります。

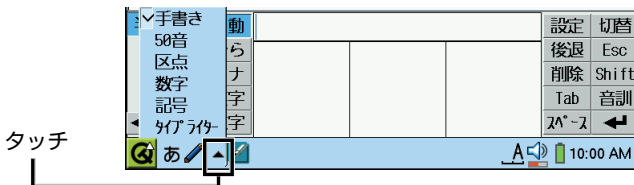


表示している入力ボードを消す

- 1 入力ボードを表示している状態で、タスクバーの入力アイコン( など)にタッチします。
入力ボードが消えます。

入力ボードを切り替える

- 1 タスクバーの入力方法メニューアイコン()にタッチします。
リストが表示されます。



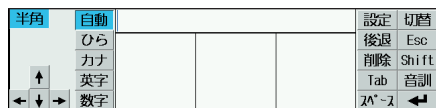
- 2 タッチして入力ボードを選びます。
入力ボードが切り替わります。タスクバーの  の形も変わります。

入力ボードの種類

手書認識ボード

手書きで入力します。3種類の手書認識ボードがあります。**切替**にタッチして切り替えます。

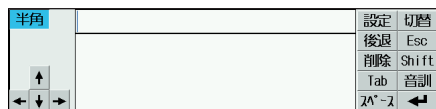
① 枠ありボード(枠有)



記入枠の1枠に1文字ずつ手書きします。

1つの枠に手書きしたあと、続けて(認識する前に)他の枠に次の文字を手書きできます。83ページで入力のしかたを説明しています。

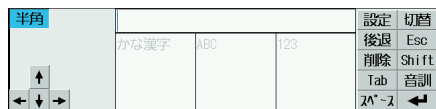
② 枠なしボード(枠無)



記入枠に、左から右の順で手書きします。

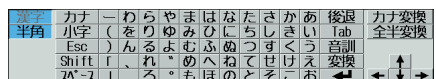
枠を気にせずに手書きできます。ただし、たとえば「旧」を2文字の「1」と「日」に誤って認識されやすくなります。

③ 文字種別優先ボード(種別)



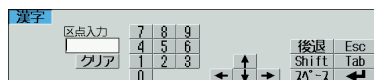
記入枠が「かな漢字」、「英字(ABC)」、「数字(123)」の3つの文字種別の枠に分かれていて、それぞれの文字種を優先して認識します。1文字ずつゆっくり入力するときに便利です。誤って他の文字種に認識されることは少なくなります。続けて同じ文字種を入力するときは、認識が終わってから次の文字を手書きします。

50音ボード



50音の読みでひらがな・カタカナ・漢字などを入力できます。

区点入力ボード

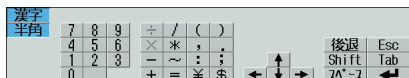


読みのわからない漢字などを、区点コードを使って入力できます。

基本

基本的な使いかた

数字入力ボード



入力ボード上の数字や記号を入力できます。

基本

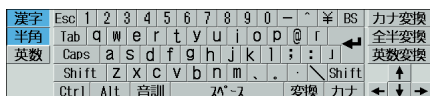
記号入力ボード



全角記号、半角記号を入力できます。

基本的な使いかた

タイプライターボード



英文タイプライターと同じ配列でローマ字変換ができます。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字などを入力できます。

タスクバーの表示(文字入力に関するタスクバー表示)について

-
- 入力ボードを表示します。
 - 表示している入力ボードを消します。
 - 入力モード(文字種)を表示します。
 - ※日本語入力状態のときは、次のようにアイコンが変わります(手書き認識ボード使用時は、この表示は入力には関係ありません)。
 - ひらがな入力
 - 全角カタカナ入力
 - 半角カタカナ入力
 - 全角英数入力
 - 半角英数入力
 - 漢字変換中
 - タッチして表示されるメニューから入力モードの切り替え(※60ページ)や、ユーザー辞書(※213ページ)を起動することができます。
 - 入力ボードを切り替えます。
 - Caps Lock
 - (Fn)キーを押しながら(Tab)(Caps)キーを押します。
 - Caps Lock 状態(英字を大文字で入力できる状態)のときに“C”が表示されます。
 - Caps Lock を解除するときは、もう一度、(Fn)キーを押しながら(Tab)(Caps)キーを押します。

手書認識ボードで入力する

付属のタッチペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

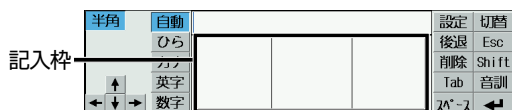
文字を手書きする

漢字を手書きしたり、ひらがなを手書きして漢字に変換できます。

基本

基本的な使いかた

1 手書認識ボードを表示します。



2 記入枠に1文字ずつ手書きします。

3個の枠のどこに書いてもかまいません。

枠に文字を書いてしばらくすると、入力行に認識された文字が表示されます。



● まちがって認識されたときは

入力行で文字にタッチし、表示された候補から選びます。候補にないときは **削除** にタッチして取り消し、もう一度手書きします。

3 タッチして採用します。

カーソルの場所に採用された文字が入力されます。



● 手書きでの文字の書きかた

次のことに注意して書いてください。

- ・ 枠全体を使って、枠からはみ出さないように大きく書く（ただし、ひらがな・カタカナの小文字は小さく書きます。）
- ・ なるべく、正しい筆順で書く
- ・ なるべく、楷書で書く（行書体で書くと、認識できない場合があります。ただし、少々ならば続け字になってもかまいません。漢字の場合「へん」と「つくり」や「かんむり」と「あし」の間をあけます。）
- ・ 文字の1画（線）が途切れないように書く
- ・ 傾きすぎないように書く
- ・ はね、かざりをつけすぎないようにする

カードを使う

基本

基本的な使いかた

この製品では、

■CFカードスロットに

- ・コンパクトフラッシュメモリーカード
- ・データカード型PHS
- ・LANカード
- ・無線LANカード
- ・モデムカード など

■SDカードスロットに

- ・SDメモリーカード
- ・マルチメディアカード(MMC)

を取り付けることができます(動作確認済みのみ)。

動作確認ができている市販のカードについては、ザウルスサポートステーション(URL <http://support.ezaurus.com/>)でご確認ください。

メモリーカードを使う

コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)を使うと、次のことができます。

- ・イメージノート、メモ帳(「Text」タブ)のデータ(ファイル)をメモリーカードに保存します。メモリーカードに保存するには、ファイル保存時に、メモリーカードに切り替えます。フォルダメニューの切替については、62ページをご覧ください。

また本体ディスクに保存したデータ(ファイル)をメモリーカードにコピーすることもできます(165ページ、168ページ)。

- ・メールのデータ(送信メールや受信メールなど)は、カードに保存できます。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」の章をご覧ください。
- ・本体に保存したカレンダー、アドレス帳などのデータを本体ディスクやメモリーカードにバックアップします。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「バックアップ／リストア」をご覧ください。



●著作権保護について

この製品は、SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。

- ・メモリーカードに多くのファイルが入っている場合、フォルダを開いてファイルを表示するときなどの一覧表示は、本体ディスクにくらべて時間がかかります(カード内のファイルの検索に時間がかかるためです)。
- ・カレンダーのファイルリンク画面では、**オプション**メニューの**リンクファイル**で表示する必要のないカードのチェックをはずす、ボイスレコーダーでは**オプション**メニューの**自動更新**のチェックをはずすと、一覧表示の時間が短くなります。カードメモリーのファイルを表示するときは、**オプション**メニューの**最新の情報に更新**を実行します。

通信カードを使う

データカード型PHSやLANカードなどを使ってインターネットに接続し、ホームページの閲覧やメールの送信／受信ができます。通信カードを使うには、通信に関する設定をする必要があります。94ページや『アプリケーションマニュアル.pdf』の「ネットワーク設定と接続」の章をご覧ください。



- この製品では、P-in memoryをメモリーカードとして使用することはできません。

その他のカードとして

グラフィックカードを取り付けて、“プレゼンテーション”アプリケーションを使って画像ファイルをプロジェクターなどに出力できます（対応しているグラフィックカードCFXGA（株式会社アイ・オー・データ機器製）は生産を終了しています。付属のCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』に記載しているプレゼンテーションは、すでにグラフィックカードをお持ちのお客様用です）。

データ保存について

- ・ イメージノート、メモ帳（「Text」タブ）は、作成した1つのデータを、1つのファイルとしてメモリーカードに保存できる（保存先にカードを選択できる）ようになっています（※前ページ）。
また、ファイルホーム画面に、一般的なファイル（たとえば、TXT形式）として表示されます。
- ・ メールでは、保存先を選択して、メールを作ったり受信します（※前ページ）。
ただし、メールのデータはファイルホーム画面で見えません。
- ・ カレンダー、アドレス帳、ToDo、メモ帳（「Memo」タブ）は、メモリーカードに保存できません。
カレンダー、アドレス帳、ToDo、メモ帳（「Memo」タブ）では、1つのデータ（たとえば、カレンダーで「5月20日 10:00～11:00 販売会議」と入力したデータ）は、それぞれが1つのファイルとして保存されるのではなく、各アプリケーションで1つのファイルとして保存されます（“カレンダー”アプリケーションで入力したすべてのデータが、一つのファイルとして保存されます）。そして、このファイルは（ファイルホーム画面などで）、見えないようになり、メモリーカードに保存できません（保存先にカードを選択できません）。

カードを取り付ける

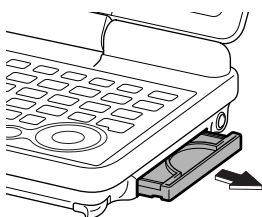
基本

基本的な使いかた

1 電源 ボタンを押して電源を切ります。

保護カードを取り外します。

CF カードスロットの場合



SD カードスロットの場合



保護カードの端を指で押し込み、スロットから外れた保護カードを抜き取ります。



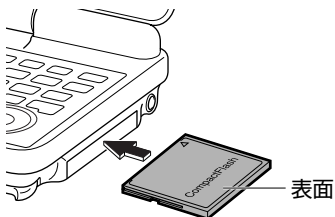
- すでに他のカードが入っている場合は、「カードを取り外す」の手順に従って取り外してください(※次ページ)。
「カードを取り外す」の手順に従ってカードを取り外さないとデータが壊れます。

2 カードとこの製品が同じ面を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

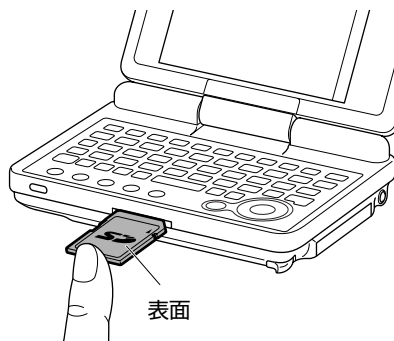


- 表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。

CF カードスロットの場合



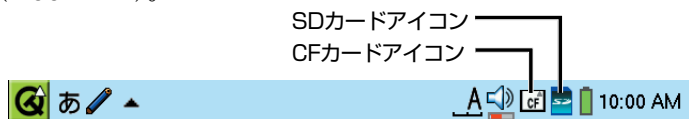
SD カードスロットの場合



3 この製品の電源を入れます。

4 電源が入ってしばらくすると、CFカードアイコン()またはSDカードアイコン()がタスクバーに表示されます。

カードに保存されているファイルは、ファイルホーム画面に表示されず(※56ページ)。



基本

基本的な使いかた



注意

- カードに強い力を加えないでください。
- カードは、スロットに確実に挿入してください。
- 動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。
- 電源が入った状態でカードを取り付けると、カードが動作しないことがあります。必ず、電源を切ってからカードを取り付けてください。
- ACアダプター接続時、消費電力が大きいカード(通信カードなど)を使用すると充電ランプが消えたり、充電電池が消耗することがあります。
- ACアダプターを接続していても充電電池の容量が少ないときは、電源が入らないことがあります(このときは、充電してください)。



MEMO

- この製品では、カードの初期化は行えません。初期化する必要があるときはパソコンを使ってFAT形式で初期化してください。
- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。
- SDメモリーカードをライトプロテクト(書き込み禁止)にしていると、手順4で表示されたSDカードアイコンの下に赤線がつきます。

5 カード側のファイルを見るときは、(ホーム)キーを数回押して、ファイルホーム画面(※56ページ)を表示し、CFカードアイコンまたはSDカードアイコンにタッチします。

カード内のフォルダやファイルが表示されます。

カードを取り外す



注意

- カードの取り外しは、必ず次の手順で行ってください。正しく行わないと、データが壊れます。

1 この製品の電源を入れます。



2 **CFカードスロットの場合**
タスクバーの **CF** にタッチ
します。



SDカードスロットの場合
タスクバーの **SD** にタッチ
します。



3 **CFカードスロットの場合**
カード取り外し にタッチ
します。
タスクバーからCFカードア
イコン(**CF**)が消えます。

SDカードスロットの場合
SD-カード取り外し にタッ
チします。
タスクバーからSDカードア
イコン(**SD**)が消えます。



•「カード取り外しに失敗しました」と表示される場合は、アプリケーションがカードを使用中のため取り外せません。すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ってから手順**5**に進みます。

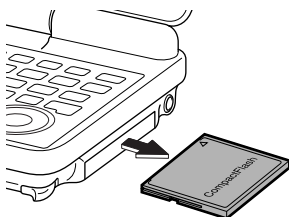
これでカードを取り外す準備ができました。



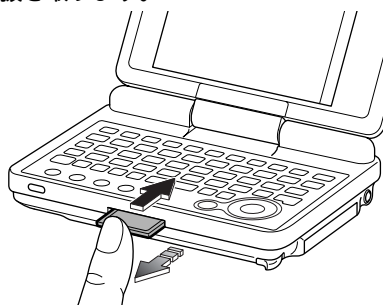
4 **CF** アイコンまたは **SD** アイコンが消えてから、電源を切ります。



5 **CFカードスロットの場合**
カードを抜き取ります。



SDカードスロットの場合
カードの端を指で押し込み、
スロットから外れたカードを
抜き取ります。



- カードのファイルを開いているときは、取り出し操作ができないことがあります。
- 取り出し操作を正しく行わないと、本機はカードを正しく認識しませんので、誤操作やデータがこわれる原因となります。

付属のステレオヘッドホンを取り付ける／取り外す

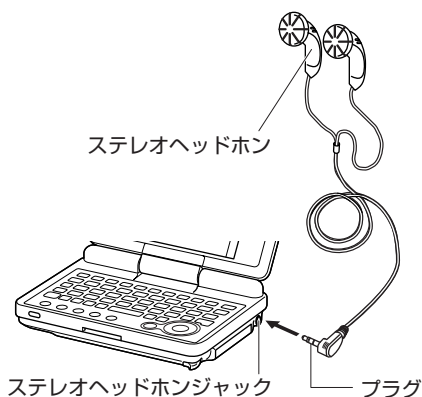
この製品に付属のステレオヘッドホンを使って、Music Playerで音楽を聞いたり、収録されているコンテンツの英語の発音などを聞くことができます。

基本

基本的な使いかた

取り付ける

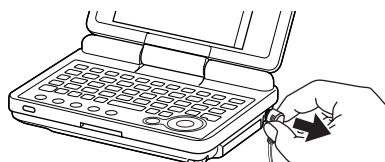
- 1 この製品の電源を切ります。
- 2 ステレオヘッドホンのプラグをステレオヘッドホンジャックにまっすぐ奥まで差し込みます。



- ご注意**
- ステレオヘッドホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

取り外す

- 1 この製品の電源を切ります。
- 2 ステレオヘッドホンのプラグをまっすぐ引いて、ステレオヘッドホンジャックから抜きます。



- ご注意**
- ステレオヘッドホンのケーブル部分を引っばって抜かないようにしてください。故障や破損の原因になります。

パソコンと接続する

基本

基本的な使いかた

パソコンと接続して、データをやり取りすることができます。
パソコンとの接続については、お使いのパソコンの取扱説明書なども確認してください。

パソコンとザウルスを接続する場合、接続方式には「USBストレージ方式」と「PC連携方式」があります。「USBストレージ方式」はザウルスドライブ(USBストレージ方式) (P.131ページ)を使うとき、「PC連携方式」はIntellisync (P.204ページ)などのパソコンソフトウェアを使うときの接続方式です。USBストレージ方式ではUSBドライバーなどのインストールは必要ありません。PC連携方式ではUSBドライバーなどのインストールが必要になりますので、『はじめにお読みください』の「パソコンにソフトをインストールする」をご覧ください。

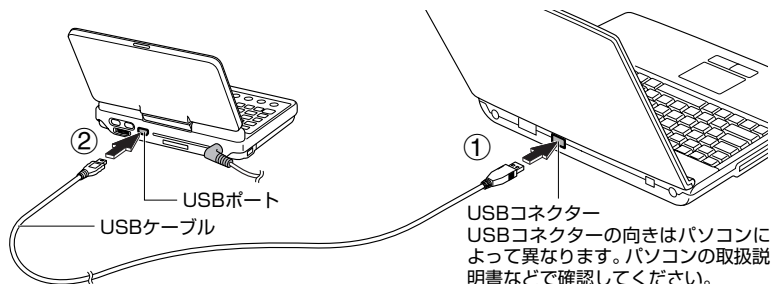
付属のUSBケーブルで接続する

- 1 この製品の電源を切って付属のACアダプター(EA-75)をザウルス本体のACアダプタージャックに取り付けます。

パソコンは、起動させておいてください。



- 2 付属のUSBケーブルを図のように①②の順でこの製品のUSBポートとパソコンに接続します。



**注意**

- SL-C860などに付属しているUSBケーブル(CE-UC1)を使って、SL-C3200とパソコンを接続して通信することはできません。
- **通信中はケーブルを抜いたり、ザウルスを操作しないでください。**
通信中は、USBケーブルやACアダプターを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データが壊れます。また、ザウルスの操作も行わないでください。
- **もう一度接続するときは**
一度ケーブルを取り外したときやザウルスの電源を切ったときは、30秒程度待ってから接続してください。
- 通信しないときは、USBケーブルからザウルスを取り外してください。
- ザウルスドライブ機能の“ザウルスドライブ(USBストレージ方式)”(PCリンク画面の接続方式で「USBストレージ方式」に設定されている)をご使用になる場合は、以下のOS対応のパソコン以外はご使用できません(※131ページ)。
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition/Professional 日本語版
 - ・ Microsoft Windows Me 日本語版
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版

基本

基本的な使いかた

USBケーブルを取り外す

この製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、通信中でないことを確認してザウルスの電源を切り、取り外してください。

通信方式が「USB接続(ネットワーク)」でWindows XP/2000の場合や「ザウルスドライブ(USBストレージ方式)」の場合は、下記の手順をご覧ください。取り外してください。

パソコンの電源を切るときは、ザウルスの電源も切ってください。電源を入れたままにしておくと、ザウルスの充電電池を消耗する場合があります。

通信方式が「USB接続(ネットワーク)」でWindows XP/2000の場合

- 1 タスクバーの  または  をクリックして、「SL series Ver3(NDIS 5)を安全に取り外します」または「SL series Ver3(NDIS 5)を停止します」をクリックします。
- 2 タスクバーの上側に確認メッセージが表示されるのを待って、ザウルスの電源を切り、取り外します。

接続方式が「ザウルスドライブ(USBストレージ方式)」でWindows XP/2000の場合

- 1 タスクバーの  または  をクリックして、「USB大容量記憶装置 デバイスドライブ(X:)を安全に取り外します」をクリックします。
- 2 タスクバーの上側に確認メッセージが表示されるのを待って、ザウルスの電源を切り、取り外します。

接続方式が「ザウルスドライブ(USBストレージ方式)」でWindows Meの場合

- 1 タスクバーの  をクリックして、「USBディスクドライブ(D:)の停止」をクリックします。
- 2 パソコンの画面に確認メッセージが表示されるのを待って、ザウルスの電源を切り、取り外します。

ヘルプを使う

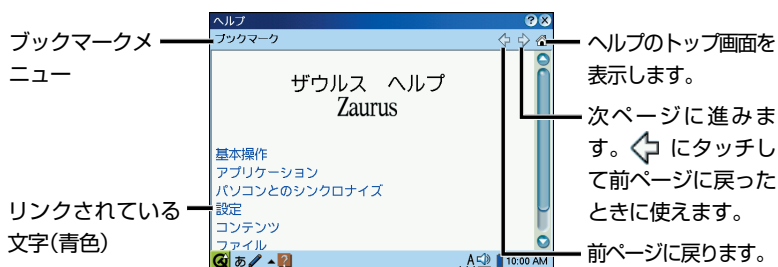
ヘルプは、各アプリケーションなどの操作方法を説明しています。わからないことがあったり困ったときに内容をご覧ください。

基本

基本的な使いかた

ヘルプを表示する

- 1 アプリケーションホーム画面などで **?** にタッチします。
 - ・ アプリケーションホーム画面で **?** にタッチすると、ヘルプのトップ画面が表示されます。
 - ・ カレンダーなどの画面で画面右上の **?** にタッチすると、そのアプリケーションのヘルプ画面が表示されます。



- 2 青色の文字にタッチして、リンク先のページを開きます。

青色の文字にタッチすると、それらに関係づけられている(リンクされている)ページが表示されます。
- 3 **(X)** にタッチして終了します。

ブックマークを使う

よく見るページをブックマークに登録しておくことができます。

登録する

登録するページを表示し、**ブックマーク**メニューの**ブックマークに追加**にタッチします。

登録したページを開く

ブックマークメニューにタッチし、登録したページのファイル名にタッチします。

削除する

削除するページを開き、**ブックマーク**メニューの**ブックマークから削除**にタッチします。



ネットワーク設定と接続

P-in Freeなどのデータカード型PHSやモデムカードなどを使ってインターネットに接続するための設定や、LAN／無線LANなどに接続するための設定ができます。

ここでは、以下について説明しています。

●P-in Freeなどのデータカード型PHSの設定については、96ページをご覧ください。

●無線LANカードの設定については、102ページをご覧ください。

●PPPoEに対応していますので、無線LANカードを使ってNTT西日本が運営しているフレッツスポットなどPPPoEで接続する無線LANサービスに接続することができます。

●ネットワーク設定画面全般の説明(このページ～次ページ)

●自動接続(スマート接続)の設定

●ネットワークに接続する／接続を切る

これ以外の設定など詳細については、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』をご覧ください。

動作確認ができているデータカード型PHSや無線LANカードなどは、ザウルスサポートステーション(URL <http://support.ezaurus.com/>)でご確認ください。

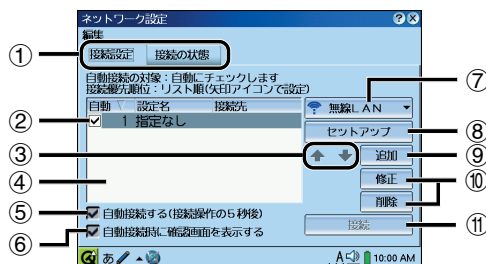


●この製品では、MIシリーズザウルス用デジタル携帯電話ケーブルCE-DT1などには対応していません。

ネットワーク設定画面について

1 設定ホーム画面(53ページ)で、 “ネットワーク設定”を選択し、**(OK)**キーを押します。

ネットワーク設定画面が表示されます。





- ①「接続設定」、「接続の状態」を切り替えます。「接続の状態」は、インターネットに接続しているときの状態を表示します(☞108ページ)。
- ②自動的に接続する接続先にチェックをつけます。チェックをつけた接続先が(優先的に)自動接続の対象になります(☞106ページ)。
 - ・「ダイヤルアップ接続」と「有線LAN」のときは、1つの接続先にだけチェックをつけることができます。
 - ・「無線LAN」のときは、複数の接続先にチェックをつけることができます。実際に自動接続をするためには、⑤のチェックもつけてください。
- ③無線LANのとき、④のリストの中で、ESS-IDを設定している接続先の並び順(自動接続の優先順位)を変えることができます。ESS-IDを設定していない接続先は、優先順位を変えることはできません。
- ④⑦の接続方式に合った接続先が④のリストに表示されます(たとえば、⑦で「ダイヤルアップ接続」を選ぶと、④のリストにダイヤルアップ接続の接続先だけが表示されます)。
 - ※「無線LAN」のときは、「指定なし」という接続先があらかじめ入っています。「指定なし」はリストの一番下に表示されます。「指定なし」については次ページのメモもご覧ください。
- ⑤自動接続する／しないを選択します(チェックがついていないと、自動接続しません)。②で選んだ(チェックをつけた)接続先に自動接続します(☞106ページ)。
- ⑥自動接続時に、接続する前に確認画面(☞107ページ)を表示するかどうかを選択します。
- ⑦接続方式を切り替えます。
「一覧」にすると、設定している接続先がすべて表示されます。
- ⑧接続設定アシストを使って、接続設定を新規に作成します。
「追加」を使っても作成できますが、接続設定アシストを使うとメールの設定(メールアカウント、メールアドレスなど)もできます。
無線LANの接続設定については102ページ、データカード型PHSの接続設定は次ページをご覧ください。その他の接続設定については『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「インターネット接続設定を行う」をご覧ください。
- ⑨接続設定を新規に作成します。くわしくは、付属の『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「設定アシストとは別の方法で新規に設定する」をご覧ください。
- ⑩接続先の内容の修正、接続先の削除をします。くわしくは、付属の『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「接続設定を確認／修正／削除などする」をご覧ください。
- ⑪ネットワークに接続します。
タスクバーの  アイコンにタッチするのと同じ働きをします。



●無線LANの「指定なし」について

- ・「指定なし」は、ESS-IDなどの設定を必要としない無線LANサービスに接続するときに使う設定です。
「指定なし」の設定内容は、「基本設定」タブ内の「ESS-IDを指定しない(ANY)」(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』)にチェックをつけているだけです。
- ・無線LANのアクセスポイント側がESS-IDだけを設定している場合も、この「指定なし」で接続することができます(アクセスポイントによっては接続できないことがあります)。
- ・無線LANをお使いになる時のセキュリティについて21ページのご注意もご覧ください。

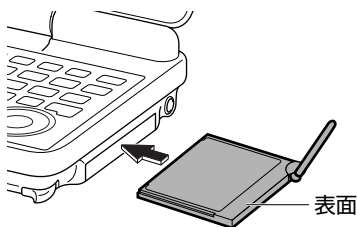


データカード型PHSの設定をする

データカード型PHSを使ってインターネットに接続するときの設定を行います。

- メールアドレス、パスワード、ネームサーバー、アクセスポイントの電話番号などが記載されている、プロバイダーからの資料をお手元にご用意ください。
- 各項目に入力するとき、大文字・小文字、全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際、注意してください。また、数字の「0」(ゼロ)と英語の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」(アイ)などの区別も確認してください。

- 1** 電源を切った状態で、データカード型PHSを取り付け、電源を入れます。



- 2** ネットワーク設定画面(☞94ページ)を表示し、**セットアップ**にタッチします。
- 3** 確認画面が表示されますので、**はい**にタッチします。

4 接続機器の設定画面で、使用する種類／ご契約されているコースを選択し、(OK)キーを押します(または「次へ」)にタッチします)。

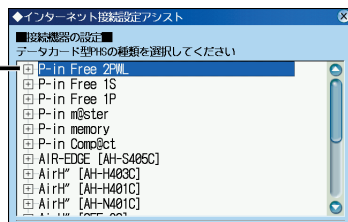
手順1で取り付けた通信カードに合った内容が表示されます。



- 手順1を行わず(データカード型PHSなどの通信カードを取り付けず)、設定を行った場合

- 1 ネットワーク設定画面(94ページ)で、「セットアップ」にタッチします。
- 2 確認画面で、「いいえ」にタッチします。
- 3 接続機器の設定画面が表示されますので、「データカード型PHS」を選択し、(OK)キーを押します。
- 4 接続機器の設定画面で、使用する種類／ご契約されているコースを選択し、(OK)キーを押します。

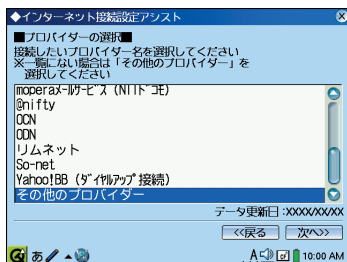
田にタッチすると
詳細の設定が表示
されます。



5 利用するプロバイダーを選択し、(OK)キーを押します。

※手順6以降の画面に表示される説明文は、選択したプロバイダーによって変わります。

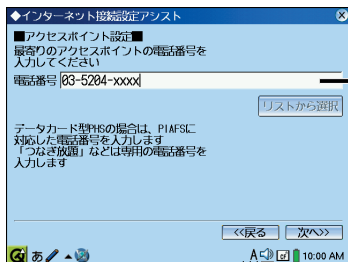
ここでは、「その他のプロバイダー」を選択します。



- 入会しているプロバイダー名が一覧画面にないときは「その他のプロバイダー」を選択します。
- プロバイダーによっては、このあと、接続するための情報が自動的に入力されている場合もあります。



6 最寄りのアクセスポイントの電話番号を入力し、(OK)キーを押します。

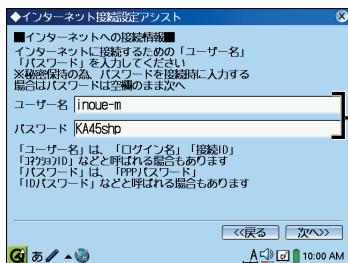


PIAFS(ピアフ)対応の電話番号を入力します。



- データカード型PHSの場合は、PHS専用になっているPIAFS(ピアフ)対応のアクセスポイントを入力してください。
- 手順4でAIR-EDGE(Air H^g)の「つなぎ放題」や「ネット25」などを選択したときは、専用のアクセスポイントの電話番号を入力します。くわしくは各プロバイダーにお問い合わせください。

7 ユーザー名とパスワードを入力し、(OK)キーを押します。



「ユーザー名」、「パスワード」の名称は、各プロバイダーによって違います。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPPログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウントID、接続ID、ID番号、接続アカウント、ダイヤルアップログイン名、認証ID、ユーザーID
パスワード	PPPパスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、IDパスワード



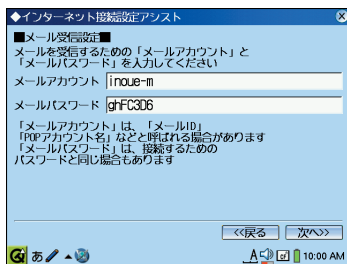
入力時のご注意

- ユーザー名やパスワードをまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- パスワードを入力しておく、接続のたびに入力する手間が省けて便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。それを回避するため、パスワードの欄を空欄にして「次へ」にタッチしてください(接続のたびにパスワードを入力する必要があります)。



8 メールを受信するための情報を入力し、(OK)キーを押します。

メールの設定を行わない場合、あるいはメールの設定をすでに行っており、それと同じメールアカウントでメールを送受信するときは、「メールアカウント」、「メールパスワード」に何も入力しないで (OK) キーを押して手順11に進んでください。



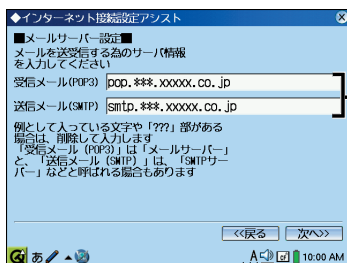
画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
メールアカウント	Mailアカウント名、メールボックス名、 メールボックスアカウント名、Mailアカウント
メールパスワード	Mailパスワード、パスワード、初期パスワード

9 メールを送受信するためのサーバー情報を入力し、(OK)キーを押します。

受信メール (POP3) サーバーと送信メール (SMTP) サーバーが分かれているプロバイダーと、分かれていないプロバイダーがあります。

- ・手順5で選択したプロバイダーの中で、分かれていないプロバイダーでは、メールサーバーの設定は1つだけになっています。
- ・分かれているプロバイダーは、受信メール (POP3) サーバーと送信メール (SMTP) サーバーの両方を設定します。

手順5で「その他のプロバイダー」を選択して、入会しているプロバイダーのメールサーバーが1つのときは、両方に同じものを入力します。



例としてすでに文字が入っているときは、文字を削除してから入力します。また「???」の部分がある場合は「???」を削除してご自分の情報を入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メール (POP3)	POPサーバー、メールサーバー
送信メール (SMTP)	SMTPサーバー





- メールアカウント、メールパスワード、メールサーバーなどの入力をまちがうと、メールの送信や受信ができません。よく確かめて入力してください。

10 メールを送信者名とメールアドレスを入力し、**OK**キーを押します。

ご自分の名前、ニックネーム等を入力します。

「???」の部分がある場合は、「???」を削除してご自分の情報を入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
メールアドレス	電子メールアドレス、E-Mail Address

11 DNSサーバーを設定し、**OK**キーを押します。

- ・ 97ページの手順5で「I1J4U」などを選択した場合、DNSサーバーの項目はすでに入った状態になっています。
- ・ DNSサーバーを自動的に取得する場合は「DNSサーバーを自動的に取得」を選択します。

半角の数字とピリオド(半角)で入力します。

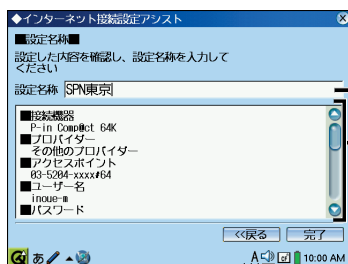
画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリDNS	ネームサーバー1、Domain Name Server (1)、ドメインネームサーバー、DNSサーバー、DNS、プライマリDNSサーバー
セカンダリDNS	ネームサーバー2、Domain Name Server (2)、セカンダリDNSサーバー



- セカンダリDNSがないプロバイダーの場合は、「セカンダリDNS」の欄は空欄にします。



- 12** 設定に名前をつけ、スクロールバーの  にタッチして設定した内容を確認します。



名称を入力します。

設定した内容を確認
します。

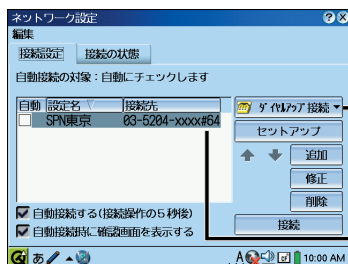
まちがえているときは、**「戻る」**にタッチして設定を訂正し、**「次へ」**にタッチしてこの画面まで進みます。

- 13** **「OK」**キーを押します (**完了**にタッチします)。

設定完了の確認画面が表示されます。

- 14** **「OK」**キーを押します (**終了**にタッチします)。

ネットワーク設定の「接続設定」タブ画面に、さきほどつけた名前が表示されます。



データカード型PHS
の設定は「ダイヤル
アップ接続」の一覧に
登録されます。

自動的に電話番号の
うしろに「#64」な
どがつきます。

- 15** 続けて106ページの「自動接続(スマート接続)の設定をする」をご覧ください。

- 16** 設定が終わったら107ページの「ネットワークに接続する／接続を切る」をご覧ください。ネットワークに接続します。



- 設定した内容が間違っていたためインターネットに接続できないときなど接続設定を修正する場合は、ネットワーク設定画面の**「修正」**にタッチします(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。

メールアドレスなどメールに関する情報を修正する場合は、「アカウントを修正する」(※117ページ)をご覧ください。

無線LANの設定をする

無線LANカードを使って接続するための設定を行います。



- IEEE802.1xには対応していません。
- ホテルや喫茶店などで行っている無料の無線LANサービスに接続するときはホテルや喫茶店などでは無料の無線LANサービスを行っているところがあります。これらの場所でザウルスと無線LANカードを使ってインターネットに接続し、ホームページの閲覧などができます。
このような場合、ネットワーク設定にあらかじめ入っている「指定なし」の設定(⇒96ページ)を使って簡単に接続することができます。くわしくは、無料の無線LANサービスを行っているホテルや喫茶店などにおたずねください。
- PPPoEに対応していますので、無線LANカードを使ってNTT西日本が運営しているフレッツスポットに接続することができます。フレッツスポットに接続する場合は、手順4で「フレッツスポット」を選択します。
これ以外のPPPoEで接続するサービスについては、『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「無線LANカードの設定を修正する」をご覧ください。PPPoeタブで設定してください。
- 無線LANをお使いになる時のセキュリティについて21ページのご注意をご覧ください。

- 1 電源を切った状態で、無線LANカードを取り付け、電源を入れます。
- 2 ネットワーク設定画面(⇒94ページ)を表示し、「セットアップ」にタッチします。
- 3 確認画面で、「はい」にタッチします。



- 手順1を行わず(無線LANカードを取り付けず)、設定を行った場合97ページのメモの手順1と2を行い、手順3で「無線LANカード」を選択します。

- 4 プロバイダー選択画面で、接続したい無線LANサービスを選択し、「OK」キーを押します。ここでは「その他のサービス」を選択します。
 - ・ 一覧にない公衆無線LANサービスの場合は「その他のサービス」を選択します。
 - ・ 公衆無線LANサービスでない場合(社内や自宅の無線LANなど)は「任意のアクセスポイント」を選択します。
 - ・ フレッツスポットを選択し、「OK」キーを押すと手順5の前にユーザー名、パスワードを入力する画面が表示されます。
- 5 接続したいワイヤレスネットワークの名称(ESS-ID)を入力し、「OK」キーを押します。
 - ・ 無線LANサービスに接続する場合は、指定されているESS-IDを入力してください。
 - ・ 社内や自宅の無線LANに接続する場合、アクセスポイントに設定しているESS-IDと同じ内容を入力します(くわしくは、ネットワーク管理者におたずねください)。

(注)ESS-IDにスペースを入力することはできません。





6 ワイヤレスネットワークに暗号化キー(WEPキー)が設定されているかどうかを選択し、**(OK)**キーを押します。

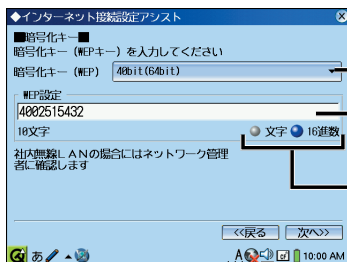
※手順4で選択するサービスによっては、手順6は表示されず、手順7になることがあります。

- ・無線LANサービスに接続する場合は、「設定されている」を選び、手順7で指定されている暗号化キーを入力します。
- ・社内LANに接続する場合は、「設定されている」を選び、手順7でアクセスポイント側と同じ暗号化キーを入力します。
- ・暗号化キーが設定されていない場合は、「設定されていない」を選び、手順8に進んでください。

7 暗号化キー(WEPキー)を入力し、**(OK)**キーを押します。

暗号化キー(WEPキー)については、下のメモをご覧ください。

※手順4で選択するサービスによっては、暗号化キーの長さが決まっていることがあります。



暗号化キーの長さを選択します。

暗号化キーを入力します。

暗号化キーの形式を選択します。



● 暗号化(WEP)キーについて

暗号化キーは、(無線通信時のデータの)セキュリティをかけるためのものです。なお、暗号化キーはアクセスポイント側と同じ内容を入力します。

暗号化キー(WEPキー)：

暗号化キーの長さを設定します(「40bit(64bit)」または「104bit(128bit)」を選択します)。

WEP設定：

暗号化キーの形式を「文字」または「16進数」から選択し、上記の暗号化キーの長さによって、入力ボックスに暗号化キーを入力します。

入力文字数は、以下のようになります。

- ・40bit(64bit)：「文字」では5文字(半角英数字)、「16進数」では10文字(半角英数字※)
- ・104bit(128bit)：「文字」では13文字(半角英数字)、「16進数」では26文字(半角英数字※)

※0～9の数字とA～Fのアルファベットの16個の英数字。



8 IPアドレスの設定をし、(OK)キーを押します。

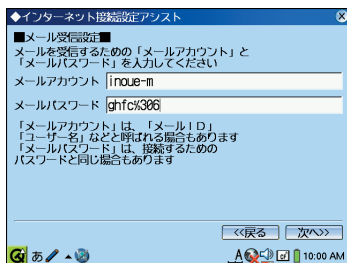
※手順4で選択するサービスによっては、手順8は表示されず、手順9になることがあります。

- ・無線LANサービスの場合、「IPアドレスを自動的に取得」にチェックを付けます。
- ・社内の無線LANなどの場合、ネットワーク管理者にご確認になり設定してください。

9 この画面以降、3画面でメールの設定を行います。

メールアカウント／メールパスワード、メールサーバー、メールの送信者名、メールアドレスを各画面で設定します。

メールの設定を行わない場合、あるいはメールの設定をすでに行っており、それと同じメールアカウントでメールを送受信するときは、「メールアカウント」、「メールパスワード」に何も入力しないで (OK) キーを押してDNSの設定画面に移ります。



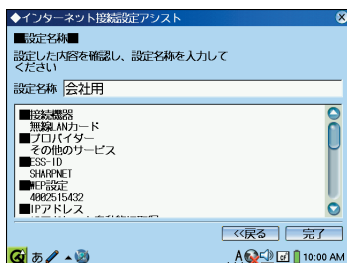
- ・メールアカウントなどを新規に設定する場合は、各画面でお持ちのメールの情報(メールアカウントなど)を入力します。

10 DNSの設定をして、(OK)キーを押します。

※手順4で選択するサービスによっては、手順10は表示されず、手順11になることがあります。

- ・無線LANサービスの場合は、入力する必要があるときは「DNSサーバーを指定」を選んで入力します。入力する必要がない場合は「DNSサーバーを自動的に取得」を選んで (OK) キーを押します。
- ・社内の無線LANなどの場合、ネットワーク管理者にご確認になり設定してください。

- 11** 設定に名前をつけ、スクロールバーの  にタッチして設定した内容を確認します。

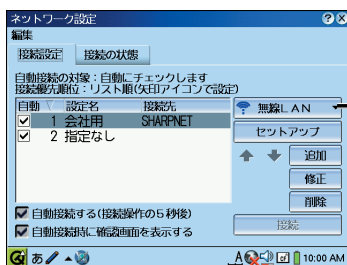


- 12** **OK**キーを押します(**完了**にタッチします)。

設定完了の確認画面が表示されます。

- 13** **OK**キーを押します(**終了**にタッチします)。

ネットワーク設定の「接続設定」タブ画面に、さきほどつけた名前が表示されます。



無線LANカードの設定は「無線LAN」の一覧に登録されます。

- 14** 続けて次ページの「自動接続(スマート接続)の設定をする」をご覧ください。

- 15** 設定が終わったら107ページの「ネットワークに接続する／接続を切る」をご覧ください。



- 設定した内容が間違っていたためインターネットに接続できないときなど接続設定を修正する場合は、ネットワーク設定画面の **修正** にタッチします(『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。

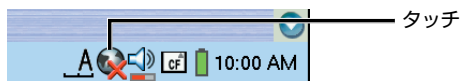
メールアドレスなどメールに関する情報を修正する場合は、「アカウントを修正する」(『117ページ)をご覧ください。



自動接続(スマート接続)の設定をする

自動接続(スマート接続)の設定をしておく、

- ・タスクバーの  にタッチ

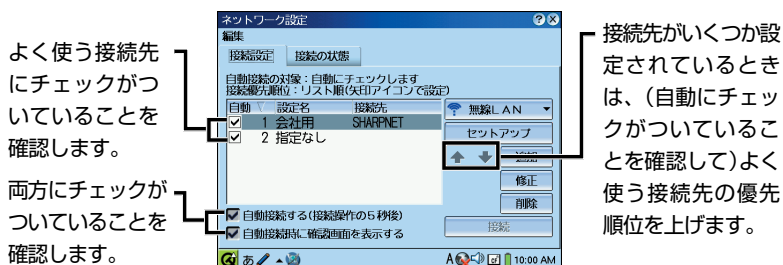


- ・メールの送信や受信操作 (P.109ページ)
- ・Qtメニューの「インターネットに接続する」を選択 (P.59ページ)

で、この製品に装着している通信カード(P-in Freeや無線LANカードなど)に合った接続先を使って、自動的にインターネットに接続します。

自動接続の設定は、次のようにします。

- 1 ネットワーク設定画面を表示し、接続先のリストでよく使う接続先にチェックをつけます。さらに「自動接続する」、「自動接続時に確認画面を表示する」にチェックがついていることを確認します。



- 接続先リストでチェックをつけるとき、ダイヤルアップ接続と有線LANの場合はチェックは1つだけ、無線LANの場合は複数のチェックをつけることができます。

自動接続の設定についてくわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「自動接続(スマート接続)の設定をする」をご覧ください。

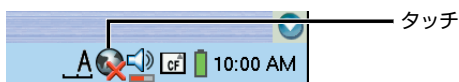
ネットワークに接続する／接続を切る

ダイヤルアップ接続、無線LANなど、どの接続方法でも同じ方法で行います。

接続するには

- 1 電源を切り、カードスロットに通信カードを取りつけます。
取り付けるときは、奥までしっかりと取り付けます。

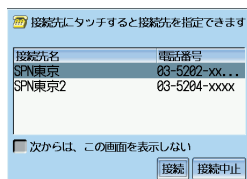
- 2 電源を入れ、タスクバーの  アイコンにタッチします。



- “メール”アプリケーションの場合は送受信操作 ( ) にタッチなど) を行ってもネットワークへ接続できます。
- Qtメニューの **インターネットに接続する** を選択しても接続できます (※59ページ)。

- 3 確認画面が表示され、5秒後に自動的に接続が実行されます。

接続先が1つだけで、その接続先にチェックをつけているときは、画面は表示されずにすぐに接続が実行されます。



- 5秒待ちたくないときは、**接続** にタッチします。
- この画面を表示せずに接続するには、上記の画面の「次からはこの画面を表示しない」にチェックをつけます (94ページのネットワーク設定画面で⑥のチェックを外しても表示されなくなります)。
- 手順3で接続先を変更すると、**接続** または **接続中止** にタッチするまで、上記画面は表示されたままになります。



● インターネットに接続できないときは

98ページで設定したユーザー名やパスワードなどがまちがっている
と、接続できません。ネットワーク設定画面で設定名を選択して、
修正 にタッチして確認してください。



4 接続されると、タスクバーのアイコンが から に（無線LANの場合は に）切り替わります。



- 無線LANで、「Web認証を使用する」の設定をしている場合
手順4のあと自動的にWebブラウザが起動し、IDやパスワードを入力する画面が表示されますので、お持ちのIDやパスワードを入力します。
- 無線LANの場合、接続中は  が表示され、電波強度により色が変わります（青＞緑＞黄＞赤）。青または緑の状態で通信されることをおすすめします。なお、赤の場合は、ネットワーク設定が間違っている場合がありますので、設定内容をご確認ください。

接続を切るには

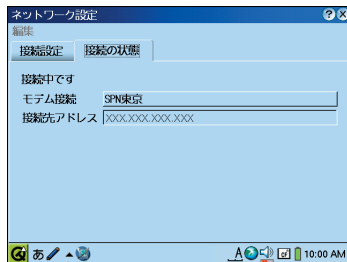
- 1 タスクバーの （または ）にタッチし、メニューの「接続を切る」にタッチします。



タスクバーのアイコンが （または ）から  に切り替わります。

接続の状態を確認する

- 1 設定ホーム画面で、 “ネットワーク設定”を起動します。
ネットワーク設定画面が表示されます。
- 2 「接続の状態」タブにタッチします。
現在の接続状態が表示されます（取り付けている通信カードによって、表示される項目は異なります）。



- 接続していないときは、「利用可能な接続はありません」と表示されます。

メール

この製品にデータカード型PHS(たとえば、P-in Freeなど)やLANカードなどを接続して、インターネットメールの送信や受信をすることができます。

また、次のようなこともできます。

- ・ 画像や表計算ファイルなどを添付して送信できます(MIME形式)。
- ・ 添付付きのメールを受信することができます。
- ・ 作成したフォルダにメールを移動して、整理することができます。
- ・ メールをメモリーカードに保存できます。
- ・ マルチアカウント対応です。
- ・ POP3/IMAP4、SMTPプロトコルに対応しています。また、APOPにも対応しています。
- ・ メールを送信する前に自動的にPOP認証をします。

本書では、メールの主な使いかたについてだけ説明しています。

くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」の章をご覧ください。



- Intellisync for Zaurusを使うと、パソコンで管理しているメールとシンクロナイズすることもできます(パソコンとのシンクロナイズについては、『Intellisync 取説.pdf』をご覧ください)。
- メール送信／受信中にボイスレコーダーなどを使用すると、ボイスレコーダーなどが正しく動作しない場合があります。



- MIシリーズザウルス用のデジタル携帯電話接続ケーブル(CE-DT1)などを使ってメールの送受信することはできません。
- 多くのデータが保存されていると、起動が遅くなる場合があります。

メールを作って送る

新しいメールを作ります。

メールを作って送るためには、次の準備が必要です。また、準備ができていない方は、先に準備をしてください。

準備1： メールを送るための通信機器を装着します(たとえば、データカード型PHS)。

準備2： ネットワーク設定をします(データカード型PHSを使うときの設定は、96ページをご覧ください。メールアカウントの設定も行ってください)。

また、自動接続(106ページ)の設定をしておいてください。

準備ができたら、次ページの手順に進みます。



- 1** アプリケーションホーム画面で、 “メール”を選択し、**(OK)**キーを押します。

メールアカウントの設定をすると、メールでは、次のような画面になります。

(この画面例は、すでにメールの送信や受信などを行っている例です。)



●「シンクロナイズ」アカウントについて

「シンクロナイズ」アカウントは、**オプション**メニューの**シンクロアカウント表示**を選択してチェックを外すと画面から表示されなくなり、チェックをつけると再び表示されます。

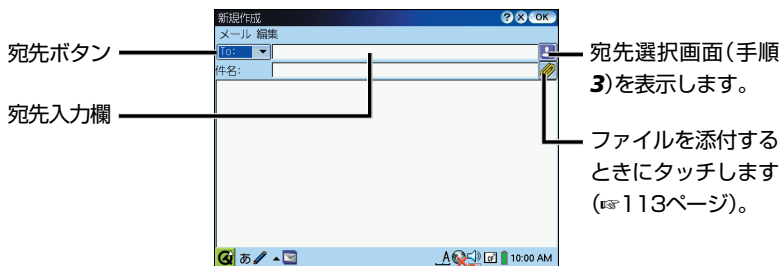
この「シンクロナイズ」アカウントは、Intellisync for Zaurusを使ってMicrosoft Outlook (パソコンソフトウェア)のメール機能との間でシンクロナイズするときのものです。

- ザウルスに通信カードを装着してメールの送受信を行うときには、「シンクロナイズ」以外のアカウントのメールフォルダが対象となります。

2 画面の左側でシンクロナイズ以外のアカウント(上記の例では“SPN”)を選び、 にタッチします。

新規作成画面が表示されます。

(Fn)キーを押しながら**(N)**キーを押しても新規作成画面が表示されます。



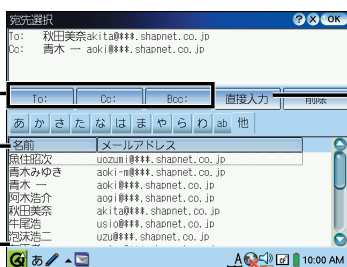
- 「シンクロナイズ」が選ばれた状態でメールの新規作成を行うと、そのメールは通信カードを使って送信することができません。

3 宛先を指定します。

 にタッチし宛先選択画面を表示します。

アドレス帳にメールアドレスを登録しているときは、メールアドレスを選択し、**To:** などにタッチします。

アドレス帳に、メールアドレスを入力して保存すると、このリストに表示されます。



メールの宛先として指定されているものが表示されます。

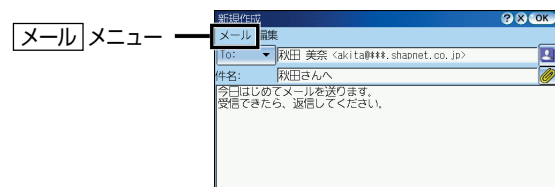
メールアドレスを直接入力するときは、**直接入力**にタッチし、宛先入力画面で、メールアドレスを入力して**OK**キーを押します。

4 宛先の選択が終わったら、**OK**キーを押します。

新規作成画面に戻ります。

5 件名、本文を入力し、**メール**メニューの**メール送信**を選択します。

自動接続の設定(106ページ)をしていると、この製品に装着している通信カードを判別して、インターネットに接続しメールを送信します。送信終了後、設定によって自動的に接続を切る場合と切らない場合があります。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」の「各種設定を変更する」をご覧ください。



●メールの送信や受信ができないときは

メールアカウントに設定した情報(アカウント名、パスワード、SMTPサーバー、POPサーバーなど)が正しくないとメールの送信や受信ができません。メールアカウントに設定した情報を確認します。

- 1 一覧画面などで、**メール**メニューの**アカウント**を選択します。
- 2 アカウント設定画面で、確認したいメールアカウントを選択し**編集**にタッチします。
- 3 「送信」タブと「受信」タブのそれぞれに入力している情報に間違いがないか確認します。

メールアカウントに入力する情報については、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」をご覧ください。



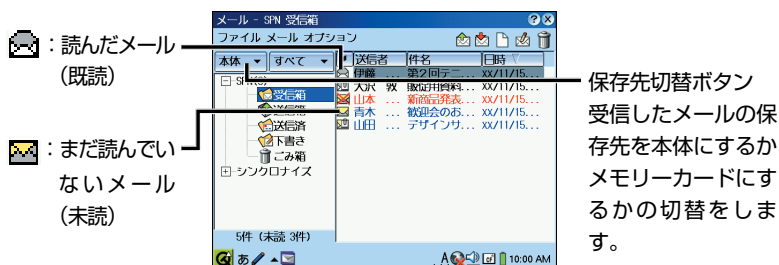
メール

メールを受信する

自分宛のメールを受信します。

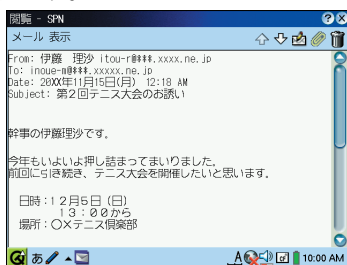
- 1 受信箱画面などで、**メール**メニューの**全アカウント受信**を選択します。

自動接続の設定(☞106ページ)をしていると、この製品に装着している通信カードを判別して、インターネットに接続し全メールアカウントのメールを受信します。



(メール)キーをしばらく(約2秒)押すと、メールを受信し、同時に「送信箱」にある未送信メールも送信されます。(電源を切っている状態や他のアプリケーションを使っているときもメール送受信が行われます)。

- 2 **カーソル**キーを使って見たいメールを選び、**OK**キーを押します。詳細画面が表示されます。



- 3 **(Cancel)**キーを押して、受信箱画面に戻ります。



●メールの送信や受信ができないときは

メールアカウントに設定した情報(アカウント名、パスワード、SMTPサーバー、POPサーバーなど)が正しくないとメールの送信や受信ができません。前ページのご注意をご覧になり確認します。



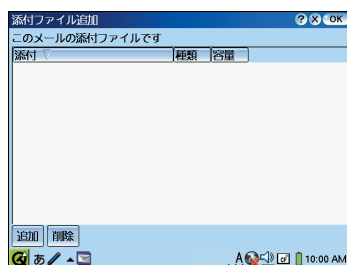
- ハードディスクランプをメール着信用ランプとして使用するよう設定しておくと、メール受信時にメール着信用ランプが点灯(緑色)します(☞207～208ページ)。
- 複数のアカウントを登録したとき、1つのアカウントだけのメール受信をすることもできます(**メール**メニューの**受信**を選択し、アカウントを選びます)。

ファイルを添付する(送信)/添付ファイルを見る・保存する(受信)

- ・ イメージノートやメモ帳(「Text」タブ)、HancomMobileWord、HancomMobileSheetなどのファイルを添付して送信することができます。
- ・ 受信したメールに添付ファイルがついているときに、添付ファイルを見ることができます。

ファイルを添付して送信する

- 1** 新規作成画面で、 にタッチします。



- 2** 添付ファイル追加画面で「追加」にタッチします。

- 3** 添付ファイル選択画面で、「本体ディスク」などにタッチしてフォルダを表示し、添付したいファイルを探します。

- 4** 目的のファイルを選択し、添付ファイル選択画面の下にあるファイル名の欄にそのファイル名が表示されたことを確認して、「ファイルを添付」にタッチします。

「添付ファイル追加」画面に戻り、手順**4**で選んだファイルが表示されます。

添付ファイルを取り除くときは、ファイルを選択して「削除」にタッチします。

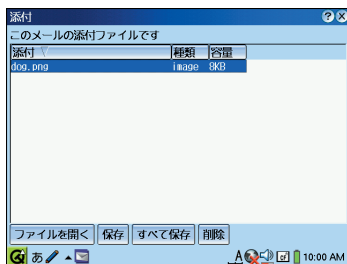
- 5** 「OK」キーを押します。

新規作成画面に戻ります。



添付ファイルを見る(受信)

- 1 ファイルが添付されているメールの詳細画面を表示します。
受信箱画面で  がついているメールに、ファイルが添付されています。
- 2  にタッチします。
添付画面が表示されます。



- 3 見たいファイルを選択します。
- 4 **ファイルを開く** または **保存して開く** にタッチします。
 - ・ **ファイルを開く** にタッチしたときは、ファイルの内容が表示されます。
 - ・ **保存して開く** にタッチしたときは、「名前を付けて保存」画面が表示されます。
保存先を指定し、ファイル名を入力して **(OK)** キーを押します。確認画面で **(OK)** キーを押します。
- 5 **(Cancel)** キーを押すと、添付画面に戻ります。
- 6 添付画面で **(Cancel)** キーを押してメールの詳細画面に戻ります。



- 添付ファイル付きのメールを受信したとき、添付ファイルは「Attachment_Files」フォルダに保存されます。
- ボタン名称 **ファイルを開く** と **保存して開く** は、**オプション** メニューの **設定** を選んで表示される設定画面で、「添付ファイル一覧画面からファイルを直接開く」にチェックがついているかどうかで変わります。チェックがついているときは **ファイルを開く**、ついていないときは **保存して開く** が表示されます。
- ファイル名の太文字／小文字は区別されません。
このため、「ABC.txt」と「aBC.txt」のように、太文字／小文字が異なるだけの複数のファイルが1件のメールに添付されて送られてくると、受信して保存した時に「abc.txt」として扱われて、これらの添付ファイルが同じ内容になります。
- 手順4の **保存して開く** で保存先を指定するとき、「My Zaurus」フォルダ上にはファイルを保存することはできません。「本体ディスク」または「SDカード」、「CFカード」を開いた中にファイルを保存してください。

添付ファイルを保存する(受信)

- 1 ファイルが添付されているメールの詳細画面を表示します。
- 2  にタッチします。
添付画面が表示されます。
- 3 保存したいファイルを選択します。
- 4 **保存** にタッチします。
- 5 「名前を付けて保存」画面で、保存先を指定し、さらにファイルの名前を入力します。
メモリーカードを装着しているときは、メモリーカードのフォルダを選択することもできます。
- 6 **保存** にタッチします。
手順3で選択したファイルが保存されます。



- 手順4で、**すべて保存**を選んだ場合、ファイル名の変更はできません。
- 手順5で保存先を指定するとき、「My Zaurus」フォルダ上にはファイルを保存することはできません。「本体ディスク」または「SDカード」、「CFカード」を開いた中にファイルを保存してください。



メール

メールを修正する

- 1 送信箱画面のリスト画面で修正したいメールを選択します。
- 2  にタッチします。
- 3 修正が終わったら**OK**キーを押します。



- **(Fn)**キーを押しながら**(M)**キーを押しても修正の画面が表示されます。

メールを削除する

- 1 受信箱や送信箱などのリスト画面で削除するメールを選び、 にタッチします。
確認画面が表示されます。
- 2 削除する範囲を選択し、**はい** にタッチします。



- 詳細画面で  にタッチしても削除できます。
- **(Fn)**キーを押しながら**(BS)**キーを押しても削除できます。
- メニューを表示して範囲指定して削除することもできます。

メールをまとめて削除(ごみ箱に移動)する

- 1 受信箱画面などで**オプション**メニューの**複数選択モード**を選択します。
- 2 削除したいメールにタッチして複数選択します。
- 3  にタッチし、確認画面で**選択されたメール**になっていることを確認して、**はい**を選択します。
くわしくは『アプリケーションマニュアル.pdf』「メール」の「メールをまとめて削除(ごみ箱に移動)する」をご覧ください。



メール

複数のアカウントを登録する／修正する

この製品では、複数のメールアカウント(最大40件)を登録して、アカウントごとにメールを整理することができます。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」の章をご覧ください。

アカウントを登録する

- 1 設定アシストなどを使って、複数のアカウントを作成します。
- 2 “メール”アプリケーションを起動します。
アカウントごとの受信箱や送信箱などが表示されます。

 にすると、アカウントのみ表示。

 にすると、アカウント内のフォルダを表示。



各アカウントごとの、送信箱などのメールを表示。

アカウントを修正する

- 1 受信箱画面などで、**メール**メニューの**アカウント**を選択します。
- 2 アカウント設定画面で、修正するアカウントを選択して**編集**にタッチします。
- 3 **送信**タブと**受信**タブのそれぞれに入力している情報を表示します。
- 4 修正が終わったら**OK**キーを押します。

アカウントを削除する

- 1 受信箱画面などで、**メール**メニューの**アカウント**を選択します。
- 2 アカウント設定画面で、削除するアカウントを選択して**削除**にタッチします。
確認画面が表示されます。
- 3 **はい**を選択します。



メール

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メール」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 返信する・転送する
- メールを選択受信する
- メールからアドレス帳にメールアドレスを登録する
- 新しくフォルダを作って、メールを移動する
- 表示を変える
- 各種設定を変更する
- メールを分類する
- メールを検索して絞り込む
- アカウントを登録する／修正する
- 添付ファイルを見る／整理する
- メニュー一覧



Webブラウザ (NetFront®)

Webブラウザ(NetFront v3.1)でインターネットを楽しむことができます。

本書では、Webブラウザ(NetFront v3.1)の主な使いかたについてだけ説明します。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「Webブラウザ(NetFront)」の章をご覧ください。



- NetFront v3.1による表示は、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。これらについてくわしくは123ページをご覧ください。

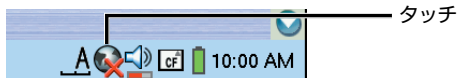


Webブラウザ(NetFront)

ホームページを見る

アドレス(URL)を指定してホームページを見る

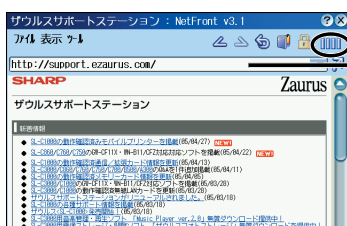
- 1 電源を切り、カードスロットに通信カードを取り付けます。
取り付けるとき、奥までしっかりと取り付けます。
- 2 電源を入れ、タスクバーの  にタッチします。



(自動接続の設定(106ページ)にしておく)と自動的にインターネット接続されます。

- 3 アプリケーションホーム画面で、 “インターネット NetFront v3.1”を選択し、**(OK)**キーを押します。
Webブラウザが起動します。

- 4 ロケーションバーにタッチします。



データの受信中には、バーが波打ちます。

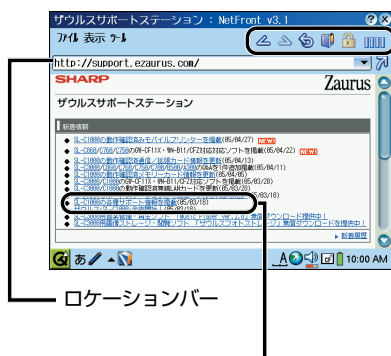


ロケーションバー
ロケーションバーにURLを入力します。

- ※ ホームページの内容は、随時更新されます。
- ※ 本書に掲載のホームページの画面は参考例であり、実際の内容とは異なります。

5 ロケーションバーにアドレス(URL)を半角英数字で入力し、にタッチします。

指定したホームページが表示されます。



文字やアイコンにタッチして別のページを開きます。
青色の文字(青色以外の場合もある)やアイコン、絵、写真などにタッチすると、それらにリンクされている新しいページが表示されます。

メニューバーのアイコンについて
接続中の画面で操作する機能がまとめられています。

(戻る)

前ページへもどります。

(進む)

次ページへ進みます。 (戻る)で前ページへ戻ったときに使えます。

(再読込)

表示中のページをサーバから読み込んで更新します。

(読込中止)

データの受信を中止します(読み込み中に表示されます)。

(ブックマーク)

ブックマーク一覧画面が表示されます。

(セキュリティ)

SSLで接続中であることを表示します。
SSLで接続中ににタッチすると、サーバ証明書を確認できます。

6 接続を切るときは、タスクバーの (無線LANの場合は)にタッチし、メニューの「接続を切る」にタッチします。

「ソフトウェアがネットワークを使用しています…」と表示されて接続が切れないときは、Webブラウザを終了してから接続を切ってください。



- Webブラウザ(NetFront v3.1)を起動するときや実行中は他のアプリケーションを実行しないことをおすすめします。ホームページを閲覧中にボイスレコーダーなどを使用すると、ボイスレコーダーなどが正しく動作しない場合があります。

お気に入りのホームページにブックマークをつける

1 お気に入りのホームページを開き、**ファイル**メニューの**ブックマーク保存**を選択します。

ブックマークの保存画面が表示されます。

2 必要に応じてタイトルを変更したり、保存先のフォルダを変更します。

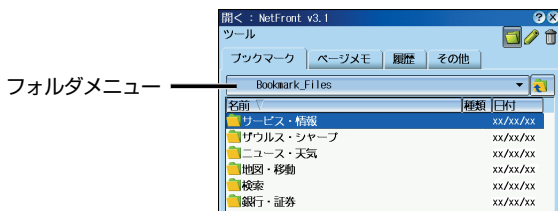
3 **OK**キーを押します。

ホームページにブックマークがつきます。



ブックマークからホームページを見る

- 1** インターネットに接続し、画面右上の  にタッチします。



- 2** ブックマークが入っているフォルダを選択し、見たいホームページのタイトルにタッチします。
ホームページが表示されます。



- ご購入時、ブックマークの一覧画面には、ブックマーク集があらかじめ入っています。ご活用ください。

ホームページを保存してオフラインで見る

- 1** インターネットに接続し、保存するホームページを開きます。
- 2** **ファイル** メニューの **ページメモ保存** を選択します。
ページメモを保存するための画面が表示されます。
- 3** タイトルや保存先のフォルダを設定し、**(OK)** キーを押します。
表示中のホームページが保存されます。
- 4** タスクバーの  (または ) にタッチし、メニューの **接続を切る** にタッチします。
- 5** **ファイル** メニューの **ページメモ** を選択します。
ページメモの一覧画面が表示されます。
- 6** フォルダメニューで見たいページメモが入っているフォルダを選択し、さらにホームページのタイトルを選んで **(OK)** キーを押します。
「読み込み中」と表示したあと、保存したホームページが表示されます。



画像ファイルをダウンロードする

- 1 インターネットに接続し、ホームページを開きます。
- 2 画像部分にしばらくタッチし、メニューの「画像を保存する」にタッチします。



画像を保存するための画面が表示されます。

- 3 名前や保存先のフォルダを設定し、「保存」にタッチします。
画像ファイルが保存されます。

保存した画像を確認するには

- 1 「ファイル」メニューの「その他」を選択します。
- 2 フォルダメニューで見た画像が入っているフォルダを選択し、「種類」でJPEGやGIF、PNGなどの画像ファイルを指定して、見た画像のタイトルにタッチします。
保存した画像が表示されます。



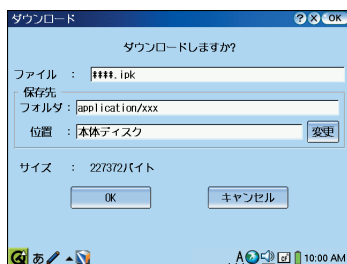
- 画像は、“イメージノート”からも見ることができます。



ホームページからソフトをダウンロードする

ezaurus.com(URL <http://ezaurus.com/>)やSharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)などから、好みのソフトウェア/データをダウンロードしてインストールできます。

- 1 インターネットに接続し、ホームページで好みのソフトウェアを探します。
- 2 ソフトウェアのダウンロードにリンクしている文字列やアイコンにタッチします。
ダウンロードの確認画面が表示されます。
- 3 **変更** にタッチし、保存先のフォルダを選択し、**OK** キーを押します。



ダウンロードが始まります。

ダウンロードが終わると、「ダウンロードが完了しました。」と表示されます。

- 4 **OK** キーを押します。
- 5 タスクバーの  (または ) にタッチし、メニューの **接続を切る** にタッチします。
- 6 ダウンロードしたソフトウェアを“ソフトウェアの追加/削除”でザウルス本体にインストールします (200ページ)。



Web icon (NetFront)

ホームページを表示するときの制限について

- NetFront v3.1による表示は、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、文字のフォント・サイズ、画像や音声データの扱いなどについて、次のような一部異なる部分や制限があります。
 - ・ NetFront v3.1はHTML4.01に準拠しています(ただし、プラグインアプリケーションなど、一部の機能が動作しません)。そのため、一部の表示が見えなかったり、表示が乱れたりすることがあります。
 - ・ NetFront v3.1が持つJavaScript 機能は、JavaScript 1.5の一部の仕様に対応しておりません。そのため、スクリプトが最後まで動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたりすることがあります。
 - ・ Java には対応していません(JavaScript にのみ対応)。
 - ・ 動画を表示させることはできません。
 - ・ 音声を再生することはできません。
 - ・ 一部の画像(サイズが大きすぎるものなど)は、正しく表示できないことがあります。
 - ・ 大きな表のデータを受信したときには、正しく表示できません。
 - ・ パソコン用のソフトウェアをダウンロードしても使用できません。
 - ・ ザウルスが持っている文字コード以外の文字が送られてきた場合、正しく表示されません。
 - ・ ザウルスが持っている文字のフォントサイズの種類が少ないため、HTMLソースで指定されたフォントサイズの区分どおりに表示されない場合があります。
- インターネットのホームページに表示される文章や画像、音声などは一般に著作権法で保護されています。それらのデータを取り込んで利用する際、自分で楽しむ以外に、著作者の許可なくそれらの内容の一部あるいは全部を配布/販売したり、自分の作品などに掲載して発表したりすることはできません。



もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「Webブラウザ (NetFront)」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 複数のホームページを、タブを切り替えて見る
- 画像ファイルなどをアップロードする
- 表示モードを切り替える
- オートクルーズで、自動的にホームページを取り込む
- 使いやすいように設定を変更する
- ホームページを検索する
- メニュー一覧



ザウルスショットを使う

パソコンの画面表示をキャプチャーしてこの製品に読み込んだり、パソコンで作成したテキストの一部をこの製品に読み込んだりできます。

読み込んだ画像やテキストは、この製品で編集したり、HancorMobileWordに貼り込んだりできます。

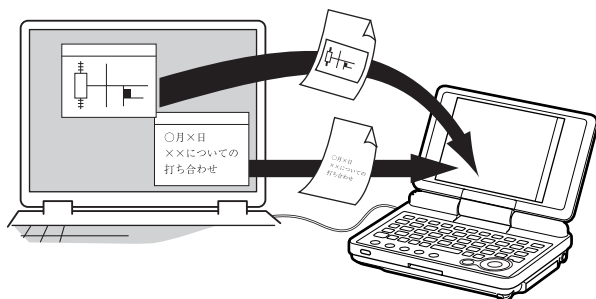
たとえば、次のようなことができます。

- パソコンに地図などを表示させ、必要な部分だけやアクティブウィンドウを読み込んで、外出先で確認できます。
 - ・ アクティブウィンドウを読み込む(※次ページ)
 - ・ 必要な部分だけを読み込む(※127ページ)
 - ・ 印刷するときのイメージでページ単位で読み込む(※128ページ)
- ワープロ文書などから、必要な部分(テキスト)だけ読み込んで持ち運べます(※『ザウルスショット取説.pdf』)。



ザウルスショットを使う

ここでは、ザウルスショットの基本的な使い方を説明しています。くわしくは付属のインストールCD-ROMに収録されている『ザウルスショット取説.pdf』をご覧ください。



ザウルスショットを使うには、パソコン用ソフトウェア「ザウルスショット」をインストールする必要があります。まだ、インストールされていない方は、『はじめにお読みください』をご覧くださいになりインストールしてください。



- ザウルスショットは、常駐ソフトです。パソコンを立ち上げると、自動的にザウルスショットが起動しタスクバーに  アイコンが表示されます。パソコン立ち上げ時にザウルスショットの起動を止め、タスクバーにアイコンを表示しないように設定を変更することができます。この設定の変更は、環境設定画面で行います。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『ザウルスショット取説.pdf』をご覧ください。また、ザウルスショットが起動していないとき、起動する方法は、129ページの一番下のメモをご覧ください。
- この製品のザウルスショットは、SL-A300には対応していません。

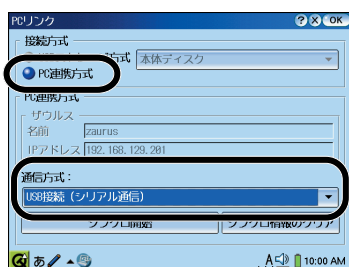
ウィンドウ全体をキャプチャーして読み込む

パソコンの最前面のアクティブなウィンドウをキャプチャーしてザウルスに読み込みます。

読み込んだ画像は、JPEGファイル(またはBMPファイル)になります。

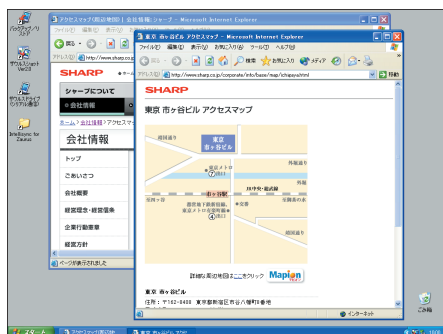
パソコンと接続する前に

ザウルスのPCリンク画面(『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「PCリンク」)を表示し、画面上段の「接続方式」が「PC連携方式」、画面下段の「通信方式」は、別冊『はじめにお読みください』29ページの手順7で選択した方法を選びます。



- 1 パソコンのタスクバーに  が表示されていることを確認します。
- 2 ザウルスの電源を切ります。
- 3 パソコンにザウルスを接続します。
接続の方法は90ページをご覧ください。
- 4 ザウルスの電源を入れ、しばらく(約10～15秒)待ちます。
- 5 読み込むウィンドウをクリックしてアクティブな状態にします。

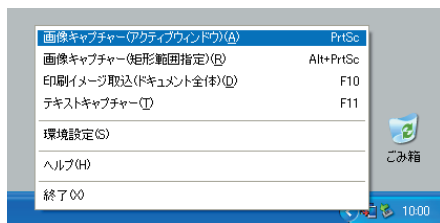
ザウルスショットを使う



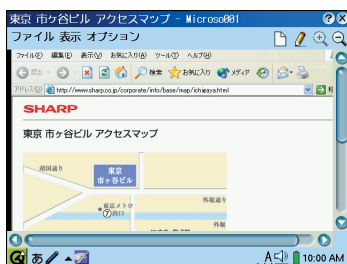
- 6 パソコンのキーボードの【PrtSc】を押します。
手順5でアクティブにしている画面が、自動的にザウルスに転送されます。



- 手順6で、代わりにタスクバーのを右クリックし、メニューの「画像キャプチャー(アクティブウィンドウ)」をクリックしても同じはたらきをします。



7 しばらくすると、ザウルスのイメージノートが自動的に起動し、キャプチャーした画像を表示します。



キャプチャーした画像は1つのファイルとなり、ファイルホーム画面の「Image_Files」フォルダの中に入ります。

この画像はイメージノートで加筆(修正)できます(1024×768ドットを超えるサイズの画像は、加筆(修正)できません)。

8 パソコンからこの製品を取り外します。

取り外しについては、92ページをご覧ください。



- ザウルスショット使用中は、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルを取り外さないでください。
また、ACアダプターは必ず接続してください。
- 【PrtSc】を画像キャプチャーなどに設定していると、Windows本来の【PrtSc】(Print Screen)キーでの画面キャプチャー機能は使えません。
Windows本来の【PrtSc】キーで画面キャプチャーを行うためには、ザウルスショットを終了するか、ザウルスショットの画像キャプチャーのキーを変更してください。キー変更は、環境設定画面(☞『ザウルスショット取説.pdf』)で行います。【F10】なども同様なことが起こりますので、必要に応じてキーを変更してください。
- ザウルスにシークレットを設定しているときは、パソコン側に暗証番号を入力してザウルスショットを使うことができます。くわしくは『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。

画面表示の一部をキャプチャーして読み込む

画面表示から必要な部分だけキャプチャーして読み込みます。

読み込んだ画像は、JPEGファイル(またはBMPファイル)になります。

1 キャプチャーしたい画面を表示します。

ここでは、シャープ(株)のホームページを開き、東京市ヶ谷ビルの地図を表示します。

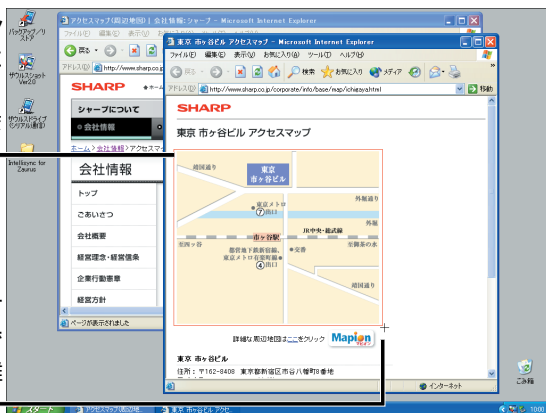
2 タスクバーのを右クリックし、メニューの「画像キャプチャー(矩形範囲指定)」をクリックします。

マウスポインタの形が十に切り替わります。

3 マウスをドラッグして読み込む範囲を指定します。

①マウスポインタをここに
移し、クリックしたまま
にします

②ドラッグして
この位置で
ボタンを離
します



ザウルスショットを使う

指定した範囲がキャプチャーされ、自動的にザウルスに転送されます。

4 しばらくして、ザウルスのイメージノートが自動的に起動し、キャプチャーした画像を表示します。

5 パソコンからこの製品を取り外します。

取り外しについては、92ページをご覧ください。



- ザウルスショットは、画像だけでなくテキストの一部をキャプチャーしてテキストファイルとしてザウルスに読み込むこともできます。

- ①ワープロソフトなどを起動し、読み込むテキストを表示します。
- ②マウスをドラッグして読み込む範囲を指定(文章を反転)します。
- ③タスクバーのを右クリックし、メニューの「テキストキャプチャー」をクリックします。テキストデータが転送されます。
- ④しばらくすると、ザウルスのメモ帳(「Text」タブ)が自動的に起動し、キャプチャーしたテキストを表示します。

印刷イメージでキャプチャーして読み込む

パソコンの各種アプリケーションソフトウェアなどを印刷するときのようなイメージでキャプチャーして、ザウルスに取り込みます。

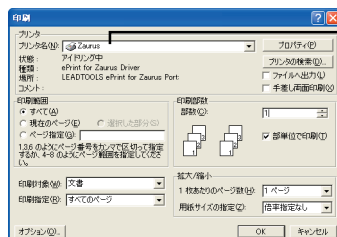
たとえば、パソコン上でワープロソフトを起動し文章ファイルを表示しているときにこの機能を使うと、文章ファイルの各ページがそれぞれ1つの画像ファイル（JPEG形式）としてザウルスに取り込まれます（ザウルスでは、文章のページ数分だけの画像ファイルができます）。

ウィンドウ全体のキャプチャー（※125ページ）では、画面に見えている部分だけを画像ファイルとして取り込みますが、この機能は印刷の設定にしたがって印刷時の1ページを、1ファイル（画像ファイル）として取り込みます。読み込んだ画像ファイルは、JPEGファイルになります。

- 1 キャプチャーしたいアプリケーションを表示します。
- 2 パソコンのキーボードの[F10]を押します。
- 3 印刷画面などで、プリンタ名が「Zaurus」であることを確認します。
「Zaurus」が選ばれていないときは、「Zaurus」を選択します。



ザウルスショットを使う



プリンタ名

※印刷の画面はアプリケーションやWindowsのバージョン（XPやMeなど）によって異なります。

- 4 [OK]をクリックします。
- 5 印刷時と同じようなページ単位で画像ファイルが作られ、自動的にザウルスに転送されます。
キャプチャーした画像は1ページ単位で1つの画像ファイルとなり「Image_Files」フォルダの中に入ります。
複数のページにわたる場合は、（ご購入時の設定として）自動的に「Image_Files」フォルダの中にフォルダが作られて、各画像ファイルはそのフォルダに入ります。

- 6 パソコンからこの製品を取り外します。
取り外しについては、92ページをご覧ください。



- 手順2で、タスクバーの  を右クリックし、メニューの「印刷イメージ取込（ドキュメント全体）」をクリックしても同じ働きをします。
- ページの設定は、手順3の印刷画面の「プロパティ」などをクリックして表示される用紙サイズにしたがいます。
- 詳細の設定は、環境設定画面で変更することができます。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『ザウルスショット取説.pdf』をご覧ください。

ザウルスショットを終了する

- 1 タスクバーの  を右クリックし、メニューの「終了」をクリックします。
ザウルスショットが終了しタスクバーから  が消えます。



- もう一度ザウルスショットを起動するには
[スタート]をクリックし、[(すべての)プログラム]－[Sharp Zaurus 2]－[ザウルスショット]－[ザウルスショット]をクリックします。
ザウルスショットが起動し、タスクバーに  が表示されます。



ザウルスショットで、印刷ドキュメントをJPEG画像に出力する機能は、グレープシティ株式会社が販売する「LEADTOOLS ePrint」の技術を利用して実現されています。「LEADTOOLS ePrint」の製品版は、JPEG画像出力以外にも豊富な機能が搭載されています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

「LEADTOOLS ePrint」の製品版

ホームページ：<http://www.grapecity.com/japan/LEADTOOLS/eprint/>

LEADTOOLS ePrint

開発元：LEAD Technologies, Inc.

ホームページ：<http://www.leadtools.com/>

日本語版開発：グレープシティ株式会社

ホームページ：<http://www.grapecity.com/japan/>





ザウルスドライブ機能を使う

この製品は、パソコン上でザウルスのディスクやメモリーをパソコンの外部ディスクやメモリーのように扱える「ザウルスドライブ機能」を搭載しています。

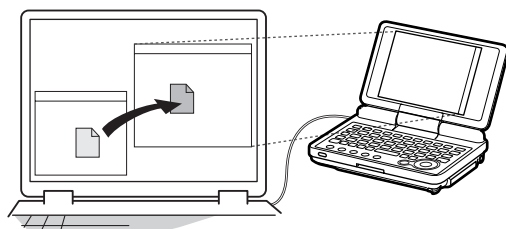
ザウルスドライブ機能には、接続方法の違いにより次の2つの方法があります。

- **パソコン用ソフトウェアを使わずにデータをやりとりする【USBストレージ方式】** (☞次ページ)
- **パソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”を使う【PC連携方式】** (☞135ページ)

どちらの方式でも次のようなことができます。

- ・ パソコンのデスクトップに、ザウルスのディスクやメモリーが表示(マウント)されるので、ファイルのコピーがマウス操作(ドラッグ&ドロップなど)で簡単に行えます。

たとえば、パソコンで作成したMicrosoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルをザウルスに読み込んだり、ザウルスで編集したHancorMobileWordやHancorMobileSheetなどのファイルをパソコンにコピーして活用できます。



- サイズが大きいファイルなどをコピーする場合、PC連携方式(シリアル通信)ではお使いのパソコンの環境によってコピーできないことがあります。サイズが大きいファイルをコピーする場合などは、USBストレージ方式を使われることをおすすめします。



- 接続方法(PCリンク画面の接続方式)を変更するときは、いったんパソコンからザウルスを取り外してから変更してください。

“ザウルスドライブ(USBストレージ方式)”を使う

パソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”をインストールすることなく、ザウルスの本体ディスクや装着したメモリーカード(SDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカード)のデータをやりとりできます(パソコンとザウルスを接続すると必要な標準のドライバーが自動的にインストールされ、ザウルスドライブ機能を使うことができます)。



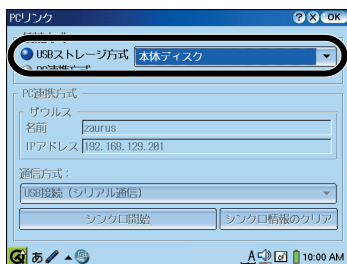
- 使用できるパソコンの対応OSは、以下のOSのみです。
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition/Professional 日本語版
 - ・ Microsoft Windows Me 日本語版
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
- メモリーカードのデータをやりとりするときは、購入時のままご使用になるか、FAT形式 (Windowsのフォーマット) でフォーマットされたものをご使用ください。
動作確認ができている市販のメモリーカードについては、ザウルスサポートステーション (URL <http://support.ezaurus.com/>) でご確認ください。
- ザウルスドライブ使用中は、ザウルスを操作したり、電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。またACアダプターを接続してご使用ください。

1 設定ホーム画面で “PCリンク”を選択し、**(OK)** キーを押します。

2 接続方式で「USBストレージ方式」を選択し、その右欄で**本体ディスク**などを選択し、**(OK)** キーを押します。

SDメモリーカードまたは、**CFメモリーカード**を選択する場合は、使用するメモリーカードを装着します。

メモリーカードの装着方法は、86ページをご覧ください。



3 パソコンとザウルスを接続します。

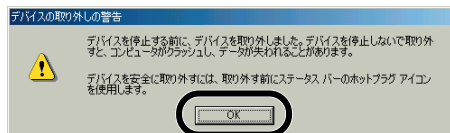
接続の方法は、90ページをご覧ください。

4 ザウルスの電源を入れます。



ザウルスドライブ機能を使う

- 5** ザウルス側に確認画面が表示されたときは、**はい**にタッチします。
Windows 2000 Professional/Meではパソコン側にエラーメッセージが表示されますが、[OK]をクリックします。



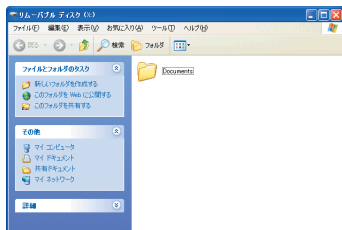
(Windows Me の画面)



- はじめてザウルスドライブドライブ(USBストレージ方式)を使ったときは、確認画面が表示されます。この画面で、「次からはこの画面を表示しない」にチェックをつけて**はい**にタッチすると、次の接続からは確認画面は表示されません。

- 6** Windows XPパソコンで、ディスクなどの内容をどう扱うかを指定するウィンドウが表示されたときには、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して[OK]をクリックします。

ザウルスの本体ディスクまたは装着したメモリーカードの内容が表示されます。



そのウィンドウが表示されなかった場合には、パソコンの「マイコンピュータ」ウィンドウ内の  (リムーバブルディスク) (注) をダブルクリックします。

ザウルスの本体ディスクまたは装着したメモリーカードの内容が表示されます。

「マイコンピュータ」ウィンドウを表示するには

Windows XPの場合 : [スタート]ボタン→[マイコンピュータ]をクリックします。

Windows 2000/Meの場合 : デスクトップ上の  (マイコンピュータ) をダブルクリックします。

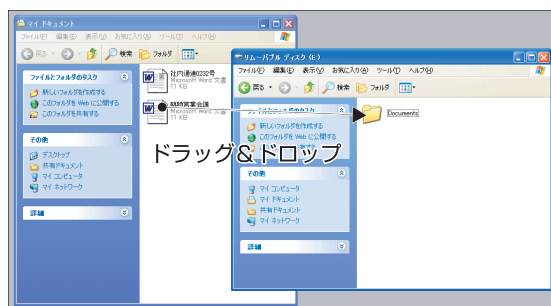
(注) このアイコンの形状はOSによって異なります。また、アイコンの名称としては「リムーバブルディスク」またはボリュームラベルに書き込まれた名称が表示されます。

7 コピーするファイルを表示します。

- ・ パソコン上のファイルをザウルスにコピーするときは、パソコンのフォルダを開いていきファイルを画面面上に表示します。
- ・ ザウルス上のファイルをパソコンにコピーするときは、手順6で表示したザウルスの「Documents」フォルダを開いていき、ファイルを表示します。

8 マウス操作で、ファイルをコピーします。

この画面例は、パソコン上のファイルをザウルスにコピー（ドラッグ&ドロップ）しています。

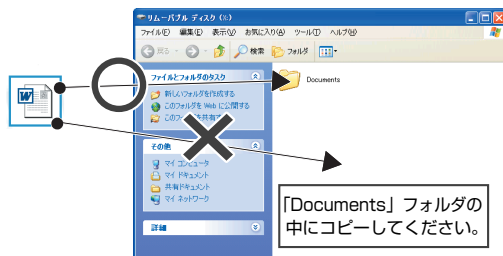


パソコン上のファイルがザウルスにコピーされます。



- ファイルをコピーするときは、「Documents」フォルダの中にコピーしてください（「Documents」フォルダの外にコピーしても、ザウルスで見えることはできません）。

手順2でCFメモリーカードやSDメモリーカードを選択したときは、「Documents」フォルダの外にコピーすることもできます。



- ザウルスに対応していないファイルは、パソコンからザウルスに移動しても、ザウルスで表示させたり修正したりできません。
- ASF、MP3ファイルなどを移動して、Movie Player、Music Playerで再生できます。

次ページへつづく



ザウルスドライブ機能を使う



- ipk(追加ソフトウェア)ファイルは、ザウルのInstall_Filesフォルダにコピーしたあと「ソフトウェアの追加/削除」でインストールすることができます(※200ページ)。
- ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンからザウルスへコピーしたファイルは、カレンダーにリンクされます。リンクされる日はファイルの更新日時(パソコン上で確認できます)です。
- パソコンからザウルスへ容量の大きなファイルをコピーすると、しばらくの間パソコンが無反応状態(または、“コピー中です”の表示状態)になることがあります。USBケーブルを抜いたり、電源を切ったりせずそのままお待ちください。

9 ウィンドウ右上の をクリックしてウィンドウを閉じたあと、パソコンからザウルスを取り外します。

取り外しについては、92ページをご覧ください。



- ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンと接続している間はザウルス側のデータを見ることができません。
- ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンとザウルスを接続しているときはオートパワーオフしません。
- ザウルスドライブ(USBストレージ方式)使用中は、ザウルスの電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。これらのことを行くと、ザウルスのデータが壊れることがあります。また、ACアダプターは必ず接続してください。



ザウルスドライブ機能を使う

パソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”を使う

パソコンにパソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”をインストールして、ザウルスとパソコン間でデータのやりとりを行います。

パソコン用ソフトウェア“ザウルスドライブ”を使うときは、『はじめにお読みください』をご覧くださいになりパソコンにインストールしてください。

この“ザウルスドライブ”には「ザウルスドライブ（シリアル通信）」と「ザウルスドライブ（ネットワーク）」があり、基本的な機能や操作は同じです。「ザウルスドライブ（ネットワーク）」はネットワークの知識が必要ですので、インストール時は「ザウルスドライブ（シリアル通信）」をおすすめします。

機能の違いについては付属のインストールCD-ROMに収録されている『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。

ここでは、ザウルスドライブの基本的な使い方を説明しています。くわしくは付属のインストールCD-ROMに収録されている『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。



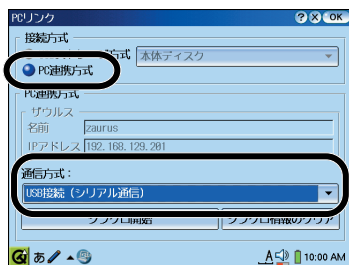
- この製品のザウルスドライブ（シリアル通信）とザウルスドライブ（ネットワーク）は、SL-A300には対応していません。

ザウルスのディスクやメモリーをパソコン上で表示する



- 1 PCリンク画面の接続方式で「PC連携方式」が選択されていることを確認します。

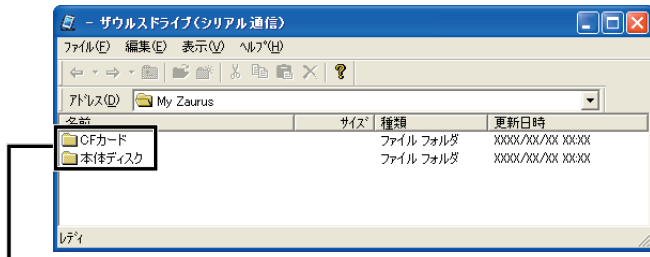
ザウルスのPCリンク画面（※『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「PCリンク」）を表示し、画面上段の「接続方式」が「PC連携方式」、画面下段の「通信方式」は、別冊『はじめにお読みください』29ページの手順7で選択した方法を選びます。



- 2 ザウルスの電源を切ります。
- 3 パソコンとザウルスを接続します。
接続の方法は90ページをご覧ください。

4 ザウルスの電源を入れ、しばらく(約10～15秒)待ちます。

5 パソコンのデスクトップ上の  (ザウルスドライブ)をダブルクリックします。「ザウルスドライブ(シリアル通信)」ウィンドウが開き、この製品の本体ディスクなどがフォルダの形で表示されます(ザウルスドライブ(ネットワーク)の場合、ウィンドウのタイトルは「¥¥zaurus¥home」などと表示されます)。



フォルダが表示されます。「ザウルスドライブ(シリアル通信)」などのウィンドウが表示されないときは、下記のご注意をご覧ください。

「本体ディスク」フォルダ : 本体ディスクの内容が表示されます。

「本体ディスク」の中には、「Image_Files」、
「Text_Files」、「Install_Files」フォルダなどがあります。

「SDカード」フォルダ : SDメモリーカードの内容が表示されます。

「CFカード」フォルダ : コンパクトフラッシュメモリーカードの内容が表示されます。

※「SDカード」や「CFカード」フォルダは、ザウルスにメモリーカードを取り付けているときに表示されます。



● ザウルスドライブ(ネットワーク)の場合、「本体ディスク」、「SDカード」、「CFカード」のフォルダ名は「Internal_Disk」、「SD_Card」、「CF_Card」になります。

6 開きたいフォルダをダブルクリックします。

ザウルスにあるフォルダ(Image_Files、Text_Filesなど)が表示されます。

7 さらにフォルダをダブルクリックすると、その中のファイル(イメージノートやメモ帳で作ったファイルなど)が表示されます。



● 手順5を行い「ザウルスドライブ(シリアル通信)」ウィンドウが表示されないときは、ザウルスの電源を入れていない(手順4を行っていない)ことが考えられます。このときは、パソコンとザウルスの接続を外して約30秒待ってから、再度、手順2から行ってください。

それでも「本体ディスク」フォルダなどが表示されないときは、『困ったときは.pdf』の「パソコンと接続できない場合の確認事項」をご覧ください。



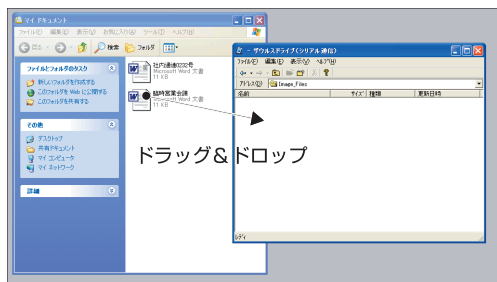
- フォルダを開くときは、 をダブルクリックします。
1つ上の階層にもどるときは、 または「表示」メニューの「1つ上の階層へ」をクリックします（ザウルスドライブ（ネットワーク）では、 または「表示」メニューの「移動」→「1つ上の階層へ」をクリックします）。
- ザウルスドライブ（シリアル通信）で、（ザウルスドライブ）のアイコンをダブルクリックして起動したときやファイルをザウルスにコピーするときは、ザウルスと通信を行っていることを示す画面が表示されます。
この画面の中央部は（行っている）状態を示し、上部と下部のバーは進行状況を示します。
起動時は、状態表示と画面下側のバーのみ進行状況を示します。
フォルダをコピーするときなどは、状態表示と上側のバーでコピー全体の状況を示します。

ファイルをコピーする

1 135～136ページの手順にしたがって本体ディスクのフォルダを表示します。

2 マウス操作で、ファイルをコピーします。

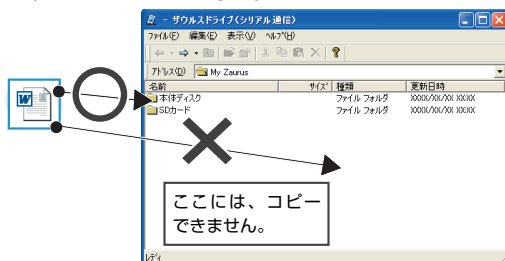
パソコンに保存しているファイルをザウルスのフォルダにドラッグ＆ドロップします。



パソコン上のファイルがザウルスにコピーされます。



- 「My Zaurus」フォルダ（接続直後に画面に表示）内でファイルをコピーするときは、「本体ディスク」フォルダまたは「SDカード」、「CFカード」フォルダの中にコピーしてください。



ザウルスドライブ機能を使う



- ザウルスに対応していないファイルは、パソコンからザウルスに移動しても、ザウルスで表示させたり修正したりできません。
- ASF、MP3ファイルなどを移動して、Movie Player、Music Playerで再生できます。
- ipk(追加ソフトウェア)ファイルは、ザウルスのInstall_Filesフォルダにコピーしたあと「ソフトウェアの追加/削除」でインストールすることができます(200ページ)。

3 画面の右上の **X** をクリックして「ザウルスドライブ(シリアル通信)」フォルダ画面を閉じます。

4 パソコンからザウルスを取り外します。
取り外しについては、92ページをご覧ください。

5 ザウルスの電源を入れ、コピーしたファイルを開きます。
コピーしたファイルは、手順2でドラッグ&ドロップしたフォルダに入っています。
ザウルスのファイルホーム画面(56ページ)から、そのフォルダを開きファイルを見つけます。

- ・ Wordファイル(DOC)はHancomMobileWordで開きます。
- ・ テキストファイル(TXT)はHancomMobileWordまたはメモ帳で開きます。
- ・ Excelファイル(XLS)はHancomMobileSheetで開きます。
- ・ 画像ファイル(JPG、GIF、BMP、PNG)はイメージノートで開きます。
- ・ 動画ファイル(ASF、MPEG-1)はMovie Playerで再生します。
- ・ 音楽ファイル(MP3、WMA)はMusic Playerで再生します。



- ザウルスドライブ使用中は、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。
また、ACアダプターは必ず接続してください。





パソコンにバックアップする(バックアップ/リストア)

バックアップ機能を使うと、本体に保存している次のデータをパソコンにバックアップできます。

● バックアップできるデータ

- ・ カレンダー
- ・ アドレス帳
- ・ ToDo
- ・ メモ帳(「Memo」タブ※1)
- ・ メール(本文)
- ・ データベース
- ・ 追加したソフトウェア
- ・ ネットワーク設定
- ・ ユーザー辞書
- ・ 各種設定内容

※1：メモ帳(「Text」タブ)のデータは、バックアップされません。

これ以外のデータ(以下)は、バックアップ機能ではパソコンにバックアップできません。

ザウルスドライブやUSBストレージ方式(☞131ページ)を使ってパソコンにコピーしてください。また、メモリーカードにコピーすることもできます。

- ・ メモ帳(「Text」タブ)
- ・ イメージノート
- ・ フォトストレージ
- ・ NetFront(ブックマーク)
- ・ プンコピューアで表示できるデータ
- ・ Music PlayerやMovie Playerで再生できるMP3やASFなどのファイル
- ・ HancomMobileSheetやHancomMobileWordで作ったデータ
- ・ コンテンツホーム画面に表示されるデータ(ファイル)
- ・ 受信メールに添付された画像ファイルやExcelファイルなど(受信メールに添付されているファイルの保存先を変更(※2)すると、バックアップされます。)
- ・ ボイスレコーダーで録音した音声データ
- ・ 広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典、翻訳これ一本英日／日英辞書データ(※3)
- ・ Text To Speechで保存したWAVファイルやTextファイル
- ・ 乗換案内で使う時刻表データ

など

※2：くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の2-97ページをご覧ください。

※3：広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典、翻訳これ一本英日／日英辞書データは、付属のインストールCD-ROMとデータCD-ROMからダウンロードできます(☞242ページ)。

パソコンにバックアップしたりリストアするには、パソコン用ソフトウェア「バックアップ／リストア」をインストールする必要があります。

まだ、インストールされていない方は、『はじめにお読みください』をご覧ください。再インストールしてください。

ここでは、バックアップ／リストアの基本的な使い方を説明しています。くわしくは付属のCD-ROMに収録されている『バックアップ-リストア取説.pdf』をご覧ください。



パソコンにバックアップする



- 乗換案内で使う時刻表データは、ハードディスク側に入っています。バックアップしたのちリストアしても、ハードディスク側の時刻表データをパソコンなどにコピーしておき、そのデータをザウルスに戻さないと乗換案内は使えません。

ハードディスクの時刻表データがない場合、いったん乗換案内をアンインストール(※203ページ)したのち、付属のインストールCD-ROMに収録されている乗換案内のipkソフトウェアをインストールすると、時刻表データがハードディスクにインストールされ使えるようになります。

- バックアップやリストアを行う前は、ザウルスのアプリケーションなどはすべて終了しておいてください。
- バックアップ/リストア中は、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルを取り外さないでください。
- バックアップ/リストアを行うときは、ACアダプターを必ず接続してください。



- この製品のバックアップ/リストアは、SL-A300には対応していません。

バックアップする

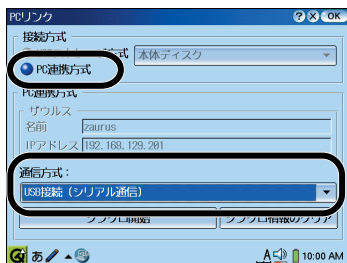
本体に登録しているデータをパソコンにバックアップします。

パソコンと接続する前に

ザウルスのPCリンク画面(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「PCリンク」)を表示し、画面上段の「接続方式」が「PC連携方式」、画面下段の「通信方式」は、別冊『はじめにお読みください』29ページの手順7で選択した方法を選びます。

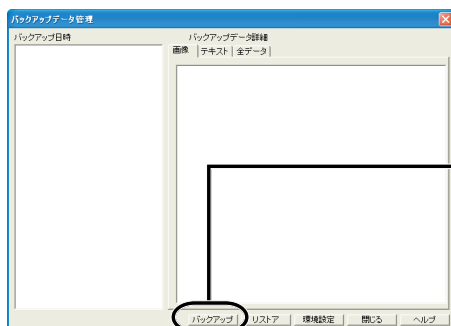


パソコンにバックアップする



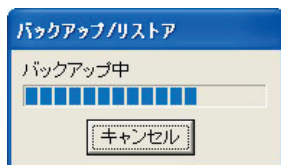
- 1 ザウルスの電源を切ります。
- 2 パソコンにザウルスを接続します。
接続の方法は90ページをご覧ください。
- 3 ザウルスの電源を入れ、しばらく(約10～15秒)待ちます。
- 4 パソコンのデスクトップ上の  (バックアップ/リストア)をダブルクリックします。

5 バックアップデータ管理画面で[バックアップ]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックします。



[バックアップ]
をクリックしま
す。

しばらくして、「バックアップ中」画面が表示され、ザウルスのデータがパソコンにバックアップされます。



6 バックアップが終了すると、この画面が消えます。

バックアップしたデータは、環境設定画面で、「保存先ディレクトリ」に保存されます。

また、バックアップしたデータは、バックアップデータ管理画面に「(機種名) 年月日時分秒」で表示されます(たとえば、「(SL-C3200)2006年11月30日15時35分1秒」)。

途中でバックアップをやめるには

[キャンセル]をクリックします。



- バックアップしたデータは、削除しないでください。リストア(※次ページ)できなくなります。
- バックアップしたデータをリストア(※次ページ)するとき、他の機種にはリストアできません。
たとえば、SL-C3200のデータをバックアップして、そのデータをこの製品以外の機種にリストアすることはできません。
- プログラムエリアの空きが約2MB以下の状態では、バックアップできないことがあります。
バックアップできないときは、必要でないソフトウェアをアンインストールするなどして容量を空けてからバックアップしてください。
- バックアップをするときは、ザウルスのアプリケーションをすべて終了させてください。



パソコンにバックアップする

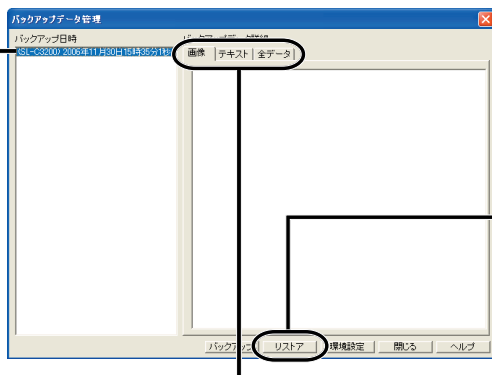


- ザウルスにシークレットを設定しているときは、ザウルス通信マネージャーの暗証番号設定をすると自動的にザウルスのシークレットを解除して通信を行います。くわしくは『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。

リストアする

- 1 140ページの手順1～4と同様にして「バックアップデータ管理」画面を表示します。
- 2 バックアップデータ管理画面で、リストアするバックアップデータ(年月日時分秒)をクリックして選択し、[リストア]をクリックします。

バックアップしたデータが、それぞれ、(機種名)年月日時分秒で表示されます。



[リストア]をクリックすると、リストアが始まります。

SL-C3200/SL-C3100/SL-C3000以外(SL-C860など)のザウルスからバックアップしたデータの場合、画像タブには「Image_Files」フォルダ、テキストタブには「Text_Files」フォルダに入っていたデータのリストが表示されます。
全データタブは、バックアップした全データのリストです。

- 3 表示された画面で、[はい]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックすると、リストアの前にバックアップを行います。そして、バックアップ完了後、リストアを行います。
[いいえ]をクリックすると、リストアを行います。



パソコンにバックアップする

4 選択したバックアップデータがザウルスにリストアされます。

「リストア中」画面が表示されリストアされます。

リストアが終了すると「リストア中」画面が消えます。またザウルス側は日付／時刻設定画面の後、ホーム画面が表示されます(日付／時刻設定画面が表示されるまでザウルスを操作しないでください)。

環境設定については付属のインストールCD-ROMに収録されている『バックアップ-リストア取説.pdf』をご覧ください。



パソコンにバックアップする



カレンダー

スケジュール管理を行います。

- ・ 月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面でスケジュールを多角的に見ることができます。
- ・ 大切なスケジュールを忘れないように、スケジュールの開始時間前にアラームを鳴らすことができます。
- ・ 毎週や毎月など決まった間隔で入るスケジュールは、繰り返しスケジュールとして簡単に入れることができます。
- ・ パソコンから取り込んだ他のアプリケーションのファイル(画像ファイルなど)を、カレンダーのリンクしている日から手軽に表示することができます。

本書では、カレンダーの主な使いかたについてだけ説明しています。

くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章をご覧ください。



● 国民の祝日について

この製品には、2006年現在の国民の祝日などがあらかじめ登録されています(「春分の日」「秋分の日」は2007年まで登録されています)。日付は赤色で表示されています。



- “カレンダー”を正しく利用するために、“時計”を正しく合わせておいてください(※205ページ)。

スケジュールを入れる(新規作成)

大切なスケジュールを忘れないように、スケジュールの開始時間前にアラームを鳴らすことができます。

毎週や毎月など決まった間隔で入るスケジュールや、誕生日など毎年決まった日にくる記念日は、繰り返しスケジュールとして簡単に入れることができます。

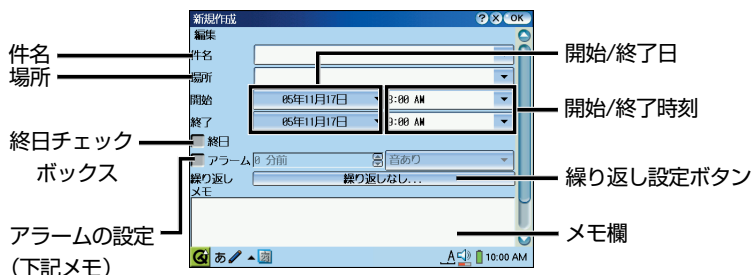
スケジュールを入れる

- 1 アプリケーションホーム画面で、 “カレンダー”を選択し(OK)キーを押します。

2 データメニューの「新規作成」を選択します。

新規作成画面が表示されます。

 にタッチして、新規作成画面を表示することもできます。



3 各項目を入力します。

件名、場所、開始/終了日、時刻などを入力します。

- ・ 件名、場所 : 直接入力するか、▼にタッチして選びます。
- ・ 開始/終了日 : タッチしてミニカレンダーから選びます。
- ・ 開始/終了時刻 : 直接入力するか、▼にタッチして選びます。
- ・ 終日 : 終日スケジュールにすると、チェックをつけます。

4 入力が終わったら、(OK)キーを押して登録します。

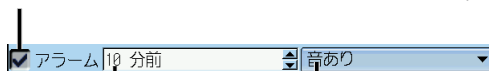


- 1970年1月1日 (GMT) から2037年12月31日 (GMT) までの任意の日に入力できます (GMTは、グリニッジ標準時のことです)。

• アラームの設定

スケジュール開始前にアラームを鳴らして知らせることができます (ランプを点滅させることもできます。点滅については、『アプリケーションマニュアル.pdf』『カレンダー』の「画面の開始時刻・週の始まりの曜日／アラームの設定を変更する」をご覧ください)。電源を切っているときも、設定時間になるとアラームが鳴ります。

1. アラームチェックボックスにチェックをつけます



2. スケジュール開始時刻の何分前に鳴らすのかを設定します。

3. 「音あり」または「音なし」を設定します。

- 「音なし」が選ばれているとき、および、音量設定の画面でアラームチェックボックスのチェックが外れているとき、ミュートになっているときは、アラーム設定時間になっても音は鳴りません。
- Movie Playerで動画を再生しているときフルスクリーンにしていると、アラームの時刻になっても音は鳴りません。またアラーム画面も表示されません。

スケジュールを確認する

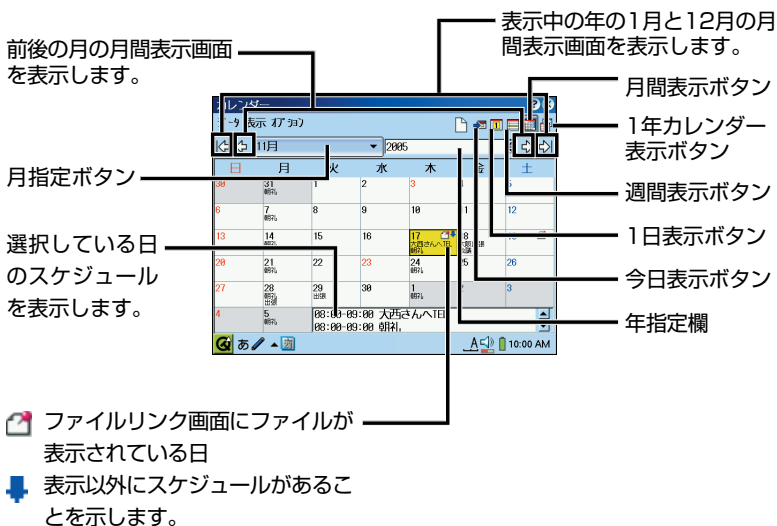
月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面でスケジュールを多角的に見ることができます。

月間表示画面で確認する

- 1** アプリケーションホーム画面で、**(カーソル)**キーを使って  “カレンダー”を選択し、**(OK)**キーを押します。

月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面、1年カレンダーのいずれかが表示されます。

月間表示画面以外のときは、 にタッチします。



- 2** **(カーソル)**キーを使ってスケジュールを見たい日にちを選び、**(OK)**キーを押します。

選んだ日の1日表示画面が表示されます(※次ページ)。

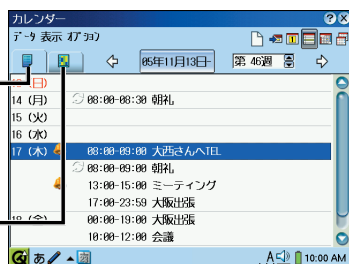
週間表示画面で確認する

1 月間表示画面や1日表示画面で にタッチします。

月間表示画面で選んだ日や、1日表示画面で表示していた日を含む週間表示画面が表示されます。

 (週表) タブ 1 週間のスケジュール内容を表示します。

 (グラフ表示) タブ 1 週間のスケジュールをグラフ表示します。

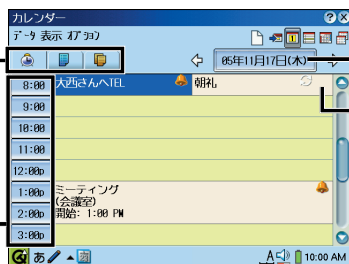


1日表示画面で確認する

1 月間表示画面で見た日を選び、**(OK)** キーを押すか、週間表示(グラフ表示)画面で見た日を選び、**(OK)** キーを押します。

1日表示画面が表示されます。ファイルリンク画面(次ページ)が表示されているときは、 タブにタッチします。

表示切替タブ
 : 予定を表示する
 : 予定リストを表示する
 : リンクファイルを表示する
時刻表示



日付ボタン

 : 繰り返し設定しているスケジュール

 : アラームを設定しているスケジュール



●1時間未満の予定の場合

予定内容の左側に赤線が表示されます。

●ToDoのデータも表示されます。

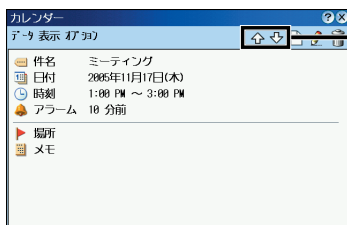
くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章をご覧ください。



カレンダー

詳細表示画面で確認する

- 1 1日表示画面などで見たいスケジュールを選び、**(OK)**キーを押します。
詳細画面が表示されます。
(Cancel)キーを押すと1日表示画面に戻ります。

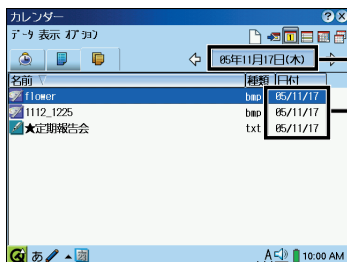


↑または↓にタッチすると前後のスケジュールを表示します。

リンクしているファイルを見る(リンクカレンダー)

イメージノートやメモ帳(**[Text]** タブのファイル)、HancomMobileWord、HancomMobileSheetなどのファイルをカレンダーから表示できます。

- 1 1日表示画面で **[ファイル]** タブにタッチし、**[オプション]**メニューの**[リンクファイル]**の**[本体]**や**[CFカード]**などを選択し、チェックをつけます。
ファイルリンク画面が表示されます。その日にリンクしているファイルが表示されます。



ファイルの日付と同じ日にリンクしています。

- 2 見たいファイルを選び、**(OK)**キーを押し、詳細を見ます。



- ザウルスショットで取り込んだファイルは、通常は転送した日にリンクします。「ザウルスドライブ(シリアル通信、ネットワーク)」でコピーしたファイルもコピーした日にリンクします。「ザウルスドライブ(USBストレージ方式)」でコピーしたファイルは、ファイルの「更新日時」(パソコン上で確認できます)の日にリンクします。リンクする日付を変更するときは、次ページや67ページをご覧ください。

別の日にリンクするように変更する

ファイルの日付を変更すると、変更した日付のファイルリンク画面に表示されるようになるので、スケジュールに関連づけてデータを管理することができます。たとえば、ザウルスショットを使って金曜日の出張に必要な地図を月曜日に取り込むと、自動的に月曜日にリンクされますが、これを金曜日にリンクするように変更したいときなどに行います。

- 1 リンクする日付を変更したいファイルがある日のファイルリンク画面を表示します。
- 2 変更したいファイルをしばらくタッチしたままにしてメニューを表示します。



- 3 **日付移動** にタッチします。
ミニカレンダーが表示されます。
- 4 リンクしたい日付にタッチします。
選択した日に移ります。
- 5 手順4で移した日の1日表示画面を表示し、**日付移動** タブにタッチします。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 繰り返しスケジュールを入れる
- 1年カレンダー画面から予定を見る
- 各種設定画面
- メニュー一覧

ToDoは、仕事やプライベートでやらなければならない用件を一覧・整理できるアプリケーションです。

- ・ 用件に「重要度」をつけたり「期限日」を入力することができるので、重要度の高いものや期限のせまった用件から処理していくことができます。
- ・ 用件を「ビジネス」や「プライベート」などに分類できるので、ビジネス／プライベートごとに用件を分けて整理できます。
- ・ 用件を「重要度順」、「期限日順」に並べ替えて表示したり、「分類別」に表示できます。
- ・ 処理が終わった用件にはチェックをつけることができ、完了していない用件だけを表示することもできます。

本書では、ToDoの主な使いかたについてだけ説明しています。

「メニュー一覧」などについては、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「ToDo」の章をご覧ください。

用件に重要度をつけて登録する(新規作成)

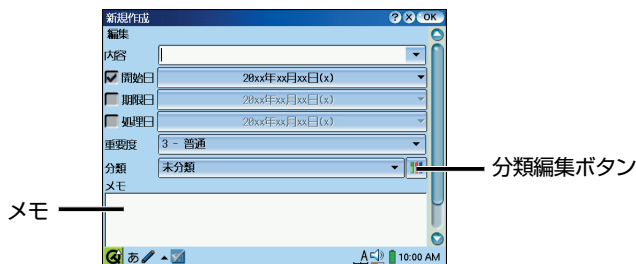
重要な用件から処理できるように、用件に重要度をつけて登録します。

- 1** アプリケーションホーム画面で  “ToDo”を選択し、**(OK)**キーを押します。

- 2** **データ**メニューの**新規作成**を選択します。

新規作成画面が表示されます。

一覧画面で  にタッチして、新規作成画面を表示することもできます。



- 3** 内容の右横の欄の▼にタッチし、用件を選びます。
入力欄にタッチし、用件を入力することもできます。

4 開始日の右横の欄にタッチし、ミニカレンダーでタッチして日付を選びます。

開始日は用件の処理を始める日または処理する予定日です。開始日を指定しないときは「開始日」チェックボックスのチェックをはずします。

5 「～日までにやる」と期限をつけるときは、「期限日」チェックボックスにチェックをつけ、日付欄にタッチしてミニカレンダーから期限日を選びます。

6 「重要度」の右横の欄をタッチし、重要度を選びます。

7 「分類」の右横の欄をタッチし、分類を選びます。

複数の分類を指定するときや、新しく分類を追加するときには、分類編集ボタンをタッチします(前ページ)。

8 メモ欄に入力するときは、メモ欄にカーソルを移し入力します。

9 入力が終わったら **OK** キーを押して登録します。



- ToDoのデータを登録すると、カレンダーの1日表示画面にも表示されます(カレンダーの「表示」メニューから「ToDo表示」を「する」に設定した場合)。



ToDo

用件を確かめる

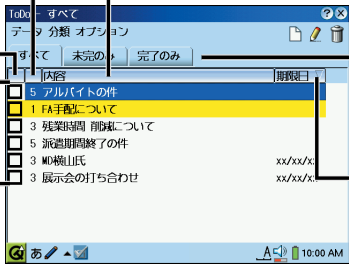
やらなければいけない用件を重要度順や期限日順に確かめることができます。また、分類ごとに表示したり、まだ終わっていない用件だけを表示することもできます。

用件を確かめる

- 1 アプリケーションホーム画面で **カーソル** キーを使って  (ToDo) を選択し、**(OK)** キーを押します。

一覧画面が表示されます。

一覧画面が表示されずに詳細画面が表示されたときは、**(Cancel)** キーを押して一覧画面に切り替えます。



The screenshot shows the 'ToDo' application window. It has a title bar with 'ToDo' and standard window controls. Below the title bar is a menu bar with 'すべて' (All), '分類' (Categories), and 'オプション' (Options). Under 'すべて', there are three tabs: 'すべて' (selected), '未完のみ' (Only Incomplete), and '完了のみ' (Only Completed). The main area is titled '内容' (Content) and lists several items, each with a checkbox and a due date. The first item is '5 アルバイトの件' with a due date of 'xx/xx/xx'. The second item is '1 FA手配について' with a due date of 'xx/xx/xx'. The third item is '5 残業時間 前日について' with a due date of 'xx/xx/xx'. The fourth item is '5 派遣期間終了の件' with a due date of 'xx/xx/xx'. The fifth item is '3 MO機上氏' with a due date of 'xx/xx/xx'. The sixth item is '3 展示会の打ち合わせ' with a due date of 'xx/xx/xx'. At the bottom of the window is a status bar with 'あ' (a), a pencil icon, and the time '10:00 AM'.

重要度ボタン
重要度順に並び替わります。

処理状態ボタン
未処理と処理済の用件がリストの上下に分かれて表示されます。

完了チェックボックス
チェックがついている用件は処理済です。終わったら、チェックボックスにタッチしてチェックをつけます。

内容ボタン
内容の欄を基準に並び替わります。

「すべて」、「未完のみ」、「完了のみ」タブを切り替えます。

期限日ボタン
期限日順に並び替わります。



● 期限日を過ぎた用件は

未処理の用件が期限日を過ぎると、一覧画面では赤で表示されます。

「未処理の用件」／「完了した用件」のみを表示する

未処理の用件のみ／完了した用件のみを一覧画面に表示できます。

- 1 一覧画面で「未完のみ」タブにタッチします。

未処理の用件のみを表示します。

- 2 一覧画面で「完了のみ」タブにタッチします。

完了した用件のみを表示します。



アドレス帳

アドレス帳では、友人や同僚の住所や電話番号、メールアドレスなどの情報を管理できます。

- ・ メールアドレスを入力しておくとし、“メール”で宛先を入力するときに簡単にメールアドレスを選ぶことができます。また、詳細画面でメールアドレスにタッチすると、メールの新規作成画面になります。
- ・ ちょっとしたメモを入力できるので、覚えておきたいことを入れておけます。
- ・ データを「ビジネス」や「プライベート」などに分類できるので、会社用のアドレス帳、プライベート用のアドレス帳として整理できます。
- ・ 入力項目の順番を変えて、入力しやすくなります。
- ・ 自分の情報を入力しておくとし、他のSLシリーズザウルスに光通信で送信して名刺交換ができます。

本書では、アドレス帳の主な使いかたについてだけ説明しています。

くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「アドレス帳」の章をご覧ください。

アドレス帳にデータを入れる(新規作成)

アドレス帳にデータを入れる

1 アプリケーションホーム画面で、 “アドレス帳”を選択し、**OK**キーを押します。

2 **データ**メニューの**新規作成**を選択します。

新規作成画面が表示されます。

一覧画面で  にタッチして、新規作成画面を表示することもできます。

分類編集ボタン

タッチしてメモ入力画面を表示し、メモを入力します。



アドレス帳

3 各項目を入力します。

- ・「分類」と「性別」は、項目名の右欄にタッチしてリストから選びます。複数の分類を指定するときや、新しく分類を追加するときは、分類編集ボタンにタッチします。
- ・個人名の「よみ」はひらがな、またはカタカナ、英字で入力します。
- ・「個人名」や「会社名」の欄にかな漢字変換で入力すると、変換する前のひらがながそれぞれの「よみ」の欄に自動的に入力されます。
- ・「郵便番号」の項目に郵便番号を入力し、「都道府県」の項目にカーソルを移動すると、郵便番号変換画面が表示されます。住所を選択したあと「住所採用」を選択すると、「都道府県」と「市町村」の項目に住所が入力されるので、続きを入力します。
- ・メールアドレスは次のように正しく入力してください。
 - ・半角英数字で入力します。
 - ・複数のメールアドレスを入力するときは、「メールアドレス」の項目にコンマ(,)で区切って入力してください。コンマで区切って入力すると、“メール”で1つ1つのメールアドレスとして使用できます。
 - ・メモを入力するときは、にタッチしてメモ入力画面で入力し、キーを押してメモを登録します。

4 入力が終わったらキーを押して登録します。



- ・「分類」、「性別」の欄のみが入力されていても登録できません。
- ・ミニカレンダーを使って誕生日を入力する場合は、1901年1月1日(GMT)から2099年12月31日(GMT)までの任意の日を入力できます(GMTはグリニッジ標準時のことです)。

※郵便番号辞書データは、総務省(旧郵政省)より提供されているデータ(2005年12月28日版)を元に一部内容を変更しております。適切な住所に変換されなかった場合は採用した後、修正してください。『アプリケーションマニュアル.pdf』『アドレス帳』の「アドレス帳にデータを入れる(新規作成)」のメモもご覧ください。



- ・郵便番号が間違っていて、違う郵便番号や住所(「都道府県」、「市町村」の項目)を入力したときなどに、再度、郵便番号から入力するには、すでに入力している住所(「都道府県」、「市町村」、「番地」の項目)をすべて削除してから行ってください。
- 「都道府県」、「市町村」、「番地」の項目どれか1つでも文字が入っていると郵便番号変換画面は表示されません。

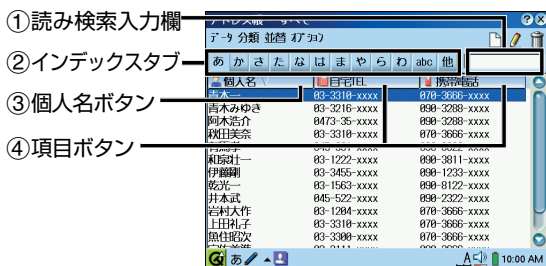


アドレス帳のデータを見る

読み検索入力欄やインデックスタブ(「あ」「か」「さ」など)を使ってデータを探します。

アドレス帳のデータを見る

- 1** アプリケーションホーム画面で、 を選択し(OK)キーを押します。
一覧画面が表示されます。一覧画面が表示されずに詳細画面(手順3の画面)が表示されたときは、(Cancel)キーを押して一覧画面に切り替えます。



- ①読み検索入力欄** 探したいデータの「読み」などを入力します。
個人名または会社名で並び替え設定(昇順／降順)をしているときに「た」を入力すると、個人名または会社名の読みが「た」で始まるデータを先頭にしてそれ以降のデータが表示されます。
個人名や会社名以外で並び替え設定しているときは、読み検索入力欄に入力した文字で始まるデータを先頭にしてそれ以降のデータが表示されます。
- ②インデックスタブ** 探したい「個人名」または「会社名」の読みにタッチします。
たとえば個人名で並替設定(昇順／降順)をしているときに「た」にタッチすると、個人名の「よみ」が、た行のデータを先頭にして、それ以降のデータが表示されます。
- ③個人名ボタン** タッチすると、読み順にデータが並び替わります(昇順／降順)。タッチしたままにするとリストが表示され、項目を「個人名」から「会社名」に変更できます。
- ④項目ボタン** タッチすると、その項目を基準にデータが並び替わります(昇順／降順)。タッチしたままにするとリストが表示され、別の項目に変更できます。



2 データを探すには、次の2つの方法があります。

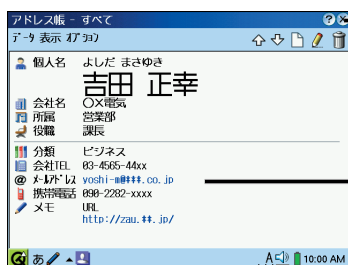
・読み検索入力欄を使ってデータを探す場合

キーボードまたは50音ボード(※81ページ)などを使って読み検索入力欄に探したい項目の「読み」または「表記(文字列)」を入力します。入力した「読み」または「表記(文字列)」から始まるデータが表示されます。

・インデックスタブを使ってデータを探す場合

探したい「個人名」または「会社名」の読み(「あ」「か」「さ」・・・)にタッチします。タッチしたインデックス(「か」行など)から始まるデータが表示されます。

3 (カーソル)キーの上下を押して見たいデータを選び、(OK)キーを押します。 詳細画面が表示されます。



タッチすると、一覧画面に戻ります。
(Cancel)キーを押しても戻ります。

タッチすると、メールの新規作成画面が表示されます。

前後のデータの詳細画面を表示するときは、画面右上の にタッチします。**表示**メニューの**前へ**、**次へ**を選択して、前後のデータの詳細画面を表示することもできます。



- ・インデックスタブを使って検索できる項目は、「個人名」と「会社名」です。これ以外の項目は、検索できません。
- ・メールアドレスやWebページのURL(青文字)にタッチすると
 - ・メールアドレスにタッチすると、メールの新規作成画面が表示されます。
 - ・URLにタッチすると、Webブラウザが起動し、そのホームページが表示されます(あらかじめ、インターネットに接続しておいてください)。



もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「アドレス帳」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

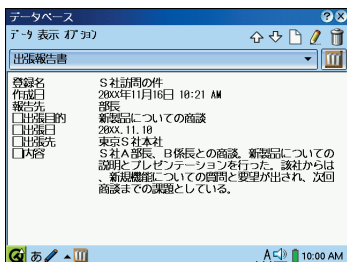
- 一覧画面に表示する項目／並順を変える
- 入力項目の順番や表示する／しないを変更する
- 所有者情報を登録する
- メニュー一覧



データベース

データベースでは、あらかじめ用意されている入力形式(フォーム)に合わせてデータを入力し、身の周りの情報を整理し活用できます。フォームには、文字(テキスト)情報だけでなく、画像などのデータファイルも整理できるので、さらに楽しく便利に活用することができます。

また、自分で独自のフォームを作成し、オリジナルのデータベースを作ることができます。



本書では、データベースの基本的な使いかたについてだけ説明しています。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『データベース取説.html』をご覧ください。



- 本文中の店名や所在地などは架空のものです。実在のお店・団体とは一切関係ありません。

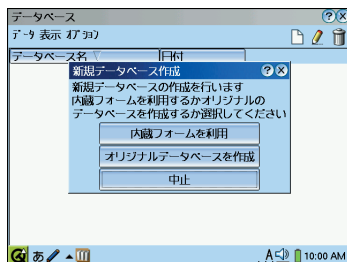


あらかじめ決まっている入力形式を利用して、新しいデータを入力する

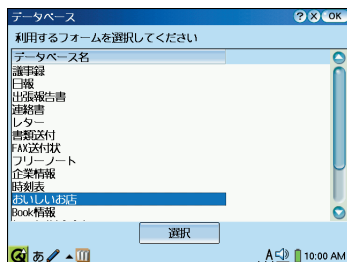
入力項目や入力する内容などの入力形式(フォーム)があらかじめ決まっているデータベースに新しいデータを入力します。

ここでは内蔵フォームにある、「おいしいお店」のデータベースを作成してみましょう。

- 1 アプリケーションホーム画面で  “データベース”を選択し、(OK)キーを押します。
- 2 データメニューの **新規データベース作成** を選択します。
- 3 **内蔵フォームを利用** を選択します。



- 4 利用するデータベースを選択し、(OK)キーを押します。
ここでは「おいしいお店」を選択します。



- 5 データベース名や項目を変更する画面で(OK)キーを押します。
確認の画面が表示されます。
ここではデータベース名や項目を変更しません。
- 6 **はい**を選択し、(OK)キーを押します。
新規作成／編集画面が表示されます。



7 各項目にデータを入力します。

ある入力項目から、次の入力項目へ移るときは、(Tab)キーを押すか、移りたい項目の入力欄にタッチします。

すべての項目を入力する必要はありません。必要な項目、あると便利な情報を選んで入力してください。

テキスト項目に複数行のデータを入力するとこのように表示されます。

エディタボタン
タッチすると複数行
のデータの入力・編
集ができます。

スクロールすると隠
れている項目を表示
できます。

お店の写真や料理写真などの画像データがある場合、項目入力欄の右側の  にタッチするか、データ詳細画面の **ファイル選択** にタッチすると、ファイル一覧が表示されます。

画像データのあるフォルダを開き、登録したい画像データを選択して、(OK)キーを押すと画像データが登録されます。登録した画像データは、データ詳細画面で見ることができます。

ファイル選択ボタン
タッチすると、ファ
イル一覧が表示され
ます。

 (ファイル選択ボタン)が表示されている項目には、画像データなどを登録することができます。

8 入力が終わったら(OK)キーを押して登録します。



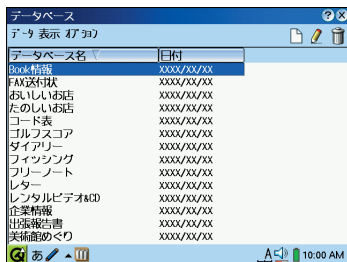
- データの入力中に、電源を切ったりメモリーカードなどを抜き差しすると、入力中のデータは失われます。また、オートパワーオフによって電源が切れても入力中のデータは失われますので、ご注意ください。
- 内蔵フォームを利用してデータベースを作成する以外に、内蔵フォームから、自分にあった新しいフォームを作ったり、内蔵フォームにないオリジナルフォームを作成したりすることもできます。
また、作成したデータベースを編集することもできます。
くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『データベース取説.html』をご覧ください。



データを見る

- 1 アプリケーションホーム画面で  “データベース”を選択し、(OK)キーを押します。

データベース一覧画面が表示されます。

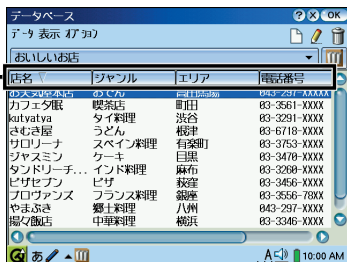


- 2 見たいデータベースを選択し、(OK)キーを押します。

データ一覧画面が表示されます。最大5項目まで表示されます。

隠れている項目があるときは横スクロールバーにタッチします。

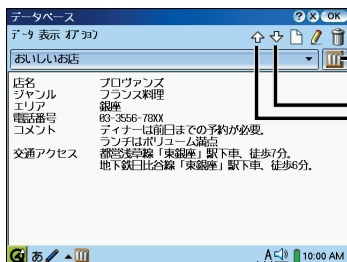
項目名にタッチすると、その項目を基準にしてデータが並び替わります



- 項目名にタッチすると、その項目を基準にしてデータが並び替わります。項目に読み項目が設定されている場合は「読み」の50音順、またはその逆順に並びが替わります。

- 3 見たいデータを選択し、(OK)キーを押します。

データ詳細画面が表示されます。



タッチすると一覧画面に戻ります。

次のデータを表示します。

一つ前のデータを表示します。



- データ詳細画面の「表示」メニューで「画像表示あり」を選択するとデータ詳細画面に画像データなどのタイトルを表示させることができます。
画像などのデータファイルが「イメージノート」などのアプリケーションに関連付けられている場合、画像表示エリアにタッチするとアプリケーションが起動し、内容を表示します。
- データ詳細画面のメニューバーにある「↑」にタッチすると、1つ前のデータを表示し、「↓」にタッチすると次のデータを表示します。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『データベース取説.html』では、以下の内容などを含め、くわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- データを修正する
- データを削除する
- 画像などのデータファイルを登録する
- データを表示する
- データを検索する
- 複製する
- 必要な項目のデータだけを読み込む
- 他のザウルスからデータを移行する

『データベース取説.html』の見かた

付属のインストールCD-ROMをパソコンにセットし、表示されたメニュー画面で「オンラインマニュアル」をクリックします。表示された画面で「データベース取扱説明書」をクリックして、パソコンのブラウザを起動させてご覧ください。オンラインマニュアル画面で青色(青色以外の場合もある)の文字列をクリックすると、リンクされているページにジャンプします。

オンラインマニュアルの各画面では次のボタンを使用して、ページの切り替えを容易に行うことができます。

- ◀ 前へ 前のページにジャンプします。
- ▶ 次へ 次のページにジャンプします。
- 📖 もくじ 目次のページにジャンプします。





イメージノート

イメージノートでは、画像ファイルを扱うことができます。

- ・ ザウルスショット (※124ページ) を使ってパソコンから取り込んだ画像などを、イメージノートで見たりコメントを書き加えたりすることができます。
- ・ ふと思いついたことなどを手軽に手書きでメモすることができます。
- ・ プレイリスト機能を利用して、画像の表示・非表示を切り替えたり、表示の順番を変更して画像ファイルをスライドショーで連続して見ることができます。
- ・ イメージノートでは、BMP、JPEG、GIF、PNG形式の画像ファイルを表示できます。
- ・ イメージノートのファイルは、ファイルホーム画面にも表示されます。

本書では、イメージノートの主な使いかたについてだけ説明しています。

くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「イメージノート」の章をご覧ください。

画像ファイルを見る

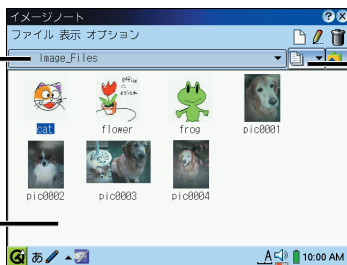
ここでは、ザウルスショットなどを使って画像ファイルを取り込んだ後、それらを見る操作を説明します。

- 1** アプリケーションホーム画面で、**(カーソル)**キーを使って  “イメージノート”を選択し、**(OK)**キーを押します。

一覧画面が表示されます。一覧画面が表示されずに詳細画面(手順2の画面)が表示されたときは、**(Cancel)**キーを押して一覧画面に切り替えます。

フォルダメニュー
フォルダを切り替えます(※62ページ)。

本体ディスクの
Image_Filesフォルダ内のファイル

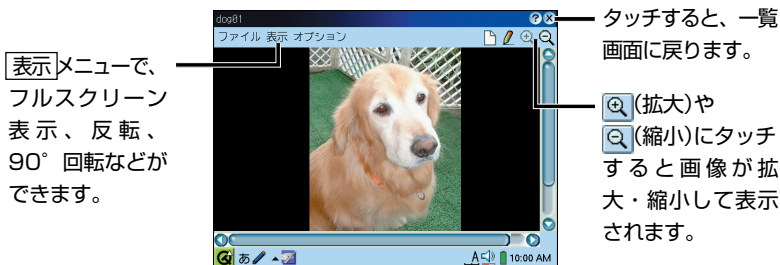


履歴ボタン

以前開いたファイル一覧が表示され、選ぶとそのファイルを開きます。



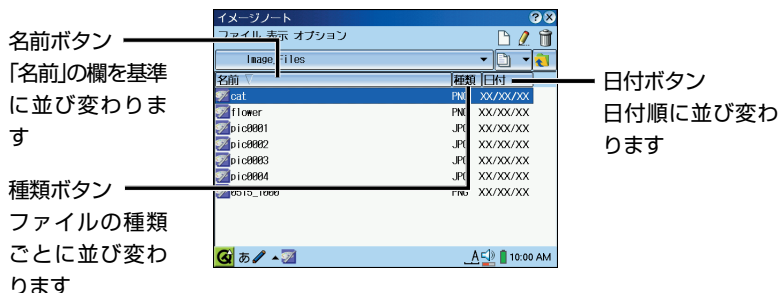
- 2** **カーソル**キーを使って見たいファイルを選択し、**(OK)**キーを押します。
詳細画面が表示されます。



- 画面より大きなサイズのファイルの場合は、**(カーソル)**キーを使うか、タッチペンで画面をなぞるとスクロールして隠れている部分が表示されます。
- イメージノートでは1024×768ドット以下の画像を扱うことができます。JPEG、BMP形式の画像ファイルはそれ以上でも表示できますが、スクロールがうまくできなかったり、画像の表示が乱れたりする場合があります(この場合でも、もとのファイルは壊れてはいません)。
- 画像を90°回転(反時計回り)させた状態で保存もできます。
一覧画面で、**オプション**メニューの**画像回転**を選び、**はい**を選ぶと、90°回転(反時計回り)させて保存もできます。
- この製品とパソコンなどでは、同じ画像を表示したとき、色再現などが同じにならないことがあります。
- 画像ファイルによっては表示できない場合があります。
- イメージノートで表示できるのは、約300万画素(2048×1536ドット)以下の画像ファイルです。

アイコン表示一覧をリスト表示にする

- 1** 一覧画面で**表示**メニューの**リスト表示**を選択します。
アイコン表示を選択すると、アイコン表示の一覧画面に戻ります。



手書きでメモを書く(新規作成)

メモを書く

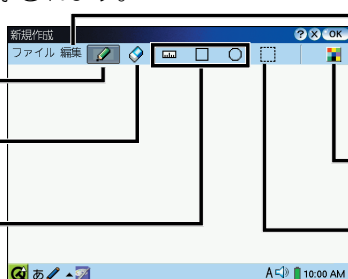
1 にタッチします。

新規作成画面が表示されます。

 ペンで描けます。

 描いた内容を消します。

直線や四角、円を描くことができます。



編集メニューで、ペンの太さや四角／円の中の色を選ぶことができます。

ペンや線の色を選びます。

指定した範囲の消去ができます。

消去の方法は、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「イメージノート」の章をご覧ください。

2 にタッチして、メモを描きます。

図形を消すときは、 にタッチして、タッチペンで消す部分をなぞります。

3 描き終わったら **(OK)** キーを押して登録します。

- ・ Image_Filesフォルダへ登録されます。
- ・ コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカードを装着しているときは、保存先を選ぶ画面が表示されるので、保存先を本体ディスクとコンパクトフラッシュメモリーカード、SDメモリーカードの中から選択します。



- 手書きで作ったファイルは、PNG形式で登録されます。また、サイズは横表示：640×370ドット、縦表示：480×530ドットになります。



本体に保存したファイルをメモリーカードにコピーする

保存した画像ファイルは、本体ディスクからメモリーカードにコピーすることができます。

- 1** ファイルホーム画面を表示します(☞56ページ)。
- 2** ファイルホーム画面でフォルダなどを開き、コピーしたいファイルを選択します。
ファイルホーム画面でフォルダを開く操作などは、61ページをご覧ください。
- 3** **編集**メニューの**複写(コピー)**を選択します。
- 4** ファイルホーム画面を操作して、メモリーカード側のフォルダを開きます。
- 5** **編集**メニューの**貼込(ペースト)**を選択します。
ファイルがメモリーカード側にコピーされます。



- ファイルを移動するときは、手順**3**で、**編集**メニューの**切取(カット)**を選択します。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「イメージノート」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 表示を切り替える
- プレイリストを使用する
- スライドショーで連続して見る
- 手書き作成時のツールなど
- 詳細画面の設定や一覧画面でのキーの働きを変える
- メニュー一覧





メモ帳

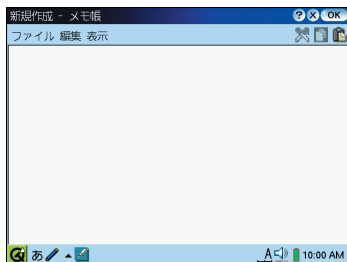
メモ帳では、思いついたことなどを手軽にメモすることができます。
“メモ帳”アプリケーションには、「Text」と「Memo」の2つのタブがあります。

- **Text** タブでは、テキスト形式のファイルを扱うことができます。
パソコンで作ったテキスト形式のファイルを転送すると **Text** タブで見たり編集できます。また、**Text** タブで作ったファイルはパソコンに転送できます。
- **Memo** タブでは、Intellisync for Zaurusを使ってMicrosoft Outlookのメモのデータとシンクロナイズ(同期)することができます。
Microsoft Outlookとシンクロナイズしたいメモ帳のデータを作る場合は、**Memo** タブで作ります。

本書では、メモ帳の主な使いかたについてだけ説明しています。
くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メモ帳」の章をご覧ください。

メモを書く

- 1 アプリケーションホーム画面で “メモ帳”を選択し、**(OK)**キーを押します。
- 2 **Text** タブ、または **Memo** タブを選択します。
- 3 **ファイル** メニューの **新規作成** を選択します。
新規作成画面が表示されます。
一覧画面で にタッチして新規作成画面を表示することもできます。



- 4 文字を入力します。



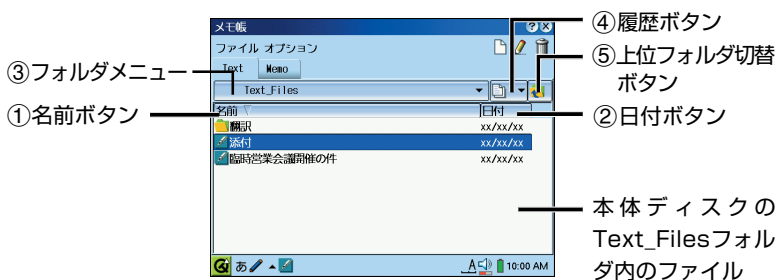
5 入力が終わったら(OK)キーを押します。

- ・手順2で「Text」タブを選んだ場合は、「名前を付けて保存」画面でフォルダメニュー(62ページ)から保存先を指定して、ファイル名を入力し、(OK)キーを押して登録します。
- ・手順2で「Memo」タブを選んだ場合は、最初の行に書かれている文字がタイトルとなり、プログラムエリア(フラッシュメモリー)(19ページ)に登録されます。

メモ帳のファイルを見る

1 アプリケーションホーム画面で「メモ帳」を選択し、(OK)キーを押します。

一覧画面が表示されます。一覧画面が表示されずに詳細画面が表示されたときは、(Cancel)キーを押して一覧画面に切り替えます。



- | | |
|--------------|---|
| ①名前ボタン | タッチすると名前の欄を基準に並び替わります。 |
| ②日付ボタン | タッチすると日付順に並び替わります。 |
| ③フォルダメニュー | 別のフォルダやメモリーカードに入れているファイルを見る場合は、タッチしてフォルダを切り替えます。切り替えかたは、62ページをご覧ください。 |
| ④履歴ボタン | タッチすると以前に開いたファイル一覧が表示され、選ぶとファイルを開くことができます。 |
| ⑤上位フォルダ切替ボタン | 1つ上のフォルダの内容を表示します。 |

※③④⑤は「Text」タブのみ表示されます。

2 (カーソル)キーを使って見たいファイルを選択し、(OK)キーを押します。詳細画面が表示されます。



- ・「Text」タブと「Memo」タブの間でデータを変換して利用する

一覧画面で「ファイル」メニューから「Memoに変換」または「Textに変換」を選びます。



本体に保存したTextタブのファイルをメモリーカードにコピーする

Textタブで作ったファイルは、本体ディスクからメモリーカードにコピーすることができます。

- 1** ファイルホーム画面を表示します(56ページ)。
- 2** ファイルホーム画面でフォルダなどを開き、コピーしたいファイルを選択します。
ファイルホーム画面でフォルダを開く操作などは、61ページをご覧ください。
- 3** **編集**メニューの**複写(コピー)**を選択します。
- 4** ファイルホーム画面を操作して、メモリーカード側のフォルダを開きます。
- 5** **編集**メニューの**貼込(ペースト)**を選択します。
ファイルがメモリーカード側にコピーされます。



- Memoタブで作ったデータは、コピーや移動することはできません。
- ファイルを移動するときは、手順**3**で、**編集**メニューの**切取(カット)**を選択します。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「メモ帳」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明をしていますので、そちらもご覧ください。

- 表示設定やキーの働きを変える
- ファイル読込／保存時の文字コードを設定する
- メニュー一覧





Movie Player

次の動画ファイルを再生できます。

- ・ MPEG-1

- ・ MPEG-4(※)

※MPEG-4は、動画：MPEG-4準拠、音声：G.726準拠のASF形式ファイル
動画：MPEG-4準拠、音声：MP3準拠のASF形式ファイル



- 次の機器で録画/撮影した動画ファイルを、SDメモリーカードまたはコンパクトフラッシュメモリーカードを介して取り込み、再生することができます。
 - ・ パーソナルサーバー“ガリレオ”HG-01Sで、MPEG-4形式でSDメモリーカードまたはコンパクトフラッシュメモリーカードに保存した動画ファイル
 - ・ 液晶テレビ“アクオス”(B3シリーズ)で、「ノーマル1」または「ノーマル2」の記録モードでSDメモリーカードまたはコンパクトフラッシュメモリーカードに録画した動画ファイル
 - ・ ポータブルAVプレーヤーMT-AV1で録画した動画ファイル
 - ・ お手持ちのMPEG-4ビデオレコーダーCE-VR1で録画した動画ファイル
 - ・ MI-E25DCの内蔵カメラを使って撮影した動画ファイル

Movie Playerで再生可能な動画ファイルを作成できるその他の機器については、ザウルスサポートステーション(URL <http://support.ezaurus.com/>)をご覧ください。

- 再生中は、オートパワーオフしません。動画再生中は減光もしません。
- ファイルによっては、再生できないことがあります。
- CE-VRC1(ビデオレコードカード)で作ったNancy形式の動画ファイルを再生することはできません。
- 他のアプリケーションを同時に起動すると、“Movie Player”アプリケーションが終了する場合があります。また、映像が歪んだり、音声途切れたりする場合があります。
- 動画を再生しているときは、他のアプリケーションを起動したりザウルスショット、ザウルスドライブなどパソコンとの通信や赤外線通信はできません。動画を停止してから行ってください。

再生するときは

付属のステレオヘッドホンを使って映像再生時の音声を聴くことができます。また、別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)を使うと、再生や停止、音量調整などの操作もすることができます。



動画を見る(動画ファイルを再生する)



● 音量の設定に十分気をつけて再生してください。思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。

音量を変えたいときは、再生画面で または にタッチして音量を変えます。

1 付属のステレオヘッドホンまたは、別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)を使って映像再生時の音声を聴くときは、ステレオヘッドホンジャックに取り付けます。

この製品と別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)の接続については、CE-RH2に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 メモリーカードの動画ファイルを再生する場合は、メモリーカードを取り付けます。

3 アプリケーションホーム画面で “Movie Player”を起動します。

4 フォルダメニューにタッチし、動画ファイルが入っているフォルダに切り替えます。

5 (カーソル)キーで再生したいファイルを選択し、(OK)キーを押します。再生が始まります。

にタッチしても再生が始まります。



6 (Cancel)キーを押すと、再生が停止します。

にタッチしても、再生が停止します。



● SDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)に保存している動画ファイルを再生すると、動画ファイルによっては音飛びが起こることがあります。

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「Movie Player」の章では、くわしく説明していますので、そちらもご覧ください。





Music Player

音楽ファイル(MP3/WMA)を再生できます。



- 再生中は、オートパワーオフしません。また、音楽再生中はスクリーンセーバーが働きません。
- ファイルによっては、再生できないことがあります。
- 他のアプリケーションを同時に起動すると、“Music Player”アプリケーションが終了する場合があります。また、音声途切れたりする場合があります。
- WAVファイル(ボイスレコーダーで録音したファイルを含む)を再生することはできません。
- Music PlayerがサポートするWMAについて**
Windows Media Playerで録音したWindows Media Audio形式の音楽ファイルを再生することができます。
ただし、DRM(デジタル著作権管理)にて保護されたコンテンツは再生できません。(再生しようとすると、アラートが表示されます。)また、ストリーミングにも対応しておりません。

再生するときは

付属のステレオヘッドホンを使って音楽を聴くことができます。また、別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)を使うとリモコンから再生や停止、音量調整などもできます。

音楽を聴く(音楽ファイルを再生する)



- 音量の設定に十分気をつけて再生してください。思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
音量を変えたいときは、 /  にタッチして音量を変えます。

- 1** 付属のステレオヘッドホンまたは、別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)をステレオヘッドホンジャックに取り付けます。
この製品と別売のリモコン付ステレオヘッドホン(CE-RH2)の接続については、CE-RH2に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 2** メモリーカードの音楽ファイルを再生する場合は、メモリーカードを取り付けます。



- 3** アプリケーションホーム画面で  “Music Player”を起動します。
はじめてMusic Playerを起動したときなどは、ライブラリを作成する旨のメッセージが表示されますので、**[はい]**にタッチしてライブラリを作成します。



- ライブラリを作成しておく、本体ディスクやメモリーカードに入っている音楽ファイルをライブラリ画面から再生することができます。

- 4** リストから「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などを選択して、再生したい音楽ファイルを選び、**[OK]**キーを押します。
再生が始まります。



- 5** **[Cancel]**キーを押して、再生を停止します。
 をタッチしても停止します。



- 電源を切ると、再生は停止します。
- ライブラリを使うと「アーティスト」別などで音楽ファイルを表示したり、絞り込み条件(タイトルなど)で絞り込むことができます。
- プレイリストを使うと、好きな曲だけを集めて好きな順番に再生することができます。

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「Music Player」の章では、くわしく説明していますので、そちらもご覧ください。





フォトストレージ

フォトストレージを使うと次のことができます。

- ・ デジタルカメラで撮影しSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存した写真データを、ザウルス本体に取り込むことができます。
- ・ ザウルス本体に取り込んだ写真データを見ることができます。
また、写真データに含まれるExif情報と呼ばれる写真情報の表示・編集ができます。
- ・ 表示できる形式は、JPEG形式の画像ファイルです。



- フォトストレージは、横表示専用です(縦画面には切り替わりません)。ビュースタイル時も横画面表示になります。
- プログレッシブDCT方式で保存されたJPEG形式の画像ファイルは、画像ファイルのサイズによって表示できない場合があります。

本書では、フォトストレージの主な使いかたについてだけ説明しています。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「フォトストレージ」の章をご覧ください。



フォト
スト
レー
ジ

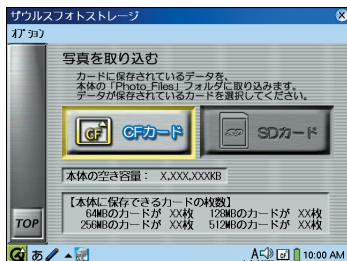
メモリーカードに保存している写真データをザウルスに取り込む

- 1** 写真データを保存しているメモリーカードをザウルスに取り付けます。
取り付ける方法は、86ページをご覧ください。
- 2** アプリケーションホーム画面で、 “フォトストレージ”を起動します。



- 3** フォトストレージTOP画面で、**写真を取り込む**にタッチします。

- 4** 表示された画面で、写真を取り込むメモリーカード(「CFカード」または「SDカード」)にタッチします。



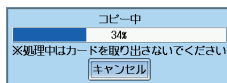
- 5** 自動的にメモリーカード内にある写真データを検索し結果が表示されますので、画面の内容を確認して「はい」にタッチします。

- 6** 表示された画面で、写真データを保存するフォルダ名を入力し「OK」キーを押します。



- 保存先は本体ディスクの「Photo_Files」フォルダの中になります。
- フォルダ名は、半角、全角問わず30文字まで登録できます。
既に存在するフォルダ名と同じ名前で登録しようとした場合、フォルダ名に「_001」といった通し番号が付加されます(同じファイル名では登録されません)。

- 7** ザウルス本体にコピーが開始されます。



- コピー中は、メモリーカードの抜き差しは行わないでください。
- ザウルス本体の電池容量が少ないとコピーできません。コピーの前に電池容量を確認するかACアダプターを接続することをおすすめします。
- メモリーカードに写真データ以外のファイルやフォルダが入っている場合、そのファイルやフォルダもコピーされます。不要なファイルなどがあるときは、ファイルホーム画面から本体ディスクの中の「Photo_Files」フォルダを開き、削除してください。

8 コピーが完了すると確認画面が表示されますので、**(OK)**キーを押します。

9 引き続きコピーした写真データを見るときは、画面左下の**TOP**にタッチしフォストレージTOP画面に戻り、**写真を見る**にタッチします。これ以降操作は以下をご覧ください。



●手順**5**で、「本体の空き容量が不足しています」とメッセージが表示されることがあります。このときは、いったん**いいえ**にタッチして本体ディスクの不要なファイルを削除するなどして、空き容量を増やしてから再度取り込みを行うことをおすすめします。



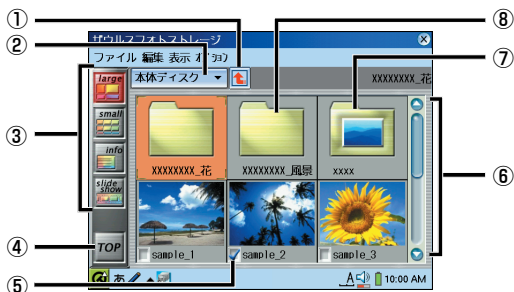
フォ
スト
レー
ジ

写真を見る

メモリーカードから取り込んだ写真データを見ます。

1 フォストレージTOP画面(173ページ)で、**写真を見る**にタッチします。

この画面例はメモリーカードから写真データを取り込んだものです。ご購入時には、サンプル写真データのみ表示されます。



① 1つ上のフォルダを表示します。

② 本体ディスク、メモリーカードを選択します。メモリーカードを選択した場合、メモリーカードのルートフォルダに「dcim」フォルダがある場合は、直接「dcim」フォルダ内を表示します。

③ 写真の表示方法を切り替えます。



(large)	フォルダ、写真データを最大6枚まで一覧表示します。
(small)	フォルダ、写真データを最大35枚まで一覧表示します。
(info)	写真データ(1枚)とExif情報を表示します。
(slide show)	スライドショーを実行します。

④ フォストレージTOP画面に戻ります。

(次ページに続く)

- ⑤ チェックをつけることができます。
チェックをつけた写真データのみ複写などができます。
チェックボックスにチェックマークをつけてフォルダを移動すると、それまでついていたチェックマークは全て消えます。
- ⑥ 写真データをサムネイル表示または詳細表示します。
写真データが入っていないフォルダの場合は、そのフォルダの中に入っているフォルダのみを表示します。
- ⑦ フォルダの中に写真データがあることを示します。
- ⑧ フォルダの中に写真データがないことを示します。
また、フォルダを開いてその中に写真データが入っているフォルダがある場合も、このアイコンになります。

2 174ページの手順6で作ったフォルダにタッチして開きます。

3 フォルダにタッチし、写真データが入っているフォルダを開きます。 通常「dcim」フォルダの中に写真データが入ったフォルダがあります。 写真データが入っているフォルダを開くと、写真データがサムネイル表示されます。



- サイズの大きいプログレッシブDCT方式で保存されたJPEG形式の画像ファイルや、壊れたJPEG形式の画像ファイルを表示させた場合、サムネイルが表示されません(黒色で表示されます)。



- イメージノートで作った手書きメモは、フォトストレージでは見ることはできません。

4 写真を選択し(OK)キーを押すと、一件表示画面に移ります。

5 (Cancel)キーを押すと手順3のサムネイル画面などに戻ります。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「フォトストレージ」の章では、以下の内容などを含めてくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 写真を詳細表示する(Exif情報を見る)
- 写真を1件表示する
- スライドショーを使う
- 写真データを移動、複製、削除する
- Exif情報を編集する
- メニュー一覧

※写真データに緯度／経度の情報を入力すると、モバイルマップNaviと連携できます。くわしくは付属のインストールCD-ROMに収録されている『モバイルマップNavi取説.pdf』をご覧ください。





マルチメディア辞書

マルチメディア辞書には、『広辞苑第五版CD-ROM版』、『CD-ROM版ジーニアス英和<第3版>・和英<第2版>辞典』の辞書データを収録しています。

●各辞典の収録項目数、収録語数は、次のとおりです。

- ・『広辞苑 第五版 CD-ROM版』 約230,000項目
- ・『ジーニアス英和辞典 <第3版>』 約95,000語句
- ・『ジーニアス和英辞典 <第2版>』 約82,000語句

●調べたい日本語の読みなどを直接入力して言葉の意味(語義)や成句(慣用句)などを調べたり、メールなどの文章から日本語の読みなどをタッチペンでなぞってその言葉の意味(語義)や成句(慣用句)などを調べることができます。

●英単語のスペルを直接入力して単語の意味を調べたり、メールなどの文章から英単語などをなぞって意味を調べることができます。

和英辞典では、日本語の読みなどから英単語などを調べることができます。

●検索した結果の画面では、説明文(テキスト)だけでなく写真やイラストを見ることがもできます。

●一部のデータでは発音や鳥の鳴声などの音声を聞くことができます。また一部のデータでは動画を見ることができます。

本書では、マルチメディア辞書の基本的な使いかたについてだけ説明しています。

くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください。



- 『広辞苑 第五版 CD-ROM版』で説明されている「色見本」、「メニュー(一覧表示)」、「(一覧)と書かれた画像」は、ザウルスで見ることができません。
- 『『広辞苑 第五版 CD-ROM版』について』の内容は、パソコンを使ったときの内容になっており、ザウルスで表示したときと異なります。
- パソコンを使ってメニュー検索を選択したときとザウルスでメニュー検索を選択したときとは、表示される内容が異なります(メニュー検索についてくわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください)。

辞書データのお問い合わせ先

『広辞苑第五版』のデータ内容に関するお問い合わせ先

株式会社 岩波書店『広辞苑』編集部

電話 03-5210-4178

13:00~17:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く)

『ジーニアス英和<第3版>・和英<第2版>辞典』のデータ内容に関するお問い合わせ先

大修館書店

電話 03-3294-2355

語句を調べる

『広辞苑』と『ジーニアス英和・和英辞典』など複数の辞書を使って語句を調べたり、『広辞苑』のみや『ジーニアス英和・和英辞典』のみなど辞書を選択して語句を調べることができます。

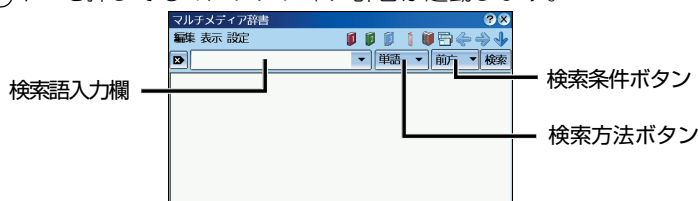
※本書に記載している検索結果の画面例は、『広辞苑 第五版』、『ジーニアス英和<第3版>・和英<第2版>辞典』、『広辞苑 第五版付属資料』の3つの辞書を検索対象とした検索結果の画面例を表記しています(※下記)。

読みを入力して検索する

ここでは、指定した検索語が見出し語の前方と一致するものを検索する方法(前方一致)を説明します。

1 コンテンツホーム画面で “マルチメディア辞書”を選択し、(OK)キーを押します。

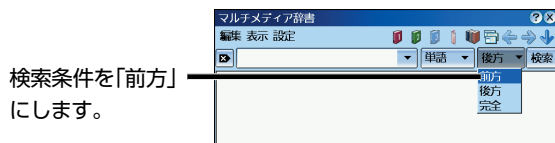
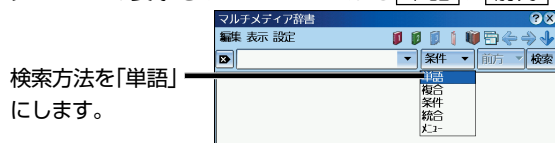
アプリケーションホーム画面で  “マルチメディア辞書”を選択し、(OK)キーを押してもマルチメディア辞書が起動します。



2 検索方法に「単語」、検索条件に「前方」を選択します。

検索方法ボタンが「単語」に、検索条件ボタンが「前方」になっていることを確認します。

「単語」や「前方」になっていないとき(「複合」や「後方」など)は、それぞれにタッチして表示されたメニューから「単語」、「前方」を選びます。



● 検索方法や検索条件についてくわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください。



3 検索語入力欄にカーソルがあることを確認して、調べたい文字を入力(ここでは「えきしょう」と入力)し、**検索**にタッチします。

(OK)キーまたは(Enter)キーを押して検索することもできます。

『広辞苑』だけで検索するときや『ジーニアス英和・和英辞典』だけで検索するときは、やにタッチします。

このアイコンは別の辞書に変更できます。**設定**メニューの

辞書アイコン1設定などを選択し、表示されたメニューから別の辞書を選択します。

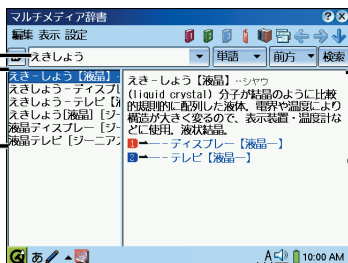
「検索結果の候補」と「候補で選択されている語の内容」が表示されます。

この画面を「候補・本文」画面と呼びます。

調べたい語を入力
します。

検索結果の候補が
表示されます。

このエリアを「候補
エリア」と呼びま
す。



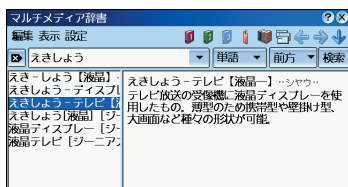
候補エリアで選択
されている語の内容が
表示されます。
このエリアを「本文エ
リア」と呼びます。



- 「単語」検索では、見出し語に対する検索結果の候補を各辞書最大100件まで表示します。
- 候補エリアと本文エリアの区切り線にタッチして、候補エリアの表示枠を広げることはできません。
隠れている文字を表示するには、**表示**メニューの**候補エリアのみ**を選択します。
- 英単語を調べるときは、英字入力モード(※次ページ)にして検索語入力欄にアルファベットを入力し、(OK)キーを押します。
- ご購入時は、画面上部の辞書アイコン()に『広辞苑』、辞書アイコン()に『ジーニアス英和・和英辞典』が設定されています。各アイコンに対応する辞書は変更することができます(※『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」)。

4 目的の語にタッチします。

ここでは、「えきしょうーテレビ」にタッチします。



- 語によっては本文エリアが表示されるまでに時間がかかるものがあります。

5 **(OK)**キーを押すと候補で選択されている語の内容が左右いっぱいに表示されます(本文画面が表示されます)。

(Cancel)キーを押すと元の画面に戻ります。



• にタッチして画面を切り替えることもできます。

タッチするたびに画面が切り替わります。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください。

6 続けて新しい語を検索するときは、 にタッチして新しい語を入力します。これ以降の操作は、手順**3**以降と同じです。



• 英単語を調べるときは、手順**3**で調べたいスペルを入力します。

英字を入力するときは、タスクバーの文字入力モードが英文字入力モード()になっていることを確認します。

などになっているときは、 などにタッチし、表示されるメニューから**直接入力**にタッチし にします。



• 検索した語句によっては、写真やイラストも表示されるものがあります。また、発音や音声が入ったり、動画を見ることが出来るものもあります。くわしくは『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください。

• 文字の大きさや写真／イラストなどのサイズを変更するには **表示**メニューの**フォント**や**画像サイズ**を選び、表示されたメニューから文字の大きさや画像サイズを選択します。

• **インクリメンタルサーチ**について

・ **設定**メニューの**インクリメンタルサーチ**にチェックがついているとき調べたい文字を1文字ずつ入力し、確定していくたびに、見出し語(候補)が表示されます(インクリメンタルサーチ機能)。前ページの例では、「え」を入力し**(OK)**キーを押すと、「え」で始まる語句などが表示されます。「え」に続いて「き」を入力し**(OK)**キーを押すと、「えき」で始まる見出し語が表示され、見出し語を絞り込んでいくことができます。

・ **インクリメンタルサーチ**にチェックがついていないとき、文字を入力し、**(OK)**キーを押して確定した後、もう一度**(OK)**キーを押すと検索されます。

• 検索結果は、辞書一覧画面でチェックをつけている辞書によって変わります。くわしくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章をご覧ください。

• 本文エリアの中に青文字で表示されている文字(参照項目)があるときは、その参照項目にタッチすると参照項目に関する例文や解説などが表示されます。元の画面に戻るときは、画面右上の にタッチします。

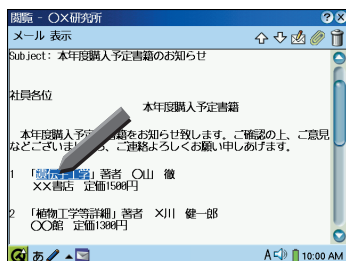


他のアプリケーションの語句から辞書を引く

他のアプリケーションを使っていて不明な語などが出てきたときなど、他のアプリケーションを終了することなく調べることができます。

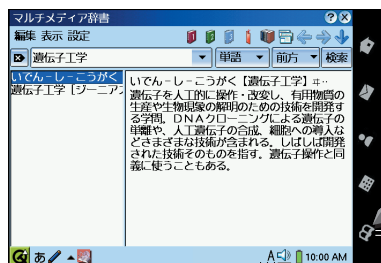
1 調べたい語をタッチペンでなぞって選択します。

ここでは、受信したメールの中から「遺伝子工学」という文字をタッチペンでなぞって選択します。



2 タブレットの (辞書キー) にタッチします。

マルチメディア辞書が起動し、選択した語の検索結果が表示されます。



3 目的の語にタッチします。



- 英単語を調べることもできます。手順1で英単語を選択してから手順2を行います。
- この方法で検索するときは、検索方法が「単語」、検索条件が「前方」になります。

もっとくわしいことは

付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「マルチメディア辞書」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 逆引き(後方一致)で語句を調べる
- 一致した語句だけを調べる
- 複合検索で語句を調べる
- 発音や音声、動画を再生する
- 条件検索
- 統合検索
- メニュー検索
- しおりをはさむ／はさんだしおりを開く
- 検索する辞書の選択
- メニュー一覧



E/J 翻訳これ一本

翻訳これ一本は、翻訳したい英文または和文を直接入力して翻訳したり、メールまたはホームページのテキストを翻訳したりすることができる「英日」／「日英」翻訳ソフトです。



- 翻訳これ一本の翻訳機能を使えば、どのような英文／和文に対しても何らかの訳文は作成しますが、文によっては、翻訳機能の処理能力を超えるものもあり、その場合適切な日本語／英語に翻訳することが難しくなります。
そのような文については、翻訳を行っても適切な訳文が得られないことがあります（『E/Jアプリケーションマニュアル.pdf』『翻訳これ一本』の章の「ご使用の前に」）。



本書では、翻訳これ一本の主な使いかたについてだけ説明しています。くわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「翻訳これ一本」の章をご覧ください。

搭載されている辞書登録語数について

●辞書登録語数

〔英日翻訳用〕

- ・ 基本辞書 約199,000語
- ・ 専門用語辞書 約60,000語(2分野合計)
 - ・ パソコン／インターネット 約30,000語
 - ・ 経済 約30,000語

〔日英翻訳用〕

- ・ 基本辞書 約118,000語

ご使用の前に

複写したテキストは、別のテキストを複写するまで記憶されています。
次の場合、記憶していたテキストが原文エリアに自動的に入力されます。

- ・ 翻訳これ一本を起動させた場合
- ・ 翻訳これ一本の画面から **（ホーム）** キーなどを押して、いったん他の画面に切り替え、再び翻訳これ一本の画面に戻った場合

このとき、それまで原文エリアに入力されていたテキストは消去されて、以前に複写したときに記憶されていたテキストと入れ替わりますので、翻訳途中に他の画面に切り替えないように、ご注意ください。

●翻訳できる文の長さについて

・英日翻訳で翻訳できる文の長さについて

単語数…1文あたり約70単語以下

文字数…1文あたり約1,000文字以下

この制限を越えた文を入力した場合は、翻訳せずに英語原文をそのまま翻訳結果として表示する場合があります(単語数や文字数は見かけ上の数字と異なる場合があります)。

制限を越えた文の翻訳をしたい場合は、文を2つ以上に分けるなどして短くしてから翻訳をやり直してください。



- 1文とは文の先頭からピリオド(.)までを指します。

・日英翻訳で翻訳できる文の長さについて

日英翻訳では、1文約80文字(全角)まで翻訳できることになっていますが、50文字ぐらいが適当です(文字数は見かけ上の数字と異なる場合があります)。制限を越えた文の翻訳をしたい場合は、文を2つ以上に分けるなどして短くしてから翻訳をやり直してください。



- 1文とは文の先頭から句点(.)までを指します。

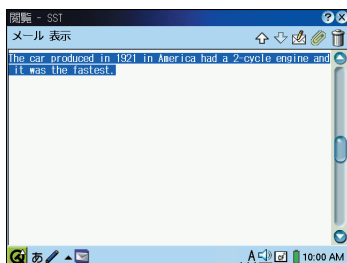


英文を和文に翻訳する(英日翻訳)

ここでは、メールやホームページなどの翻訳したい英文をタッチペンでなぞって翻訳する操作について説明します。

1 翻訳したい英文をタッチペンでなぞって選択します。

ここでは、「The car produced in 1921 in America had a 2-cycle engine and it was the fastest.」をタッチペンでなぞって選択した場合を例にして説明します。



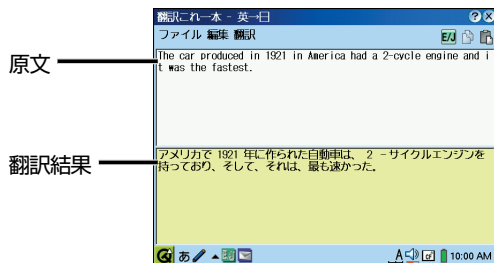
- 英日翻訳では、半角文字の英文を翻訳します(全角文字の英文は翻訳しません)。

2 (Fn)キーを押したまま(C) (Copy)キーを押します。

手順1でなぞって選択した文章が記憶されます。

3 (ホーム)キーを押してアプリケーションホーム画面を表示し、E/J“翻訳これ一本”を選択し、(OK)キーを押します。

翻訳これ一本が起動し、原文(英文)とともに翻訳結果(和文)が表示されます。



4 翻訳結果を保存します。

保存方法には、以下の3つの方法があります。保存先は、「Text_Files」フォルダ内の「翻訳」フォルダです。

- ・ 原文・訳文をまとめて一つのテキストファイルとして保存するとき：
[ファイル]メニューの[保存]を選択します。
- ・ 原文のみをテキストファイルとして保存するとき：
[ファイル]メニューの[原文のみ保存]を選択します。
- ・ 訳文のみをテキストファイルとして保存するとき：
[ファイル]メニューの[訳文のみ保存]を選択します。

5 (Cancel)キーを押して翻訳これ一本を終了します。

続けて翻訳したいときは、[ファイル]メニューの[新規作成]を選択して、翻訳したい英文を入力します。



- 英日翻訳は、上記以外に直接英文を入力して翻訳したり、テキストファイルを読み込んで翻訳することができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』の「翻訳これ一本」の章)。
- 英日翻訳では、より精度の高い翻訳結果を得るための設定画面があります。設定画面では、「分野に応じたジャンルの設定」である調／ですます調「命令形の翻訳」などが設定できます(『アプリケーションマニュアル.pdf』「翻訳これ一本」の章の「英日翻訳設定画面」)。

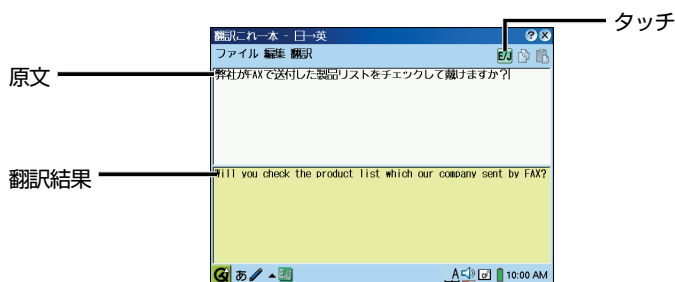
和文を英文に翻訳する(日英翻訳)

ここでは、翻訳したい和文を入力して英文に翻訳する操作について説明します。

- 1 アプリケーションホーム画面で  “翻訳これ一本”を選択し、**(OK)** キーを押します。
- 2 **[翻訳]** メニューの **[日英翻訳]** を選択します。
[英日翻訳] と **[日英翻訳]** の切り替えは、**[翻訳]** メニューで選択します。
- 3 翻訳したい文を原文エリアへ入力します。



- 4  にタッチします。
原文(和文)とともに翻訳結果(英文)が表示されます。



翻訳
これ
一本

5 翻訳結果を保存します。

保存方法には、以下の3つの方法があります。保存先は、「Text_Files」フォルダ内の「翻訳」フォルダです。

- ・ 原文・訳文をまとめて一つのテキストファイルとして保存するとき：
「ファイル」メニューの「保存」を選択します。
- ・ 原文のみをテキストファイルとして保存するとき：
「ファイル」メニューの「原文のみ保存」を選択します。
- ・ 訳文のみをテキストファイルとして保存するとき：
「ファイル」メニューの「訳文のみ保存」を選択します。

6 (Cancel)キーを押して翻訳これ一本を終了します。

続けて翻訳したいときは、「ファイル」メニューの「新規作成」を選択して、翻訳したい和文を入力します。



- 日英翻訳は、上記以外にメールやホームページなどの翻訳したい文をタッチペンでなぞって翻訳したり、テキストファイルを読み込んで翻訳することができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』の「翻訳これ一本」の章)。
- 日英翻訳では、より精度の高い翻訳結果を得るための設定画面があります。設定画面では、「原文に主語が無い場合、訳文で使用する主語」「原文から予測出来ない場合に補完する冠詞」「原文に主語が無い場合、訳文で使用する文型」などが設定できます(『アプリケーションマニュアル.pdf』「翻訳これ一本」の章の「日英翻訳設定画面」)。
また、日英翻訳でより精度の高い翻訳結果を得るためには、以下のことについてもご注意ください。
 - ・ 文の意味が明確であるか
 - ・ 文脈から意味を判断する必要のない文章か
 - ・ 文法構造が簡潔であるか詳しくは、『アプリケーションマニュアル.pdf』「翻訳これ一本」の章の「ご使用の前に」をご覧ください。

もっとくわしいことは

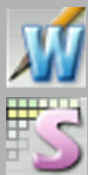
付属のインストールCD-ROMに収録している『アプリケーションマニュアル.pdf』の「翻訳これ一本」の章では、以下の内容などを含めくわしく説明していますので、そちらもご覧ください。

- 他アプリケーションで表示されている英文または和文を翻訳する
- 直接英文または和文を入力して翻訳する
- テキストファイルを読み込んで翻訳する
- 英日翻訳の翻訳条件項目を設定する
- 日英翻訳の翻訳条件項目を設定する
- 翻訳画面のボタン・アイコンについて
- メニュー一覧
- より良くお使いいただくために

英日辞書／日英辞書データのインストールについて

ご購入時、“翻訳これ一本用英日辞書／日英辞書データ”は、あらかじめ製品にインストールされています。“翻訳これ一本用英日辞書／日英辞書データ”を完全消去(フォーマット)を行い削除してしまった場合は、パソコンを使ってインストールCD-ROMから“翻訳これ一本用英日辞書／日英辞書データ”をダウンロードする必要があります。ダウンロードについては、244ページをご覧ください。





HancomMobileWord / HancomMobileSheet

この製品では、HancomMobileWordとHancomMobileSheetというワープロソフトと表計算ソフトを使うことができます。

これらのアプリケーションの操作方法については、付属のインストールCD-ROMに収録されている『HancomMobileOffice取説.pdf』をご覧ください。

HancomMobileOffice取説.pdfは、付属のインストールCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されるメニュー画面で、**オンラインマニュアル**をクリックし、「HancomMobileOffice取扱説明書」の文字をクリックすると表示されます。



HancomMobileWord

HancomMobileWordを使うと、「書類送付状」や「議事録」などあらかじめ用意されたテンプレートを使ってメモ帳ではできないメリハリのある文書を作ることができます。

また、Microsoft Word 97/98/2000/2002/2003で作ったDOC形式のファイルを開いて見るすることができます。

HancomMobileWord用テンプレート

HancomMobileWordには、次のようなテンプレートを用意しています。

<会議案内状>

<書類送付状>

<出張報告書>

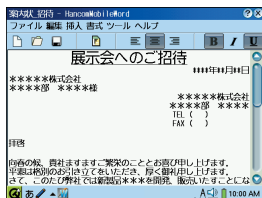
<ファクシミリ送付状>

<議事録>

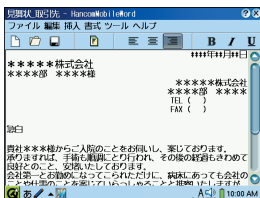
<詫言状>

(次ページへ続く)

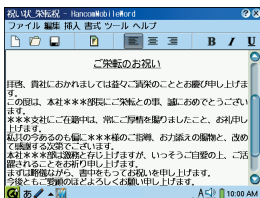
＜案内状＞



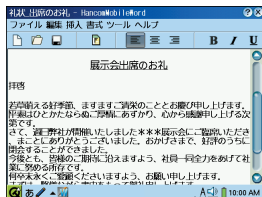
＜見舞状＞



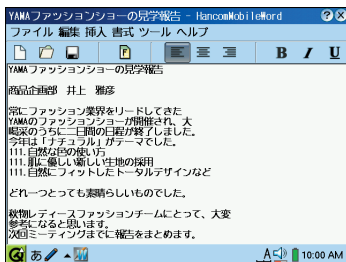
＜祝い状＞



＜礼状＞



- Microsoft WordとHancanMobileWordとの間でファイルをやり取りする場合、双方の固有の機能差により、表示や処理のされかたに多少の違いが出ます。
- DOCファイルなどを開いたとき、HancanMobileWordがサポートしていない属性情報(文字間隔、タブ、フォントの種類など)は、表示／処理されません。



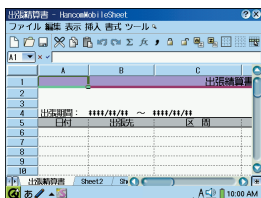
HancomMobileSheet

HancomMobileSheetを使うと、「見積書」や「時刻表」などあらかじめ用意されたテンプレートを使って表を作ったり、作った表を外に持ち出して見たりできます。また、Microsoft Excel 95 / 97 / 2000 / 2002 / 2003で作ったファイルを、HancomMobileSheetで開いて見ることができます。

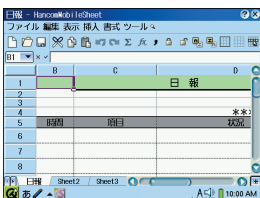
HancomMobileSheet用テンプレート

HancomMobileSheetには、次のようなテンプレートを用意しています。

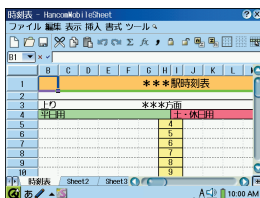
<出張精算書>



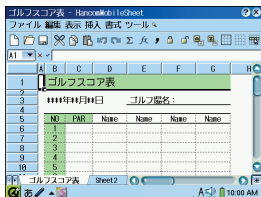
<日報>



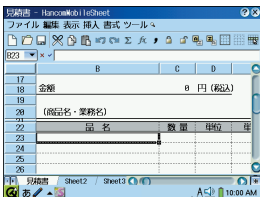
<時刻表>



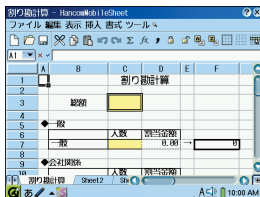
<ゴルフスコア表>



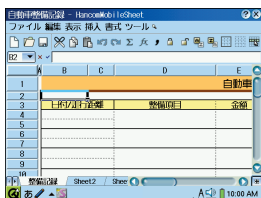
<見積書>



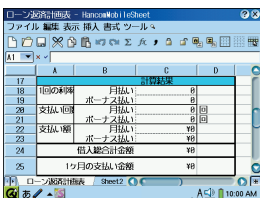
<割り勘計算>



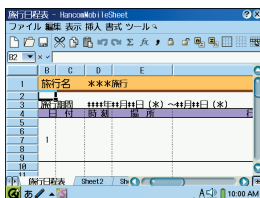
<自動車整備記録>



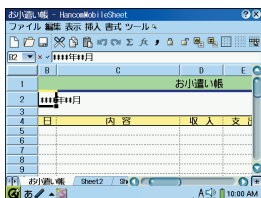
<ローン返済計画表>



<旅行日程表>

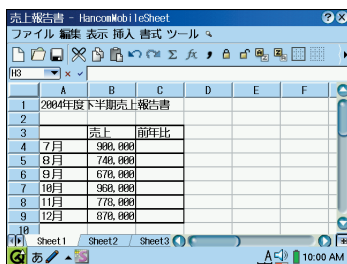


<お小遣い帳>





- Microsoft ExcelとHancomMobileSheetとの間でファイルをやり取りする場合、双方の固有の機能差により、表示や処理のされかたに多少の違いが出ます（セル書式が異なるなど）。
- Excelファイルを開いたとき、グラフや図形、マクロ、貼り込まれたデータ、一部の関数など、HancomMobileSheetでサポートされていないExcelの情報は表示／処理できません。
また、サイズ制限などによりデータをすべて表示しきれないことがあります。



テンプレートを使ってみる

HancomMobileWordのテンプレートを使う

ここでは、HancomMobileWordに入っているテンプレートを使ってみます。

- 1 アプリケーションホーム画面で “HancomMobileWord”を起動します。
- 2 **ファイル**メニューの**テンプレート**を選択します。
テンプレート一覧画面が表示されます。



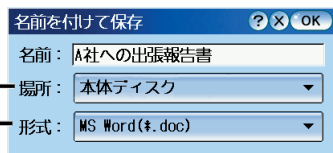
- コンテンツホーム画面で “テンプレート”を選択し、**(OK)**キーを押してもテンプレートを使うことができます。

- 3 テンプレート一覧画面で、いずれかを選択し**(OK)**キーを押します。

- 4 表示されたテンプレートに必要な内容を入力します。テンプレート内に「***」などがある場合は、これを削除して文字を入力します。
- 5 入力終了後、**ファイル**メニューの**名前を付けて保存**を選択します。
- 6 ファイル名、保存場所、形式を選択し、**(OK)**キーを押します。

メモリーカード装着時は、メモリーカードを選択できます。

パソコン上で編集などを行うときは、「MS Word」形式にします。



「本体ディスク」内の「Word_Files」フォルダの中に保存されます。
メモリーカードに保存時は、メモリーカード内の「Documents」フォルダ内の「Word_Files」フォルダの中に保存されます。



- 上記の手順5で、**上書き保存**を選択しても(HancomMobileSheetの場合は**保存**)テンプレートは上書き保存されません。

HancomMobileSheetの場合

- HancomMobileSheetを起動し、**ファイル**メニューの**テンプレート**を選択します。



- コンテンツホーム画面で  “テンプレート”を選択し、**(OK)**キーを押してもテンプレートを使うことができます。
- 保存時、HancomMobileWordと同様に名前を付けて保存します(**ファイル**メニューの**名前を付けて保存**を選択します)。なお、保存時に表示される画面はHancomMobileWordのときと異なりますが、名前／場所／形式を選択できます。
 - ・ 保存先は「本体ディスク」内の「Sheet_Files」フォルダまたは、メモリーカード内の「Documents」フォルダ内の「Sheet_Files」フォルダの中に保存されます。
 - ・ パソコンのExcelで編集などを行うときは、「Microsoft Excel」または「Microsoft Excel95」形式を選びます。



オリジナルテンプレートをテンプレート一覧画面に表示する

ファイルホーム画面内の「Template_Files」の中にHancomMobileWord/Sheet ファイルを入れておくと、193ページの手順2で表示したテンプレート一覧画面にそのファイルが表示されます。

ご自分で作ったオリジナルのテンプレートを「Template_Files」の中に入れておくと便利に使うことができます。

※Microsoft Word、Microsoft Excelはマイクロソフト社の製品です。

HancomMobileWord、HancomMobileSheetは、Hancom Linux社の登録商標です。

HancomMobileWordやHancomMobileSheetについては、当社ではサポートをしておりません。

これらのソフトウェアのユーザーサポートについては、下記のホームページをご覧ください。

ホームページ : <http://jp.mobile.hancom.com/>

メールアドレス : mobile@hancom.com



乗換案内を使うと、出発地の駅名と目的地の駅名を入力するだけで、複数の経路を検索し、それぞれの運賃や所要時間などを調べることができます。

運賃などのデータは、2006年2月版です。

乗換案内についてくわしくは、別冊の『コンテンツガイド』ならびに付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』をご覧ください。

データ更新や機能アップについては、乗換案内のヘルプをご覧ください。ヘルプの表示方法は、乗換案内画面右上の  にタッチします。

乗換案内に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

ジョルダン株式会社 乗換案内ユーザーサポート

電話 **03-5369-4055**

平日 **10:00～12:00 13:00～17:00**





モバイルマップNavi

モバイルマップNaviを使うと、外出先で目的地近辺の地図を表示することができます。

この製品にプリインストールされているモバイルマップNaviは、Sharp Space Townより提供されている“モバイルマップNavi”ソフトウェアと地図用CD-ROMをこの製品にプリインストールしたものです。

モバイルマップNaviについてくわしくは、別冊の『コンテンツガイド』ならびに付属のCD-ROMに収録されている『モバイルマップ取説.pdf』をご覧ください。



“モバイルマップNavi”ソフトウェアのメニューの中には、“モバイルマップNavi サービス(有料)”(*)に入会して利用するものがあります。

このサービスやメニューについてくわしくは、Sharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)から提供されているモバイルマップNaviサービスで確認してください。

このサービスに入会すると、この製品に収録されていない地域の中域／詳細地図をダウンロードすることができます。

さらに、GPSカードを使って現在位置を表示できる機能もあります。この製品で動作可能なGPSカードや機能については、Sharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)から提供されているモバイルマップNaviサービスのページをご覧ください。

“モバイルマップNavi”ソフトウェアについてご質問は、Sharp Space Townにお願いいたします。Sharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)から提供されているモバイルマップNaviサービス内に「よくある質問、ご意見・お問い合わせ」がありますので、そちらもご覧ください。

※Sharp Space Townで提供されている“モバイルマップNaviサービス”はインターネット経由で必要な場所の地図を検索・ダウンロードできる有料のサービスです。

ご利用にはサービスへの入会、またインターネットにつながる環境が必要です。





ブンコビューア

ブンコビューアを使うと、コンテンツホーム画面に表示されているファイル(データ)を読んだり、Sharp Space Town(URL <http://www.spacetown.ne.jp/>)などに掲載されている電子書籍を読むことができます。

ブンコビューアの操作方法については、別冊の『コンテンツガイド』やブンコビューアのヘルプをご覧ください。

電子書籍をダウンロードする

- 1 インターネットに接続して、電子書籍があるホームページを表示します。
- 2 電子書籍のコーナーを閲覧し、電子書籍(ファイル)をダウンロードします(有料)。
- 3 パソコンを使って電子書籍(ファイル)をダウンロードしたときは、そのファイルを以下のどちらかの方法でザウルスに移します。
 - ・ ファイルをコンパクトフラッシュメモリーカードなどにコピーして、そのメモリーカードをザウルスに取り付ける。
 - ・ ザウルスドライブ(※130ページ)を使ってファイルをザウルスにコピーする。
- 4 アプリケーションホーム画面で ブンコビューアを起動し、目的の電子書籍を選択し内容を表示します。

目的の電子書籍が見えないときは、**本体** にタッチして「本体」と「CFカード」、「SDカード」を切り替えたり、 にタッチしてフォルダを切り替えます。

上のフォルダを表示します。



本体／CFカード／SDカードを切り替えます。





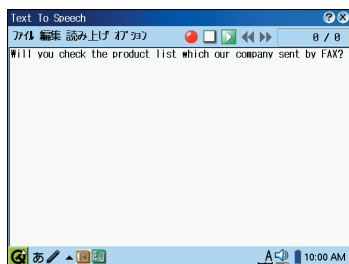
Text To Speech

英語の文章を読み上げます(発音します)。

“翻訳これ一本”を使って英語に翻訳した文章やこのアプリケーションで入力した英語の文章を発音します。

本書では、Text To Speechの簡単な使いかたを説明しています。くわしくは、付属の『コンテンツガイド』をご覧ください。

- 1** 付属のステレオヘッドホンなどを接続し、ステレオヘッドホンから聞くことができるようにします。
- 2**  “翻訳これ一本”を起動し、和文を英文に翻訳します(※187ページ)。
- 3** 翻訳した英文をなぞって選択し、**(Fn)**キーを押しながら**(C)**(copy)キーを押します。
なぞって選択した文章がコピーされます。
- 4** コンテンツホーム画面で  “Text To Speech”を起動します。
手順2でなぞって選択した文章が表示されます。



- 5**  にタッチします。または、**(OK)**キーを押します。
表示されている英文を読み上げます。



- Text To Speechで英文のテキストファイルを開き、表示している英文を読み上げることもできます。





ソフトウェアの追加／削除

この製品では、あらかじめ入っているアプリケーションソフトウェア以外にいろいろなソフトウェアを追加することができます。

ソフトウェアのダウンロード

ソフトウェアを追加する準備として、ソフトウェアをザウルス本体やメモリーカードなどにダウンロードします。

ソフトウェアの掲載場所

●ザウルスのホームページ

Sharp Space Town (URL <http://www.spacetown.ne.jp/>) (2006年2月現在)

●付属のインストールCD-ROM

付属のインストールCD-ROMには、ターミナルなどのソフトウェアが収録されています。

ソフトウェアをダウンロードする

最初にインストールするソフトウェアをザウルスの本体ディスクやメモリーカードにダウンロードします。

1 インストールするソフトウェアを探します。

- ・上記のホームページを開いたり、付属のインストールCD-ROMをパソコンにセットしソフトウェアを表示します。
- ・メールに添付されている場合は、その添付ファイルをパソコンのハードディスクに移します。

2 見つけたソフトウェアをダウンロード(コピー)します。

パソコンを使って探しているときは、パソコンにダウンロード(コピー)したのち、ザウルスドライブ(USBストレージ方式) (131ページ)などを使って、ザウルスの「Install_Files」フォルダにコピーします。



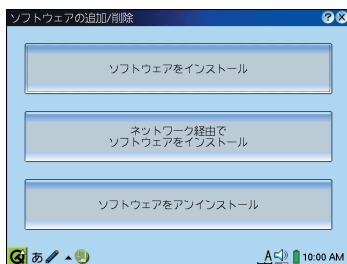
●この製品では、MIシリーズザウルス用のMOREソフトは使用できません。

準備が終了したら次ページをご覧ください。ソフトウェアをインストールします。

ソフトウェアをインストールする

ここでは、インターネットなどからipkファイルをザウルスのInstall_Filesフォルダにダウンロードしているものとして説明します。ダウンロードされていない場合は、まずインストールしたいソフトウェアをダウンロードしてください。

- 1 設定ホーム画面で  “ソフトウェアの追加／削除”を選択し、**(OK)**キーを押します。



- 2 **ソフトウェアをインストール**を選択し、**(OK)**キーを押します。
本体ディスクなどに入っているソフトウェアが一覧に表示されます。

- 3 インストールしたいソフトウェアを選択し、**(OK)**キーを押します。



本体ディスク、カードメモリーに入っているソフトウェアが表示されます。



ソフトウェアの追加／削除

4 インストール先を選択する画面が表示されますので、インストール先を選択して OK キーを押します。

インストール先の選択について

- ・ プログラムエリアは、フラッシュメモリーのことです(※19ページ)。
- ・ メモリーカードなどを選択する場合、カードを装着しておいてください。
- ・ ソフトウェアによっては、SDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードにはインストールできないものがあります(プログラムエリア(フラッシュメモリー)にのみインストールできます)。

5 確認画面で OK キーを押します。

手順3で選択したソフトウェアのアイコンがになります。

6 ソフトウェアインストーラー画面で、 Cancel キーを押します。

7 さらに「ソフトウェアの追加／削除」画面で、 Cancel キーを押します。 しばらくすると、ホーム画面にソフトウェアのアイコンが表示されます。

8 このアイコンを選択し OK キーを押すと、ソフトウェアが起動します。



- インストールを完了するためには、手順6、7は必ず行ってください。



- インストールの途中でエラーメッセージが表示される場合は、エラーメッセージの内容にしたがってください。
- ソフトウェアの中には、手順5の確認画面に再起動が必要である旨のメッセージが表示されることがあります。

このような場合は、(手順5の次の操作として)画面左下のアイコンにタッチし、 再起動 にタッチしたあと、次の画面で はい にタッチします(再起動を行わないと、インストールは完了しませんので、必ずこの操作は行ってください)。再起動後、ホーム画面にアイコンが表示されますので、このアイコンを選択し、 OK キーを押すと、ソフトウェアが起動します。

インストールしたあと(ホーム画面にアイコンは表示されず)タスクバーにのみアイコンが表示されるソフトウェアの場合も、この操作になります。



ソフトウェアをアンインストール(削除)する

使わなくなったり不要になったソフトウェアをアンインストール(削除)して、空き容量を増やすことができます。

- 1** 「ソフトウェアの追加／削除」画面(☞201ページ)を表示し、
ソフトウェアをアンインストールを選択し、**(OK)**キーを押します。
- 2** ソフトウェアアンインストーラー画面で、アンインストール(削除)したいソフトウェアを選択し、**(OK)**キーを押します。
- 3** 確認画面で**はい**を選択し、**(OK)**キーを押します。
アンインストールを中止するときは、**いいえ**を選びます。
- 4** 次の確認画面で**(OK)**キーを押すと、ソフトウェアアンインストーラー画面から手順2で選択したソフトウェアが消えます。
- 5** ソフトウェアアンインストーラー画面で**(Cancel)**キーを押し、さらに表示された「ソフトウェアの追加／削除」画面で**(Cancel)**キーを押します。
しばらくすると、ホーム画面に表示されていたソフトウェアアイコンが消え、アンインストール(削除)されます。



● アンインストール(削除)の操作として、手順**5**は必ず行ってください。





Intellisyncを使う

Intellisync for Zaurusを使うと、次のことができます。

- この製品とMicrosoft Outlookとの間でアドレス帳やカレンダーなどのアプリケーションのデータをシンクロナイズ(同期)することができます。
- Palm OS搭載機のPIMデータ(アドレス、予定、ToDo、メモ帳)を、パソコンのPalm Desktopソフトウェア経由で、この製品に移すことができます。
Palm Desktopソフトウェアは、Palm OS搭載機器に付属しています。



● Microsoft Outlook Expressとの間でシンクロナイズはできません。

Microsoft Outlookとのシンクロナイズ

この製品とMicrosoft Outlookとシンクロナイズできるアプリケーションは次のようになります。

Microsoft Outlookとのシンクロナイズ

Outlook		ザウルス
連絡先	⇔	アドレス帳
予定表	⇔	カレンダー
仕事	⇔	ToDo
メモ	⇔	メモ帳(「Memo」タブ)
受信トレイ	⇔	受信箱
送信トレイ	⇔	送信箱

Palm OS搭載機からこの製品にデータを移行

Palm Desktop		ザウルス
アドレス	⇒	アドレス帳
予定	⇒	カレンダー
ToDo	⇒	ToDo
メモ帳	⇒	メモ帳(「Memo」タブ)

シンクロナイズやデータを移行するには、Intellisync for Zaurusをインストールする必要があります。また、シンクロナイズを行うときはインストール後、通信方法の設定やシンクロナイズの設定も必要です。

インストールについては、『はじめにお読みください』をご覧ください。また、通信方法の設定、操作方法についてくわしくは、付属のインストールCD-ROMに収録されている『Intellisync取説.pdf』をご覧ください。



設定

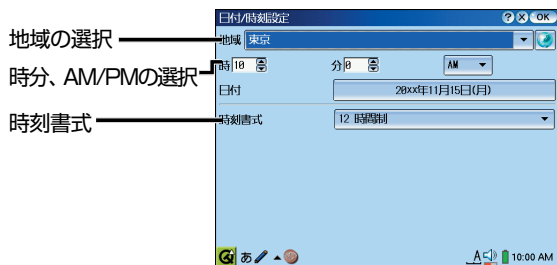
この章では、時刻設定、ライト／省電力設定、タッチパネル調整、システム情報について説明しています。

設定ホーム画面にあるこれ以外の機能(シークレット、赤外線受信など)については、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』の「設定」の章をご覧ください。

時計を合わせる(時刻設定)

基準都市と時刻を設定します。

- 1 設定ホーム画面で  “日付／時刻設定”を選択し、(OK)キーを押します。



- 2 まず最初に基準になる都市を選択します(この都市の時刻を基準に世界時計の時刻が決まります)。

地域の右横欄にタッチし、メニューから都市を選択します。メニューには、世界時計 ( 『アプリケーションマニュアル.pdf』『世界時計』) に表示されている6つの都市が表示されます。

基準にしたい都市が表示されない場合は、 にタッチして世界時計画面に移り、都市を変更します( 『アプリケーションマニュアル.pdf』『世界時計』)。

- 3 時刻書式の右横欄にタッチし、**12時間制**、または**24時間制**を選択します。
- 4 時刻(時分)、AM(午前)／PM(午後)を設定します。



設定

5 日付の右横欄にタッチし、表示されたカレンダー画面から今日の日付にタッチします。月を変える場合は、  にタッチして月を変えます。

6 時報などに合わせて、 にタッチします。
時刻が設定されます。



- 正しく利用するために、地域、日付、時刻は正確に合わせてください。
- 年月日は、1970年1月1日 (GMT) から2037年12月31日 (GMT) まで設定できます (GMTはグリニッジ標準時のことです)。



設定

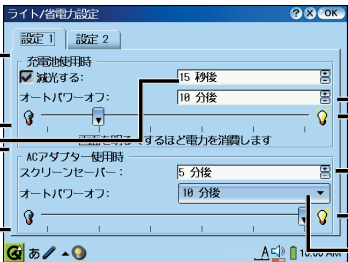
ライト／省電力設定

ライトの明るさや自動節電(オートパワーオフ)機能が働くまでの時間、表示部を閉じたときの設定をします。

- 1 設定ホーム画面で  (ライト／省電力設定)を選択し、**(OK)**キーを押して、ライト／省電力設定画面を表示します。

- 2 必要に応じて各タブにタッチして設定画面を切り替えます。

●「設定1」タブ



① 減光するまでの時間を設定します。

② オートパワーオフするまでの時間を設定します。

③ ライトの明るさを設定します。

④ スクリーンセーバー画面になるまでの時間を設定します。

⑤ オートパワーオフするまでの時間を設定します。

「減光する」は、充電電池を使用しているとき設定ができます(この設定は、チェックがついていないと有効になりません)。

ACアダプター使用時は、減光できません。

- ① **減光する** キーを押したり画面タッチ操作をしないとライトを減光します(充電電池使用時)。減光するまでの時間は、「減光する」の右横欄で設定します(輝度が一番低いときは、減光しません)。ただし、Movie Playerで動画を再生中などは、減光されません。
- ② **オートパワーオフ** 充電電池使用時、キーを押したり画面タッチ操作をしないと電源を切ります(オートパワーオフします)。オートパワーオフするまでの時間は、「オートパワーオフ」の右横欄で設定します。ただし、通信を行っているとき、ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンとザウルスを接続しているとき、動画や音楽を再生しているとき、音声を録音しているときなどは、電源は切れません。
- ③ **ライトの輝度** ライトの明るさを設定します(充電電池使用時とACアダプター使用時を別々に設定できます)。スライダーを変更すると明るさと消費電力が変わります(暗いほど消費電力は少なくなります)。
- ④ **スクリーンセーバー** ACアダプター使用時、キーを押したり画面タッチ操作をしないと、設定時間が経過したのちスクリーンセーバー画面になります(次ページのメモの4つ目)。スクリーンセーバー画面で、カーソルキーなどを押すと元の画面に戻ります。

(次ページへ続く)



設定

- ⑤**オートパワーオフ** ACアダプター使用時、キーを押したり画面タッチ操作をし（ACアダプター使用時）ないと電源を切ります（オートパワーオフします）。

ただし、通信を行っているとき、ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンとザウルスを接続しているとき、動画や音楽を再生しているとき、音声を録音しているときなどは、電源は切れません。



- 各項目の時間は、キー操作やタッチ操作を最後にしてから各機能が働くまでの時間を設定します。
- (Fn)**を押したまま**③**キーを押すと、ライトの明るさが1段階暗くなります。
- (Fn)**を押したまま**④**キーを押すと、ライトの明るさが1段階明るくなります。
- スクリーンセーバーについて**

スクリーンセーバーが働くと、画面全体が白色になり時刻が表示され、時刻を表示している位置が10秒間隔で変わります。

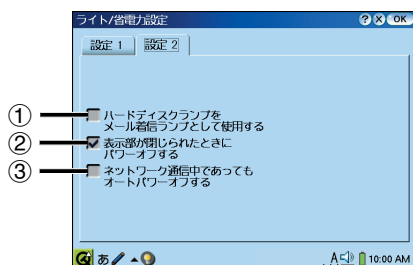
スクリーンセーバー画面を終了するには、**(カーソル)**キーなどを押します（終了までにしばらく時間がかかることがあります）。

スクリーンセーバー画面になっている状態でも、ザウルスショットやザウルスドライブ、シンクロナイズは実行できます。



- ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンとザウルスを接続しているとき、通常スクリーンセーバーは動きません。

●「設定2」タブ



①ハードディスクランプをメール着信ランプとして使用する

ハードディスクランプをメールが着信したときにランプが点灯するように変更します（この設定は、チェックがついているとき「メール着信ランプ」になります）。この設定にするとハードディスクにアクセス中はランプは点灯しませんので、ご注意ください。

②表示部が閉じられたときに電源を切る

表示部を閉じたときに電源オフになるよう設定します。

ただし、音楽を再生しているときは画面表示がオフになります（電源は切れません）。

（次ページへ続く）



③ ネットワーク通信中であってもオートパワーオフする

社内LANなどに接続し通信中の場合でも、設定した時間になるとオートパワーオフするように設定できます。

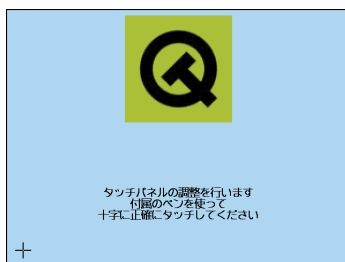
チェックをつけると、設定した時間にオートパワーオフします。

3 各項目を設定し、**(OK)**キーを押します。

タッチパネルを調整する

ペンでタッチしたとき、ボタンなどが反応しなかったり違うボタンが働くなど、タッチした位置が画面の位置とずれているときはタッチパネル調整でずれを修正します。

- 1 設定ホーム画面で  “タッチパネル調整”を選択し、**(OK)**キーを押してタッチパネル調整の画面を表示します。



- 2 タッチペンで、「+」の中心にタッチします。
- 3 「+」が移動し止まりますので、再度、「+」の中心にタッチします。
- 4 「+」が移動しますので、引き続き、手順2～3と同じ操作を行っていきます。
- 5 最後に画面の中央に「+」が止まりますので、中心にタッチします。設定ホーム画面に戻り、タッチパネル調整が終了します。



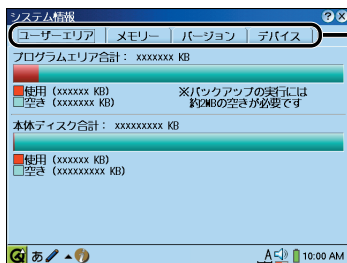
設定

システム情報

システム情報では、この製品のユーザーエリアの使用状況(空き容量)やメモリーカードの使用状況(空き容量)、Linuxのバージョンなどを確認できます。

システム情報を見る

- 1 設定ホーム画面で  “システム情報”を選択し、**(OK)**キーを押します。
システム情報画面が表示されます。



タブにタッチすると、それぞれの情報が表示されます。
各タブの詳細は、下記をご覧ください。

画面の説明

「ユーザーエリア」タブ	・プログラムエリア(フラッシュメモリー)には、インストールした追加ソフトウェアやアドレス帳、カレンダー、ToDo、メモ帳(「Memo」タブ)、メール(本文)などのデータが保存され、その使用量を表示します。 ・本体ディスク(ハードディスク)には、メモ帳(「Text」タブ)、イメージノートやザウルスドライブを使ってパソコンからコピーしたファイルなどが保存され、その使用量を表示します。 ・SDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードを取り付けているときは、そのカードの使用状況も表示されます。
「メモリー」タブ	システムやアプリケーションソフトウェア(プログラム)のメモリー使用量を表示します。
「バージョン」タブ	システムなどのバージョンを表示します。
「デバイス」タブ	CFスロット/SDスロット/USBの情報が表示されます。

- 2 **(Cancel)**キーを押して画面を閉じます。



- この製品の電源を切りすぐ電源を入れたとき、「メモリー」タブで表示されるメモリー使用状況は、電源を切る前の状態によって変わることがあります。



● インストール後のipkファイル

追加ソフトウェアをインストールしたあと、インストールする前のファイル(「xxxxx.ipk」など)は本体ディスクに残っています。このipkファイルを削除すると、本体ディスク空き容量が増えます。ipkファイルを削除しても、ソフトウェアは動作します。

ユーザーエリアやメモリーがいっぱいになると

プログラムエリアがいっぱいになると

多くのアプリケーションをインストールすると、プログラムエリアが少なくなり、次のような状態になることがあります。

- ・ データを保存できない旨のメッセージが表示される。
- ・ データの新規作成や修正ができなくなる。
- ・ 追加ソフトウェアをインストールできない。

など

このようなときは、追加したソフトウェアを削除してください。

本体ディスクがいっぱいになると

受信メールの添付ファイルを保存したままにしたり、音楽ファイルや画像ファイルを多く保存するなどして本体ディスクが少なくなると、データを保存できない旨のメッセージが表示されます(本体ディスクがいっぱいになったときに動作が遅くなる症状を防ぐために、本体ディスクが残り数百KB以下になったときに表示されます)。

このようなときは、ファイルホーム画面に表示される不要なファイル(画像や音楽ファイルなど)を削除してください。

メモリーがいっぱいになると

- ・ アプリケーション(カレンダーなど)が起動しなくなったり、機能が十分に働かなくなったり、メモリーが不足している旨のメッセージが表示されることがあります。すぐに作成中・編集中のデータを保存してください。また起動(表示)しているアプリケーションが突然、終了することがあります。この場合、作成中・編集中のデータが失われます。

メモリー不足のメッセージが表示されたときは、すみやかに、使用しないアプリケーションを終了してください。また、高速起動のチェックを外したり(※52ページ)、異常が起きたとき(※231ページ)の操作を試してみてください。

- ・ サイズが大きいファイル(画像ファイル)などを表示しようとして表示できず、アプリケーションが起動できないことがあります。

このようなときは、再起動やリセット操作(※231～234ページ)を行ってください。

メモリー領域の断片化について

この製品では、入力中／修正中のデータはメモリー(システムやアプリケーションが動作している領域)に書き込まれます。いろいろな作業をしているうちに、このメモリー領域の断片化が進み、「メモリーがたりません」などと表示されたり、電源が切れたりすることがあります。

このようなときは、再起動やリセット操作(※231～234ページ)をするとメモリーの断片化が解消され、この製品を使用できるようになります。



設定

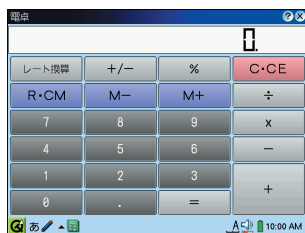
ほかの機能を使う

ここでは、この『取扱説明書』や別冊の『コンテンツガイド』で説明をしていないアプリケーションや設定について、各ホーム画面ごとにその概要を説明します。それぞれのくわしい操作や特長については、付属のインストールCD-ROMに収録されている『アプリケーションマニュアル.pdf』などをご覧ください。

アプリケーションホーム画面

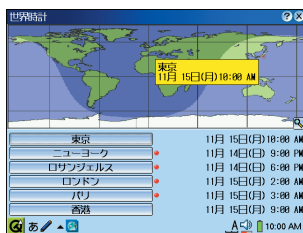
電卓

一般の電卓と同じ計算や、外貨と円のレート換算が簡単にできます(『アプリケーションマニュアル.pdf』「電卓」)。



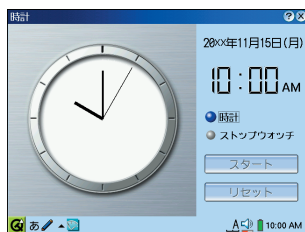
世界時計

6つの都市の日付・時刻を一度に見ることができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』「世界時計」)。



時計

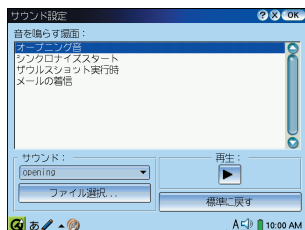
時計と日付を表示します。ストップウォッチとして使うこともできます(『アプリケーションマニュアル.pdf』「時計」)。



設定ホーム画面

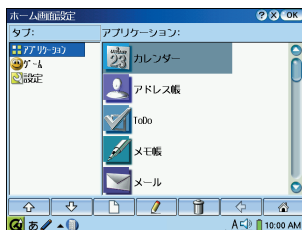
サウンド設定

オープニングなどの音(サウンド)を変更することができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「サウンド設定」)。



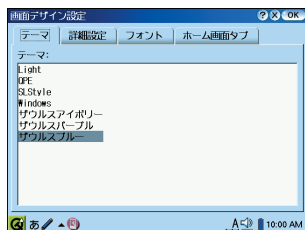
ホーム画面設定

自分なりの使いやすいホーム画面にカスタマイズすることができます。(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「オリジナルのホーム画面を作る」)。



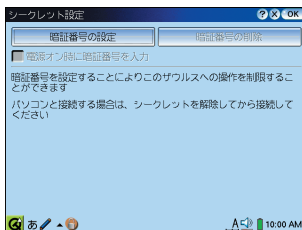
画面デザイン設定

画面デザインを変更することができます。画面のスタイルを変えたり、壁紙を使用したりできます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「壁紙や画面デザインを変える」)。



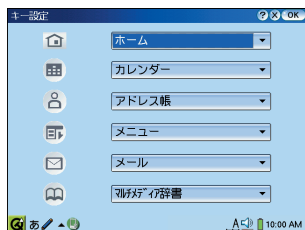
シークレット設定

この製品を他の人が勝手に使えないようにすることができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「シークレット(全機能ロック)」)。



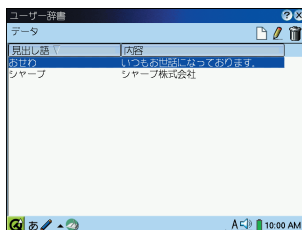
キー設定

(ホーム)キーなどを押したときの動きを変更することができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「キーのはたらきを変える(キー設定)」)。



ユーザー辞書

よく使う語句を登録して、簡単に使うことができます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『文字入力』の「ユーザー辞書を使って簡単に入力できるようにする」)。

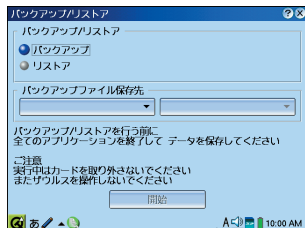


その他

ほかの機能を使う

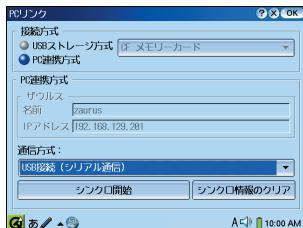
バックアップ/リストア

アドレス帳などのデータを、メモリーカードに保管（バックアップ）したり、バックアップしたデータをこの製品に呼び出す（リストア）ことができます（『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「バックアップ/リストア」）。



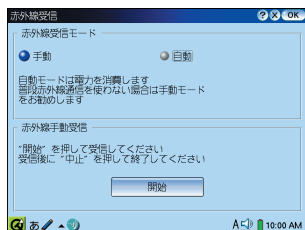
PCリンク

パソコンとザウルスを接続するとき、接続方式を選択したり、通信方式をパソコン側（ザウルス通信マネージャ）と合わせたりします（『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「PCリンク」）。



赤外線受信

赤外線通信（IrDA）でデータを受信することができます（『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「赤外線通信（データ交換）」）。



P-inカード設定

P-in Freeなどをホームアンテナモードなどで使うときに設定します（『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「P-inカード設定」）。付属のインストールCD-ROMからダウンロードしてインストールします。



その他

ほかの機能を使う

インストールCD-ROMに収録されているその他のアプリケーション

下記のアプリケーションは付属のインストールCD-ROMからダウンロードしてインストールします。



ボイスレコーダー

動作確認済みのマイクなどを使って自分の声などを録音できます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『ボイスレコーダー』)。



プレゼンテーション

画像ファイルをザウルスに接続したグラフィックカードからプロジェクターなどに出力できます(『アプリケーションマニュアル.pdf』『プレゼンテーション』)。



ターミナル

Linuxを熟知した方がこの製品のOSにアクセスするためのアプリケーションです(『アプリケーションマニュアル.pdf』『ターミナル』)。



FreeNoteQt

画面の大きさを気にせず、手書きしたり文字を入力できます。



ゲーム

人気定番ゲームの「上海」の体験版が楽しめます。

その他

ほかの機能を使う



MIシリーズザウルス、コミュニケーションバルからのデータ移行

赤外線通信を使って、MIシリーズザウルスやコミュニケーションバルからこの製品にデータを移行します。受信側(SL-C3200)は、追加受信になります。

MIシリーズザウルスでお使いのSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードなどのデータも赤外線通信で移行します(MIシリーズザウルスでお使いのSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードなどを直接SL-C3200に取り付けても、データを見ることはできません)。

移行できるMIシリーズザウルス、コミュニケーションバルの機能とSL-C3200側のアプリケーションとの関係は、以下のようになります(以下の7つの機能以外のデータは移行できません。また、MOREソフトをこの製品に移して使うことはできません)。

MIシリーズザウルス/コミュニケーションバル

SL-C3200

- | | | |
|----------------|---|------------------------|
| ・ アドレス帳 | → | アドレス帳 |
| ・ スケジュール | → | カレンダー |
| ・ アクションリスト | → | ToDo |
| ・ フォトメモリー | → | イメージノート |
| ・ メモ帳 | → | メモ帳(「Text」タブ) |
| ・ レポート&自由帳 | → | メモ帳(「Text」タブ)またはデータベース |
| ・ パーソナルデータベースⅡ | → | データベース |

※ メモ帳はMI-L1、MI-E21、MI-E25DCに搭載されています。



- インクワープロのデータは移行できません。
- MI-EX1の電子アルバムは移行できません。
- MIシリーズザウルスの情報ファイルは移行できません。



- MI-C1などに搭載されているレポート&自由帳のデータのみを転送する場合、手順6、7でレポート&自由帳を表示して「操作メニュー」の「通信」タブを選び「光通信」にタッチします。表示された画面で、送信選択として「全レポート&自由帳データ通信」を選び、「実行」にタッチすると、レポート&自由帳のデータのみ送られ、送信時間が短くなります。

また、送信側と受信側とでは、同じアドレス帳であっても各データ内の項目が違います。送信側と受信側の各機能(アプリケーション)の項目の割り振りは、221ページをご覧ください。



PIシリーズザウルスのデータ移行サービスのお知らせ

もよりのシャープサービス会社にお持ちいただくと、データ移行のサービスをさせていただきます(有料)。付属の『お客様ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

なお、ザウルスをいったんお預かりさせていただく場合がありますので、お持ち込みの前にシャープサービス会社にご相談ください。



● MIシリーズザウルスなどからフォトメモリーをデータ移行するときのご注意

今までお使いのMIシリーズザウルスやコミュニケーションパルのフォトメモリー(手書メモ)にPIシリーズザウルスから移した手書メモのデータが入っている場合は、このデータをMIシリーズザウルスやコミュニケーションパルで、いったん修正画面にして登録し、タイトルを入力してください(PIシリーズザウルスの手書メモのデータ形式とSL-C3200のデータ形式が異なることと各データにはタイトルが必要のため、この操作が必要になります)。

その後、MIシリーズザウルスやコミュニケーションパルからSL-C3200にデータを移行します(※次ページ)。

この操作を行わずデータ移行すると、PIシリーズザウルスからMIシリーズザウルスやコミュニケーションパルに移してきた手書メモのデータは、SL-C3200に移行できない、または(タイトルがない場合は)表示できないデータとして保存されます。

- レポート&自由帳にフォトメモリーの画像データを貼り付けているときは、この画像データは移行できません。
- データ移行を行い、一度に数千件のカレンダーやアドレス帳などのデータをSL-C3200に保存すると、動作が非常に遅くなることがあります(ユーザーエリアやメモリーの整理に時間がかかっているためです)。このようなときは、リセット操作は行わず、通常の動作になるまでお待ちください。



- PIシリーズザウルスのデータは、直接この製品に移すことはできません。
- これまでザウルスパワーコネクションを使ってMIシリーズザウルスとMicrosoft Outlookとの間でシンクロナイズをされていたお客さまへ

Intellisync for Zaurusをお使いになることで、Outlook上にある「予定表」(スケジュール)、「連絡先」(アドレス帳)、「仕事」(アクションリスト)、「受信トレイ」(受信メール)、「送信トレイ」(送信メール)の各データをSL-C3200に取り込むことができます(※204ページ)。

- 他のザウルスなどからSL-C3200にデータを移行するとき通信時間が長くなると、SL-C3200がスクリーンセーバー画面になります。ここで、(通信状況の確認などのために)スクリーンセーバー画面にタッチすると、画面全体が薄い青色になり画面左下が白くなることがありますが、この状態でもデータ移行は行われています。通信を中断せずにそのまま、データ移行を行ってください。通信が終わると、SL-C3200側は確認の画面が表示されます。
- すでにデータを入力したこの製品に、MIシリーズザウルスなどからデータ移行を行うと、この製品にすでに入っているデータは残り、移行されたデータは追加になります。



データを移行する

1 準備

連続して通信を行いますので、消費電力が多くなります。ACアダプターをお持ちの方はACアダプターをご使用ください。ACアダプターをお持ちでない方は、バッテリーパックや充電電池をフルに充電し、乾電池のときは新しい乾電池と交換してください。

この製品では、ACアダプターをご使用ください。



- データ移行画面で選択した機能が少ない場合でも、送信側はいったん全データを送るため、時間がかかります。

たとえば、MI-E25DC(約8MB)では約25分かかります(この時間は目安です)。登録しているデータによっては、これ以上の時間がかかることがあります。

2 双方の光通信端子(送受光部)がまっすぐ向き合うように置きます。

通信距離は、約5cm～15cmにします。

双方の光通信端子の高さが違うときは、下に台を置くなどして高さが合うようにします。

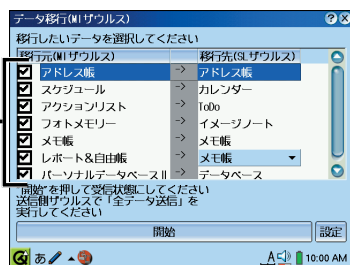
また、双方の光通信端子の間を遮断するものを置かないようにします。

3 「受信側」：設定ホーム画面(53ページ)で、「データ移行(MIザウルス)」のアイコンにタッチします。

4 「受信側」：データ移行画面で、受信したくない機能にタッチしてチェックを外します。

チェックがついている機能を受信します。

受信したくない機能のチェックを外します



- 移行できるデータは、216ページの機能のデータだけです。
- 「設定」は、レポート&自由帳のデータ移行するときのものです(225ページ)。



5 「受信側」: **開始** にタッチします。

さらに、確認画面で **OK** にタッチし、表示された画面で **はい** にタッチします。

6 「送信側」: MI-E25DC、MI-E21、MI-E1、MI-L1、MI-P10、MI-C1シリーズでは下表を参照してデータ追加受信/全データ送信画面、それ以外の機種では全データ保存画面を表示します。

画面の表示のしかたは機種によって異なります。下記の表を参照して表示してください。

MI-E1	データ通信画面で 追加受信 アイコンにタッチ
MI-E25DC、MI-E21、MI-L1	本体機能インデックス画面で 追加受信 アイコンにタッチ
MI-P10	ツールインデックス画面で 追加受信 アイコンにタッチ
MI-C1シリーズ	ツール キー、 追加受信 アイコンにタッチ
MI-EX1	電源 ボタン、 オリジナル 、 全データ保存 アイコンにタッチ
MI-J1 MI-P1/MI-P2シリーズ	オリジナル画面で 全データ保存 アイコンにタッチ
MI-600/MI-500シリーズ	通信 キー、 全データ保存 アイコンにタッチ
MI-310	アドレス帳などの機能を表示し、 通信メニュー キーに2回タッチし、 全データ保存 にタッチ
MI-100シリーズ	通信 キー、 全データ保存 アイコンにタッチ
MI-10	ザウルス通信 キー、 全データ保存 アイコンにタッチ
MT-300/MT-200シリーズ	設定 キー、 全データ保存 にタッチ

7 「送信側」: MI-E25DC、MI-E21、MI-E1、MI-L1、MI-P10、MI-C1シリーズでは、**光**、**次へ** にタッチします。

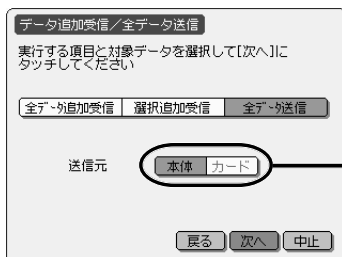
上記以外のMIシリーズザウルスでは**光通信** (機種によっては**光**)、**選択** にタッチします。

コミュニケーションパル(MT-300/MT-200シリーズ)では、この手順は飛ばして、手順8に進みます。

「全データ保存: 光(全データ通信)」画面が表示されます。



- 8** 「送信側」：MI-E25DC、MI-E21、MI-E1、MI-L1、MI-P10、MI-C1シリーズでは、下の画面で**全データ送信**、**本体**、**次へ**にタッチし、**実行**にタッチします。

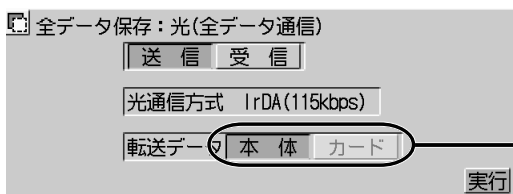


カードを選択すると、カードのデータを送信します。

※上の画面は、MI-P10のものであります。

上記以外の機種では、下の画面で**送信**、**本体**にタッチし、**実行**にタッチします。

・MT-300/MT-200シリーズでは、「転送データ」の項目はありません。



カードを選択すると、カードのデータを送信します。

※上の画面は、MI-EX1のものであります。

- 9** 「送信側」：確認画面で、**はい**にタッチします。

データを移行している画面が表示されます。データ移行が終了すると、送信側はこの画面が消え、受信側は確認の画面が表示されます。データ移行の途中でスクリーンセーバー画面になったときは、そのまま移行を続けてください。データ移行終了時の操作は、次ページの4つ目のメモをご覧ください。

- 10** 「受信側」：データ移行終了の画面で**OK**にタッチします。

- ・正常にデータ移行が行われた場合は、これで、データ移行は完了です。
- ・通信エラーなどによって通信が止まったときや、受信側の空き容量が送信側の使用量よりも小さいため通信が止まったときは、次の手順に進んでデータ移行の状況を確認してください。

- 11** 「受信側」：データ移行の状況を示す画面が表示されます。

この画面で、各機能のデータが移行できたかどうかの状況がわかります。

- 「エラー」は、通信エラーで通信が止まったり、その機能を移行している途中でディスクがフルになったことを示しています。

(次ページへ続く)



この場合は次のようになります。

- ・各アプリケーションのデータは、通信が止る前までのデータが移行されます(実際にどこまでのデータが移行されたかは、送信側と受信側を見比べてください)。
- 「済」は、移行が完了したことを示します。
- 「未」は、まだ移行していない、手順4でチェックをつけていないまたは、移す機能がない(MI-310などにはメモ帳がないため、チェックをつけてもデータは移りません)ことを示します。

12 移行できなかったデータを移したいときは、受信側の不要なデータを削除してから、再度、手順1より操作してください。また、手順4で受信したい機能だけチェックをつけます。



- SL-C3200に取り付けたSDメモリーカード(MIシリーズザウルスで使っていたカードではなく、新しいカード)などにデータを移行することはできません(データは、SL-C3200本体に移します)。
- 移せるデータの中でも、アドレス帳の顔写真やスケジュールの記念日、各機能のデータをまとめる情報ファイルや各データを見えなくするシークレットなどは移すことはできません。
- データ転送中に通信を中断したときは、それまでSL-C3200で受信したデータは正しくない可能性があります。再度データ移行してください。
- データ移行の途中でSL-C3200の画面がスクリーンセーバー画面になったときは、そのまま移行を続けてください。データ移行が終了するとSL-C3200のスクリーンセーバーが解除されますので、データ移行の終了を確認してください。データ移行が終了した後、そのままにしておく(時間経過により)再度スクリーンセーバー画面になりますので、そのときは(MIシリーズザウルス側の送信終了を確認し)、SL-C3200のカーソルキーを押し、スクリーンセーバー画面を解除してデータ移行の終了の確認をしてください。



- MIシリーズザウルスで表示される固有の記号／絵記号は「□」で表示されます。

送信側と受信側の各機能(アプリケーション)の項目について

この製品とMIシリーズザウルスやコミュニケーションパルとでは、同じ名称の機能(アプリケーション)でも、入力項目が違います。たとえば、同じアドレス帳でも、この製品では、姓と名が分かれています。MIシリーズザウルスでは1つの項目に姓と名を入力します。

このような項目の違いがある場合、データを移行するときに送信側と受信側の項目が合うように自動的に割り振りを行っています。



ここでは、この製品とMIシリーズザウルス／コミュニケーションパルのそれぞれの機能(アプリケーション)の項目がどのように割り振られているかを説明しています。

フォトメモリーとメモ帳は、項目に分かれていないので、そのままデータを移行します。

アドレス帳(SL-C3200はアドレス帳に受信)

MIシリーズザウルス コミュニケーションパル	SL-C3200	備考
■(個人名)よみ	■よみ (姓) ■よみ (名)	※1
■個人名	■個人名 (姓) ■個人名 (名)	※2
■(会社名)よみ	■よみ (会社名)	
■会社名	■会社名	※3
■所属	■所属	
■役職	■役職	
■自宅TEL	■[自宅]TEL	
■会社TEL	■[会社]TEL	
■会社FAX	■[会社]FAX	
■自宅FAX	■[自宅]FAX	
■ポケベル	■ポケベル	
■携帯電話	■携帯電話	
■メールアドレス	■メールアドレス	
■会社住所	■[会社]番地 ■[会社]市町村 ■[会社]都道府県	※4
■会社郵便	■[会社]郵便番号	※3
■自宅住所	■[自宅]番地 ■[自宅]市町村 ■[自宅]都道府県	※5
■自宅郵便	■[自宅]郵便番号	※3
■誕生日	■誕生日	
■備考	■メモ	※6

- ※1： ・ MIザウルスの「(個人名)よみ」に全角スペースがある時は、最初の全角スペースより前が「よみ(姓)」に、最初の全角スペースより後ろが「よみ(名)」に入ります。
・ 全角スペースがない場合は、すべて「よみ(姓)」に入ります。
- ※2： ・ MIザウルスの「個人名」に全角スペースがある時は、最初の全角スペースより前が「個人名(姓)」に、最初の全角スペースより後ろが「個人名(名)」に入ります。
・ 全角スペースがない場合は、すべて「個人名(姓)」に入ります。
・ 改行がある場合は、全角スペースに置きかえます。
- ※3： ・ 改行がある場合は、全角スペースに置きかえます。



- ※4：・MIザウルスの「会社住所」は、以下の内容によって、それぞれ、「[会社]都道府県」、「[会社]市町村」と「[会社]番地」に入ります。
- ・「会社住所」に全角スペースがない場合は、「[会社]番地」にすべて入ります。
 - ・全角スペースが1つの場合は、全角スペースより前が「[会社]都道府県」に、全角スペースより後ろが「[会社]市町村」に入ります。
 - ・全角スペースが2つの場合は、1つめの全角スペースより前が「[会社]都道府県」に、1つめの全角スペースより後ろで2つめの全角スペースより前が「[会社]市町村」に、2つめの全角スペースより後ろが「[会社]番地」に入ります。
 - ・全角スペースが3つ以上ある場合は、2つめの全角スペースより後ろがすべて「[会社]番地」に入ります。
 - ・改行がある場合は、全角スペースに置きかえます。
- ※5：・MIザウルスの「自宅住所」は、全角スペースを認識して「[自宅]番地」、「[自宅]市町村」、「[自宅]都道府県」に入ります。
- ・「自宅住所」に全角スペースがない場合は、「[自宅]番地」にすべて入ります。
 - ・全角スペースが1つの場合は、全角スペースの前と後ろで「[自宅]都道府県」と「[自宅]市町村」に分かれて入ります。
 - ・全角スペースが2つの場合は、全角スペースで区切って前から「[自宅]都道府県」、「[自宅]市町村」、「[自宅]番地」に順に入ります。
 - ・全角スペースが3つ以上の場合は、前のスペースから区切って、「[自宅]都道府県」、「[自宅]市町村」、「[自宅]番地」に順に入ります（3つ目のスペース以降は、「[自宅]番地」に入ります）。
- ※6： 改行は、改行のまま入ります。

スケジュール(通常)(SL-C3200はカレンダーに受信)

MIシリーズザウルス コミュニケーションパル	SL-C3200	備考
■開始日	■開始日	※1
	■終了日	※2
■開始時刻	■開始時刻	
■終了時刻	■終了時刻	※3
■内容	■件名	※4
■場所	■場所	
■アラーム時刻	■アラーム時刻	※5

- ※1： 1969年12月31日(GMT)以前のスケジュールと2038年1月1日(GMT)以降のスケジュールは、受信しません。
- ※2： 「終了日」には、「開始日」の日付が入ります。
- ※3： 終了時刻が入っていない場合は、「開始時刻+1時間」が入ります。
- ※4： 改行がある場合は、全角スペースに置き換えます。
- ※5： 1969年12月31日(GMT)以前のアラーム時刻と2038年1月1日(GMT)以降のアラーム時刻は、解除されます。



スケジュール(日をまたがるスケジュール)(SL-C3200はカレンダーに受信)

MIシリーズザウルス コミュニケーションパル	SL-C3200	備考
■開始日	■開始日	※1
■開始時刻	■開始時刻	
■終了日	■終了日	※1
■終了時刻	■終了時刻	
■内容	■件名	※2
■場所	■場所	

※1: 1970年1月1日(GMT)以前のスケジュールと2037年12月31日(GMT)以降のスケジュールは、受信しません。

※2: 改行がある場合は、全角スペースに置き換えます。

アクションリスト(SL-C3200はToDoに受信)

MIシリーズザウルス コミュニケーションパル	SL-C3200	備考
■開始日	■開始日	※1
■期限日	■期限日	
■処理日	■処理日	
■アクション	■内容	※2
■チェック	■チェック	
■重要度	■重要度	※3

※1: 開始日、期限日、処理日のいずれかが、1969年12月31日(GMT)以前または2038年1月1日(GMT)以降の場合、このアクションリストは受信しません。

※2: 改行は、改行のまま入ります。

※3: MIシリーズザウルスの「緊急」、「A」「B」「C」は、それぞれ「1」、「2」、「3」、「4」となります。

フォトメモリー、メモ帳(SL-C3200は、イメージノート、メモ帳(「Text」タブ))

この2つの機能は、項目に分かれていないので、そのまま受信します。

※メモ帳は、MI-L1、MI-E21、MI-E25DCに搭載されています。



レポート&自由帳(SL-C3200はメモ帳(「Textタブ」とデータベースの切り替え))

- テキストデータに変換して、この製品のメモ帳のデータとして受信、またはデータベースデータとして受信します。

レポート&自由帳にフォトメモリーの画像データを貼り付けているときは、この画像データは移行できません。

情報ファイルに分類しているレポート&自由帳のデータをメモ帳に移行するとき、情報ファイル名ごとにフォルダを作りそのフォルダに保存できます(下記)。

データ移行画面で「設定」にタッチして表示された画面で、「情報ファイルの分類情報を元にフォルダに移行する」を選びます(ただし、複数の情報ファイルに分類しているデータがあるときは、「_要分類データ」フォルダを作り、その中に保存します)。

- レポート&自由帳のデータをデータベースに移行すると、作成日付は移行したザウルス本体の日付に更新されます。
- データベースに移行した場合、移行したデータベースの一番上の項目名がデータベース名として登録されます。移行前と同じ名前にするためには、データベース編集画面で、データベース名の変更をしてください。



- 情報ファイルに分類しているレポート&自由帳のデータをパーソナルデータベースに移行してもフォルダは作られません。

パーソナルデータベースⅡ(SL-C3200はデータベース)

- MI-P1/MI-P2シリーズおよび、MI-600/MI-100シリーズ、MI-500、MI-300、MI-10、MI-J1に内蔵されているパーソナルデータベース機能のデータを受信することはできません。
- パーソナルデータベースⅡのデータを移行すると、作成日付は移行したザウルス本体の日付に更新されます。





SLシリーズザウルス(SL-A300など)からのデータ移行

赤外線通信を使って、SL-A300やSL-B500、SL-C700などのSLシリーズザウルスからこの製品にデータを移行します。SL-C3200同士の場合もこの方法で移行します。

MIシリーズザウルスやコミュニケーションパルからデータを移す場合は、216ページをご覧ください。

SLシリーズザウルスのアプリケーションで保存したデータやファイルなど(下記)を移行します。

- ・アドレス帳
- ・イメージノート
- ・データベース
- ・HancomMobileSheet
- ・動画ファイル(ASF形式: SL-C3200/C3100/C3000/C1000/C860/C760/C750用、MPEG-1: SL-C3200/C3100/C3000/C1000用)
- ・音楽ファイル(MP3形式)
- ・カレンダー
- ・メモ帳
- ・NetFront
- ・ネットワーク設定
- ・フォトストレージ
- ・ToDo
- ・メール
- ・HancomMobileWord
- ・ボイスレコーダー
- ・その他ファイル



● SL-C3200同士やSL-C3000など容量が大きい機種とデータ移行する場合、以下の1と2を行うことをおすすめします。

1 アドレス帳、カレンダーなどのデータは、ここに記載している方法でデータを移します(手順5で、必ず「いいえ」を選択してください)。

2 画像ファイル、テキストファイル、HancomMobileWordなどのファイル(ファイルホーム画面で表示できるファイル)は(手順5で「いいえ」を選択しデータ移行しないようにして)、ザウルスドライブを使ってパソコンにコピーまたはメモリーカードにコピーしてデータを移します。

※手順5でカレンダーなどのアプリケーションのみ選択すると、そのアプリケーションのみ移行しますので通信時間を短くできます。

- 通信エラーとなってデータ移行が中断したときは、受信側でそれまで受信したデータをすべて削除してから、データ移行を最初からやり直してください。
- データを移行する場合、ユーザーエリアの使用量が約10MBのとき、通信時間が約40分かかります(通信時間は、登録しているアプリケーションによって大きく異なります)。
- SL-C860やSL-C3000などからデータを移行する場合、『翻訳これ一本』や『広辞苑』、『ジーニアス英和・和英辞典』の辞書データは移行の対象にはなりません。
- イメージノートとメモ帳のデータを移行するときには、次のことに注意してください。

・ イメージノートとメモ帳は、それぞれ「Image_Files」フォルダ、「Text_Files」フォルダ内のファイルが移ります(これらのフォルダは、イメージノートやメモ帳を起動してファイルを作成したときの保存先フォルダです)。

・ 「Image_Files」フォルダや「Text_Files」フォルダ以外の場所に画像やテキストファイルが入っているとき(ザウルスドライブを使ってパソコンから画像ファイルやテキストファイルをコピーしたときやWebブラウザ(NetFront)で画像データをダウンロードしたときなど)、それらのファイルを移すには「その他ファイル」にチェックをつけてください(※228ページの手順8)。

・ SL-A300のメモ帳のデータは、メモ帳の「Text」タブに入ります。

次ページへ続く





- メールを移行すると、アカウント情報も移行されます。
- データベースのデータを転送するとき、画像データなどを貼り付けているときは、この貼り付けている画像データなどは一緒に移行できません。
画像データなどは、別にメモリーカードなどを使って同じフォルダー構成のままコピーしてください。

データを移行する

1 準備(SL-A300からのデータ移行の場合のみ必要)

SL-A300からデータ移行を実行するには、SL-A300に「全データ送信(SLザウルス)」のソフトをインストールする必要があります。

SL-A300用のパソコンソフトウェアをインストールしたパソコンにSL-C3200用のパソコンソフトウェアをインストールして、デスクトップに作成される「SL-A300_ザウルスドライブ」アイコンを使って、「zmigration_sla300.ipk」ファイルをSL-A300のInstall_Filesフォルダにコピーし、インストールします(「zmigration_sla300.ipk」は『はじめにお読みください』46ページの手順10で表示される画面の中にあります)。

「SL-A300_ザウルスドライブ」アイコンについては『はじめにお読みください』37ページを、ザウルスドライブを使ったSL-A300へのコピーおよびインストールの方法についてはSL-A300の取扱説明書をご覧ください。

2 送信側ザウルス、SL-C3200両機種にACアダプターを接続します。

連続して通信を行うため消費電力が多くなり、さらに、送信側ザウルスのユーザーエリアを多く使っていると通信に非常に長い時間がかかりますので、必ずACアダプターを接続してください。

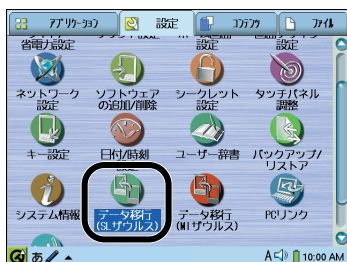
3 双方の光通信端子(送受光部)がまっすぐ向き合うように置きます。

通信距離は、20cm以下にします(SL-A300の光通信端子は低いところにありますので、下に台を置くなどして高さが合うようにします)。

また、双方の通信端子の間を遮断するものを置かないようにします。

4 「受信側(SL-C3200)」:

設定ホーム画面で、 “データ移行(SLザウルス)”のアイコンにタッチします。



5 表示された確認画面で、[はい]または[いいえ]にタッチします。

- ・ [はい]にタッチした場合 : 本体メモリー／ディスクすべてのデータを移行します。
- ・ [いいえ]にタッチした場合 : 本体メモリー／ディスクの中で、カレンダー、アドレス帳などファイルホーム画面には表示されないデータを移行します。

※移行する／しないデータについては、下記のメモをご覧ください。



・ 手順5で[はい]、[いいえ]を選択したときに移行するデータ

- ・ [はい]を選択した場合 : 本体メモリー／ディスクのすべてのデータが移行対象

・ HancomSheet ・ HancomWord ・ Movie Player ・ Music Player
・ NetFront ・ ToDo ・ アドレス帳 ・ イメージノート
・ カレンダー ・ データベース ・ ボイスレコーダー ・ メモ帳(Memo)
・ メモ帳(Text) ・ ユーザー辞書 ・ 休日設定 ・ ネットワーク設定
・ メール ・ フォトストレージ ・ Text To Speech ・ その他ファイル

※『翻訳これ一本』、『広辞苑』などの辞書データは移行の対象にはなりません。
Text To Speechで保存したWAVファイルやTextファイルは、「その他ファイル」を選びます。

- ・ [いいえ]を選択した場合 : ファイルホーム画面で表示されているファイルを除く本体メモリー／ディスクのデータ
・ ToDo ・ アドレス帳 ・ カレンダー ・ データベース
・ メモ帳(Memo) ・ ユーザー辞書 ・ 休日設定 ・ ネットワーク設定
・ メール(送信メールの添付ファイルは、移行の対象になりません。)

6 データ移行(SLザウルス)画面で、[受信]にタッチします。

7 「送信側ザウルス」:

設定ホーム画面で、SL-A300では “全データ送信(SLザウルス)”に、SL-A300以外では “データ移行(SLザウルス)”にタッチします。表示された画面で、[送信]にタッチし(SL-A300以外のみ)[実行]にタッチします。

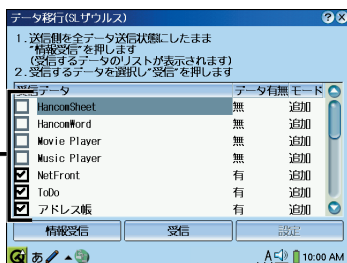
受信側の手順8の操作の前に、必ずこの操作を行ってください。

8 「受信側(SL-C3200)」:

[情報受信]にタッチします。

しばらくすると受信できるアプリケーション(名)がリスト表示されます(送信側からアプリケーション名の情報を送られて、受信できるアプリケーション名が表示されます)。

アプリケーション名は、[情報受信]にタッチして、しばらくすると、表示されます。



9 「受信側(SL-C3200)」:

受信したくないものがあるときは、チェックを外します。

リスト表示で、チェックがついているアプリケーションのデータが受信されます。

- ・ 動画ファイル(MPEG-1形式)は、「Movie Player」にチェックをつけても受信されません。「その他ファイル」として受信されますので、「その他ファイル」にチェックをつけます(「その他ファイル」は、手順5で[はい]を選択したときにリスト表示されます)。
- ・ 音楽ファイル(MP3形式)を受信するには、「Music Player」にチェックをつけます。

10 「受信側(SL-C3200)」:

データ移行(SLザウルス)画面で **受信** にタッチし、表示された画面で **OK** にタッチします。

データ移行が開始されます。

データ移行が終了すると、受信側には受信件数が表示されます。

データ移行中にスクリーンセーバー画面になったときは、そのままデータ移行を続けてください。データ移行が終了すると受信側(SL-C3200)のスクリーンセーバーが解除されますので、データ移行の終了を確認してください。そのままにしておくと(時間経過と設定によって、データ移行終了後)、オートパワーオフしますので、そのときは、電源を入れてデータが移行されたことを確認してください。

11 手順5で[いいえ]を選択した場合は、送信側ザウルスのファイルホーム画面に表示されるデータを受信側ザウルスに移します(ザウルスドライブまたはメモリーカードにコピーして移します)。



- SL-A300の“メール”の「分類条件」は、この製品の分類条件とは機能が異なるため、この製品には移行できません。
- この製品にない機能は、移行できません。
- データ移行を行い、一度に数千件のカレンダーやアドレス帳などのデータをSL-C3200に保存すると、動作が非常に遅くなることがあります(ユーザーエリアやメモリーの整理に時間がかかっているためです)。このようなときは、リセット操作は行わず、通常の動作になるまでお待ちください。



- 手順8で、**情報受信** ボタンにタッチしないと、データ移行(SLザウルス)画面には受信できるアプリケーションのリストは表示されません。
- **設定** ボタンは、将来のためのものです(2006年2月現在)。
- SL-C3200からSL-A300のデータ移行はできません。SL-C3200からSL-A300にデータを送信するときは、赤外線通信(『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「赤外線通信(データ交換)」)を使って1ファイル/1データ単位で送信します。
- SL-A300のアドレス帳などのデータを移行すると、アドレス帳などで作った分類項目も移行されます。
SL-A300のアプリケーションごとに設定できる分類項目は、SL-C3200側ではアドレス帳とToDoの両方に設定されます。

次ページへ続く





- 他のザウルスなどからSL-C3200にデータを移行するとき通信時間が長くなると、SL-C3200がスクリーンセーバー画面になります。ここで、(通信状況の確認などのために)スクリーンセーバー画面にタッチすると、画面全体が薄い青色になり画面左下が白くなることがありますが、この状態でもデータ移行は行われています。通信を中断せずにそのまま、データ移行を行ってください。通信が終わると、SL-C3200側は確認の画面が表示されます。
- データ移行後、“カレンダー”で“ToDo”のデータが表示されないときは、“カレンダー”のプロパティ画面(52ページ)を表示し、「アプリケーションを高速起動する」のチェックを外し(OK)キーを押します。さらにもう一度、“カレンダー”のプロパティ画面を表示し「アプリケーションを高速起動する」のチェックを付け(OK)キーを押してから“カレンダー”を起動してください。
- データベースの作成日付は、移行したザウルス本体の日付に更新されます。



異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」(P.262ページ)を参照してください。データが正常に表示されない、画面タッチやキー操作が正しく働かない、などの異常が発生したときは、次の対処方法を順に試してみてください。

- ①再起動
- ②リセット
- ③異常チェック(異常があるデータが失われる場合があります)
- ④ディスクチェック

上記対処方法でも解決しないときは、「完全消去(フォーマット)ー通常」(P.240ページ)を実行します。この場合は入力したデータや追加したソフトウェアなどはすべて消去されます。

①再起動する

再起動すると編集中のデータは失われますので、データを保存してから実行します(保存しているデータは失われません)。

- 1 すべてのアプリケーションを終了し、アプリケーションホーム画面を表示します。
- 2 **メニュー**キーを押して表示されたメニューから**再起動**を選びます。
キー操作ができないときは、タスクバーの (P.59ページ)にタッチし、表示されたメニューの**再起動**にタッチします。
- 3 表示された内容を確認し、**はい**を選びます。
再起動します。再起動には2分程度かかります。
- 4 日付/時刻設定画面が表示されます。
再起動後は、時刻が合っているか確認します。

②リセット操作をする

再起動操作ができないときや、再起動を行っても正常に動作しないときは、次のリセット操作を試してみてください。リセット操作も編集集中のデータは失われます（保存しているデータは失われません）。

1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります。

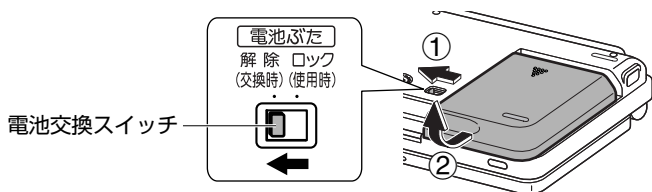
動作しない場合には、手順2へ進んでください。

2 ハードディスクランプが消えていることを確認します。

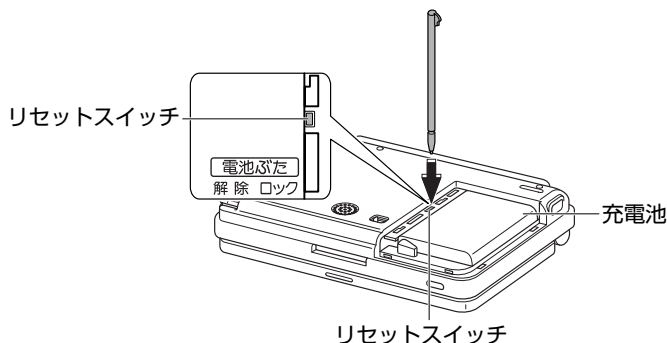
ご注意 ● 通常に動作しているときは、手順3に進む前に必ず手順1と2を行ったことを確認してください。

3 ザウルスにUSBケーブルやSDメモリーカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

4 本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし(①)、裏側の電池ぶたを取り外します(②)。



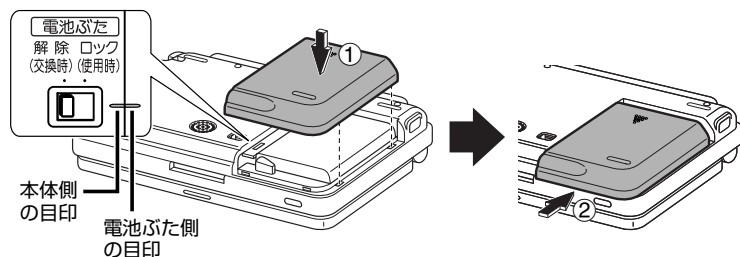
5 30秒待つ、リセットスイッチをタッチペンで押します。



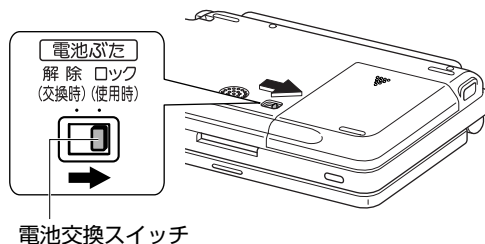
ご注意 ● リセットスイッチを押す前には、30秒待ってください。

6 電池ふたを取り付けます。

電池ふた側の目印が本体側の目印と合うように電池ふたを置き(①)、電池ふたを取り付けます(②)。



7 本体裏側の電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側に切り換えます。



8 ザウルスにUSBケーブルやSDメモリーカードなどが取り付けられていないことを確認して、**電源**ボタンを押して、電源を入れます。

リセットされます。リセットには2分程度かかります。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

注意 ● 誤ってこの製品を落下させないように十分注意してください。

MEMO ● 操作を行った後もリセットされなかったときは、手順**1**からやり直してください。

9 日付／時刻設定画面が表示されます。

リセット後は、時刻が合っているか確認します。

フルリセットする

232ページの方法でも正常に動作しないときは、次の方法でリセット(フルリセット)してください。この方法も編集集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります。

動作しない場合には、手順2に進んでください。

2 ハードディスクランプが消えていることを確認します。



● 通常に動作しているときは、手順3に進む前に必ず手順1と2を行ったことを確認してください。

3 ザウルスにUSBケーブルやSDメモリーカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

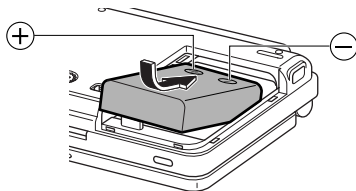
4 ACアダプターを接続しているときは、ACアダプターを取り外します。



● ACアダプターが接続されていると、フルリセットがかりません。

5 本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし、裏側の電池ぶたを取り外します。

6 30秒待って充電池を取り外し、さらに5秒待って充電池を取り付けます(充電池の⊕ ⊖の表示がある方を上にして取り付けます)。



7 電池ぶたを取り付けます。

8 本体裏側の電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側に切り換えます。

9 ザウルスにUSBケーブルやSDメモリーカードなどが取り付けられていないことを確認して、(電源)ボタンを押して、電源を入れます。

フルリセットされます。リセットには2分程度かかります。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

10 日付／時刻設定画面が表示されます。

リセット後は、時刻が合っているか確認します。

③異常チェックを行う

リセット操作を行ってもアプリケーションが正常に起動しないなどのときは、異常チェックを行ってみてください。本体に保存しているカレンダーなどのデータやメモリーカードに保存しているメールのデータに異常がないかチェックします。

異常チェックは「メンテナンスメニュー」から行います。操作方法や注意点などについては、「データのチェックをする／完全消去(フォーマット)する」(☞このページの下)をご覧ください。

④ディスクチェックを行う

231ページの①～③を行っても正常に起動しないときなどは、ディスクチェックを行っててください。19ページに記載している本体ディスク(ハードディスク)のチェックを行います。

ディスクチェックは「メンテナンスメニュー」から行います。

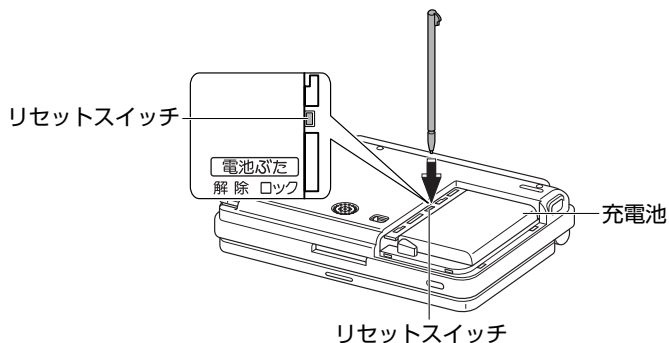
データのチェックをする／完全消去(フォーマット)する

データに異常がないかチェックしたり、完全消去(フォーマット)をします。これらのことを行うためには、まずメンテナンスメニューを表示します(以下の操作)。そして、メンテナンスメニューから異常チェック(☞238ページ)や「完全消去(フォーマット)ー通常」(☞240ページ)します。

メンテナンスメニューを表示する

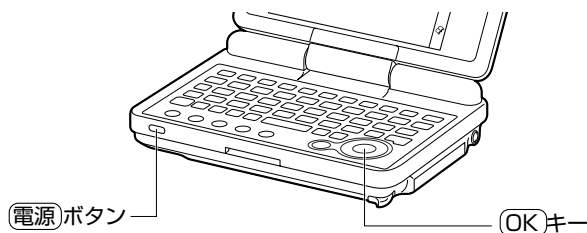
- 1** すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります。
- 2** ACアダプターを接続します。
充電ランプ(オレンジ色)が点灯することを確認します。
- 3** 本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし、裏側の電池ぶたを取り外します。
手順**3**～**5**は、232～233ページの手順**4**～**7**と同じです。

4 30秒待つ、リセットスイッチをタッチペンで押します。



5 電池ぶたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側に切り換えます。

6 充電ランプ(オレンジ色)が点灯していることを確認して、(OK)キーを押しながら、(電源)ボタンを押します。



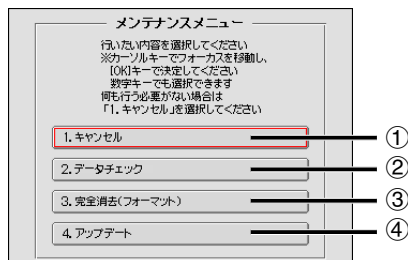
メンテナンスメニューが表示されます。

(次ページへ続く)



- メンテナンスメニューが表示されないときは、手順1からやり直してください。

7 メンテナンスを行います。



① キャンセル

メンテナンスを終了し、日付／時刻設定画面を表示します。

①キーを押すとリセットされ、日付／時刻設定画面が表示されます。時刻が合っているか確認します。

② データチェック

データチェックは、次の2つのことができます。

・ 異常チェック (☞ 次ページ)

プログラムエリアと取り付けられているメモリーカード(メールのデータ)のデータに異常がないかチェックします。リセット操作 (☞ 232ページ)を行っても正常に動作しないときに行います。

・ ディスクチェック (☞ 239ページ)

本体ディスクに異常がないかチェックを行います。上記の異常チェックを行っても正常に動作しないときに行います。

③ 完全消去(フォーマット)

完全消去(フォーマット)は、次の2つのことができます。

・ 通常 (☞ 240ページ)

本体の全データを消去してフォーマットします。ご購入時にあらかじめインストールされているアプリケーションやデータ(※)、ご購入後に入力したデータや設定、追加したソフトウェアなどがすべて消去されます。アップデート(④)した本体システムは消去されません(アップデートしたバージョンのままです)。

※「コンテンツホーム画面に表示される各種データ」、「広辞苑やジーニアス英和・和英辞典データなどのデータ」、「フンコピューアなどのソフトウェア」など。これらは付属のインストールCD-ROMとデータCD-ROMからインストールすることができます。

・ 廃棄 (☞ 241ページ)

22ページに記載しているようにこの製品を廃棄するときなど、ハードディスクのデータを完全に消去するためにこの操作を行います。この操作のあとザウルスは起動し、一見、上記の「通常」と同じ状態になったように見えますが、ハードディスク上のデータは完全に消去されて、データ流出を回避できます。

④ アップデート (☞ 241ページ)

本体システムのアップデートを行うときに使います。

異常チェックを行う

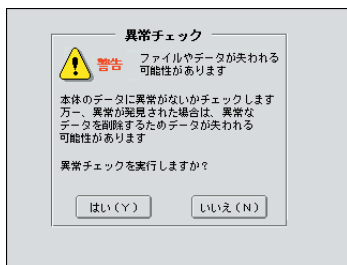
アプリケーションが正常に起動しない場合などのときは、この操作を行ってください。

プログラムエリアに保存しているカレンダー、アドレス帳、ToDo、メール、メモ帳(「Memo」タブ)のデータやメモリーカードに保存しているメールのデータに異常がないかチェックします。



- データ異常が見つかったときは画面の内容にしたがってデータを削除すると、そのアプリケーションのデータはすべて削除され正常に起動します。

- 1 メンテナンスメニューを表示します(235ページ)。
- 2 ②キーを押します(データチェックを選びます)。
- 3 データチェック画面で、①キーを押します(異常チェックを選びます)。異常チェック画面が表示されます。



- 4 表示された内容を確認し、(Y)キーを押します(はいを選びます)。しばらくすると、異常チェックの画面が表示されます。
- 5 この画面で、[実行]にタッチします。異常チェックが始まります。
- 6 チェックが終了し「データに異常は見つかりませんでした」というメッセージが表示されたときは、[終了]にタッチします。データ異常が起こったときは、画面に表示される内容にしたがって操作します。
- 7 「日付／時刻設定」画面が表示されますので、日付と時刻を確認します。

ディスクチェックを行う

231ページの①～③を行っても正常に起動しないときなどは、ディスクチェックを行ってみてください。19ページに記載している本体ディスク(ハードディスク)のチェックを行います。

- 1** メンテナンスメニューを表示します(235ページ)。
- 2** ②キーを押します(**データチェック**を選びます)。
データチェック画面が表示されます。
- 3** ②キーを押します(**ディスクチェック**を選びます)。
ディスクチェック画面が表示されます。
- 4** 表示された内容を確認し、**(Y)**キーを押します(**はい**を選びます)。
ディスクチェックが始まります。
- 5** ディスクチェックが終了しディスクに異常がない場合は、画面に小さな文字で「No errors.」と表示されます。
「No errors.」以外が表示されたときは、ディスクに異常が起きていると考えられます。次ページの「完全消去(フォーマット)ー通常」を行ってください。
- 6** リセットを行います。
232～233ページの手順**4～9**を行います。

完全消去する(フォーマット)ー通常

231ページの①～④を行っても正常に起動しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。



●データがすべて消去されます

ご購入時にあらかじめインストールされているアプリケーションやデータ(※)、ご購入後に入力したデータや設定、追加したソフトウェアなどがすべて消去されます。アップデートした本体システムは消去されません(アップデートしたバージョンのままです)。

※「コンテンツホーム画面に表示される各種データ」、「広辞苑やジーニアス英和・和英辞典などのデータ」、「フンコピューアなどのソフトウェア」など。これらは付属のインストールCD-ROMとデータCD-ROMからインストールすることができます。

1 メンテナンスメニューを表示します(235ページ)。

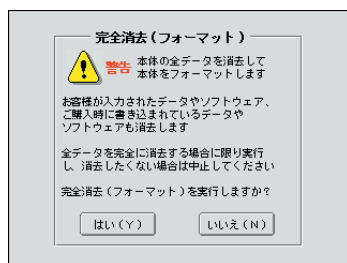
ACアダプターを接続したまま以下の手順を実行してください。

2 ③キーを押します(完全消去(フォーマット) を選びます)。

完全消去画面が表示されます。

3 ①キーを押します(通常 を選びます)。

完全消去(フォーマット)画面が表示されます。



4 表示された内容を確認し、(Y)キーを押します(はい を選びます)。

完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。

終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

完全消去(フォーマット)－廃棄

22ページに記載しているようにこの製品を廃棄するときなど、ハードディスク上のデータを完全に消去するためにこの操作を行います。

- 1 メンテナンスメニューを表示します(235ページ)。
ACアダプターを接続したまま以下の手順を実行してください。
- 2 ③キーを押します(完全消去(フォーマット)を選びます)。
完全消去画面が表示されます。
- 3 ②キーを押します(廃棄を選びます)。
「完全消去－廃棄」画面が表示されます。
- 4 表示された画面を確認し、(Y)キーを押します(はいを選びます)。
「完全消去－廃棄」が始まります。「完全消去－廃棄」は、約1時間30分かかります。終了後は、セットアップ画面が表示されます。

アップデートする

ザウルス本体システムのアップデートを行うときにこのメニューを使います。アップデートの操作方法については、アップデートソフトの説明書などに従ってください。



- データが消去されるときがあります
アップデートの内容によってはデータや設定などが消去される場合があります。必ずバックアップしてから実行してください。



- アップデートソフトの提供について
アップデートソフトは必要に応じてザウルスサポートステーション(URL <http://support.ezaurus.com/>)から提供される予定です。

プリインストールソフトウェア/データを再インストールする

完全消去(フォーマット)などによって、プリインストールされていたソフトウェアや各種データ(コンテンツホーム画面内のデータや広辞苑データなど)を消去した場合、これらのソフトウェアやデータを再インストールします。

再インストールにはこの製品に付属のCD-ROMが必要です。ご用意ください。また、通信に時間がかかるため必ずACアダプターを接続してください。

ソフトウェアやデータによって、インストールの手順が異なります。
それぞれ(このページ~246ページ)をご覧ください、インストールしてください。

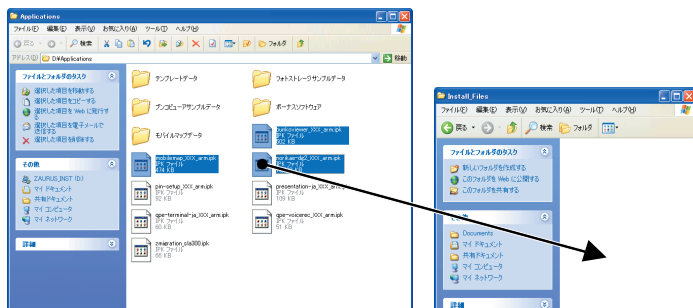
ソフトウェアをインストールする

ブンコピューア、乗換案内などのソフトウェアをインストールします。



- モバイルマップNaviは、この手順でソフトウェア(ipkファイル)とデータをインストールします。

- 1** ザウルスドライブ(USBストレージ)を使って、ザウルスの本体ディスクをパソコン上に表示します。本体ディスクを表示する方法は131~132ページをご覧ください。
- 2** 「Documents」フォルダをダブルクリックし、続いて「Install_Files」フォルダをダブルクリックします。
- 3** 付属のインストールCD-ROMをパソコンにセットします。
自動的にメニュー画面が表示されます。
- 4** [ザウルス用ソフトウェアのインストール]をクリックします。
- 5** インストールしたいソフトウェアのアイコンを手順2で開いたフォルダへドラッグ&ドロップします。



次ページへ

ブリインストールされていたソフトウェア(ipk ファイル)は、bunkoviewer_xxx_arm.ipk、mobilemap_xxx_arm.ipk、norikae_xxx_arm.ipkです。

これら3つのファイルをドラッグ&ドロップします。

手順6から8でモバイルマップの地図データをコピーします。

ファイル数が多いため、コピーに約60分(目安)かかります(この時間はお使いのパソコンの環境によって異なります)。

6 ザウルス本体ディスクのウインドウの  をクリックし1つ上の階層に戻ります。

7 インストールCD-ROMのウインドウの「モバイルマップデータ」フォルダをダブルクリックして開きます。

「sd_map」フォルダが表示されます。

8 「sd_map」フォルダをフォルダごとザウルス本体ディスクのウインドウにコピーします。



- 「sd_map」フォルダは手順6で開いたウインドウの中にコピーしてください(「Documents」フォルダの中にコピーしてください)。
- Windows2000/Meのパソコンをお使いの場合、手順8を行ったあとコピーしたザウルス本体ディスクの「sd_map」フォルダを右クリックし[プロパティ]を選択し、表示された画面で「読み取り専用」のチェックボックスを外し[OK]をクリックし、さらに表示された確認画面で「このフォルダ、およびサブフォルダとファイルに変更を適用する」を選択し、[OK]をクリックしてください。

手順9から11でHancomMobileWord/Sheetのテンプレートデータをコピーします。

9 ザウルス本体ディスクのウインドウの「Template_Files」フォルダをダブルクリックして開きます。

10 インストールCD-ROMのウインドウの  をクリックして手順5で表示される画面と同じ画面に戻ります。

11 インストールCD-ROMのウインドウの「テンプレートデータ」フォルダをダブルクリックして開きます。そして、このフォルダ内のファイルを手順9で開いた「Template_Files」フォルダ内にコピーします。

12 コピーが終わったら、パソコンからザウルスを取り外します。取り外しの方法は、92ページをご覧ください。

13 201ページの「ソフトウェアの追加／削除」をご覧になり、ソフトウェアをインストールします。

引き続いて、下記以降をご覧になり、広辞苑などのデータをインストールします。



・フォトストレージとブンコピューアのサンプルデータをインストールするには

・フォトストレージのサンプルデータ：

まずフォトストレージを起動します(起動することにより、自動的に「Photo_Files」フォルダができます)。

次に242ページの手順を行い、手順5で「フォトストレージサンプルデータ」フォルダを開き、その中のファイルをザウルス本体ディスクの「Photo_Files」フォルダの中にコピーします。

・ブンコピューアのサンプルデータ：

手順5で、「ブンコピューアサンプルデータ」フォルダを開き、その中のファイルをザウルス本体ディスクの「Book_Files」フォルダの中にコピーします。

広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典データをインストールする

この手順で広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典、翻訳これ一本用英日／日英辞書のデータをインストールします。

1 242ページの手順1と同様にして、ザウルスの本体ディスクをパソコン上に表示します。

前述から続いて操作しているときは、ザウルス本体ディスクのウィンドウの をクリックして「Documents」フォルダが見えるようにします。

2 ・インストールCD-ROMをパソコンにセットしている場合は手順3に移ります。

・インストールCD-ROMをセットしていない場合はパソコンにセットします。自動的にメニュー画面が表示されます。

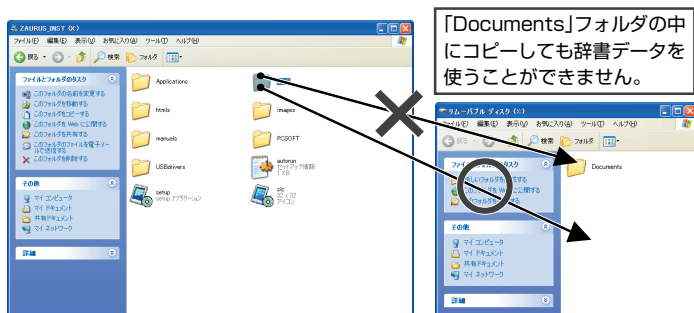
3 メニュー画面右上の (閉じる) をクリックしてメニュー画面を消します。 メニュー画面は、インストールCD-ROMをセットして自動的に表示される画面です。

4 パソコンの「マイコンピュータ」ウィンドウ内の (ZAURUS_INST) を右クリックし、[開く] をクリックします。

パソコンにセットされたインストールCD-ROMの内容が表示されます。

5 「dict1」フォルダを手順1で表示したザウルスの本体ディスクにコピーします。

容量が大きいためコピーに時間がかかります。このとき、必ず「Documents」フォルダの横にコピーしてください。「Documents」フォルダの中にコピーしても、辞書データを使うことはできません。



6 「dict1」フォルダのコピーが終わったら、パソコンからインストールCD-ROMを取り出します。

7 パソコンにデータCD-ROM-1をセットします。

8 パソコンの「マイコンピュータ」ウインドウ内のCD-ROM (ZAURUS_DATA1)をダブルクリックして開きます。

9 手順5と同様にしてデータCD-ROM-1の中にある「dict2」フォルダをザウルスの本体ディスクにコピーします。

容量が大きいためコピーに時間がかかります。このとき、必ず「Documents」フォルダの横にコピーしてください。「Documents」フォルダの中にコピーしても、辞書データを使うことはできません。

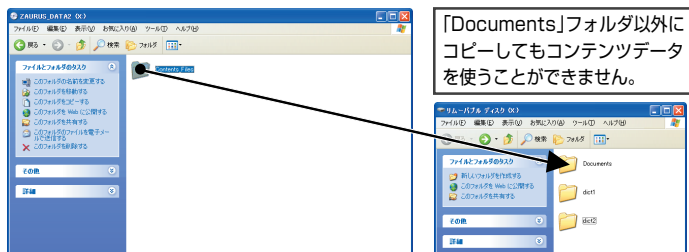
10 コピーが終わったら、パソコンからザウルスを取り外します。取り外しの方法は、92ページをご覧ください。

11 『アプリケーションマニュアル.pdf』『マルチメディア辞書』の「検索する辞典の選択」をご覧ください、使える辞書の設定をします。

コンテンツホーム画面のデータをインストールする

コンテンツホーム画面に表示されるデータ(ファイル)をインストールします。

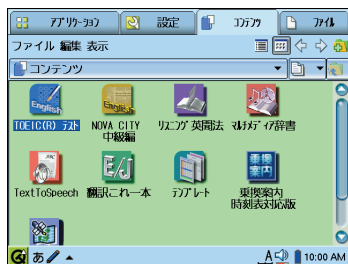
- 1 前述と同様に、ザウルスドライブ(USBストレージ方式)を使ってザウルスの本体ディスクをパソコン上に表示します。
- 2 ザウルス本体ディスクのウィンドウの「Documents」フォルダが表示されているようにします。
- 3 付属のデータCD-ROM-2をパソコンにセットし、前ページの手順8と同様にしてデータCD-ROM-2を開きます。
- 4 データCD-ROM-2の「Contents_Files」フォルダをフォルダごと「Documents」フォルダの中にドラッグ&ドロップ(コピー)します。
容量が大きいためコピーに時間がかかります。



- データCD-ROM-2を開いて表示されるフォルダは、必ず「Documents」フォルダの中にドラッグ&ドロップ(コピー)してください。別のフォルダにコピーすると、コンテンツホーム画面にはデータのアイコンは表示されません。
- Windows2000/Meのパソコンをお使いの場合、手順4を行ったあと243ページのご注意の2つ目と同様にして「Contents」フォルダを右クリックし[プロパティ]を選択し、表示された画面で「読み取り専用」のチェックボックスを外し[OK]をクリックし、次の確認画面で「このフォルダ、サブフォルダおよびファイルに変更を適用する」を選択し、[OK]をクリックしてください。

5 コピーが終了したら、パソコンとザウルスを取り外します。

6 コンテンツホーム画面を表示します。
コンテンツホーム画面にフォルダやアイコンが表示されます。



充電電池について

充電電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(P.9～10ページ)をよくお読みください。

使用できる充電電池

種類	形名
充電電池	EA-BL11(1800mAh)
	EA-BL08(1700mAh)

※ EA-BL11、EA-BL08以外の充電電池は使用しないでください。



- 予備の充電電池は、付属の充電電池と同じもの(EA-BL11)が別売されています。この製品を戶外で使用する機会が多い場合は、予備の充電電池をお買い求めください。
- 充電電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電電池を取り付け、ACアダプターを接続して充電します(P.41ページ)。また、別売のバッテリー充電器(CE-BC22)を使って充電することもできます。

使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。なお、ACアダプターを接続して使用している場合、充電ランプはACアダプターが接続されていることを表すため、使用中に充電が完了しても充電ランプは消えません。充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

充電電池の残量は、画面右下の  の状態や、 にタッチして表示される画面で確認することができます(P.49ページ)。

充電電池での使用時間

250ページの「使用時間と保存データ数」をご覧ください。

充電電池の交換について

充電電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電電池の寿命ですので、交換してください。

リサイクルについて

リチウムイオン充電電池のリサイクルご協力お願い

- この製品にはリチウムイオン充電電池が使用されております。この充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池の交換、およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
- ご使用済みリチウムイオン充電電池は「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています」のステッカーを貼ったシャープ製品取り扱いのお店へご持参ください。



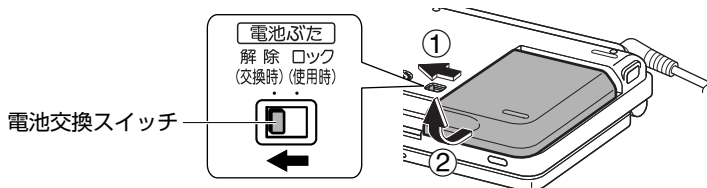
Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

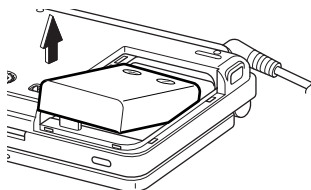
- リサイクルのときは、次のことに注意してください。
 - ・充電電池の端子すべてにテープを貼る。
 - ・充電電池を分解しない。

充電電池の交換手順

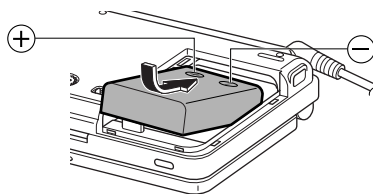
- 1** この製品の電源を切ります。
- 2** 表示が消えたことを確認してから、表示部を閉じ、裏返します。
- 3** ACアダプターを接続します。
ACアダプターを接続しないで充電電池を交換すると、起動までに時間がかかります(※次ページのメモ)。
- 4** 本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし(①)、裏側の電池ぶたを取り外します(②)。



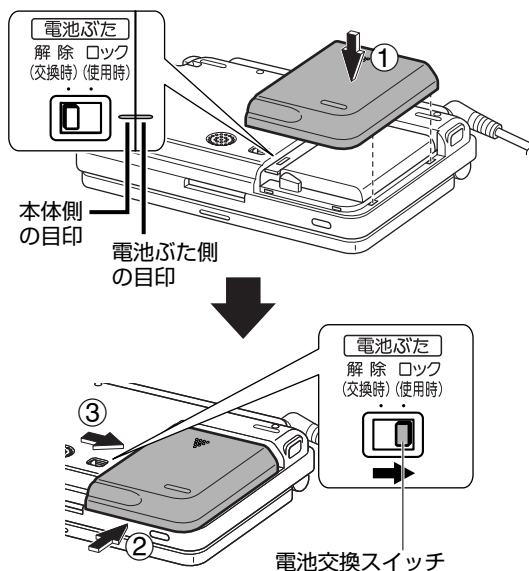
- 5** 消耗した充電電池を取り外します。



6 交換する充電電池を⊕ ⊖の表示がある方を上にして取り付けます。



7 電池ふたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にします。 電池ふた側の目印が本体側の目印と合うように電池ふたを置き(①)、電池ふたを取り付けます(②)。そして、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にします(③)。充電電池が充電されていない場合は、充電してください。



8 電源ボタンを押します。電源が入らないときは手順1からやり直してください。

9 日付と時刻を確認します。



- 充電電池を交換するとき、ACアダプターを接続せずに(手順3を行わず)充電電池を交換すると、自動的にリセットが行われ起動に時間がかかります(ACアダプターを接続していても、充電電池の残量がないときはリセットが行われます)。ACアダプターをお持ちの場合は、ACアダプターを接続する(手順3を行う)ことをおすすめします。

使用時間と保存データ数

満充電で使用できる時間の目安

この製品を連続して使用できる時間の目安は、次の一覧表を参考にしてください。

- ・ 下記の数字は、いずれも使用温度が25℃で、充電電池が満充電のときのものです。
- ・ 使用時間は、周囲の温度などの使用条件によって変わります。
- ・ 低温では、電池の特性により使用時間が約半分になることがあります。常温では通常の時間に戻ります。

バックライトの明るさが一番暗いとき

連続使用時間 EA-BL11	この製品の状態
約 7時間	カレンダー画面を連続的に表示させた場合
約 6時間 30分	1時間当たり、検索（呼び出し）を5分間、表示状態を55分間の割合で連続的に行った場合
約 3時間	データカード型PHS（NTTドコモ製P-in Free1S）を使用してインターネットに接続し、ホームページを連続的に閲覧した場合
約 2時間 30分	無線LANカード（AmbiCom製WL1100C-CF）を使用してインターネットに接続し、ホームページを連続的に閲覧した場合
約 5時間 30分	Music Playerで本体のMP3データを連続的に再生
約 3時間 50分	Movie Playerで本体のMPEG4データを連続的に再生

バックライトの明るさが一番明るいとき

連続使用時間 EA-BL11	この製品の状態
約 4時間 50分	カレンダー画面を連続的に表示させた場合
約 4時間 30分	1時間当たり、検索（呼び出し）を5分間、表示状態を55分間の割合で連続的に行った場合
約 2時間 30分	データカード型PHS（NTTドコモ製P-in Free1S）を使用してインターネットに接続し、ホームページを連続的に閲覧した場合
約 2時間	無線LANカード（AmbiCom製WL1100C-CF）を使用してインターネットに接続し、ホームページを連続的に閲覧した場合
約 4時間	Music Playerで本体のMP3データを連続的に再生
約 3時間	Movie Playerで本体のMPEG4データを連続的に再生

バックライトを消灯したとき(画面OFFで画面に何も表示させない状態)

連続使用時間	この製品の状態
EA-BL11	
約12時間 20分	Music Playerで本体のMP3データを連続的に再生



- 本体の電源を切っていても、充電電池は消耗します。満充電後ご使用にならなくても、約10日間経つと充電電池が完全に消耗してしまいますので、その前に充電することをおすすめします。

保存できるデータ数の目安

カレンダー、アドレス帳、ToDo、メモ帳(「Memo」タブ)、メールのデータ

5,000件以上登録できますが、同じアプリケーションのデータ登録件数が約5,000件を超えると、データの並び替えや絞込みの処理時間、データ通信時間が非常に長くなります。同じアプリケーションへのデータ登録件数は約5,000件までにすることをおすすめします。

海外での使用について

- ・ 本製品は日本国以外に米国とカナダでも使用できます。これ以外の国では各々の国の規制に対応していないため、お使いになれません。
なお、通信カードなど周辺機器を接続してご使用になる場合は、現地の法令・規制の対象となる場合がありますので、お客様の責任において、現地の環境をお確かめの上、ご使用をお願いいたします。
海外での本製品に対する問い合わせ及び修理対応は行っておりません。もし使用中に故障などが起こった場合は、日本国内にお持ち帰りいただき、お買い上げの販売店に修理をお申しつけください。

ローマ字→かな変換表

キーボードまたはタイプライターボードでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA	WY(ゐ)		WYE(ゑ)	WO(を)
んン	N	NN	NX		

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃジャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いえイェ行				YE	
くゎクワ行	QA KWA	QI		QE	QO
くわクワ行		QWI	QWU	QWE	QWO
ぐゎグワ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つゎツワ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふゎフワ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うゐウヱ行		WI			
うゑウヱ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴゎヴァ行	VA	VI		VE	VO
			VYU		

●撥音(はつおん)の入力

- ・"ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや
"ん、ン"で終わるとき"N"の後に"X"を入力する
ほんや<→HONXYAKU(HONNYAKU)
はんい→HANXI(HANNI)
ほん→HONX(HONN)
- ・上記以外のとき
ほんき→HONKI

●促音の入力

- "N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

- ヴゅ→VYU

●小さい文字(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、ケ、ツ、ヤ、ユ、ヨ、ワ)の単独入力

- ・"X"または"L"(エル)の次に、それぞれの文字を入力する。
ディタイム→TEXT-TAIMU トップ→TOXTUPU
- ・"カ"と"ケ"はカタカナで入力される。

仕様

本体

形名	SL-C3200	
品名	パーソナルモバイルツール	
OS	Linux® (Lineo uLinux)	
CPU	Intel® XScale™ (PXA270、416MHz)	
本体メモリー	フラッシュメモリー 128MB SDRAM 64MB (ワークエリア)	
ハードディスク*	約6GB (ユーザーエリア 約5.9GB、出荷時空き容量 約4.5GB) ※ユーザーエリアは削除可能なプリインストールデータを削除した場合の値です。	
表示部	640×480ドット、3.7型 65,536色 透過型システム液晶 (バックライト付き)	
文字入力方法	キーボード、入力ボード (手書認識、50音、タイプライター、 数字入力、記号入力、区点入力)	
使用文字種	総文字種：7,120種 (JIS第1水準漢字：2,965、JIS第2水準漢 字：3,390、非漢字765文字)	
手書認識文字	4,069種 (JIS第1水準漢字：2,965、JIS第2水準漢字：722、非 漢字382文字)	
電卓	12桁 (加減乗除、パーセント、メモリー計算など)	
時計	時間制	12時間制/24時間制
	世界時計	主要406都市の中の6都市の日付・時刻を表示
赤外線通信機能	IrDA方式 (115kbps)	
接続端子	USBポート、ステレオヘッドホン端子 (3.5φ)	
カードスロット	コンパクトフラッシュ™ Type II 対応*2 × 1 SD × 1	
電源	DC3.7V 充電電池：リチウムイオン充電電池 (EA-BL11)	
消費電力	3.2W	
使用温度	5～40℃	
外形寸法	幅約124mm×奥行約87mm×厚さ約25mm (本体を閉じた状態 で、突起部を除く。厚さは最薄部)	
質量	約298g (タッチペン、保護カード、充電電池を含む)	
付属品	充電電池 (EA-BL11) 1個、ACアダプター (EA-75)、 タッチペン (本体装着)、電池ふた (本体装着)、 保護カード (本体装着)*3、USBケーブル、ステレオヘッドホン、 インストールCD-ROM、データCD-ROM (2枚)、 はじめにお読みください、取扱説明書、コンテンツガイド、 お客様ご相談窓口のご案内、保証書	

内蔵ソフトウェア	個人情報管理 (PIM)	アドレス帳、カレンダー、ToDo、データベース
	画像／テキスト	イメージノート、フォトストレージ、メモ帳
	通信	メール、Net Front (Webブラウザ)
	ワープロ	HancomMobileWord
	表計算	HancomMobileSheet
	映像・音楽再生	Movie Player、Music Player
	ソフト起動／ファイルマネージャ	ホーム
	ユーティリティ	マルチメディア辞書 (広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典)、Text To Speech、翻訳これ一本 (英日翻訳・日英翻訳)、時計、電卓、世界時計、ヘルプ、システム情報、ネットワーク設定、ファイル検索
	データ移行	データ移行 (MIザウルス)、データ移行 (SLザウルス)
	効果音 その他	サウンド設定 バックアップ／リストア、画面デザイン設定、キー設定、シークレット設定、赤外線受信、ライト／省電力設定、PCリンク、ソフトウェアの追加／削除、日付／時刻設定、タッチパネル調整、ホーム画面設定、ユーザー辞書、郵便番号辞書データ、ブコピューア、乗換案内、モバイルマップNavi
コンテンツ ^{*4}	TOEIC(R) TEST 奪取470/650/730、ジーニアス14日 集中コース TOEIC(R) TEST470点/600点/730点、TOEIC(R) テスト英単語・熟語マスタリー2000、NOVA CITY 中級編、リスニング英聞法、HancomMobileWord/ Sheet用テンプレート	
インストール CD-ROMに収録	ザウルス用 アプリケーション／データ	ターミナル、P-inカード設定、ボイスレコーダー ^{*5} 、プレゼンテーションなど
	パソコン用 ソフトウェア	ザウルスショット、ザウルスドライブ、バックアップ／リストア、Intellisync for Zaurus など

*1 1GB=10億バイトで計算した場合の数値です。

*2 動作電圧が3.3V対応のカードのみに対応しています。5Vだけに対応しているカードは使用できません。

*3 保護カードは、CFカードスロットとSDカードスロットの両方に装着されています。

*4 各コンテンツの正式名称、コピーライトや問い合わせ先については別冊の『コンテンツガイド』をご覧ください。

*5 動作確認済みのマイクなどが必要です。

充電電池(EA-BL11)

使用電池	リチウムイオン充電電池
外形寸法	長さ 約53.1mm×幅 約35.3mm×高さ 約11.4mm（突起部を除く）
質量	約46.5g
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	1800 mAh
充電時間	満充電になるまでの時間：約4時間 （常温25℃、電源を切った状態での目安）
使用温度	0 ～ 40 ℃
充電温度	5 ～ 35 ℃
充放電回数	約500回

ACアダプター(EA-75)

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A
外形寸法	幅約35mm×奥行約62mm×厚さ約59mm
質量	約 90 g
コード長	約 1.9 m

別売品

リチウムイオン充電電池	EA-BL11	別売の充電電池
バッテリー充電器	CE-BC22	リチウムイオン充電電池EA-BL11などを充電します。
リモコン付ステレオヘッドホン	CE-RH2	SL-C3200に接続して、音楽などを聞くことができます。

さくいん

記号・その他

1日表示画面	147
50音ボード	81
ACアダプター	255
ASF	133、169
Cancelキー	33、45
Cancelボタン	34、46
CE-BC22	9、255
CE-RH2	169、171、255
CF_Card	136
CFカードスロット	33、84
CFカードフォルダ	57
dcimフォルダ	175、176
Documents	57
EA-BL08	9、247
EA-BL11	9、41、247、255
Exif情報	173、175
Fnキー	73
G.726	169
HancomMobileSheet	192
HancomMobileWord	190
I/Oポート	31
Image_Files	57
Intellisync	204
Menuキー(メニューキー)	31、45、59
Microsoft Excel	195
Microsoft Word	195
MIシリーズザウルス	216
MMCカード	84
MP3	133、171
MPEG-4	169
My Zaurus	57
Net Front	118
NOVA CITY 中級編	55、『コンテンツガイド』

OKキー	33、45
OKボタン	34、46
Outlook	204
P-inカード設定	214
Palm Desktop	204
Palm OS搭載機器	204
PCリンク	214
PIシリーズザウルス	217
Qtメニューアイコン	59、70
SD_Card	136
SDカードスロット	33、84
SDカードフォルダ	57
SDメモリーカード	84
SLシリーズザウルス	226
Text To Speech	55、199
Text_Files	57
To:	111
TOEIC(R) テスト	55、『コンテンツガイド』
ToDo	150
完了のみタブ	152
未完のみタブ	152
USBケーブル	90
Web_Files	57
Webブラウザ	118
WEPキー	103
Windows Media Player	171、172
❓	93
❌	45、70
OK	45

あ行

アイコン表示	
イメージノート	162
アカウント	116

明るさの調整	43
アクティブウィンドウ	125
アップデート	241
アドレス帳	153
アフターサービス	261
アプリケーション	69
アプリケーションホーム画面	50
アラーム	145
アンインストール	203
暗号化キー (WEPキー)	103
異常チェック	238
移動	64
イメージノート	162
インクリメンタルサーチ	181
インストール	201
インストールCD-ROM	
.....『はじめにお読みください』	
インプットスタイル	36、44
英日翻訳	185
オートパワーオフ	207
オンラインマニュアル	30
音量アイコン	59
音量設定	48

か行

カーソルキー	33、45
カード	33、84
カードアイコン	59、87
拡大	71
カット	64
壁紙	213
画面デザイン設定	213
カレンダー	144
環境設定画面	124
完全消去 (フォーマット) - 通常	240
完全消去 (フォーマット) - 廃棄	241

完了チェックボックス	152
キー設定	213
キー操作	44
キーボード	72
期限日	151
記号入力ボード	82
基準になる都市	205
起動	69
キャプチャー	124
印刷イメージ	128
ウィンドウ全体	125
画面表示の一部	127
テキストの一部	127
切取	64
区点入力ボード	81
ゲーム	215
月間表示画面	146
減光	207
検索条件	179
検索方法	179
広辞苑	178
広辞苑データのインストール	244
高速起動	52
国民の祝日	144
語句を調べる	179
コピー	64
コミュニケーションパル	216
コンテンツホーム画面	55、『コンテンツガイド』
コンパクトフラッシュメモリーカード	84

さ行

再起動	231
再生する	169、171
ザウルスショット	124
終了	129
ザウルスドライブ	130

ザウルスドライブ(USBストレージ方式) ..	131
サウンド設定	213
削除する	115
シークレット設定	213
ジーニアス英和・和英辞典	178
ジーニアス英和・和英辞典のインストール ..	244
四角や円を描く	164
時刻書式	205
時刻設定	205
システム情報	210
自動節電機能	207
しばらくタッチする	46
写真データを取り込む	173
写真の表示方法	175
写真を見る	175
シャトルキー	34、46
週間表示画面	147
修正する	115
充電	41、247
充電電池	247、255
充電電池の残量	49
充電ランプ	32
重要度	150、152
終了	70
縮小	71
受信	112
種別(手書認識ボード)	81
仕様	253
条件検索	183
使用時間	250
省電力設定	207
所有者情報	156
新規作成	
ToDo	150
アドレス帳	153
イメージノート	164
カレンダー	144

メール	109
メモ帳	166
シンクロナイズ	204
数字入力ボード	82
スクリーンセーバー	207
図形を消す	164
ステレオヘッドホンジャック	33
スマート接続	106
世界時計	212
赤外線受信	214
赤外線通信ポート	34
接続の状態を確認する	108
設定ホーム画面	53
選択受信	117
全データ移行	216、227
ソフトウェアの追加／削除	200

た行

ターミナル	215
タイプライターボード	82
ダウンロード(画像ファイル)	121
ダウンロード(ソフト)	122
タスクバー	59、82
タッチする	46
タッチパネル調整	209
タッチペン	33、35、46
縦表示	36、40
タブレットキー	33、47
短縮変換	77
直線を引く	164
通信カード	85
通信方式	135、214
ディスクチェック	235
データCD-ROM『はじめてにお読みください』	
データ移行	218、227
データカード型PHS	96

データベース	157
手書き	81、83
手書認識ボード	81、83
電源入／切	42
電源ボタン	32、42
電卓	212
電池アイコン	49
電池交換スイッチ	34、232、234、235、248
添付ファイル	113
テンプレート	190、191、192
統合検索	183
時計	59、205、212

な行

なぞる	46
日英翻訳	187
入力アイコン	59、80
入力方法メニューアイコン	59、80
入力ボード	80、81
入力モードアイコン	60、82
ネットワーク設定	94
ネットワークに接続する	107
乗換案内	51、56、196

は行

ハードディスク上のデータ消去	22
パソコンとの接続	90
バックアップ(パソコン)	139
バックアップ(メモリーカード)	214
バックライト	43
貼込	64
範囲指定	164
ハンドストラップ	17、34
ハンドストラップ取り付け穴	34

日付移動(リンク日付)	149
日付の変更	67
ビュースタイル	36、46
表示部	32、35
ファイル	56、61、148
ファイルのコピー	64、133、137
ファイルホーム画面	56
ファイルリンク画面	148
フォーマット	240、241
フォトストレージ	173
フォルダ	56、61
フォルダ作成	63
フォルダ名称変更	64
フォルダメニュー	57
イメージノート	162
メモ帳	167
フォント	71
複合検索	183
複写	64
ブックマーク	93、119、120
プレゼンテーション	215
ブコピューア	52
文節区切り変換	79
分類	
ToDo	151
アドレス帳	154
ペースト	64
別売品	255
ヘルプ	93
ホーム画面	50、69
ホーム画面設定	213
ホームキー	33、45
ホームページ	7、122
ボイスレコーダー	215
保護カード	33
保存データ数	251
本体ディスク	19、56
翻訳これ一本	184

ま行

マルチメディアカード	84
マルチメディア辞書	178
未処理データを表示	152
ミュート	48
見る	
Movie Player	170
ToDo	152
アドレス帳	155
イメージノート	162
カレンダー	146、147
データベース	160
ホームページ	118
メール	112
メモ帳	167
無線LAN	102
メール	109
メールアカウント	116
メールアドレス	111、156
メール着信ランプ	32、112
メニュー	45
メニューキー	33、45、59
メニュー検索	183
メニューバー	56
メモ帳	166
メモリー	211
メモリーカード	84
メンテナンスメニュー	235
文字種別優先ボード	81
文字の大きさ	71
文字の入力	72、74、80
モバイルマップNavi	51、56、197

郵便番号辞書データ	154
横表示	36、40

ら行

ライト	43、207
輝度	207
減光する	207
ライト/省電力設定	207
リストア(パソコン)	142
リストア(メモリーカード)	214
リスト表示	
イメージノート	163
リスニング英聞法	
.....	55、『コンテンツガイド』
リセット	232、234
履歴ボタン	56
イメージノート	162
メモ帳	167
リンクカレンダー	148
ローマ字→かな変換表	252

わ行

枠有(手書認識ボード)	81
枠無(手書認識ボード)	81

や行

ユーザーエリア	211
ユーザー辞書	82、213

アフターサービスについて

保証について

① この製品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③ 保証期間後の修理は…

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、パーソナルモバイルツールの補修用性能部品の、製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

① 「困ったときは」(※次ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

② それでも異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店に**お持ち込み**のうえ修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。

③ 故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

④ アフターサービスについてわからないことは…

お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。付属の「お客様ご相談窓口のご案内」とおり、お客様ご相談窓口を設けております。

困ったときは

この製品を使っていて、使いかたが分からないときや困ったときは、ここに書いている内容をご覧ください。また、オンラインマニュアル『困ったときは.pdf』にはここに書いていない内容についても記載しています。

『困ったときは.pdf』に書いている内容でも、対応できない場合は、ホームページ「ザウルスサポートステーション」(URL <http://support.ezaurus.com/>)をご覧ください。

本体操作で困ったとき	このページ
インターネット接続で困ったとき	266ページ
メールで困ったとき	271ページ
インターネット(Webブラウザ[NetFront])で困ったとき	274ページ
ソフトウェアの追加で困ったとき	275ページ
データ移行で困ったとき	276ページ
パソコンとの接続で困ったとき	277ページ
パソコンと接続ができない場合の確認事項	278ページ

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 画面が暗い ● 充電ランプが点灯しない ● 充電ランプが点滅する	● ライトの明るさを調整してください(☞207ページ)。 ● 電池ふたを取り付け、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしていますか(☞249ページ)。 ● 指定のACアダプターは正しく接続されていますか(☞41ページ)。 ● いったん充電池とACアダプターを取り外した後、約5秒待ってから、再び充電池を取り付けてフルリセットしてください(☞234ページ)。
● 充電したが本体の電源が入らない ● 充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない	● 長期間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合には、充電開始後数分経っても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても充電ランプが消灯しなかったりすることがあります。そのときには、フルリセット操作(☞234ページ)をしてから再度充電してみてください。 ● 使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかります。電源を切って充電してください(☞247ページ)。 ● 指定の周囲温度(5～35℃)で充電してください。 ● 充電が終了し、充電ランプが消えたあとそのままにしておくと、充電池を消費し、また充電が始まる場合があります。

こんなときは	ここをお確かめください
● 急に電源が切れた	● 自動節電機能(オートパワーオフ)が働くとき電源が切れます(※207ページ)。 ● 充電電池が消耗すると、電源が切れます。ACアダプターを使って充電してください(※41ページ)。 ● 強い静電気や電氣的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。
● (電源)ボタンを押しても何も表示されない(電源が入らない) ● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない	● 充電電池が消耗していませんか。 ● いったん充電電池とACアダプターを取り外した後、約5秒待ってから、再び充電電池を取り付けてフルリセットしてください(※234ページ)。 ● (ホーム)キーなどを押して、ザウルスの画面を切り替えてみてください。
● (電源) ボタンを押すと、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電電池を充電してください(※41ページ)。
● ACアダプターを使用中や充電中に、ACアダプターやザウルスが温くなる	● 故障ではありません。ACアダプター使用中や充電中は、ACアダプター、ザウルスは温くなります。
● すべてのキーが動かない ● データを正常に表示しない	● 「異常が起きたとき」(※231ページ)の対処方法を順に試してみてください。
● SDメモリーカードやマルチメディアカード(MMC)、コンパクトフラッシュメモリーカードなどを認識しない。または正しく表示されない	● 動作確認済みのカードを取り付けていますか。動作確認ができていないカードについては、ザウルスサポートステーション(URL http://support.ezaurus.com/)で確認してください。 ● 取り外すときは、正しい手順で取り出していますか(※87ページ)。 ● 奥まできっちり装着していることを確認してください。 ● ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンと接続している間は、ザウルスを操作することはできません。 ● いったん本体からカードを取り外し、リセット操作後(※232ページ)、再度カードを装着(※86ページ)してください。
● 「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これはハードディスクドライブや構成回路の動作音であり、故障ではありません。
● アプリケーションを起動しようとするとき、「メモリーが不足しています」と表示される	● 使用しないアプリケーションを終了してみてください。 ● あまり利用しないアプリケーションは、アプリケーションホーム画面で、アイコンをしばらく(約2秒)タッチして表示される画面で、「アプリケーションを高速起動する」のチェックを外してみてください(※52ページ)。 ● リセット操作(※232ページ)を試してみてください。

こんなときは	ここをお確かめください
● アプリケーションの起動が遅い	● アプリケーションホーム画面で、アイコンをしばらく(約2秒)タッチして表示される画面で、起動時間を早くすることができます。ただし、メモリーを消費します(※52ページ)。 ● リセット操作(※232ページ)をためてください。
● 文字が小さいので大きくしたい	● オプションメニューのフォントにタッチして、文字の大きさを変えることができます。 ● (Fn)キーを押しながら(2)キーを押してみてください。アプリケーションによっては、文字の大きさが大きくなります(※71ページ)。
● データが表示されない	● アドレス帳やToDoの場合、分類で絞り込んでいません。絞り込んでいるときは、すべてを選択して表示してみてください。
● カレンダーのファイルリンク画面にファイルが表示されない	● ザウルスショットで取り込んだファイルは、通常、転送した日にリンクします。「ザウルスドライブ(シリアル通信、ネットワーク)」でコピーしたファイルも、コピーした日にリンクします。「ザウルスドライブ(USBストレージ方式)」でコピーしたファイルはファイルの「更新日時」(パソコン上で確認できます)の日にリンクします。 ● オプションメニューのリンクファイルにタッチして、ファイルの保存先(本体など)にチェックが入っているか確認してください。
● スケジュールアラームを設定したが、アラームが鳴らない	● 音量をミュートしていませんか。または、「アラーム」が鳴らない設定になっていませんか。アプリケーションホーム画面などで、タスクバーのにタッチして「ミュート」のチェックを外してください。また「アラーム」のチェックをつけてください(※48ページ)。 ● アラームを設定するとき、「音なし」にしませんでしたか。「音なし」にしていると、音は鳴らずに画面表示でのみお知らせします(※145ページ)。 ● ステレオヘッドホンジャックに付属のステレオヘッドホンなどを接続していると、ステレオヘッドホンからしかアラーム音は聞こえません。
● 一覧画面で カーソル キーを押してもカーソルが移動しない(データが選択できない)	● フォーカス(点線枠)が一覧にあたっていますか。メニューバーやタブなどにフォーカスがある場合には、(Tab)キーを押して一覧にフォーカスを移動してください(『アプリケーションマニュアル.pdf』『基本的な使いかた』の「フォーカスを移動する」)。

こんなときは	ここをお確かめください
● 赤外線通信ができない	● お互いの距離は正しい距離になっていますか。赤外線通信の距離については、『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「赤外線通信(データ交換)」をご覧ください。 ● お互いの赤外線通信ポート(送受信部)がまっすぐに向き合っていますか。 ● 1データ/1ファイルを送信する場合、受信側を受信状態にした後、送信側からデータを送っていますか。 ● パソコン、携帯電話との通信はできません。 ● MIシリーズザウルスへのデータ送信はできません。 ● PIシリーズザウルスとの通信はできません。
● カレンダーなどのデータを削除できない	● プリグラムエリアがいっぱいになると、カレンダー、アドレス帳、メール、ToDo、メモ帳(「Memo」タブ)のデータは削除できないことがあります。このときは、本体にインストールしているipkソフトウェアをアンインストールしてみてください(※203ページ)。
● アドレス帳などの1件のデータにシークレットはかけられないの？	● アドレス帳などのデータごとにシークレットをかけることはできません。
● マルチメディア辞書で、言葉を入力しても検索結果が表示されない	● 完全消去(フォーマット)によって、広辞苑などのデータを消したあとは、244ページの方法で辞書データをザウルスにダウンロードしてください。このとき、インストールCD-ROMやデータCD-ROMからコピーする場所を間違えていないか確認してください。 ● マルチメディア辞書の辞書一覧画面で、辞書データが使えるようになっているか確認してください(『アプリケーションマニュアル.pdf』「マルチメディア辞書」の「検索する辞書の選択」をご覧ください)。

インターネット接続で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● タスクバーにCFカードアイコン()や  が表示されない(カードが認識されない)	● 通信カードが正しく取り付けられていることを確認してください。 ● いったん本体からカードを取り外し、リセット操作後(※232ページ)、再度カードを装着(※86ページ)してください。
● インターネット(ネットワーク)に接続できない	● インターネットに接続する前に電波の届くところ(圏内)であることを確認してください。P-in Free 1S/1Pなどでは、“P-inカード設定”(付属のCD-ROMからインストールします)の画面で、電波が届く場所であること(アンテナマークがたっている)を確認してください。また、AIR-EDGE(Air H)カードの場合は、通信を開始しようとしたときにアンテナランプで確認できます。圏外では電波が届かないので、電波が届くところ(電波状態の良いところ)まで移動してみてください。 電波が弱いと接続できないことがあります。電波の強いところに移動してみたり、時間帯を変えてみてください。 ● 無線LANカードの場合は、通常、無線LANカードのLEDランプで通信可能な場所であることを確認できます。通信可能であることを確認してください。 ● インターネットでホームページを見たり、メールの送受信を行うには、最初にインターネット(ネットワーク)に接続します(タスクバーの  にタッチします)。 通常の場合、画面には次のように5段階のメッセージが順次表示された後、インターネット(ネットワーク)につながります(LANカードや無線LANカードの場合は ダイヤル中 と 認証中 は表示されません)。 初期化中 → ダイヤル中 → 認証中 → 接続完了 → 接続中 接続ができなかった場合、上記のどの段階で接続できなかったかによって、対応方法が異なってきます。くわしくは、次ページの①～③項目をご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください
① 画面に「初期化中」の表示が出る前または後まで進んだが、接続できなかった	● ご使用の通信機器 (P-in Freeなどのデータカード型PHSや電話線など) が正しく接続されているか確認してください。 ● “ネットワーク設定”の接続設定を確認してください。実際に使用している通信カードにあわせて“ネットワーク設定”の接続設定の内容を確認してください。 ● 無線LANカードの場合、「ESS-ID」や「暗号化キー(WEP)」の設定を間違えていないか確認してください。 ● LANカードや無線LANカードの場合は、DHCPサーバーを使用できないネットワークなのに「TCP/IP」タブで「IPアドレスを自動的に取得」にチェックをつけていないか確認してください。DHCPサーバーが存在しない場合は、チェックを外して、IPアドレスなどを入力してください。
② 画面に「ダイヤル中」の表示が出るところまで進んだが、接続できなかった	● “ネットワーク設定”の接続設定を確認してください。実際に使用している通信カードにあわせて“ネットワーク設定”の接続設定の内容を確認してください。 ● “ネットワーク設定”で、接続先(アクセスポイント)の電話番号を正しく設定しているか確認してください。電話番号をもう一度確認して、設定し直してください。 ● P-in FreeやAir H[®] カードなどのデータカード型PHSを使用する場合は、接続先にPIAFS専用のアクセスポイントを指定してください(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「データカード型PHSの設定(設定アシスト)」)。 ● 以前は接続できたという場合は、アクセスポイントの電話番号が変わっているのかもしれませんが。入会しているプロバイダーに確認してください。
③ 画面に「認証中」の表示が出るところまで進んだが、接続できなかった	● ユーザー名、パスワードの大文字と小文字、全角と半角の区別や「0」(ゼロ)と「O」(英字のオー)、数字の「1」と「l」(英字のエル)などをまちがえていないか、よく確認してください。また、パスワードを設定しているときは、表示されている「*」をすべて削除し、念のために、もう一度入力してみてください。 ● “ネットワーク設定”の「ネームサーバー」などの情報が正しいか確認してください。プロバイダーから送られてきたインターネット接続設定の資料をもとに、ネームサーバーの設定(210.130.136.17など)を確認してください。また、IPアドレスの設定は通常、「IPアドレスを自動的に取得」にチェックを入れておきます(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「接続設定を確認/修正/削除などする」)。

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネット(ネットワーク)接続時にエラーメッセージが表示される	● エラーメッセージによって、対応方法が異なります。くわしくは、以下①～③項目をご覧ください。
①「話中です」と表示された	● 接続先が混み合っています。時間をおいてかけ直すか、別の接続先に変更して接続してみてください。 ● アクセスポイントの電話番号をまちがえていないか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。接続機器にあった電話番号が必要です。P-in m@sterやP-in Freeなどのデータカード型PHSは、PIAFS専用の電話番号への発信が必要です(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「データカード型PHSの設定(設定アシスト)」)。 ● モデムカードを使用している場合は、電話回線のダイヤル方式(トーン/パルス)が正しいか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。
②「キャリアを検出できません」や「ダイヤルトーンを検出できません」と表示された	● モデムケーブルが外れていないか確認してください。 ● 回線の状態が悪いと、通信途中で回線が切断されることがあります。 ● アクセスポイントの電話番号をまちがえていないか確認してください。 ● リセット操作(☞232ページ)を試してみてください。
③「タイムアウト」と表示された	● ユーザー名の設定をまちがえていないか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。 ● パスワードの設定をまちがえていないか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「ネットワーク設定と接続」の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。 ● 動作確認済みのカードを正しく取り付けているか確認してください(☞84ページ)。 ● サーバー側でトラブルが発生しています。しばらく時間をおいて、再度接続してみてください。

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネットに接続できない	● 通信カードが正しく取り付けられているか確認してください。 ● ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。
● 接続先に電話がかからない	● データカード型PHS使用時は、アクセスポイントがPIAFSに対応しているか確認してください。 ● アクセスポイントの電話番号をまちがえていないか確認してください。 ● モデムカード使用時に、デジタル回線に接続していないか確認してください。デジタル回線では接続できません。 ● モデムカードで内線から接続しているときは、市外局番がついていないと接続できないことがあります。市外局番を外してみてください。
● 途中で接続が切れたり、データが乱れたりする	● 磁石などが近くにないか確認してください。磁気の影響で正しく動作しない場合があります。 ● キャッチホンを使用している回線で通信すると、通信中に電話がかかってきたときに接続が切れたり、データが乱れたりすることがあります。
● データカード型PHSで64Kデータ通信ができない	● 64Kデータ通信に対応したエリアで通信しているか確認してください。PHSのサービスエリアでも、64Kデータ通信サービスに対応していないエリアがあります。64Kデータ通信に対応したエリアかどうかは、各通信サービス会社にお問い合わせください。 ● 接続先として、64KPIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を指定していますか。Air H" カード、C@rd H"64[CH S202C/TD]、C@rd H" 64 petit、H"の場合は、PIAFS 2.1対応のアクセスポイントです。プロバイダーによっては、64KPIAFSに対応しているアクセスポイントがない場合があります。アクセスポイントについては、各プロバイダーにお問い合わせください。
● P-in memoryをメモリーカードとして使えるの？	● この製品では、P-in memoryをメモリーカードとして使用することはできません。
● モデムカード使用時、自宅からはメールの送受信ができたのに、会社の電話回線を使うと接続できない	● 会社の電話回線が構内交換機(PBX)に接続されていないか確認してください。構内交換機に接続されている電話回線では通信できないことがあります。構内交換機を通過していない電話回線を使ってみてください。

こんなときは	ここをお確かめください
● 入会したプロバイダーのサーバーに接続できない	● 認証方式の違い、使用の回線の違いなどプロバイダー固有の接続条件により、接続できない場合があります。 ● プロバイダーが使用しているモデムとの相性により、接続できない場合があります。 ● プロバイダーのアクセスポイントの電話番号やネームサーバーのIPアドレスが変更されていると接続できません。プロバイダーにお問い合わせください。

メールで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 「認証に失敗しましたアカウント名または、パスワードを再確認してください」と表示された	● アカウント名の設定をまちがえていないか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』『メール』の「アカウントを登録する」)。 ● パスワードの設定をまちがえていることが考えられますので入力しなおしてください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』『メール』の「アカウントを登録する」)。
● 「ホストが見つかりません」と表示された	● サーバーの設定やネットワーク設定のDNSの設定をまちがえていないか確認してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』『ネットワーク設定と接続』の「接続設定を確認／修正／削除などする」)。 ● 社内LANのメールアカウントと一般のプロバイダーのメールアカウントを複数設定して、データカード型PHSなどを使って全アカウント受信を行っていませんか。接続できないメールアカウント(この場合では、社内LANのメールアカウント)に対して、このメッセージが表示されます。このようなときは、メールメニューの受信を選択して受信するアカウントを選びます。
● 「接続できませんでした」と表示された	● 社内LANのメールアカウントと一般のプロバイダーのメールアカウントを複数設定して、データカード型PHSなどを使って全アカウント受信を行っていませんか。接続できないメールアカウント(この場合では、社内LANのメールアカウント)に対して、このメッセージが表示されます。このようなときは、メールメニューの受信を選択して受信するアカウントを選びます。

こんなときは	ここをお確かめください
● メールの送信ができない	● アカウント名、パスワード、SMTPサーバー、POPサーバー、メールアドレスが正しく設定されていないことが多いので、それらの設定を確認し、再設定してみてください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「メール」の「アカウントを登録する」)。 ● メールサーバーを使用するプロバイダーのアクセスポイントから接続してください。プロバイダーによっては迷惑メール防止のために、自社のアクセスポイント以外(ローミング経由、PIASネット経由など)からはメール送信を受け付けない場合があります。
● メールが宛先に届かない。 送信したメールが戻ってくる	● 宛先のメールアドレスをまちがえていませんか。アドレス帳で送信先のデータを修正画面にして、メールアドレスを確認してください。アドレス帳を修正して保存したら、メールも修正画面で宛先を選択し直してください。 ● サーバーのトラブルやメンテナンスによる場合もあります。時間を置いて送信してみてください。
● メールを受信できない	● アカウント名、パスワード、サーバーが正しく設定されていないことが多いので、それらの設定を確認し、再設定してみてください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「メール」の「アカウントを登録する」)。 ● SMTPサーバーとPOPサーバーが分かれていなくて1つの場合は、両方に同じものを入力します。 ● サーバーのトラブルやメンテナンスによる場合もあります。時間を置いて受信してみてください。 ● メールの表示切替ボタンが、すべてか未読になっていることを確認してください。
● 同じメールが何度も受信される	● 受信しきれないメールはパソコンで受信するか、プロバイダーに削除を依頼してください(パソコンを使用しない場合はアカウント設定画面でアカウントを選び編集にタッチし、「受信」タブで「受信時にサーバーから削除」にチェックを入れてください)。 ● 入会しているプロバイダーによっては、サーバー側である程度の期間単位でメールを自動的に削除することがあります(サーバー側にかかなりのメールが残ってしまうと受信できなくなることを防ぐため)。このようなサーバーからメールを受信するとき、「受信時にサーバーから削除」のチェックを外している(サーバーにメールが残る設定)と、すでに読んだメールも再度受信することがあります。このようなときは、「受信時にサーバーから削除」にチェックを入れてメール受信してください(アカウント設定画面でアカウントを選び編集にタッチして表示された、「受信」タブにあります)。

こんなときは	ここをお確かめください
● メールが読めない	● 「複数選択モード」を選択しているとメールの詳細画面を見ることができません。「オプション」メニューの「複数選択モード」のチェックを外してください。
● 受信したメールが文字化けして読めない	● 半角カタカナ・特殊文字・制御文字・絵記号などが混入していると文字化けする場合があります。 ● MIME以外の形式で送信された可能性があります。
● タイトルなどしか受信していない	● サイズ制限(アカウント設定画面でアカウントを選び「編集」にタッチして表示された、「受信」タブにあります)で指定したサイズを超えている場合は、メールのタイトルなどのみを受信します。そのメールの詳細画面で「メール」メニューの「続きを取得」を実行して受信してください。なお、3MBを超えている場合は受信できませんので、パソコンで受信してください。
● 作ったメールを送信できない	● メールフォルダー一覧で、「シンクロナイズ」が選ばれた状態でメールの新規作成を行うと、そのメールは通信カードを使って送信することができません。メールフォルダー一覧で送信元にしたいアカウントを選んでからメールを新規作成してください。
● メール文面のURLにタッチしてもブラウザが起動しない ● メール文面のメールアドレスにタッチしてもメールの新規作成画面が表示されない	● 詳細画面で、「表示」メニューにタッチし「テキスト表示」のチェックを外してください。

インターネット(Webブラウザ[NetFront®])で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● ホームページを表示できない	● URLをまちがえていないか確認してください。大文字/小文字のまちがいや半角/全角のまちがい、「.」と「,」、「:」と「;」、「_ (アンダーバー)」と「- (ハイフン)」などをまちがえていないか確認してください。 ● “ネットワーク設定”でネームサーバーの設定をまちがえていないか確認してください。 ● “ネットワーク設定”でプロキシサーバーの設定をまちがえていないか確認してください。 ● 指定したホームページが、混み合っているのかもしれませんが。しばらくしてから、再度接続してください。 ● アプリケーションホーム画面で  “インターネット NetFront v3.1”を2秒以上タッチし、プロパティ画面を表示させ「アプリケーションを高速起動する」のチェックを外します。 さらに、NetFrontの「ツール」メニューの「ブラウザ設定」を選択し、「メモリ」のタブ内の「一時ファイルを削除する」にタッチした後、「一時ファイル」の「有効にする」のチェックを外してください。 その後、再起動(231ページ)を行ってください。
● ホームページを表示するまでに時間がかかる	● 接続先のサーバーに、アクセスが集中しているのかもしれませんが。しばらくしてから、再度接続してください。
● 画像データが表示されない	● URLのあとに/(スラッシュ)をつけないと、画像が表示されないホームページがあります。/(スラッシュ)をつけてみてください。 ● ザウルス本体で表示できる画像ファイルは、JPEG、GIF、PNG、BMP、MNGファイルです。それ以外の画像ファイルは表示できません。ただし、JPEG、GIF、PNGファイルなどでも表示できないものがあります。
● 画像ファイルなどをダウンロードできない	● 本体ディスクに十分な空きがあるか確認してください。空きがないときは、SDメモリーカードなどを取り付けて拡張してください。
● ホームページのリンク先に進めない	● リンク先が、混み合っているのかもしれませんが。しばらくしてから、再度接続してください。 ● リンク先のアドレスが変わっていたり、リンク先がなくなっているのかもしれませんが。 ● 「ツール」メニューの「スクロールモード」の確認を行ってください。チェックが入っている場合、チェックを外してください。

こんなときは	ここをお確かめください
● ホームページの文字が正しく表示されない	● [表示]メニューの[エンコード]にタッチし「日本語 (Shift-JIS)」や「日本語 (EUC)」などに変更してみてください。 ● 海外のホームページなどには、ザウルス本体で使用していない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは、文字化けを起こします。接続しているホームページを確認してください。
● ホームページからソフトがダウンロードできない	● 本体ディスクに空きがあるか確認してください。空きがないときは、SDメモリーカードなどを取り付けて拡張してください。
● ホームページの表示がパソコンと異なる	● パソコンのWebブラウザとは一部仕様が異なるため、このWebブラウザでは表示が異なったり、表示できないことがあります。

ソフトウェアの追加で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インストールしたが、ホーム画面にアイコンが出ない	● ソフトウェアの追加/削除を終了していますか？ 終了しないと、インストールは完了しません。 ● 再起動が必要なソフトウェアがあります。再起動してみてください。

データ移行で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 今使っている他のSLシリーズザウルスからこの製品にデータを転送したい	● 226ページをご覧ください。操作してください。
● 今使っているMIシリーズザウルスやコミュニケーションパルからこの製品にデータを転送したい	● 216ページをご覧ください。操作してください。 MIシリーズザウルスやコミュニケーションパルとこの製品とは、アプリケーション(アドレス帳など)の入力項目が違います。 違っている項目に対して、データ転送時に自動的に割り振りを行っています。各アプリケーションの入力項目の関係については221ページをご覧ください。
● データ移行ができない	● SL-A300などからデータを移行する場合は、手順にしたがって操作しているか確認してください(※226ページ)。 ● PIシリーズザウルスからのデータ移行はできません。 もよりのシャープサービス会社にお持ち込みいただくと、お預かりの上データ移行のサービスをさせていただきます(有料)。付属の『お客様ご相談窓口のご案内』をご覧ください。
● SL-C3200以外のザウルスのバックアップデータを利用して、データ移行ができるか	● できません。SL-C3200でバックアップしたデータ以外のバックアップデータを無理やりSL-C3200にリストアすると、正しく動作しなくなります。
● SL-C3200以外のザウルスで使用していたSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに入ったデータやファイルは、SL-C3200でも使用できるか	● SLシリーズザウルスで使用していたメモリーカードは、そのままSL-C3200に装着することで利用することができます(一部のデータは使用できません)。 MIシリーズザウルスで使用していたメモリーカード内のデータは、SL-C3200にデータ移行することにより、SL-C3200で使えるようになります(※216～225ページ)。ただし、一部のデータは移行させることができません。

パソコンとの接続で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● ザウルスショットやIntellisync for Zaurusなどをインストールしたが、パソコンと接続できない	● 次ページの「パソコンと接続できない場合の確認事項」を順に確認してください。
● パソコンのタスクバーにザウルスショットのアイコンが見えない	● パソコンがWindows XPの場合、「アクティブでないインジケータを隠す」(アイコンを隠す)設定があります。この設定になっていないか確認してください。
● 「ザウルスドライブ(シリアル通信)」などのウインドウが開かない	● ザウルスの電源は入っていますか。ザウルスの電源が入っていないと、ウインドウは開かず「本体ディスク」フォルダなどは表示されません。 135ページの手順の通り、操作を行ってください。
● パソコンが勝手にダイヤルアップを始める	● 自動ダイヤルアップの設定を外してください(☞『困ったときは.pdf』)。
● ザウルスショットやIntellisync for Zaurusの動作が極端に遅い	● ウイルスバスターの「リアルタイム検索」が設定されていると、パソコンの環境によっては、アプリケーションソフトの動作が極端に遅くなる場合があります。「リアルタイム検索」の設定を解除してみてください(☞『困ったときは.pdf』)。 ● 他の常駐ソフトを終了してみてください。
● ザウルスドライブ(シリアル通信)で「本体ディスク」などのフォルダ内のファイルをパソコン上で開いた後、そのファイルを修正できない	● ザウルスドライブ(シリアル通信)では、「本体ディスク」などのフォルダ内のファイルは、パソコン上で開いて見ることはできますが、修正することはできません。修正するためには、一度パソコンにそのファイルをコピーして、パソコン上のファイルとして修正してください。
● ザウルスショットでアクティブウインドウをキャプチャーしてもウインドウの全体がザウルスに転送されていない	● アクティブウインドウのキャプチャーは、パソコンの画面上に見えている部分を取り込んでいます。スクロールしないと見えない部分やパソコンの画面から外に出て見えない部分は取り込めません。 ● 「印刷イメージ取込」を行うと、見えていない部分もザウルスに転送されます。
● ザウルスドライブを使ったあと、ザウルスのフォルダを表示したままザウルスとパソコンの接続を切ったときは、どうすればいいの？	● パソコン上のザウルスのフォルダを閉じてください。

こんなときは	ここをお確かめください
● ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンと接続できない	● 次の手順を行ってみてください。 1 ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンと接続した状態でパソコンのデバイスマネージャ画面(☞『はじめにお読みください』36ページの手順12)を開きます。 2 USBコントローラ内の黄色の「!」または「?」マークが付いている「USB大容量記憶装置デバイス」を右クリックして削除します。 3 USBケーブルをザウルスから外します。 4 パソコンを再起動します。 5 ザウルスドライブ(USBストレージ接続)でパソコンと再接続します。
● リストアを行っているとき、リストアが中断した	● リストアを行っている途中で、USBケーブルが抜れたり、(ACアダプターを接続しないでリストアを行ったため)ザウルスの電源が切れるなどしてリストアが中断した場合は、再度リストアを行ってください。
● パソコンとの接続中にオートパワーオフしない	● ザウルスドライブなどのパソコン用ソフトウェアでパソコンとザウルスが通信中のときはオートパワーオフしません。 ● ザウルスドライブ(USBストレージ方式)でパソコンとザウルスを接続しているときはオートパワーオフしません。

パソコンと接続できない場合の確認事項

■次の項目を順に確認してください。

- お使いのパソコンが動作環境を満たしているか確認してください(☞『はじめにお読みください』20ページ)。
- お使いのパソコンがWindows XP/Windows 2000 の場合、管理者やAdministratorの権限でログオンしていますか(☞『はじめにお読みください』21ページ)。
- パソコン側のザウルス通信マネージャー(☞『ザウルスドライブ取説.pdf』)の通信方式とザウルス側のPCリンク画面(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」)の通信方式が合っているか確認してください。
PCリンク画面で接続方式を正しく選択してください。パソコン用ソフトウェアを使うときは「PC連携方式」を、ザウルスドライブ(USBストレージ方式)を使うときは、「USBストレージ方式」を選択してください。接続方式を変更するときは、いったんパソコンからザウルスを取り外してから変更してください。

■次の項目を順に試してみてください。

- ザウルスの電源を切り、30秒経過してから再度電源を入れてみてください。
- LANカードなどの通信カードを装着したままパソコンと接続しようとするときは、通信カードを取り外してからパソコンを接続してみてください。
- ザウルスをリセットしてみてください(☞232ページ)。
- 付属のUSBケーブルをパソコンから取り外し、もう一度接続してみてください。このとき、インストールしたときに接続したUSBポートに、確実に、接続してください。
※SL-C860などに付属のUSBケーブル(CE-UC1)を使って通信することはありません。
- パソコンのUSBポートに、直接、付属のUSBケーブルを接続してみてください(USBハブや延長ケーブルを使うと接続できないことがあります)。
- 他のUSBポートに接続されている機器を取り外してみてください。
- 他のUSBポートに接続してみてください。
この場合「新しいハードウェアの検索ウィザード」などの画面が表示されることがあります。このときは付属のインストールCD-ROMをパソコンに取り付け、画面の指示に従ってUSBドライバーをインストールしてください。
- パソコンの常駐ソフトを終了してみてください。
- パソコンを再起動してみてください。

■次の項目を順に確認してください。接続にはパソコンのUSBポートを使用しています。

- パソコンのUSBポートが使用可能になっているか確認してください(☞『困ったときは.pdf』)。
- パソコンにUSBドライバーが正しくインストールされているか確認してください(☞『困ったときは.pdf』)。
- パソコンの省電力機能を無効にしてみてください(確認・設定方法は、お使いのパソコンの説明書などをご覧ください)。パソコンによっては、省電力モード(サスペンド、レジューム、スリープなど)になると、USBポートが機能しなくなる場合があります。

■通信方式がUSB接続(ネットワーク)の場合、USB接続(シリアル通信)に変更してみてください(☞『はじめにお読みください』38ページ)。また、『困ったときは.pdf』もご覧ください。

●メモ

In the U.S.A.

Declaration of Conformity

Personal Mobile Tool: SL-C3200

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

SHARP ELECTRONICS CORPORATION

Sharp Plaza, Mahwah, New Jersey 07430

TEL: 1-800-BE-SHARP

Tested To Comply With FCC Standards



FOR HOME OR OFFICE USE

WARNING - FCC Regulations state that any unauthorized changes or modifications to this equipment not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate this equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Note: A shielded interface cable is required to ensure compliance with FCC regulations for Class B certification.

In Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター  0120-606-919	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は 東日本相談室 TEL 043-351-1822 FAX 043-299-8280 西日本相談室 TEL 06-6792-1583 FAX 06-6792-5993
〈受付時間〉 月曜～金曜：午前9時～午後9時 土・日／祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）	

● 修理のご相談は… 添付の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● ザウルスの ホームページ	http://ezaurus.com/
● ザウルスサポート ステーション	http://support.ezaurus.com/ 「ザウルスサポートステーション」では、よくあるお問い合わせや、Q&A、周辺機器情報、アップデート情報など、役立つ情報を豊富に掲載しています。

インターネットをご利用の方は、上記のホームページをご活用ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
 情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492